

## 第30回 ハンセン病問題に関する検証会議の 提言に基づく再発防止検討会

### － 議 事 次 第 －

1. 日 時 平成27年10月2日（金）10：00～12：00
2. 場 所 東海大学校友会館「望星の間」
3. 議 題
  - (1) 開会
  - (2) 前回検討会以降の経過について
  - (3) 今年度の検討会の進め方について
  - (4) 患者向けアンケート調査の結果報告（最終版）
  - (5) その他

#### 【配付資料】

- ・資料1：ハンセン病療養所入所者・退所者調査の実施計画（座長試案）
- ・資料2：患者向けアンケート調査結果報告書

第30回 ハンセン病問題に関する検証会議の提言に基づく再発防止検討会  
平成27年10月2日(金)10:00～12:00 東海大学校友会館 「望星の間」

氏名	所属等
安藤 高朗	(公社) 全日本病院協会副会長
今泉 暢登志	(一社) 日本病院会副会長
今村 定臣	(公社) 日本医師会常任理事
* 内田 博文	九州大学名誉教授
尾形 裕也	東京大学政策ビジョン研究センター特任教授
片山 繁樹	(公社) 日本歯科医師会理事
畔柳 達雄	弁護士
小森 直之	(一社) 日本医療法人協会副会長
鈴木 利廣	明治大学法科大学院教授
高橋 茂樹	弁護士／医師
◎ 多田 羅浩三	大阪大学名誉教授
豎山 勲	ハンセン病違憲国賠訴訟全国原告団協議会 事務局長
田中 滋	慶應義塾大学名誉教授
寺山 善彦	(公社) 日本薬剤師会専務理事
中島 豊爾	(公社) 全国自治体病院協議会副会長
長瀬 輝誼	(公社) 日本精神科病院協会副会長
花井 十伍	全国薬害被害者団体連絡協議会会長
藤崎 陸安	全国ハンセン病療養所入所者協議会 事務局長

◎は座長 \*は座長代理

「ハンセン病問題に関する検証会議の提言に基づく再発防止検討会」  
ハンセン病療養所入所者・退所者調査の実施計画（座長試案）

### 1. 調査目的

- 平成 27 年度は、平成 16 年度末（平成 17 年 3 月）に再発防止検討会が設置されてから 10 年の節目の年である。
- そこで、これまで検討会が進めてきた、患者の権利に関する体系ならびに疾病を理由とする差別・偏見の克服に向けた取り組みの状況等の継続的な把握、ハンセン病問題に類似した問題の再発防止に向けた作業の成果と今後の課題を明らかにするために、検討会の出発点となったハンセン病問題に改めて目を向け、ハンセン病療養所の入所者・退所者を対象に、本検討会の活動に対する評価、今後の検討会への要望について把握することを目的とする。
- 入所者・退所者の高齢化の実態をふまえると、現段階で、入所者・退所者として後世に伝えたいことを聴き取ることは、喫緊の課題と認識する。

### 2. 調査対象

- ハンセン病療養所入所者：全国の国立療養所の入所者自治会長 11 人（全員）  
※藤崎委員（全国ハンセン病療養所入所者協議会 事務局長）に助言を得ながら、依頼を進める。

No.	療養所名	所在地	自治会長氏名	入所者数	平均年齢
1	松丘保養園	青森県青森市	石川 勝夫	96 名	84.0 歳
2	東北新生園	宮城県登米市	久保 瑛二	85 名	85.1 歳
3	栗生楽泉園	群馬県吾妻郡草津町	藤田 三四郎	93 名	85.1 歳
4	多磨全生園	東京都東村山市	佐川 修	213 名	84.4 歳
5	国立駿河療養所	静岡県御殿場市	小鹿 美佐雄	64 名	82.9 歳
6	長島愛生園	岡山県瀬戸内市	中尾 伸治	225 名	84.2 歳
7	邑久光明園	岡山県瀬戸内市	屋 猛司	132 名	84.8 歳
8	大島青松園	香川県高松市	森 和男	69 名	82.5 歳
9	菊池恵楓園	熊本県合志市	志村 康	286 名	82.8 歳
10	星塚敬愛園	鹿児島県鹿屋市	岩川 洋一郎	162 名	84.9 歳
11	奄美和光園	鹿児島県奄美市	—	35 名	83.4 歳
12	沖縄愛楽園	沖縄県名護市	金城 雅春	187 名	82.5 歳
13	宮古南静園	沖縄県宮古島市	—	71 名	84.9 歳

※敬称略。入所者数及び平均年齢は、平成 27 年 5 月 1 日現在。

○ ハンセン病療養所退所者：5人程度

※堅山委員（ハンセン病違憲国賠訴訟全国原告団協議会 事務局長）に助言を得ながら、依頼を進める。

No.	候補者氏名
1	石山 春平
2	平良 仁雄
3	知念 正勝
4	中 修一
5	宮良 正吉

※敬称略。

### 3. 調査方法

○ 対象者を検討会に招聘し、ヒアリングを実施する。

※入所者・退所者への網羅的なアンケートも検討したが、その平均年齢が80歳以上であることをふまえると、調査票に自記回答することが困難なケースが想定される。近年の入所者自治会等によるアンケート調査の回答率を見ても、厚労省経由でハンセン病療養所職員の記入支援等を得ても十分な回答が得られない可能性が高い。また、定量的なアンケート調査では、本検討会の活動に対する評価、今後の検討会への要望について把握することには限界がある。そこで、対象者が限定されても、きめ細かに調査実施側の意図も伝えつつ意見把握できるヒアリング調査を実施する。

※対象者を訪問する形式では、日程、場所、距離等の面から、聞き取りできる人数に限界がある。そこで、検討会でヒアリングすることで、委員だけでなく、会議傍聴や議事録公開を通じて、幅広く社会への発信を目指す。

### 4. 調査時期

○ 第30回検討会（平成27年10月2日）で協議の上、その次の第31回検討会（平成27年11月以降）から実施する。

○ 2ヶ月に1回程度検討会を開催し、平成28年度中には調査を完了する。

### 5. 調査内容

○ 検討会1回あたり2人を招聘し、以下の通りヒアリングを進める。

#### （1）招聘者からの意見陳述（60分程度×2人）

ハンセン病の歴史に学び、その他の疾病において同じようなことが起こらないための取り組みを進めていく上で、今後の検討会に期待することや、入所者・退所者としての率直な思い、後世に伝えたいこと。

#### （2）再発防止検討会の10年間の活動に対する評価聞き取り（60分程度）

①再発防止検討会の認知度

②患者の権利に関する体系について

- ・ 医療の基本原則の充実（医療の質、安全性の確保など）
- ・ 医療体制の充実（通院しやすい場所に医療機関があるなど）
- ・ 患者の尊厳とプライバシーの保護
- ・ 医療における自己決定権、自分の診断や治療の内容などに対する意思の尊重
- ・ 医療に関する情報の提供（カルテ開示やセカンドオピニオンなど）
- ・ 健康教育、健康問題の解決のために、必要な情報をあたえ、自分で選択ができるようにする教育の普及と提供
- ・ 患者の責務を果たすこと（健康増進の取り組みや病歴などの情報を医療機関へ伝えること）
- ・ 医薬品の開発などにかかわる臨床試験の対象者の権利の保護
- ・ 患者に対する虐待の禁止
- ・ 医療において患者が不当に自由を制限されない権利の保護
- ・ 医療による被害の回復をもとめる権利の保護（原因究明や再発防止）
- ・ 医療従事者の権限が尊重され、責務が果たされること
- ・ 医療基本法の法制化について

※聞き取りに当たっては、療養所内の医療提供体制はそれ以外と異なることに留意が必要。

③疾病を理由とする差別・偏見の克服に向けた取り組みについて

- ・ 疾病を理由とする差別・偏見の克服
- ・ 正しい医学的知識の普及・啓発
- ・ 人権教育の徹底
- ・ 疾病を理由とする差別・偏見の克服、国民・社会への普及啓発に向けた責務を国・地方公共団体が果たすこと
- ・ 疾病を理由とする差別・偏見の克服、国民・社会への普及啓発についての施策を推進するための組織・機関の設置

（3）その他意見交換（30分程度）

以上

「ハンセン病問題に関する検証会議」の提言に基づく再発防止検討調査事業

## 患者向けアンケート調査結果 報告書

---

平成 27 年 10 月 2 日

**MRI** 株式会社三菱総合研究所

人間・生活研究本部

# 目次

<b>1. 総括</b> .....	<b>5</b>
1.1 調査の概要 .....	5
1.1.1 調査目的 .....	5
1.1.2 調査期間 .....	5
1.1.3 調査方法 .....	5
1.1.4 調査対象 .....	5
1.1.5 調査対象の抽出、回答の回収方法 .....	6
1.1.6 回収数 .....	7
1.1 結果の概要 .....	8
1.1.1 医療情報の提供と説明について .....	8
1.1.2 患者と医療従事者の良好な関係づくりについて .....	8
1.1.3 適切なタイミングで必要な医療を受ける権利について .....	9
1.1.4 自由回答について .....	9
1.1.5 傷病中分類別、年齢階級別、設問間のクロス集計について .....	9
1.1.6 まとめ .....	10
<b>2. 単純集計の結果</b> .....	<b>12</b>
2.1 調査対象者の基本属性 .....	12
2.1.1 年齢 .....	12
2.1.2 性別 .....	13
2.1.3 居住地（都道府県別） .....	14
2.1.4 医療従事者に関連する資格の保有状況 .....	16
2.2 通院状況について .....	17
2.2.1 直近6か月間の通院状況 .....	17
2.2.2 傷病の種類（通院） .....	18
2.2.3 通院した医療機関の箇所数と通院日数 .....	22
2.3 入院状況について .....	23
2.3.1 直近6か月間の入院状況 .....	23
2.3.2 傷病の種類（入院） .....	24
2.3.3 入院した医療機関の箇所数と入院日数 .....	28
2.4 傷病の種類（通院+入院） .....	29
2.5 医療情報の提供と説明について .....	33
2.5.1 適切なタイミングでの医療情報の提供について .....	33
2.5.2 必要とする量の医療情報の提供について .....	33
2.5.3 分かりやすい医療情報の提供について .....	34
2.5.4 カルテ開示 .....	35
2.5.5 セカンドオピニオン .....	38
2.6 患者と医療従事者の良好な関係づくりについて .....	39
2.6.1 尊厳やプライバシーの保護 .....	39
2.6.2 自己決定権の尊重 .....	39

2.6.3	医療従事者との良好な関係.....	41
2.6.4	患者と医療従事者の良好な関係づくりに向けた課題.....	42
2.6.5	医療機関における取り組みの周知状況.....	44
2.7	その他.....	48
2.7.1	適切なタイミングで必要な医療を受ける権利.....	48
2.7.2	医療機関や国・地方公共団体に期待すること、患者に求められることについて ...	49
<b>3.</b>	<b>傷病中分類別クロス集計の結果.....</b>	<b>54</b>
3.1	医療情報の提供と説明について.....	54
3.1.1	適切なタイミングでの医療情報の提供について.....	54
3.1.2	必要とする量の医療情報の提供について.....	56
3.1.3	分かりやすい医療情報の提供について.....	57
3.1.4	カルテ開示.....	59
3.1.5	セカンドオピニオン.....	64
3.2	患者と医療従事者の良好な関係づくりについて.....	66
3.2.1	尊厳やプライバシーの保護.....	66
3.2.2	自己決定権の尊重.....	68
3.2.3	医療従事者との良好な関係.....	69
3.2.4	患者と医療従事者の良好な関係づくりに向けた課題.....	70
3.2.5	医療機関における取り組みの周知状況.....	71
3.3	その他.....	74
3.3.1	適切なタイミングで必要な医療を受ける権利.....	74
<b>4.</b>	<b>年齢階級別クロス集計の結果.....</b>	<b>76</b>
4.1	医療情報の提供と説明について.....	76
4.1.1	適切なタイミングでの医療情報の提供について.....	76
4.1.2	必要とする量の医療情報の提供について.....	77
4.1.3	分かりやすい医療情報の提供について.....	78
4.1.4	カルテ開示.....	79
4.1.5	セカンドオピニオン.....	81
4.2	患者と医療従事者の良好な関係づくりについて.....	82
4.2.1	尊厳やプライバシーの保護.....	82
4.2.2	自己決定権の尊重.....	83
4.2.3	医療従事者との良好な関係.....	84
4.2.4	患者と医療従事者の良好な関係づくりに向けた課題.....	85
4.2.5	医療機関における取り組みの周知状況.....	86
4.3	その他.....	88
4.3.1	適切なタイミングで必要な医療を受ける権利.....	88
<b>5.</b>	<b>設問間クロス集計の結果.....</b>	<b>89</b>
5.1	適切なタイミングでの医療情報の提供について.....	89
5.1.1	尊厳やプライバシーの保護.....	89
5.1.2	自己決定権の尊重.....	90



5.1.3 医療従事者との良好な関係.....	91
5.2 必要とする量の医療情報の提供について .....	92
5.2.1 尊厳やプライバシーの保護.....	92
5.2.2 自己決定権の尊重 .....	93
5.2.3 医療従事者との良好な関係.....	94
5.3 分かりやすい医療情報の説明について .....	95
5.3.1 尊厳やプライバシーの保護.....	95
5.3.2 自己決定権の尊重 .....	96
5.3.3 医療従事者との良好な関係.....	97
<b>参考資料.....</b>	<b>98</b>
1：調査票.....	98
2：傷病中分類別・通院／入院別クロス集計の結果 .....	107
1. 医療情報の提供と説明について.....	107
2. 患者と医療従事者の良好な関係づくりについて .....	123
3. その他 .....	137
3：年齢階級別・通院／入院別クロス集計の結果.....	139
1. 医療情報の提供と説明について.....	139
2. 患者と医療従事者の良好な関係づくりについて .....	147
3. その他 .....	153
4：通院／入院別の設問間クロス集計の結果 .....	154
1. 適切なタイミングでの医療情報の提供について .....	154
2. 必要とする量の医療情報の提供について .....	157
3. 分かりやすい医療情報の説明について.....	160
5：傷病中分類別患者の年齢階級 .....	163

## 1. 総括

### 1.1 調査の概要

#### 1.1.1 調査目的

検討会が提出した報告書にそって、患者の権利に関する体系ならびに疾病を理由とする差別・偏見の克服に向けた取り組みの状況等を継続的に把握する作業の一環として、我が国の国民・社会における、医療機関の取組及び患者の権利に関する意識、ならびに差別・偏見に関する意識を把握することを目的とした。

#### 1.1.2 調査期間

平成 26 年 12 月 5 日（金）～平成 27 年 1 月 4 日（日）

#### 1.1.3 調査方法

インターネットウェブアンケート調査

※インターネットウェブアンケート調査は、医療機関経由で患者に調査票を手交する方法等に比べ、幅広い傷病を有する患者を対象に、短期間に効率的に調査を実施できるという利点がある。一方で、回答者がインターネットを利用している層に限定されるため、回答に偏りが出る可能性がある。ただし、総務省「平成 25 年通信利用動向調査」によれば、日本の人口の 80%以上がインターネットを利用しているため、従来に比べれば回答の偏りは改善されつつあると思われる。

#### 1.1.4 調査対象

調査会社登録モニターで、本調査における「患者」の定義に該当する者 5,000 人

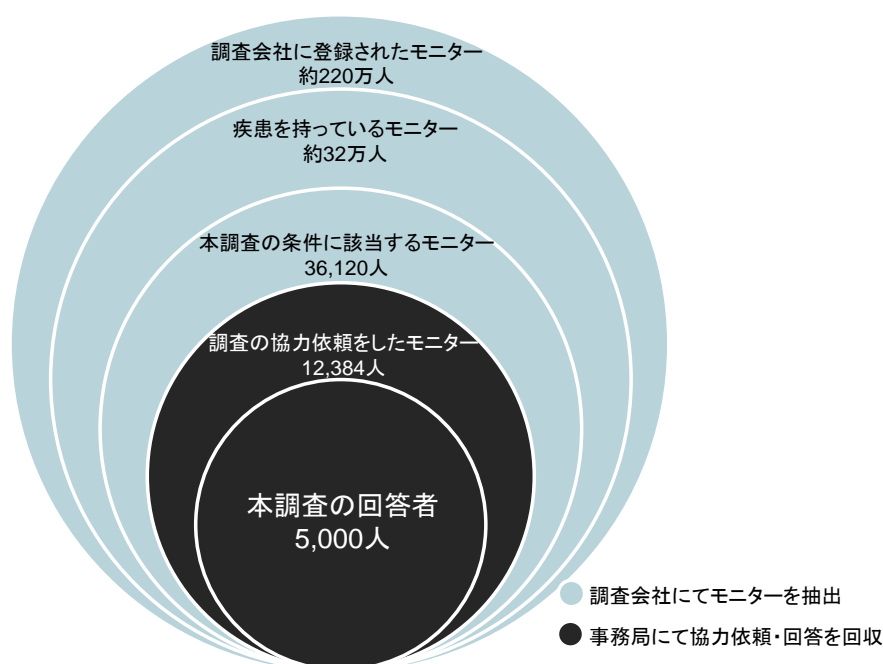
※本調査における「患者」とは、この 6 か月間で医療機関（病院や診療所、歯科医院）に通院（往診、訪問診療を含む）または入院したことがある患者を指す。ただし、検診等（健康診断、健康検査及び人間ドック）による通院または入院は含まない。

### 1.1.5 調査対象の抽出、回答の回収方法

以下の手順（①～④）で調査対象の抽出および回答の回収を行った。

- ① 調査会社にて、登録モニター（約 220 万人）から、疾患を持っているモニター（約 32 万人）を抽出した。
- ② 疾患を持っているモニターから、本調査の「患者」の定義に該当する可能性があるモニター（36,120 人）を疾患別の割付数に合わせて抽出<sup>1</sup>した。
- ③ ②で抽出したモニターのうち、約 12,000 人に対し、本調査の協力依頼をメールで配信した。
- ④ 5,000 人の回答を回収した。なお、回収は疾患別の割付数に達したのものから締め切った。

図 1 調査対象の抽出、回答回収の流れ（イメージ）



<sup>1</sup> 抽出条件は以下のとおりである。（回答数が目標数に達しない疾患については、△の項目を追加の抽出条件とした）

○定期的に医療機関に通院している。

○定期的に通院はしていないが、最近1年以内に医療機関で受診した。

○1年以上前に医療機関で受診したことがある。

△医療機関で受診したことはないが、最近1年以内に市販薬等の薬を利用した。

△医療機関で受診したことはないが、1年以上前に市販薬等の薬を利用したことがある。

### 1.1.6 回収数

平成 23 年患者調査結果に基づく ICD-10 分類別の推計患者数に比例したサンプル割付を実施し、回答を回収した。以下に ICD-10 分類別の回収目標数（割付数）と回収数を示す。

表 1 ICD-10 分類別の回収目標数（割付数）と回収数

			回収目標数(割付数)			回収数		
			総数	通院	入院	総数	通院	入院
総数			5,000	4,159	841	5,000	4,276	724
ICD10 大分類	ICD1	感染症および寄生虫症	122	108	14	122	108	14
	ICD2	新生物	236	140	96	236	140	96
	ICD3	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	19	15	4	19	15	4
	ICD4	内分泌,栄養および代謝疾患	287	264	23	287	264	23
	ICD5	精神および行動の障害	321	141※	180※	321	225※	96※
	ICD6	神経系の疾患	169	95※	74※	169	128※	41※
	ICD7	眼および付属器の疾患	196	188	8	196	188	8
	ICD8	耳および乳様突起の疾患	76	74	2	76	74	2
	ICD9	循環器系の疾患	765	605	160	765	605	160
	ICD10	呼吸器系の疾患	509	452	57	509	452	57
	ICD11	消化器系の疾患	871	830	41	871	830	41
	ICD12	皮膚および皮下組織の疾患	172	162	10	172	162	10
	ICD13	筋骨格系および結合組織の疾患	679	639	40	679	639	40
	ICD14	尿路性器系の疾患	200	170	30	200	170	30
	ICD15	妊娠,分娩および産じょく<褥>	30	19	11	30	19	11
	ICD16	周産期に発生した病態	0	0	0	0	0	0
	ICD17	先天奇形,変形および染色体異常	0	0	0	0	0	0
	ICD18	症状,徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	66	54	12	66	54	12
	ICD19	損傷,中毒およびその他の外因の影響	282	203	79	282	203	79
	ICD20	傷病および死亡の外因	0	0	0	0	0	0
	ICD21	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0	0	0	0	0	0

※「ICD5 精神および行動の障害」「ICD6 神経系の疾患」では、入院において回収目標数に達しなかったため、不足分を通院で補った。

## 1.1 結果の概要

今回のアンケート調査では、5,000人の患者から回答を得られた。その結果、自由回答を含めて一定の傾向が読み取れる貴重なデータを収集できた。

調査結果からうかがわれる傾向及び検討会において議論した意見は、以下のとおりである。

### 1.1.1 医療情報の提供と説明について

「適切なタイミング」での医療情報の提供、「必要とする量」の医療情報の提供、「分かりやすい」医療情報の提供がなされているかをみると、80%程度が「十分そう思う」「概ねそう思う」と回答し、多くの医療機関において医療従事者から患者への医療情報の提供が適切に行われていることがうかがえた。これは、日本の医療関係者の努力、患者の医療に対する関心の向上による一定の成果といえる。

一方、カルテなどの診療記録を開示する義務の周知状況をみると、「知らない」が42.2%であった。さらに、実際のカルテ開示の請求経験をみると、「開示を求めたことがある」と答えた患者は6.2%であった。カルテ開示の義務化当初は、医療機関等によってカルテ開示周知のための広報が実施されたと思われるが、時間の経過とともに、広報を実施する側も「既に周知できた」との認識から、意欲的な取り組みを行わなくなった可能性がある。一方、セカンドオピニオンの利用状況をみると、「利用したことがない」が77.6%であった。

こうした結果をふまえると、カルテ開示やセカンドオピニオンに関する制度周知、広報のあり方について、再検討することが必要である。その際には、単に制度の内容を周知するだけでなく、カルテ開示やセカンドオピニオンは、患者の権利行使の一つとして日常的に利用できる制度であり、患者が自分が受けている医療に対して疑問を感じたときに初めて利用する制度ではないことをあわせて周知することが必要である。また、患者と医療従事者の間には根拠のないパターンリスティックな関係が醸成されやすいこと、地域によっては医療機関数が限られていることなどを背景に、患者からは制度を積極的に利用しにくい可能性があることから、医療機関が患者に積極的に利用をはたらきかける方策も検討する必要がある。

### 1.1.2 患者と医療従事者の良好な関係づくりについて

患者の尊厳やプライバシーの保護、自己決定権の尊重、医療従事者との良好な関係づくりができていると思うかをみると、80%程度が「十分そう思う」「概ねそう思う」と回答し、患者と医療従事者の良好な関係づくりができていることがうかがえた。この結果は、前項と同様に医療関係者と患者双方の努力による一定の成果といえる。

しかし、この結果を、本検討会がかつて医療機関を対象に実施したアンケート調査で、患者の尊厳やプライバシーを尊重しているか、自己決定権を尊重しているか、患者と医療従事者の相互理解が進んでいるか、医療機関に質問した時の「十分そう思う」「概ねそう思う」と答えた割合と比較すると、医療機関の回答の方が実施できているとする割合が10ポイント程度高かった。患者と医療機関の認識の差は、カルテ開示の義務化などもあり、徐々に埋まりつつあると考えられるが、今後、さらにその差を小さくしていくためには、制度の実施などの全体的な対応だけでなく、患者の年齢や疾患をはじめとする属性などに応じた個別の対応が重要であると考えられる。具体的には、医療従事者が、インフォームドコンセントの

継続的な実践を通じて、患者に医療情報を的確に伝達するとともに、患者の自己決定権を尊重することで、「医療情報と医療における決断」を患者と医療従事者が共有するようになることが期待される。

一方、尊厳やプライバシーの保護、自己決定権の尊重、医療従事者との良好な関係づくりができていないと回答した患者が、それぞれ 10%程度あった。医療従事者には、「思わない」と回答する患者が 0%になることを目指して、不断の努力をすることが求められる。

また、これらの回答者に対して、「思わない」理由を聞いたところ、「疾病を理由とする差別・偏見を感じたから」が 12.1%であったことを重く受け止め、疾病を理由とする差別・偏見の克服に向けて、市民、患者、医療従事者、国や地方公共団体が一体となった取り組みを行うことができるよう、本検討会においても継続的な検討を行うとともに、当該目的に資する情報発信を行う必要がある。

なお、医療機関における患者と医療従事者の良好な関係を築くための取り組みの周知状況をみると、「知っているものはない」が 37.1%と最も多かった。また、そうした取り組みの利用状況をみると、「利用したことがあるものはない」が 49.9%と最も多かった。こうした結果を踏まえると、医療機関は単に取り組みを継続するだけでなく、その取り組みを患者に周知し、利用を促進するための方策について検討する必要があるといえる。

### 1.1.3 適切なタイミングで必要な医療を受ける権利について

適切なタイミングで必要な医療を受ける権利が保障されていると思うかをみると、82.4%が「十分そう思う」「概ねそう思う」と回答した。これは、日本の医療制度が患者から信頼されていることのあらわれであり、誇るべき結果である。しかし、そういう状況がある中で、「思わない」と回答する患者も 10%程度いることは、広く患者に対する個別の対応を充実する必要があることを示唆している。

### 1.1.4 自由回答について

医療機関に期待することをみると、「待ち時間の短縮」や「医療情報に関する分かりやすい説明」を求める回答が多かった。また、患者が考えていることをみると、「患者自身がかかりつけ医を持つ」や「診療の際に、自身の症状について正確な情報を伝えることが重要である」などの意見があった。

国・地方公共団体に期待することをみると、「医療費の負担軽減」が 742 件と圧倒的に多かったことは、現行の 3 割自己負担は、国民皆保険体制の維持・運営上必要な負担割合ではあるとしても、患者にとっては過大な負担になっていると認識する必要があることを示唆している。

### 1.1.5 傷病中分類別、年齢階級別、設問間のクロス集計について

傷病中分類別にみると、「耳」の傷病で、医療情報の提供と説明が不十分と回答と答えたものの割合が多く、聴覚以外のコミュニケーション手段の不足から、患者と医療従事者の良

好な関係が築けていないのではないかと思われた。

また、カルテなどの診療記録の開示義務の周知状況について、「知っている」と回答した割合は、「貧血・血液」の傷病が72.2%と最も多く、次いで「悪性新生物」が70.9%、「感染症」が69.7%であった。また、実際のカルテ開示の請求経験をみると、「開示を求めたことがある」と回答した割合は、「妊娠・産褥」が18.9%と最も多く、次いで「貧血・血液」が18.6%、「感染症」が17.6%であった。この結果から、カルテなどの診療記録の開示義務の周知及び利用状況は、患者が罹患している傷病の程度（重症度）により傾向が異なることがうかがえ、今後の制度周知を進める際の参考情報として活用できる。

年齢階級別にみると、20歳代、30歳代の若年層は、それ以上の世代に比べて、医療情報の提供と説明が不十分と回答した患者が多く、患者と医療従事者の良好な関係が築けていないと感じる割合が多くなっていた。

また、カルテなどの診療記録の開示義務を「知っている」と回答した患者の割合は、年代が高くなるほど多く、若い年代の者では開示義務についての広報などが不十分であることが示唆された。一方、カルテ開示の請求経験をみると、若い年代の者ほど「カルテ開示を求めたことがある」と回答しており、カルテなどの診療記録の開示義務の周知状況とは逆の関係であり、若い世代ほど、カルテ開示を求める傾向があることが把握できた。

この結果は、今後は、それぞれの年代にあわせて、患者と医療従事者の良好な関係づくりの取り組みを進める必要があることを示唆している。

「医療情報の提供と説明」と「患者と医療従事者の良好な関係づくり」について、設問間のクロス集計を行ったところ、医療の提供と説明が十分でないと回答した患者は、医療従事者との関係が良好でないという傾向があることが把握できた。

医療情報の適切な提供と説明は、医療従事者と患者の良好な関係づくりの基盤となる取り組みであり、今後も医療機関におけるより積極的な取り組みが求められているといえる。

#### 1.1.6 まとめ

患者の意識に関する大規模な調査は近年実施されていない。5,000人という多数の患者から回答を得た結果であるという点でも、今回のアンケート調査結果は、現在のわが国の患者の意識を理解するための貴重なかけがえのないデータとなった。

いずれの項目においても、80～90%程度の患者が肯定的な回答をしていることを踏まえると、現在の医療機関における様々な取り組みは高く評価できる。一方で、否定的な回答をしている患者が依然10～20%程度存在することは看過できない事実である。今後も、否定的な回答をする患者が0%になるよう、医療機関等において不断の努力をすることが求められていると思われる。

また、カルテ開示などの制度の周知及び利用状況をみると、制度が存在しても、それが患者に十分に受容されていない実態が明らかになった。今後は、制度の趣旨を患者と医療従事者が共有し、患者が制度を積極的に利用することができるよう、医療機関における意欲的な取り組みがすすむことを期待したい。

さらに、今回のアンケート調査で明らかになった、患者や医療従事者が直面している課題、また医療費負担の軽減や地域による医療資源の偏在等の課題に対しては、本検討会が従来か

ら指摘してきたとおり、医療基本法の法制化などを通じて、国・地方公共団体の取り組みを充実させる必要があることを強調しておきたい。

そして、こうして明らかにされた課題について、医療機関、国・地方公共団体等での取り組みが進めば、患者の理解が深まることも予想される。このため、今後も、実態に即した取り組みを進めることができるよう、定期的に患者アンケート調査を実施し、患者のより詳細な意識の実態を把握することについて検討することが望まれる。

また、今回の貴重な調査結果を踏まえ、本検討会として、医療基本法の制定という検討会の提言の実現に向けて、引き続き議論及び情報発信を行うこととしたい。



## 2. 単純集計の結果

本章では、患者向けアンケート調査の単純集計の結果を示す。

### 2.1 調査対象者の基本属性

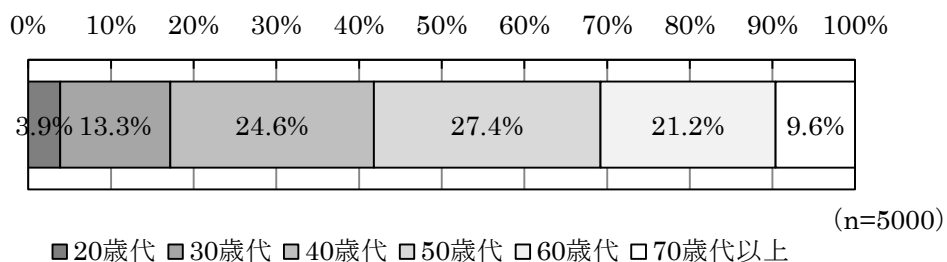
#### 2.1.1 年齢

調査対象者の年齢は、50歳代が27.4%と最も多く、次いで40歳代が24.6%、60歳代が21.2%であった。

表 2 年齢

	実数	%
総数	5,000	100.0%
20歳代	193	3.9%
30歳代	666	13.3%
40歳代	1,230	24.6%
50歳代	1,371	27.4%
60歳代	1,059	21.2%
70歳代以上	481	9.6%

図 2 年齢



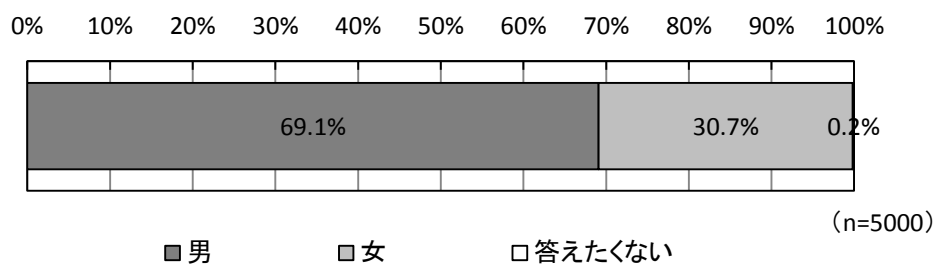
## 2.1.2 性別

調査対象者の性別は、男性が 69.1%、女性が 30.7%であった。<sup>2</sup>

表 3 性別

	実数	%
総数	5,000	100.0%
男	3,455	69.1%
女	1,536	30.7%
答えたくない	9	0.2%

図 3 性別



<sup>2</sup> 本調査で使用了登録モニターの男女比は約 55 : 45 であり、男性のほうが多い。また、本調査では、回答者のサンプル割付をしているため、割付数に達した項目から回答を締め切っている。以上から、本調査の男女比が約 70 : 30 となったと思料される。

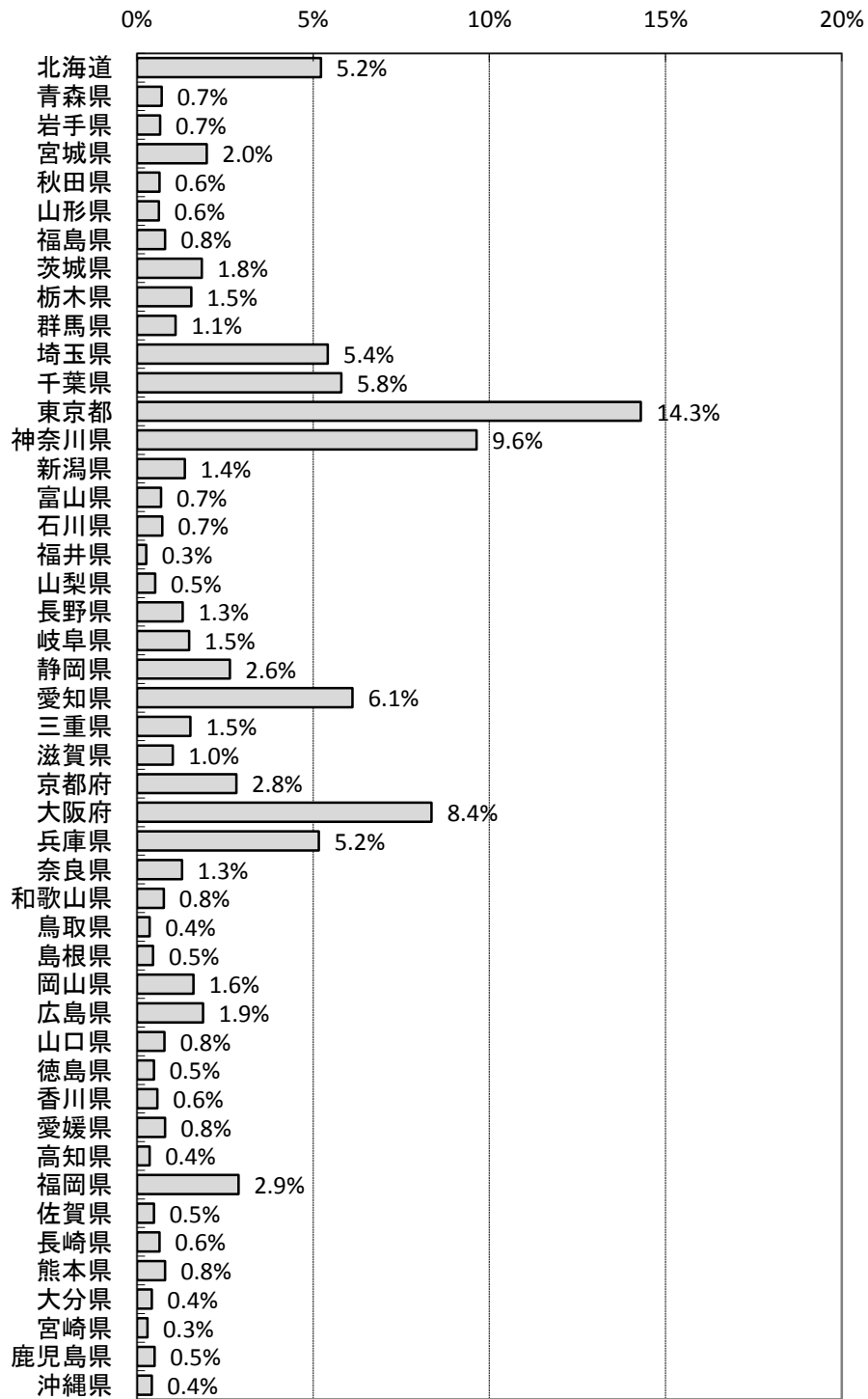
### 2.1.3 居住地（都道府県別）

調査対象者の居住地を都道府県別にみると、東京都が14.3%と最も多く、次いで神奈川県が9.6%、大阪府が8.4%であった。

表 4 居住地（都道府県別）

	実数	%
総数	5,000	100.0%
北海道	261	5.2%
青森県	35	0.7%
岩手県	33	0.7%
宮城県	99	2.0%
秋田県	32	0.6%
山形県	31	0.6%
福島県	40	0.8%
茨城県	92	1.8%
栃木県	77	1.5%
群馬県	55	1.1%
埼玉県	271	5.4%
千葉県	290	5.8%
東京都	715	14.3%
神奈川県	482	9.6%
新潟県	68	1.4%
富山県	34	0.7%
石川県	36	0.7%
福井県	13	0.3%
山梨県	26	0.5%
長野県	65	1.3%
岐阜県	74	1.5%
静岡県	132	2.6%
愛知県	306	6.1%
三重県	76	1.5%
滋賀県	51	1.0%
京都府	141	2.8%
大阪府	418	8.4%
兵庫県	258	5.2%
奈良県	64	1.3%
和歌山県	38	0.8%
鳥取県	18	0.4%
島根県	23	0.5%
岡山県	80	1.6%
広島県	94	1.9%
山口県	39	0.8%
徳島県	24	0.5%
香川県	29	0.6%
愛媛県	40	0.8%
高知県	18	0.4%
福岡県	144	2.9%
佐賀県	24	0.5%
長崎県	32	0.6%
熊本県	40	0.8%
大分県	21	0.4%
宮崎県	15	0.3%
鹿児島県	25	0.5%
沖縄県	21	0.4%

図 4 居住地（都道府県別）



(n=5000)

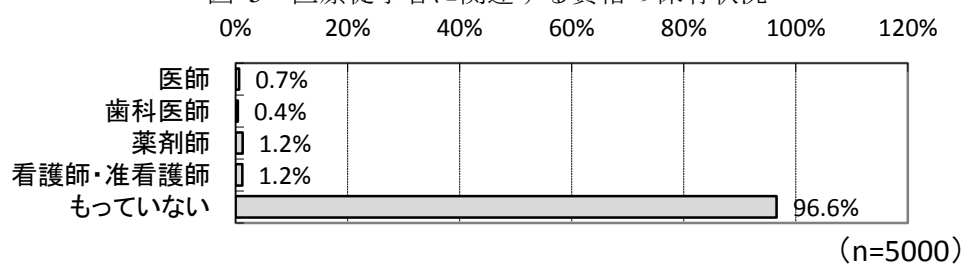
## 2.1.4 医療従事者に関連する資格の保有状況

調査対象者の医療従事者に関連する資格の保有状況をみると、薬剤師、看護師・准看護師がいずれも1.2%、医師が0.7%、歯科医師が0.4%であった。

表 5 医療従事者に関連する資格の保有状況

	実数	%
総数	5,000	100.0%
医師	33	0.7%
歯科医師	21	0.4%
薬剤師	62	1.2%
看護師・准看護師	60	1.2%
もっていない	4,830	96.6%

図 5 医療従事者に関連する資格の保有状況



## 2.2 通院状況について

### 2.2.1 直近6か月間の通院状況

あなたは、この6か月間で医療機関（病院や診療所、歯科医院）に通院したことがありますか。

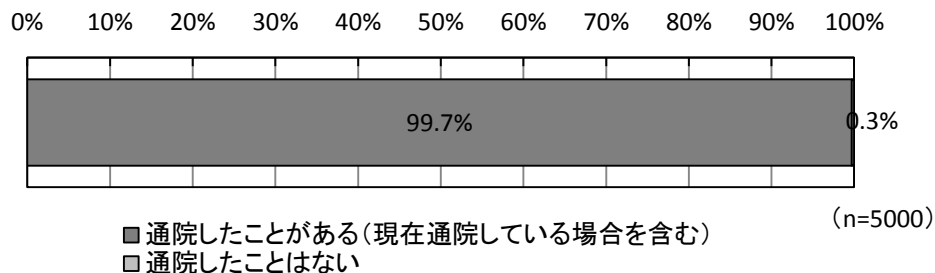
- 通院には、往診、訪問診療を含みます。
- 健診等（健康診断、健康診査及び人間ドック）による通院は除いて下さい。

直近6か月間の通院状況をみると、「通院したことがある」は、99.7%であった。

表 6 直近6か月間の通院状況

	実数	%
総数	5,000	100.0%
通院したことがある(現在通院している場合を含む)	4,985	99.7%
通院したことはない	15	0.3%

図 6 直近6か月間の通院状況



## 2.2.2 傷病の種類（通院）

（「通院したことがある」と回答した対象者に対して）  
どのような傷病（病気やけが）で通院しましたか。あてはまる傷病すべてにチェックをつけて下さい。

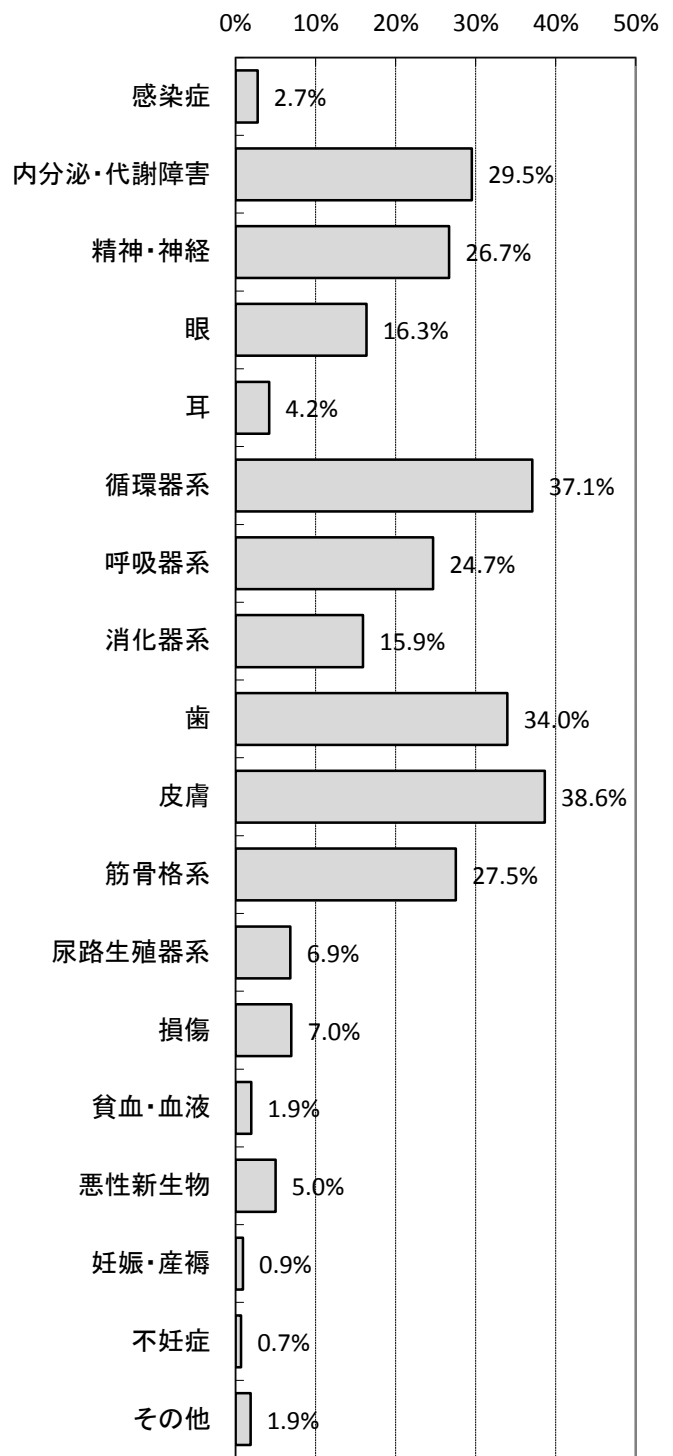
傷病の種類；中分類（通院）をみると、「皮膚」が38.6%と最も多く、次いで「循環器系」が37.1%、「歯」が34.0%であった。

傷病の種類；小分類（通院）をみると、「歯の病気」が34.0%と最も多く、次いで「高血圧症」が25.0%、「うつ病やその他のこころの病気」が22.7%であった。

表 7 傷病の種類；中分類（通院）

	実数	%
総数	4,985	100.0%
感染症	137	2.7%
内分泌・代謝障害	1,471	29.5%
精神・神経	1,329	26.7%
眼	815	16.3%
耳	210	4.2%
循環器系	1,848	37.1%
呼吸器系	1,230	24.7%
消化器系	794	15.9%
歯	1,693	34.0%
皮膚	797	38.6%
筋骨格系	1,371	27.5%
尿路生殖器系	342	6.9%
損傷	348	7.0%
貧血・血液	97	1.9%
悪性新生物	249	5.0%
妊娠・産褥	47	0.9%
不妊症	35	0.7%
その他	93	1.9%

図 7 傷病の種類；中分類（通院）



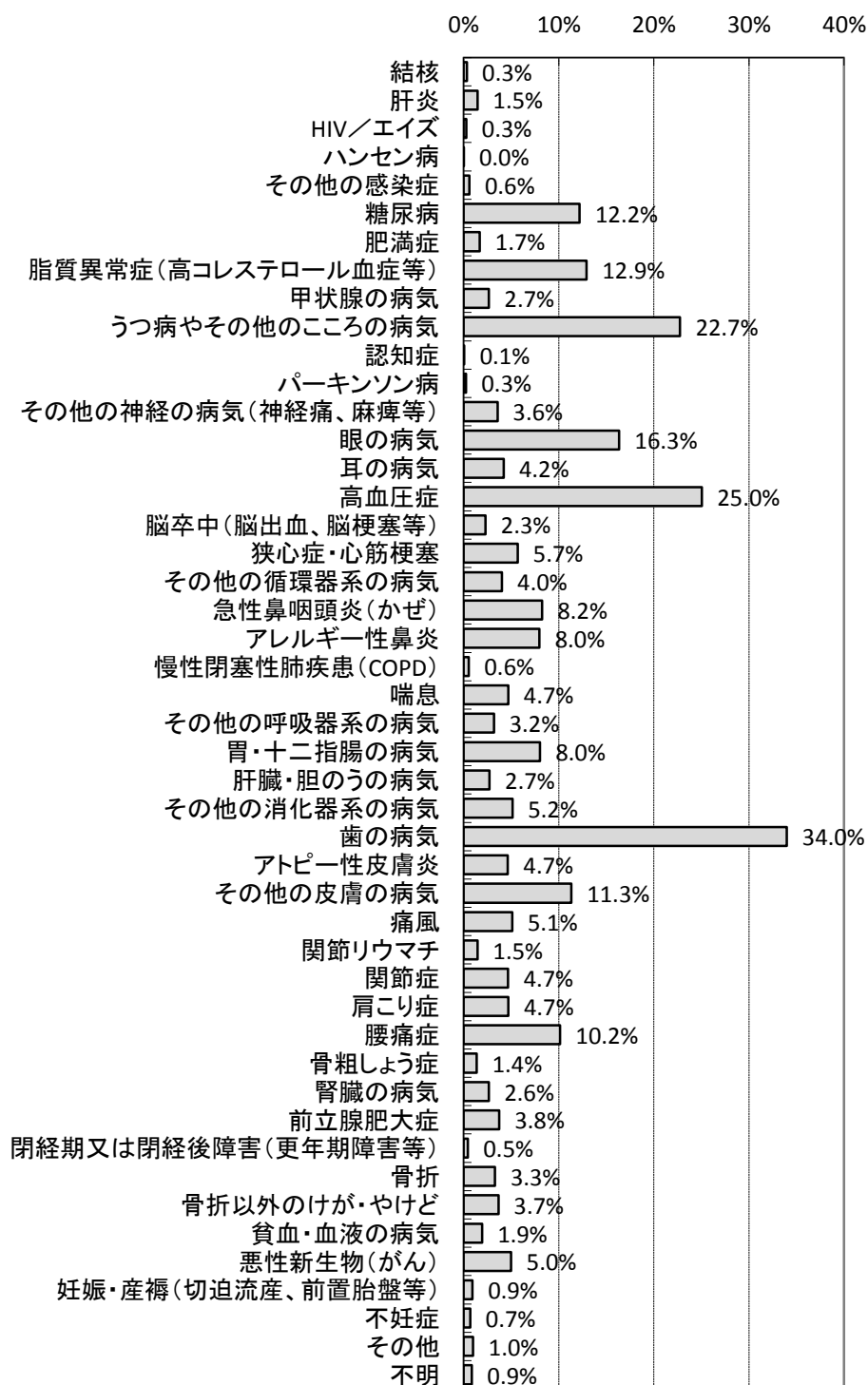
(n=4985)



表 8 傷病の種類；小分類（通院）

		実数	%
総数		4,985	100.0%
感染症	結核	17	0.3%
	肝炎	73	1.5%
	HIV/エイズ	15	0.3%
	ハンセン病	1	0.0%
	その他の感染症	31	0.6%
内分泌・代謝障害	糖尿病	608	12.2%
	肥満症	85	1.7%
	脂質異常症(高コレステロール血症等)	645	12.9%
	甲状腺の病気	133	2.7%
精神・神経	うつ病やその他のこころの病気	1,134	22.7%
	認知症	4	0.1%
	パーキンソン病	13	0.3%
	その他の神経の病気(神経痛、麻痺等)	178	3.6%
眼	眼の病気	815	16.3%
耳	耳の病気	210	4.2%
循環器系	高血圧症	1,248	25.0%
	脳卒中(脳出血、脳梗塞等)	115	2.3%
	狭心症・心筋梗塞	284	5.7%
	その他の循環器系の病気	201	4.0%
呼吸器系	急性鼻咽頭炎(かぜ)	411	8.2%
	アレルギー性鼻炎	398	8.0%
	慢性閉塞性肺疾患(COPD)	28	0.6%
	喘息	234	4.7%
	その他の呼吸器系の病気	159	3.2%
消化器系	胃・十二指腸の病気	401	8.0%
	肝臓・胆のうの病気	136	2.7%
	その他の消化器系の病気	257	5.2%
歯	歯の病気	1,693	34.0%
皮膚	アトピー性皮膚炎	232	4.7%
	その他の皮膚の病気	565	11.3%
筋骨格系	痛風	255	5.1%
	関節リウマチ	73	1.5%
	関節症	233	4.7%
	肩こり症	235	4.7%
	腰痛症	506	10.2%
	骨粗しょう症	69	1.4%
尿路生殖器系	腎臓の病気	132	2.6%
	前立腺肥大症	187	3.8%
	閉経期又は閉経後障害(更年期障害等)	23	0.5%
損傷	骨折	165	3.3%
	骨折以外のけが・やけど	183	3.7%
貧血・血液	貧血・血液の病気	97	1.9%
悪性新生物	悪性新生物(がん)	249	5.0%
妊娠・産褥	妊娠・産褥(切迫流産、前置胎盤等)	47	0.9%
不妊症	不妊症	35	0.7%
その他	その他	50	1.0%
	不明	43	0.9%

図 8 傷病の種類；小分類（通院）



(n=4985)

### 2.2.3 通院した医療機関の箇所数と通院日数

通院した医療機関の箇所数と通院日数の平均をみると、病院・診療所については箇所数は1.8箇所、通院日数は11.3日／6か月であった。歯科医院については箇所数は1.1箇所、通院日数は6.8日／6か月であった。

表 9 通院した医療機関の箇所数と合計通院日数の平均

医療機関	平均箇所数	平均通院日数 (日／6か月)
病院・診療所 (n=4,671)	1.8	11.3
歯科医院 (n=1,667)	1.1	6.8

## 2.3 入院状況について

### 2.3.1 直近6か月間の入院状況

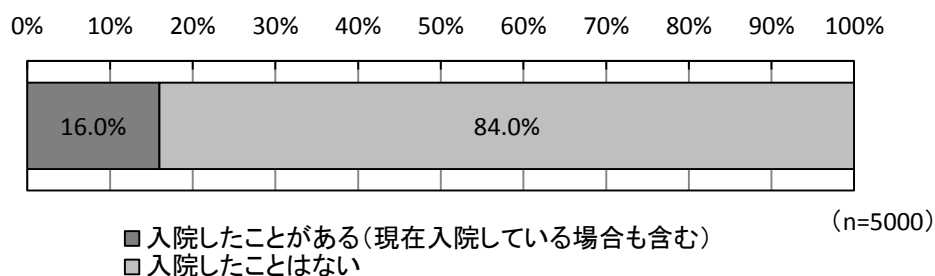
あなたは、この6か月間で医療機関（病院・診療所）に入院したことがありますか。  
○ 健診等（健康診断、健康診査及び人間ドック）による入院は除いて下さい。

直近6か月間の入院状況を見ると、「入院したことがある」は、16.0%であった。

表 10 直近6か月間の入院状況

	実数	%
総数	5,000	100.0%
入院したことがある(現在入院している場合も含む)	798	16.0%
入院したことはない	4,202	84.0%

図 9 直近6か月間の入院状況



### 2.3.2 傷病の種類（入院）

（「入院したことがある」と回答した対象者に対して）  
どのような傷病（病気やけが）で入院しましたか。あてはまる傷病すべてにチェックをつけて下さい。

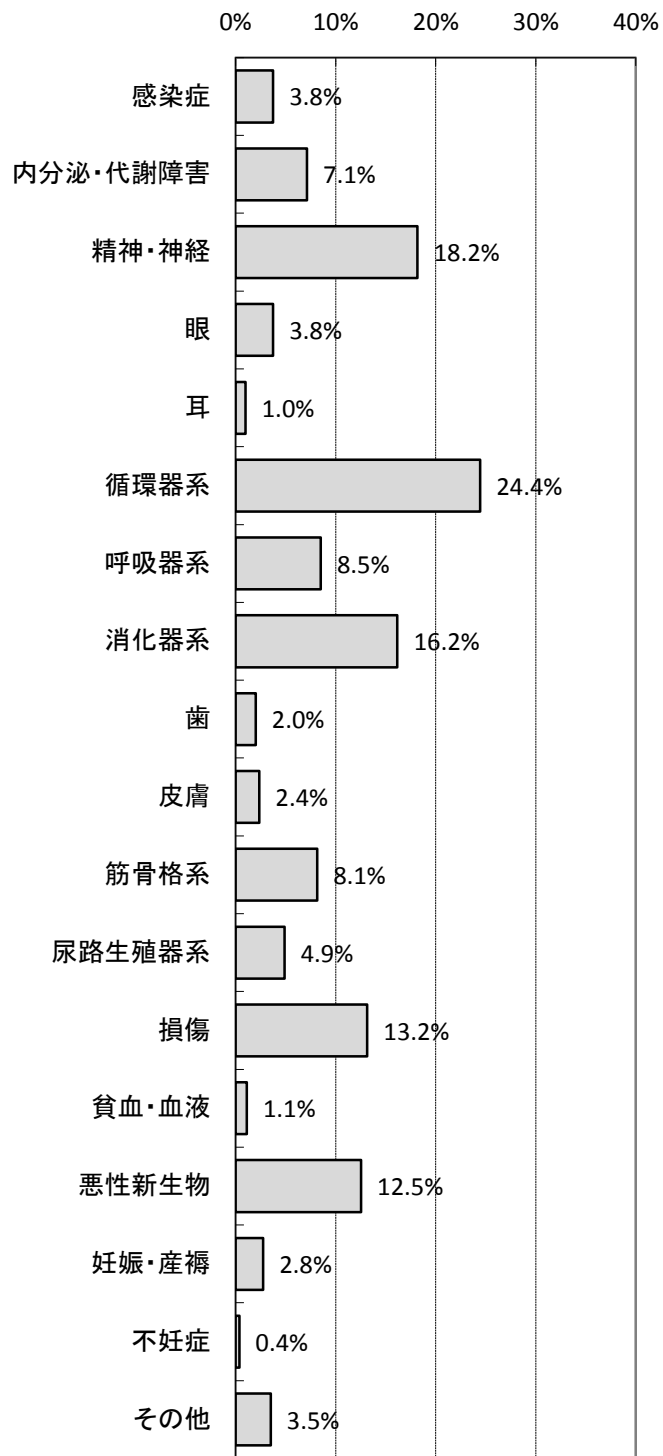
傷病の種類；中分類（入院）をみると、「循環器系」が24.4%と最も多く、次いで「精神・神経」が18.2%、「消化器系」が16.2%であった。

傷病の種類；小分類（入院）をみると、「悪性新生物（がん）」が12.5%と最も多く、次いで「うつ病やその他のこころの病気」が12.3%、「狭心症・心筋梗塞」が10.8%であった。

表 11 傷病の種類；中分類（入院）

	実数	%
総数	798	100.0%
感染症	30	3.8%
内分泌・代謝障害	57	7.1%
精神・神経	145	18.2%
眼	30	3.8%
耳	8	1.0%
循環器系	195	24.4%
呼吸器系	68	8.5%
消化器系	129	16.2%
歯	16	2.0%
皮膚	19	2.4%
筋骨格系	65	8.1%
尿路生殖器系	39	4.9%
損傷	105	13.2%
貧血・血液	9	1.1%
悪性新生物	100	12.5%
妊娠・産褥	22	2.8%
不妊症	3	0.4%
その他	28	3.5%

図 10 傷病の種類；中分類（入院）

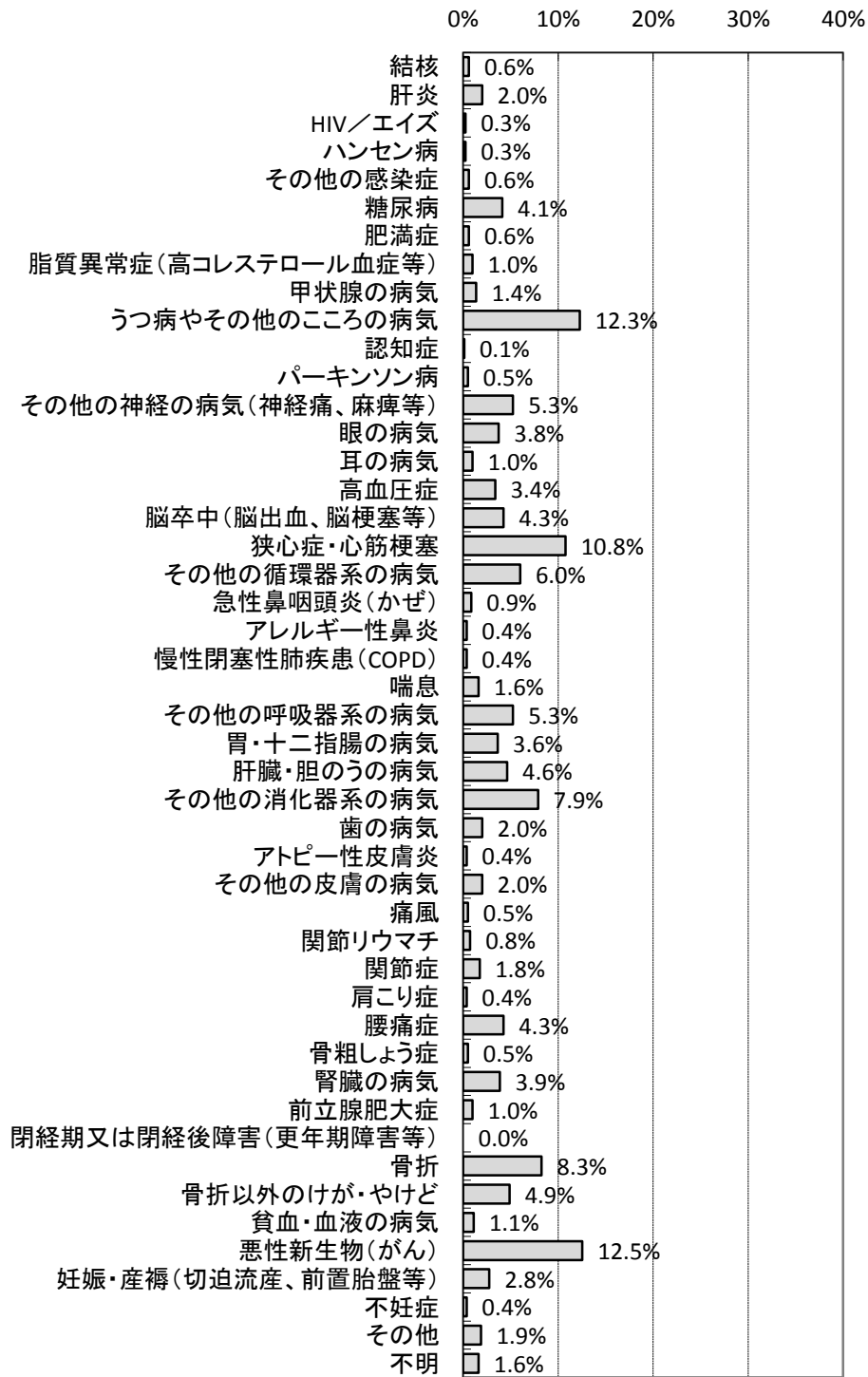


(n=798)

表 12 傷病の種類；小分類（入院）

		実数	%
総数		798	100.0%
感染症	結核	5	0.6%
	肝炎	16	2.0%
	HIV/エイズ	2	0.3%
	ハンセン病	2	0.3%
	その他の感染症	5	0.6%
内分泌・代謝障害	糖尿病	33	4.1%
	肥満症	5	0.6%
	脂質異常症(高コレステロール血症等)	8	1.0%
	甲状腺の病気	11	1.4%
精神・神経	うつ病やその他のこころの病気	98	12.3%
	認知症	1	0.1%
	パーキンソン病	4	0.5%
	その他の神経の病気(神経痛、麻痺等)	42	5.3%
眼	眼の病気	30	3.8%
耳	耳の病気	8	1.0%
循環器系	高血圧症	27	3.4%
	脳卒中(脳出血、脳梗塞等)	34	4.3%
	狭心症・心筋梗塞	86	10.8%
	その他の循環器系の病気	48	6.0%
呼吸器系	急性鼻咽頭炎(かぜ)	7	0.9%
	アレルギー性鼻炎	3	0.4%
	慢性閉塞性肺疾患(COPD)	3	0.4%
	喘息	13	1.6%
	その他の呼吸器系の病気	42	5.3%
消化器系	胃・十二指腸の病気	29	3.6%
	肝臓・胆のうの病気	37	4.6%
	その他の消化器系の病気	63	7.9%
歯	歯の病気	16	2.0%
皮膚	アトピー性皮膚炎	3	0.4%
	その他の皮膚の病気	16	2.0%
筋骨格系	痛風	4	0.5%
	関節リウマチ	6	0.8%
	関節症	14	1.8%
	肩こり症	3	0.4%
	腰痛症	34	4.3%
	骨粗しょう症	4	0.5%
尿路生殖器系	腎臓の病気	31	3.9%
	前立腺肥大症	8	1.0%
	閉経期又は閉経後障害(更年期障害等)	-	0.0%
損傷	骨折	66	8.3%
	骨折以外のけが・やけど	39	4.9%
貧血・血液	貧血・血液の病気	9	1.1%
悪性新生物	悪性新生物(がん)	100	12.5%
妊娠・産褥	妊娠・産褥(切迫流産、前置胎盤等)	22	2.8%
不妊症	不妊症	3	0.4%
その他	その他	15	1.9%
	不明	13	1.6%

図 11 傷病の種類；小分類（入院）



(n=798)



### 2.3.3 入院した医療機関の箇所数と入院日数

入院した医療機関の箇所数と通院日数の平均をみると、箇所数は1.2箇所、入院日数は21.1日/6か月であった。

表 13 入院した医療機関の箇所数と平均入院日数

医療機関	平均箇所数	平均入院日数 (日/6か月)
病院・診療所 (n=767)	1.2	21.1

## 2.4 傷病の種類（通院＋入院）

以下に、傷病の種類（通院＋入院）；中分類および小分類をまとめた。

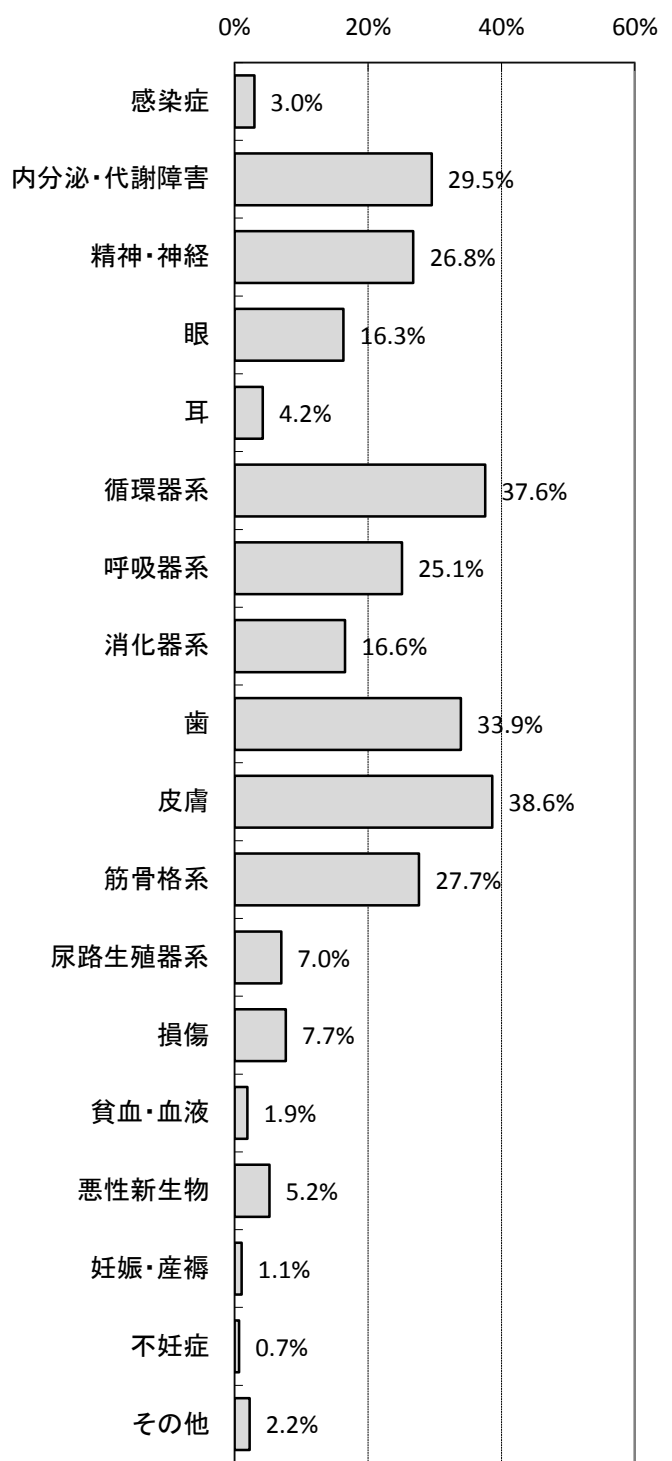
傷病の種類（通院＋入院）；中分類をみると、「皮膚」が38.6%と最も多く、次いで「循環器系」が37.6%、「歯」が33.9%であった。

傷病の種類（通院＋入院）；小分類をみると、「歯の病気」が33.9%と最も多く、次いで「高血圧症」が25.0%、「うつ病やその他のこころの病気」が22.8%であった。

表 14 傷病の種類（通院＋入院）；中分類

	実数	%
総数	5,000	100.0%
感染症	148	3.0%
内分泌・代謝障害	1,477	29.5%
精神・神経	1,340	26.8%
眼	817	16.3%
耳	212	4.2%
循環器系	1,878	37.6%
呼吸器系	1,254	25.1%
消化器系	828	16.6%
歯	1,696	33.9%
皮膚	807	38.6%
筋骨格系	1,383	27.7%
尿路生殖器系	350	7.0%
損傷	384	7.7%
貧血・血液	97	1.9%
悪性新生物	261	5.2%
妊娠・産褥	53	1.1%
不妊症	35	0.7%
その他	112	2.2%

図 12 傷病の種類（通院+入院）；中分類

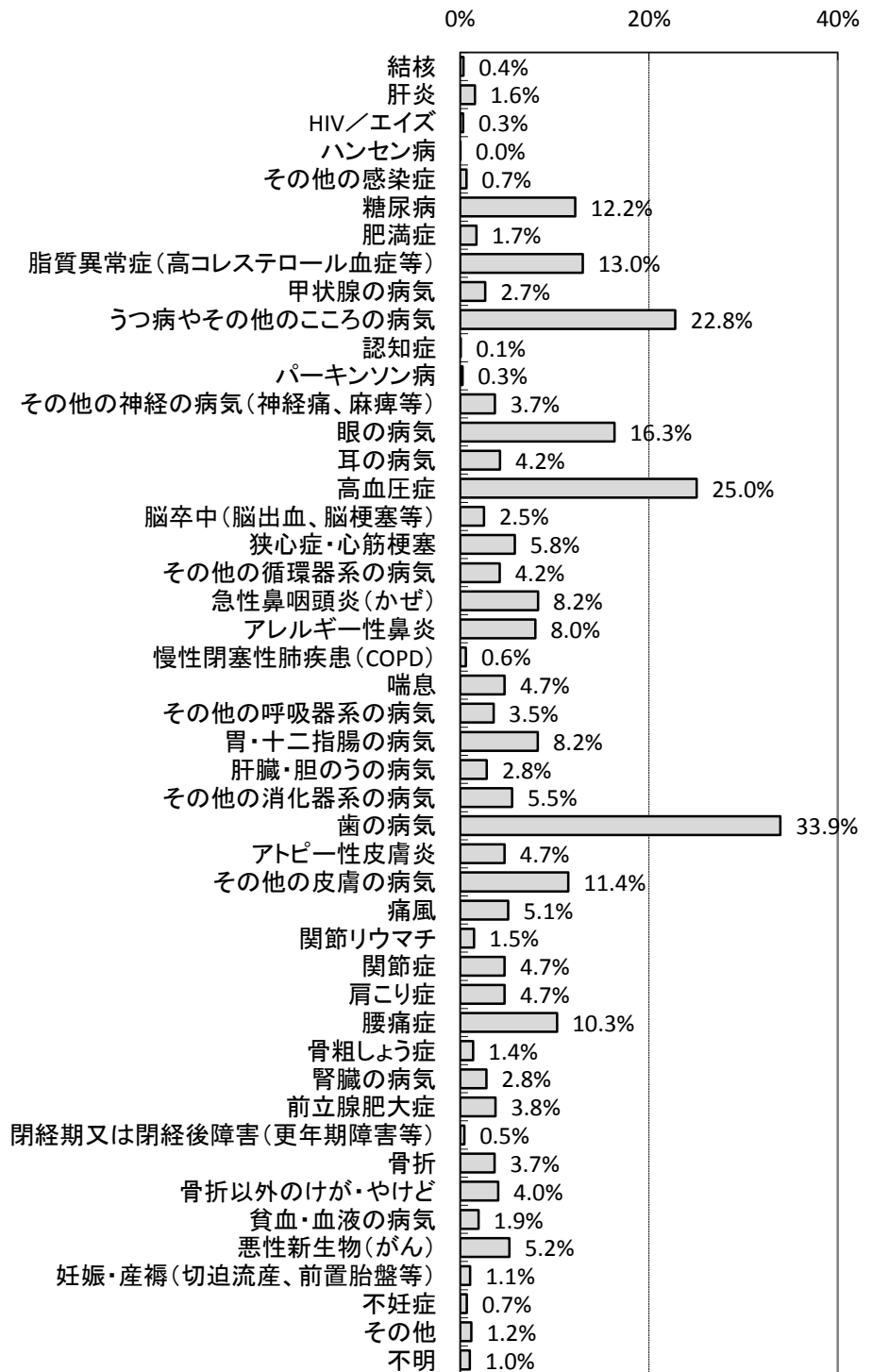


(n=5000)

表 15 傷病の種類（通院＋入院）；小分類

		実数	%
総数		5000	100.0%
感染症	結核	18	0.4%
	肝炎	78	1.6%
	HIV／エイズ	16	0.3%
	ハンセン病	2	0.0%
	その他の感染症	34	0.7%
内分泌・代謝障害	糖尿病	609	12.2%
	肥満症	86	1.7%
	脂質異常症(高コレステロール血症等)	649	13.0%
	甲状腺の病気	133	2.7%
精神・神経	うつ病やその他のこころの病気	1139	22.8%
	認知症	4	0.1%
	パーキンソン病	13	0.3%
	その他の神経の病気(神経痛、麻痺等)	184	3.7%
眼	眼の病気	817	16.3%
耳	耳の病気	212	4.2%
循環器系	高血圧症	1252	25.0%
	脳卒中(脳出血、脳梗塞等)	126	2.5%
	狭心症・心筋梗塞	290	5.8%
	その他の循環器系の病気	210	4.2%
呼吸器系	急性鼻咽頭炎(かぜ)	412	8.2%
	アレルギー性鼻炎	398	8.0%
	慢性閉塞性肺疾患(COPD)	31	0.6%
	喘息	236	4.7%
	その他の呼吸器系の病気	177	3.5%
消化器系	胃・十二指腸の病気	411	8.2%
	肝臓・胆のうの病気	141	2.8%
	その他の消化器系の病気	276	5.5%
歯	歯の病気	1696	33.9%
皮膚	アトピー性皮膚炎	235	4.7%
	その他の皮膚の病気	572	11.4%
筋骨格系	痛風	255	5.1%
	関節リウマチ	74	1.5%
	関節症	236	4.7%
	肩こり症	236	4.7%
	腰痛症	513	10.3%
	骨粗しょう症	69	1.4%
尿路生殖器系	腎臓の病気	139	2.8%
	前立腺肥大症	188	3.8%
	閉経期又は閉経後障害(更年期障害等)	23	0.5%
損傷	骨折	183	3.7%
	骨折以外のけが・やけど	201	4.0%
貧血・血液	貧血・血液の病気	97	1.9%
悪性新生物	悪性新生物(がん)	261	5.2%
妊娠・産褥	妊娠・産褥(切迫流産、前置胎盤等)	53	1.1%
不妊症	不妊症	35	0.7%
その他	その他	60	1.2%
	不明	52	1.0%

図 13 傷病の種類（通院+入院）；小分類



(n=5000)

## 2.5 医療情報の提供と説明について

### 2.5.1 適切なタイミングでの医療情報の提供について

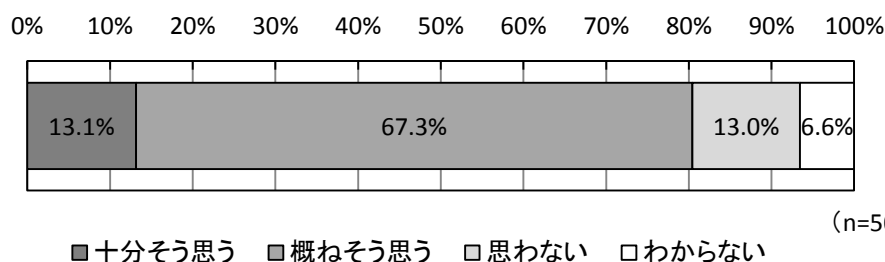
あなたは、医療機関にかかったとき、ご自身の診断や治療の内容などについて、適切なタイミングで医療情報の提供を受けていると思いますか。

診断や治療の内容などについて、適切なタイミングで医療情報の提供を受けていると思うかについてみると、「概ねそう思う」が67.3%と最も多く、次いで「十分そう思う」が13.1%、「思わない」が13.0%であった。

表 16 適切なタイミングでの医療情報の提供

	実数	%
総数	5,000	100.0%
十分そう思う	657	13.1%
概ねそう思う	3,364	67.3%
思わない	650	13.0%
わからない	329	6.6%

図 14 適切なタイミングでの医療情報の提供



### 2.5.2 必要とする量の医療情報の提供について

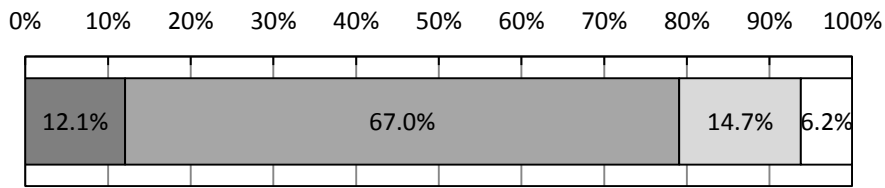
あなたは、医療機関にかかったとき、ご自身の診断や治療の内容などについて、必要とする量の医療情報の提供を受けていると思いますか。

診断や治療の内容などについて、必要とする量の医療情報の提供を受けていると思うかについてみると、「概ねそう思う」が67.0%と最も多く、次いで「思わない」が14.7%、「十分そう思う」が12.1%であった。

表 17 医療情報の必要とする量の提供

	実数	%
総数	5,000	100.0%
十分そう思う	604	12.1%
概ねそう思う	3,350	67.0%
思わない	736	14.7%
わからない	310	6.2%

図 15 医療情報の必要とする量の提供



(n=5000)

■ 十分そう思う ■ 概ねそう思う □ 思わない □ わからない

### 2.5.3 分かりやすい医療情報の提供について

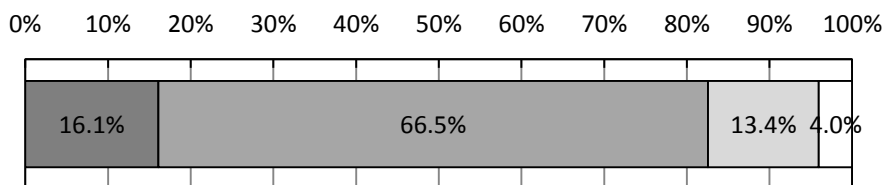
あなたは、医療機関にかかったとき、ご自身の診断や治療の内容などについて、あなたが理解できるように分かりやすく、医療情報について説明を受けていると思いますか。

診断や治療の内容などについて、理解できるように分かりやすく医療情報について説明を受けていると思うかについてみると、「概ねそう思う」が 66.5%と最も多く、次いで「十分そう思う」が 16.1%、「思わない」が 13.4%であった。

表 18 分かりやすい医療情報の提供

	実数	%
総数	5,000	100.0%
十分そう思う	804	16.1%
概ねそう思う	3,324	66.5%
思わない	670	13.4%
わからない	202	4.0%

図 16 分かりやすい医療情報の提供



(n=5000)

■ 十分そう思う ■ 概ねそう思う □ 思わない □ わからない

## 2.5.4 カルテ開示

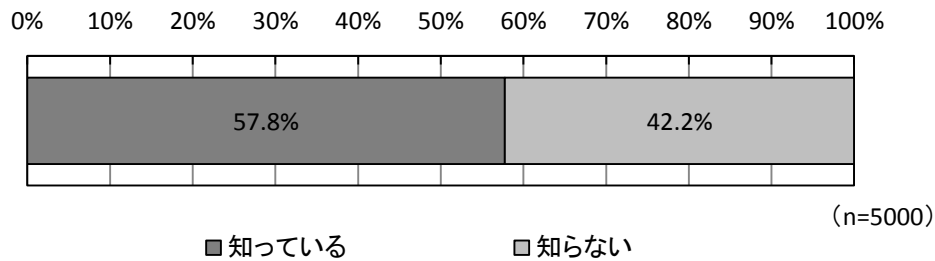
あなたは、患者からの求めがあった場合、カルテなどの診療記録を開示する義務が医療機関にあることを知っていますか。

カルテなどの診療記録を開示する義務が医療機関にあることを知っているかについてみると、「知っている」が57.8%であった。

表 19 患者から求めがあった場合のカルテなどの開示義務の周知状況

	実数	%
総数	5,000	100.0%
知っている	2,888	57.8%
知らない	2,112	42.2%

図 17 患者から求めがあった場合のカルテなどの開示義務の周知状況



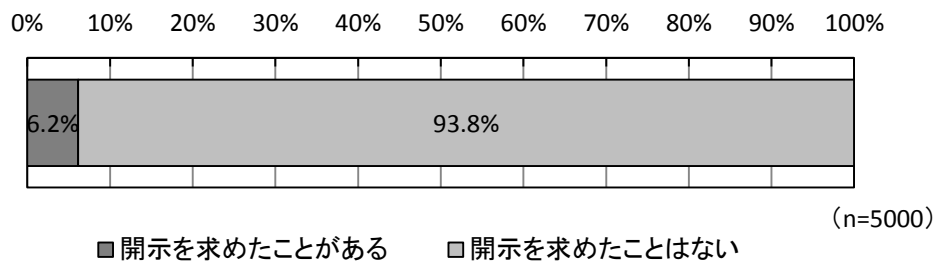
あなたは、ご自身の診断や治療の内容などについて記載されたカルテの開示を求めたことがありますか。

カルテなどの診療記録の請求状況についてみると、「開示を求めたことがある」が6.2%であった。

表 20 カルテ開示の請求状況

	実数	%
総数	5,000	100.0%
開示を求めたことがある	308	6.2%
開示を求めたことはない	4,692	93.8%

図 18 カルテ開示の請求状況





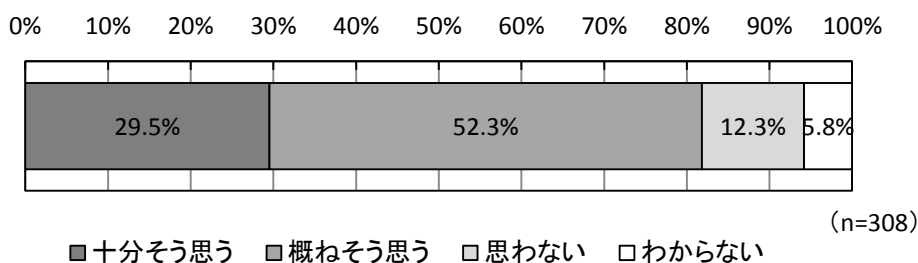
（「カルテの開示を求めたことがある」と回答した対象者に対して）  
そのカルテの開示は役に立ったと思いますか。

カルテの開示は役に立ったと思うかについてみると、「概ねそう思う」が 52.3%と最も多く、次いで「十分そう思う」が 29.5%、「思わない」が 12.3%であった。

表 21 カルテ開示の有用性

	実数	%
総数	308	100.0%
十分そう思う	91	29.5%
概ねそう思う	161	52.3%
思わない	38	12.3%
わからない	18	5.8%

図 19 カルテ開示の有用性



（参考）医療機関調査：患者からのカルテ開示の依頼の頻度

あなたの病院では、患者からカルテ開示の依頼がどの程度ありますか。

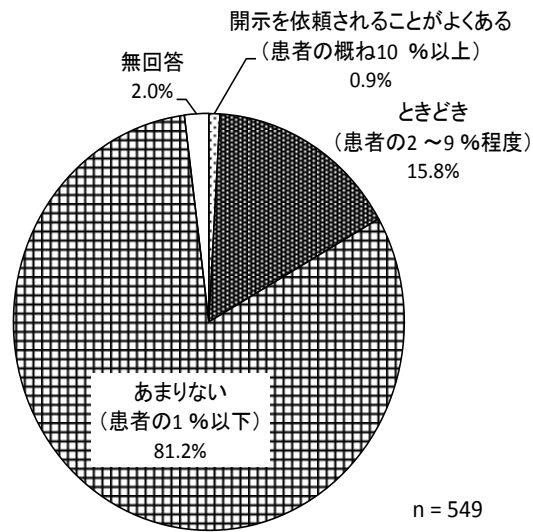
「あまりない(患者の 1%以下) (81.2%)」が最も多く、次いで、「ときどき(患者の 2~9%程度)(15.8%)」、「開示を依頼されることがよくある(患者の概ね 10%以上)(0.9%)」の順であった。

表 22 患者からのカルテ開示の依頼の頻度

	総数	開示を依頼されることがよくある (患者の概ね10%以上)	ときどき (患者の2~9%程度)	あまりない (患者の1%以下)	無回答
N	549	5	87	446	11
%	100.0	0.9	15.8	81.2	2.0

典拠：医療機関における患者と医療従事者の相互理解の促進に向けた取り組み等に関するアンケート調査結果報告書（平成 25（2013）年 8 月 ハンセン病問題に関する検証会議の提言に基づく再発防止検討会）

図 20 患者からのカルテ開示の依頼の頻度



典拠：医療機関における患者と医療従事者の相互理解の促進に向けた取り組み等に関するアンケート調査結果報告書（平成 25（2013）年 8 月 ハンセン病問題に関する検証会議の提言に基づく再発防止検討会）

## 2.5.5 セカンドオピニオン

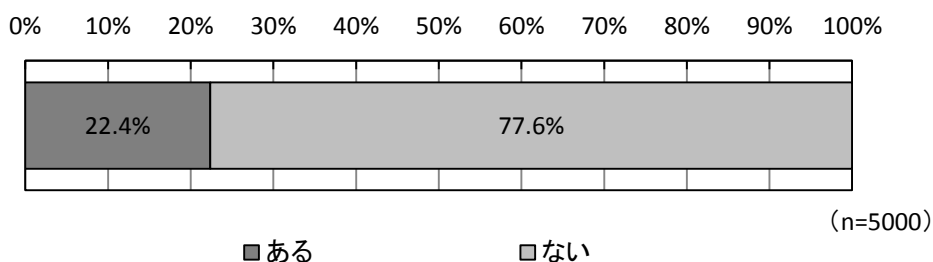
あなたは、セカンドオピニオンを利用したことがありますか。  
 ○ セカンドオピニオンとは、ご自身の診断や治療の内容について、現在通っている医療機関以外の医療機関で、それまでに得られた情報を伝え、意見を求めることです。

セカンドオピニオンを利用したことがあるかについてみると、「ある」が22.4%であった。

表 23 セカンドオピニオンの利用状況

	実数	%
総数	5,000	100.0%
ある	1,119	22.4%
ない	3,881	77.6%

図 21 セカンドオピニオンの利用状況



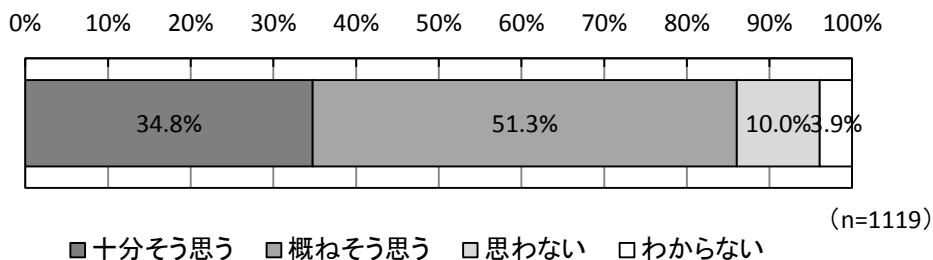
(「セカンドオピニオンを利用したことがある」と回答した対象者に対して)  
 セカンドオピニオンの利用は役に立ったと思いますか。

セカンドオピニオンの利用は役に立ったと思うかについてみると、「概ねそう思う」が51.3%と最も多く、次いで「十分そう思う」が34.8%、「思わない」が10.0%であった。

表 24 セカンドオピニオンの有用性

	実数	%
総数	1,119	100.0%
十分そう思う	389	34.8%
概ねそう思う	574	51.3%
思わない	112	10.0%
わからない	44	3.9%

図 22 セカンドオピニオンの有用性



## 2.6 患者と医療従事者の良好な関係づくりについて

### 2.6.1 尊厳やプライバシーの保護

あなたは、医療機関にかかったとき、あなたの尊厳やプライバシーが守られていると思いますか。

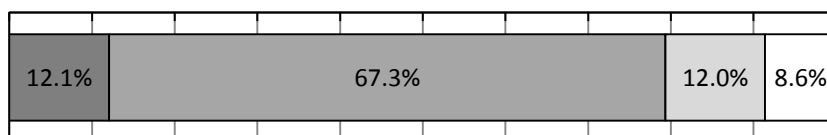
尊厳やプライバシーが守られていると思うかについてみると、「概ねそう思う」が 67.3%と最も多く、次いで「十分そう思う」が 12.1%、「思わない」が 12.0%であった。

表 25 尊厳やプライバシーの保護について

	実数	%
総数	5,000	100.0%
十分そう思う	604	12.1%
概ねそう思う	3,364	67.3%
思わない	602	12.0%
わからない	430	8.6%

図 23 尊厳やプライバシーの保護について

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



(n=5000)

■ 十分そう思う ■ 概ねそう思う □ 思わない □ わからない

### 2.6.2 自己決定権の尊重

あなたは、医療機関にかかったとき、あなたの自己決定権（あなたご自身の診断や治療の内容などに対する意思）が尊重されていると思いますか。

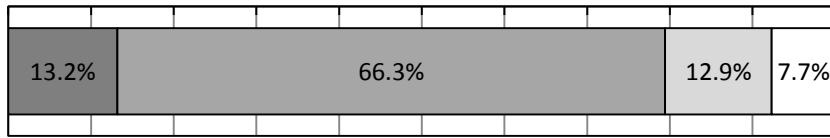
自己決定権が尊重されていると思うかについてみると、「概ねそう思う」が 66.3%と最も多く、次いで「十分そう思う」が 13.2%、「思わない」が 12.9%であった。

表 26 自己決定権の尊重について

	実数	%
総数	5,000	100.0%
十分そう思う	659	13.2%
概ねそう思う	3,313	66.3%
思わない	644	12.9%
わからない	384	7.7%

図 24 自己決定権の尊重について

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



(n=5000)

■ 十分そう思う □ 概ねそう思う □ 思わない □ わからない

(参考) 医療機関調査：患者の尊厳やプライバシー、自己決定権を尊重した説明、治療等の実施状況

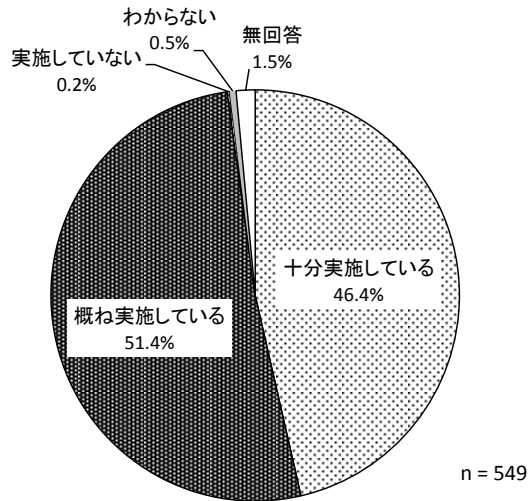
あなたの病院では、患者の病歴・病状に関する説明、治療等の際、患者の尊厳やプライバシー、自己決定権を尊重して実施していますか。

「概ね実施している (51.4%)」が最も多く、次いで、「十分実施している(46.4%)」、「わからない (0.5%)」などの順であった。「十分実施している」と「概ね実施している」との回答をあわせた「実施している」施設は 97.8%であった。

表 27 患者の病歴・病状に関する説明、治療等の実施状況

	総数	十分実施している	概ね実施している	実施していない	わからない	無回答
N	549	255	282	1	3	8
%	100.0	46.4	51.4	0.2	0.5	1.5

図 25 患者の病歴・病状に関する説明、治療等の実施状況



典拠：医療機関における患者と医療従事者の相互理解の促進に向けた取り組み等に関するアンケート調査結果報告書（平成 25（2013）年 8 月 ハンセン病問題に関する検証会議の提言に基づく再発防止検討会）

### 2.6.3 医療従事者との良好な関係

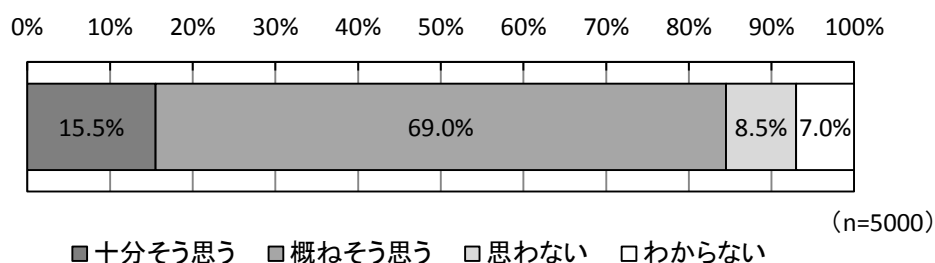
あなたは医療従事者（医師、歯科医師、薬剤師、看護師・准看護師をさします。以下同じ。）と良好な関係が築けていると思いますか。

医療従事者と良好な関係が築けていると思うかについてみると、「概ねそう思う」が 69.0%と最も多く、次いで「十分そう思う」が 15.5%、「思わない」が 8.5%であった。

表 28 医療従事者との良好な関係について

	実数	%
総数	5,000	100.0%
十分そう思う	775	15.5%
概ねそう思う	3,449	69.0%
思わない	424	8.5%
わからない	352	7.0%

図 26 医療従事者との良好な関係について



#### (参考) 医療機関調査：患者と医療従事者の相互理解の程度

あなたの病院では、患者と医療従事者の相互理解がどの程度進んでいますか。

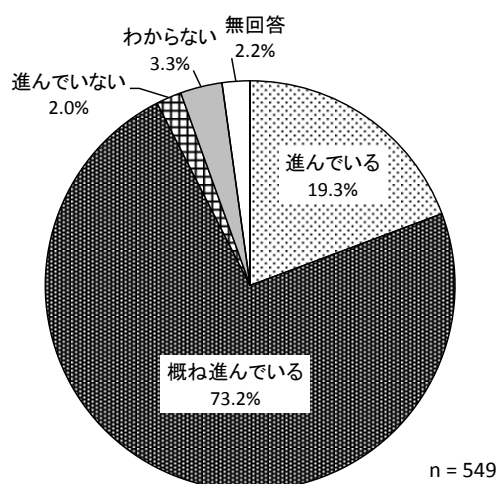
「概ね進んでいる (73.2%)」が最も多く、次いで、「進んでいる(19.3%)」、「わからない(3.3%)」などの順であった。「進んでいる」と「概ね進んでいる」との回答をあわせた「進んでいる」施設は 92.5%であった。

表 29 患者と医療従事者の相互理解の程度

	総数	進んでいる	概ね進んでいる	進んでいない	わからない	無回答
N	549	106	402	11	18	12
%	100.0	19.3	73.2	2.0	3.3	2.2

典拠：医療機関における患者と医療従事者の相互理解の促進に向けた取り組み等に関するアンケート調査結果報告書（平成 25（2013）年 8 月 ハンセン病問題に関する検証会議の提言に基づく再発防止検討会）

図 27 患者と医療従事者の相互理解の程度



典拠：医療機関における患者と医療従事者の相互理解の促進に向けた取り組み等に関するアンケート調査結果報告書（平成 25（2013）年 8 月 ハンセン病問題に関する検証会議の提言に基づく再発防止検討会）

#### 2.6.4 患者と医療従事者の良好な関係づくりに向けた課題

「尊厳やプライバシーが守られている」「自己決定権（あなたご自身の診断や治療の内容などに対する意思）が尊重されている」「医療従事者と良好な関係が築けている」と思わない理由は何ですか。（複数回答可）

「尊厳やプライバシーが守られている」「自己決定権（あなたご自身の診断や治療の内容などに対する意思）が尊重されている」「医療従事者と良好な関係が築けている」と思わない理由についてみると、「医療情報についての提供が不十分と思うから」が 40.8%と最も多く、次いで「提供された医療情報についての説明がわかりにくいから」が 37.8%、「医療従事者の対応が不親切だったから」が 35.1%であった。

表 30 患者と医療従事者の良好な関係づくりができていない理由

	実数	%
総数	1,032	100.0%
医療情報についての提供が不十分と思うから	421	40.8%
提供された医療情報についての説明がわかりにくいから	390	37.8%
疾病を理由とする差別・偏見を感じたから	125	12.1%
医療従事者の対応が不親切だったから	362	35.1%
その他	168	16.3%

図 28 患者と医療従事者の良好な関係づくりができていない理由

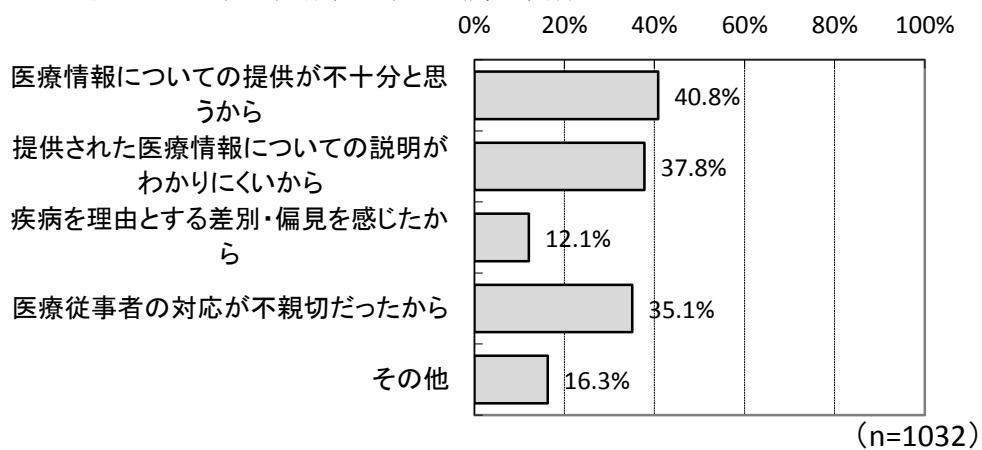


表 31 に、患者と医療従事者の良好な関係づくりができていない理由において、「その他」で記載された自由記述のまとめを示す。



表 31 患者と医療従事者の良好な関係づくりができていない理由（自由記述）  
 ( ) 内の数字は同様の趣旨の回答件数をさす。

<p><b>【尊厳・プライバシー】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 診察室と待合室の仕切りが不十分のため、自分の診断内容が他人に聞こえる。(16)</li> <li>○ 医療機関の受付にて、氏名で呼ばれる。(14)</li> <li>○ 診察室や待合室において、医師や看護師との会話が回りに聞こえている。(12)</li> <li>○ 診察室から診断内容等に関する声が漏れ聞こえてきた。(8)</li> <li>○ 医療機関の受付にて、検査結果を他人に聞こえるような声の大きさを伝えられた。(5)</li> <li>○ 患者のカルテが、丸見えの状態で見られていた。(1)          など</li> </ul> <p><b>【自己決定権】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 医師による一方的な説明のため、患者の意見や話を聞き入れてくれない。(23)</li> <li>○ 自分の希望する治療や診断方法と相違を感じたことがある。(15)</li> <li>○ 説明はしてくれるが、選択肢がいくつもあるわけではないので、医師が提案した治療を受けるだけになってしまう。(9)</li> <li>○ 専門的な判断は医療従事者に任せざるを得ない。(7)          など</li> </ul> <p><b>【医療従事者との関係】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 医学知識がないため、どうしても医師が上の立場となっているように感じる。(8)          など</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ カルテ開示を求めた際に理由を尋ねられた。こちらから確認するまで費用の説明がなかった。(3)</li> <li>○ 情報開示（レントゲン写真）を求めたが、応じてもらえなかった。(1)          など</li> </ul>
--

### 2.6.5 医療機関における取り組みの周知状況

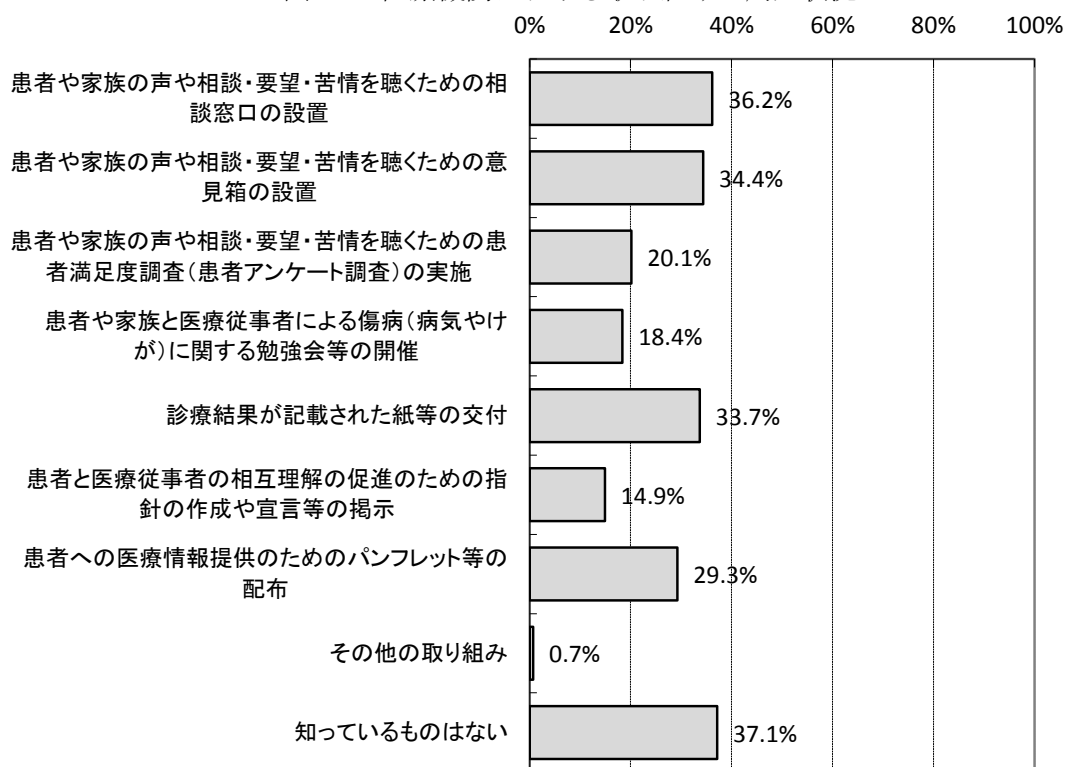
医療機関では、患者と医療従事者が良好な関係を築くために、以下のような取り組みを実施しているところがあります。あなたは、このような取り組みを知っていますか。

患者と医療従事者が良好な関係を築くための取り組みを知っているかについてみると、「知っているものはない」が37.1%と最も多く、次いで「患者や家族の声や相談・要望・苦情を聴くための相談窓口の設置」が36.2%、「患者や家族の声や相談・要苦情を聴くための意見箱の設置」が34.4%であった。

表 32 医療機関における取り組みの周知状況

	実数	患者や家族の声や相談・要望・苦情を聴くための相談窓口の設置	患者や家族の声や相談・要望・苦情を聴くための意見箱の設置	患者や家族の声や相談・要望・苦情を聴くための患者満足度調査(患者アンケート調査)の実施	患者や家族と医療従事者による傷病(病気やけが)に関する勉強会等の開催	診療結果が記載された紙等の交付	患者と医療従事者の相互理解の促進のための指針の作成や宣言等の掲示	患者への医療情報提供のためのパンフレット等の配布	その他の取り組み	知っているものはない
知っているもの	5,000 100.0%	1,810 36.2%	1,719 34.4%	1,007 20.1%	919 18.4%	1,686 33.7%	745 14.9%	1,464 29.3%	36 0.7%	1,857 37.1%

図 29 医療機関における取り組みの周知状況



(n=5000)

(参考) 医療機関調査：病院での正しい医学的知識の普及・啓発の取り組みについて

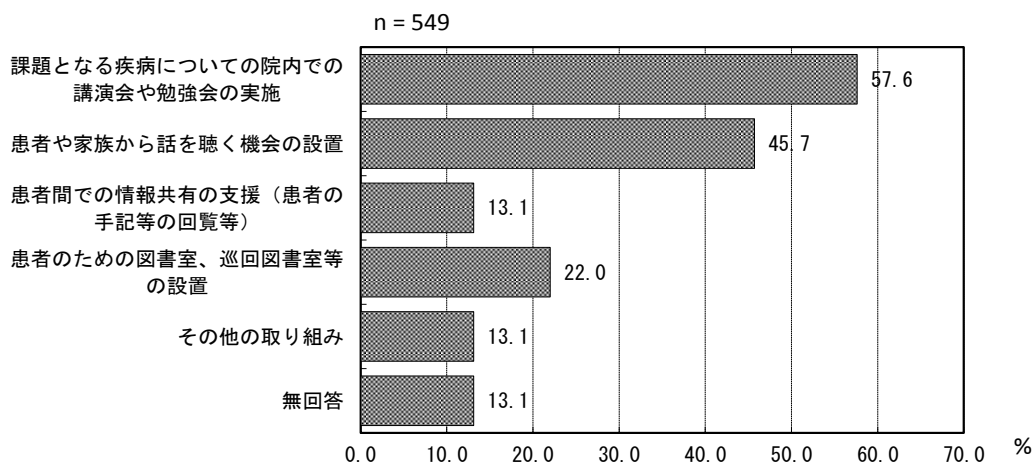
あなたの病院では、正しい医学的知識の普及・啓発のために、患者・家族に対してどのような取り組みを進めていますか。(複数回答可)

「課題となる疾病についての院内での講演会や勉強会の実施(57.6%)」が最も多く、次いで、「患者や家族から話を聴く機会の設置(45.7%)」、「患者のための図書室、巡回図書室等の設置(22.0%)」などの順であった。

表 33 正しい医学的知識の普及・啓発のための患者・家族に対する取り組み内容

	総数	課題となる疾病についての院内での講演会や勉強会の実施	患者や家族から話を聴く機会の設置	患者間での情報共有の支援(患者の手記等の回覧等)	患者のための図書室、巡回図書室等の設置	その他の取り組み	無回答
N	549	316	251	72	121	72	72
%	100.0	57.6	45.7	13.1	22.0	13.1	13.1

図 30 正しい医学的知識の普及・啓発のための患者・家族に対する取り組み内容



典拠：医療機関における患者と医療従事者の相互理解の促進に向けた取り組み等に関するアンケート調査結果報告書（平成 25（2013）年 8 月 ハンセン病問題に関する検証会議の提言に基づく再発防止検討会）

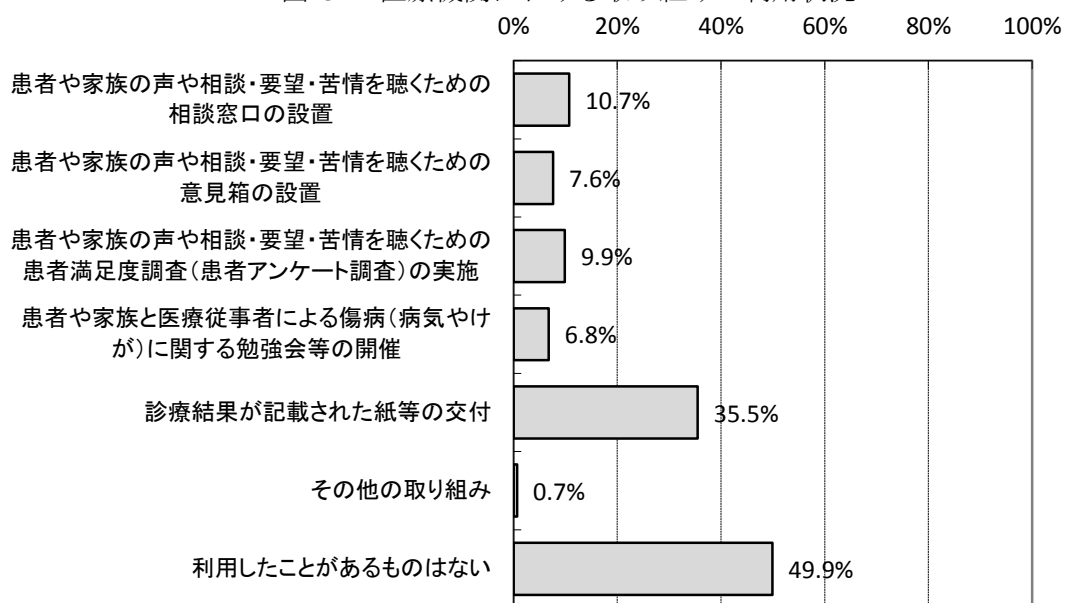
医療機関では、患者と医療従事者が良好な関係を築くために、以下のような取り組みを実施しているところがあります。あなたは、このような取り組みを実際に利用したことがありますか。

患者と医療従事者が良好な関係を築くための取り組みを、実際に利用したことがあるかについてみると、「利用したことがあるものはない」が49.9%と最も多く、次いで「診療結果が記載された紙等の交付」が35.5%、「患者や家族の声や相談・要望・苦情を聴くための相談窓口の設置」が10.7%であった。

表 34 医療機関における取り組みの利用状況

	実数	聴く者や家族の相談窓口の設置・要望・苦情を	聴く者や家族の意見箱の設置・要望・苦情を	患者や家族の満足度調査(患者アンケート調査)の実施	患者や家族と医療従事者による勉強会等の開催	診療結果が記載された紙等の交付	その他の取り組み	利用したことがあるものはない
利用したことがあるもの	2,932 100.0%	315 10.7%	223 7.6%	290 9.9%	199 6.8%	1,040 35.5%	20 0.7%	1,463 49.9%

図 31 医療機関における取り組みの利用状況



(n=2932)

## 2.7 その他

### 2.7.1 適切なタイミングで必要な医療を受ける権利

あなたが、この 6 か月で医療機関に通院・入院された（現在している場合も含む）経験をふまえると、あなたには、「適切なタイミングで必要な医療を受ける権利」が保障されていると思いますか。

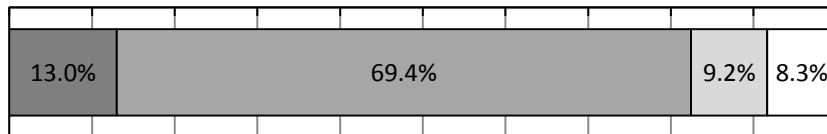
「適切なタイミングで必要な医療を受ける権利」が保障されていると思うかについてみると、「概ねそう思う」が 69.4%と最も多く、次いで「十分そう思う」が 13.0%、「思わない」が 9.2%であった。

表 35 適切なタイミングで必要な医療を受ける権利について

	実数	%
総数	5,000	100.0%
十分そう思う	650	13.0%
概ねそう思う	3,472	69.4%
思わない	461	9.2%
わからない	417	8.3%

図 32 適切なタイミングで必要な医療を受ける権利について

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



(n=5000)

■ 十分そう思う ■ 概ねそう思う □ 思わない □ わからない

## 2.7.2 医療機関や国・地方公共団体に期待すること、患者に求められることについて

患者と医療従事者が良好な関係を築き、相互理解と信頼にもとづく医療を受けるために、医療機関や国・地方公共団体に期待すること、患者に求められることは何だと思えますか。ご自由に記入して下さい。

以下に、相互理解と信頼にもとづく医療を受けるために、医療機関や国・地方公共団体に期待すること、患者に求められることとして記載された自由記述のまとめを示す。

表 36 医療機関に期待すること

( ) 内の数字は同様の趣旨の回答件数をさす。

### 【医療従事者について】

- 医療従事者にとっては日常的、常識的なことでも、患者にとってはそうではないので、患者の立場に立った説明や配慮をしてほしい。(47)
- 自身の症状について、うまく説明ができないので、問いかけを多くしてほしい。(25)
- 総合的に幅広く診察ができる総合診療医が少なくなっているように思う。(9)
- 医療費の概算や使える制度の説明を積極的にしてほしい。(5)
- 患者が理解していると思っても、医療に関する知識不足やコミュニケーションの不足により、患者は思い違いや誤解している場合が多い。そのことを忘れないでほしい。(1)

など

### 【医療機関について】

- 待ち時間が長いため、短縮してもらいたい。難しいならば、あとどのくらいの時間で診察できるかを適宜教えてもらいたい。(263)
- プライバシーを尊重してもらいたい。例えば、患者を呼ぶときは氏名で呼ばず、番号制（電光板）等の方法を検討してもらいたい。(46)
- 医療機関や診療科での患者情報の共有化をしてもらいたい。(22)
- 総合病院や大学病院等の大規模病院に患者が集中しないように、地域の開業医と連携し、患者の振り分けをするべき。(6)
- 患者に対して、医療機関に関するアンケート（無記名）やヒアリング調査を実施してほしい。(4)
- 初めて診察を受ける際、受付から会計までの手順が全くわからない。そのため、手順等に関し、気軽に質問できる環境を整備してもらいたい。(3)

など

### 【診療について】

- 医師が一方的に話すのではなく、聞いてくれる、または患者が質問する時間を、意図的に与えてもらいたい。(19)
- 医師不足等の諸事情はあると思うが、ゆとりを持った診察を心掛けていただきたい。（医師、看護師等問わず）(12)
- 症状に応じ、患者本人の心に対するケアも必要である。(10)
- 治療結果の推移を一定間隔で説明してほしい。(7)

- 治療だけでなく、病気の予防となるアドバイスもしてもらいたい。(3)
- 普段の生活習慣等についてもアドバイスしてもらいたい。(3)
- 専門家の話をその場で理解するのは難しく、質問はすぐには出てこない。そのため、後日質問ができるように、診察結果を書面やデジタルデータで患者に渡してほしい。診察内容の確認にも利用したい。(1)  
など

**【医療情報の提供と説明（インフォームドコンセント）について】**

- 専門用語だけではなく、一般の人にもわかりやすく説明してもらいたい。(224)
- 治療するにあたり、現在の病状や今後の治療方法（治療計画）、薬の効果、またその薬による副作用等の詳しい情報も説明してほしい。(100)
- 多額の出費を伴う手術等は、事前に予算を明示してほしい。(15)
- 検査結果から数字の説明をされるが、理解できない。(1)  
など

**【自己決定権について】**

- 色々な治療法を提示して、患者に選択肢を与えてもらいたい。(34)
- 治療方法等の自己決定権を尊重してもらいたい。(8)  
など

**【セカンドオピニオン、カルテ等の開示について】**

- カルテや検査結果の開示を積極的にしてもらいたい。(107)
- カルテ等の電子媒体化による他の医療機関とのデータ共通化をしてもらいたい。(19)
- セカンドオピニオンの申し出がしづらい。もっとセカンドオピニオンを活用しやすい環境を整備してもらいたい。(18)
- セカンドオピニオンやカルテの提示ができることを医師側から説明してくれると、患者側から申し出しやすい。また、それらの情報を前もって患者に提供してもらいたい。(9)
- カルテに記載されている情報と同じ情報を患者にも（書面で）交付して欲しい。(9)  
など

**【その他】**

- 患者のプライバシーが守られていない。受付で病状を尋ねたり、待合室まで問診が聞こえたりする。改善してほしい。(8)
- 医療費をもっとわかりやすくしてもらいたい。医療費明細（点数）の説明をしてもらいたい。(2)
- 支払い方法を多様化させてほしい。(現金、クレジットカード等) (1)

表 37 国・地方公共団体に期待すること

( ) 内の数字は同様の趣旨の回答件数をさす。

**【医療費について】**

- 医療費の負担額を軽減してもらいたい。(先端医療等の高額医療費を含む) (742)
- 医療費に関する情報をわかりやすく提供してもらいたい。(14)  
など

**【制度について】**

- 今後、医療費に関わる個人の負担が増えると思うため、しっかりとした医療政策を実施してほしい。健康保険制度の維持と保険適用対象疾病の拡大をしてもらいたい。(58)
- 各制度について、分かりやすく情報を提供してほしい。各種制度があったとしても知らなかったということが多い。(25)
- 病気や治療に援助や補助がある場合、その手続きを簡素化してほしい。(22)
- 医療機関が健全に維持できるよう、医療機関を支援、チェックするための制度をつくってほしい。(10)
- かかりつけ医制度の推進をするべき。(8)
- 難病を患ってしまった人達への支援、新薬の承認、研究への補助を期待したい。(7)
- 手軽にセカンドオピニオンが受けられるような制度をつくってほしい。(4)
- コンビニ受診を抑制する制度をつくってもらいたい。例えば、地域の小規模医療機関と総合医療機関との使い分けに関し、患者に理解してもらおうよう、医療機関を指導すべき。(1)  
など

**【医薬品について】**

- 新薬等の承認が遅いと感じるため、より速く承認できるようにしてもらいたい。(22)
- ジェネリック医薬品に関し、もっと説明をしてもらいたい。(13)
- 薬の副作用報告があった場合、即時に国民に教えてほしい。(3)  
など

**【医療に関する情報の提供について】**

- 医療に関する分かりやすいパンフレット等の作成や展示をしてほしい。また、医療について相談できる窓口を設置してもらいたい。(45)
- 医療に関連する情報や法律等について、一般市民に分かりやすく広報してもらいたい。(19)
- 病院の場所等を記した病院マップを作成してもらいたい。(3)
- 学校で生活習慣病(糖尿病等)に関する授業を取り入れてほしい。(1)  
など

**【その他】**

- 地域ごとの医療機関の必要数を保持してほしい。(へき地含む) (40)
- 病院間連携(検査、診察データの共有等)を進めてほしい。(29)
- 医師不足や看護師不足を解消してもらいたい。地方においては、医師不足等により医



療の支援体制が不十分である。県域等を超えた医療の支援体制をつくる必要がある。(23)

- 救急医療体制を強化してほしい。(22)
- 病院や診療所等に「患者満足度」調査等の実施を義務付けてほしい。(11)  
など

表 38 患者に求められること

( ) 内の数字は同様の趣旨の回答件数をさす。

**【かかりつけ医について】**

- 市民はかかりつけ医を持ち、医療機関（病院、診療所）を使い分ける。また、初診での大規模病院の受診やコンビニ受診をやめる。(64)
- 病気にかかったときに受診できる医療機関を事前に（健康な時に）調べておく。(2)  
など

**【医療情報に関する医療従事者とのコミュニケーション、関係について】**

- 自信の症状について、きちんと説明ができるように受診前に整理し、診察時に症状（罹患歴を含む）を正確に伝えられるようにする。きちんと伝えられない場合には、事前にメモする。(276)
- 治療に対する疑問点は、積極的に質問し、早期に明らかにする。インフォームドコンセントを実践し、分からないままにしない。(168)
- 医療従事者と良好な関係を築く。(120)
- 治療方針を医師任せにせず、治療方法等に納得した上で、治療を受ける。自分自身も治療に参加する。(83)
- 医師の治療方針や計画に協力する。(自己判断で治療を中止しない) (63)
- 場合に応じ、セカンドオピニオンを求める。(33)  
など

**【医療に関する知識について】**

- 病気や薬に関する正しい知識の習得に努力する。また、医療に関する知識を高め、医師等の説明に対する理解力を高める。(149)
- テレビの情報番組やインターネットから医療に関する知識を得ることができるが、鵜呑みにせず、判断することが大切である。(4)
- 病気に関する知識だけではなく、医療機関に関する知識も習得したほうがいい。(3)  
など

**【患者のマナーやモラルについて】**

- 診察を待つ間、マナー（携帯電話の使用方法や声の大きさ等）を守る。(68)
- 自分の気持ちや意見、願望は素直に医療従事者に伝える必要があるが、理不尽なことを要求しないよう注意する。(28)
- 他の患者や医療従事者に迷惑をかけない。(14)
- 感染症にかかっている場合には、マスクをし、他の患者に配慮する。(12)  
など

**【その他】**

- 定期健診を受け、日頃から健康管理に努める。医療費を抑制するためには、個人の努力も必要である。(97)
- 症状に応じ、救急車を利用する。(軽症にもかかわらず、むやみに救急車を利用しない)  
(26)
- 処方された薬は正しく服用し、アドヒアランス（服薬遵守）に努める。(22)
- 診療時の余計な質問や世間話等は控え、診療終了後は、速やか退室するように努める。  
(20)
- ジェネリック医薬品を積極的に使用する。(15)
- 過去の処方歴を明らかにするため、医療機関を受診する時は、お薬手帳を持って行く。  
(6)
- 医療費抑制のためにも、市販薬を活用する。(4)
- 延命治療や臓器提供等の意思表示をする。(1)  
など

### 3. 傷病中分類別クロス集計の結果

本章では、患者向けアンケート調査の結果について、通院と入院を合わせ、傷病中分類別に分析した。1.1.1 調査目的に沿い、各設問にて「思わない」や「知らない」等の回答について調査結果を詳細に確認した。また、患者と医療従事者の良好な関係づくりができていない理由では、「疾病を理由とする差別・偏見を感じたから」と回答した者について調査結果を詳細に確認した。

#### 3.1 医療情報の提供と説明について

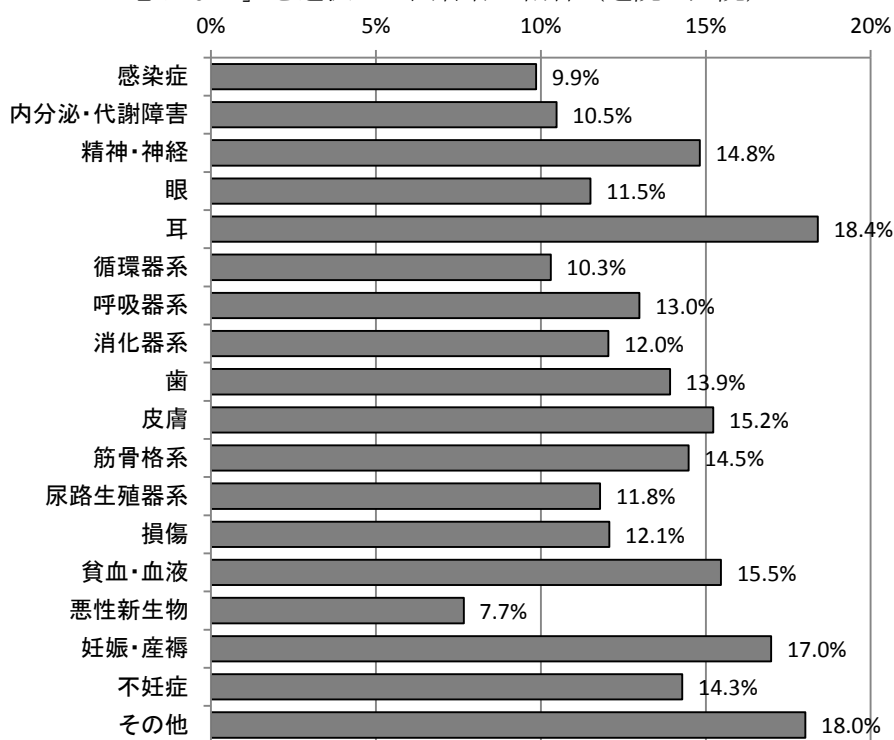
##### 3.1.1 適切なタイミングでの医療情報の提供について

診断や治療の内容などについて、適切なタイミングで医療情報の提供を受けていると思うかについてみると、「思わない」を選択した回答者は、「耳」が18.4%と最も多く、次いで「その他」が18.0%、「妊娠・産褥」が17.0%、「貧血・血液」が15.5%、「皮膚」が15.2%であった。

表 39 適切なタイミングでの医療情報の提供；傷病中分類別（通院＋入院）

	総数	実数				%			
		十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
総数	5,000	657	3,364	650	329	13.1%	67.3%	13.0%	6.6%
感染症	142	32	88	14	8	22.5%	62.0%	9.9%	5.6%
内分泌・代謝障害	1,250	199	862	131	58	15.9%	69.0%	10.5%	4.6%
精神・神経	1,289	159	831	191	108	12.3%	64.5%	14.8%	8.4%
眼	817	116	560	94	47	14.2%	68.5%	11.5%	5.8%
耳	212	19	139	39	15	9.0%	65.6%	18.4%	7.1%
循環器系	1,641	250	1,154	169	68	15.2%	70.3%	10.3%	4.1%
呼吸器系	1,024	145	683	133	63	14.2%	66.7%	13.0%	6.2%
消化器系	747	125	487	90	45	16.7%	65.2%	12.0%	6.0%
歯	1,696	208	1,150	236	102	12.3%	67.8%	13.9%	6.0%
皮膚	775	103	497	118	57	13.3%	64.1%	15.2%	7.4%
筋骨格系	1,091	163	718	158	52	14.9%	65.8%	14.5%	4.8%
尿路生殖器系	339	50	234	40	15	14.7%	69.0%	11.8%	4.4%
損傷	356	59	236	43	18	16.6%	66.3%	12.1%	5.1%
貧血・血液	97	17	56	15	9	17.5%	57.7%	15.5%	9.3%
悪性新生物	261	57	172	20	12	21.8%	65.9%	7.7%	4.6%
妊娠・産褥	53	9	35	9	0	17.0%	66.0%	17.0%	0.0%
不妊症	35	5	22	5	3	14.3%	62.9%	14.3%	8.6%
その他	111	11	70	20	10	9.9%	63.1%	18.0%	9.0%

図 33 適切なタイミングでの医療情報の提供；傷病中分類別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院+入院）



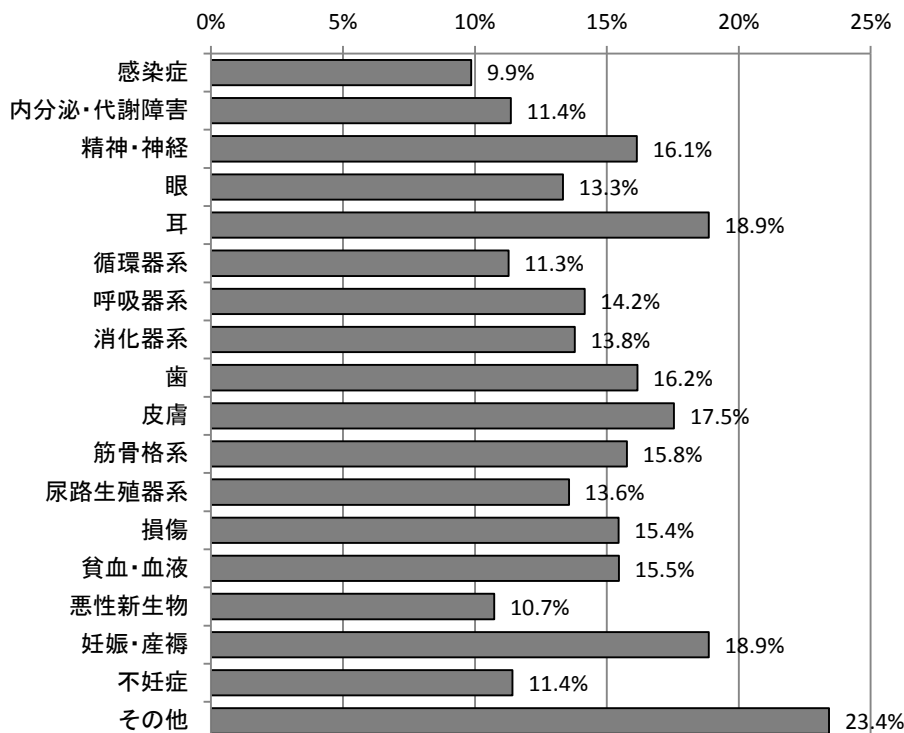
### 3.1.2 必要とする量の医療情報の提供について

診断や治療の内容などについて、必要とする量の医療情報の提供を受けていると思うかについてみると、「思わない」を選択した回答者は、「その他」が23.4%と最も多く、次いで「耳」、「妊娠・産褥」がそれぞれ18.9%、「皮膚」が17.5%、「歯」が16.2%であった。

表 40 必要とする量の医療情報の提供；傷病中分類別（通院＋入院）

	総数	実数				%			
		十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
総数	5,000	604	3,350	736	310	12.1%	67.0%	14.7%	6.2%
感染症	142	29	90	14	9	20.4%	63.4%	9.9%	6.3%
内分泌・代謝障害	1,250	177	877	142	54	14.2%	70.2%	11.4%	4.3%
精神・神経	1,289	155	821	208	105	12.0%	63.7%	16.1%	8.1%
眼	817	107	560	109	41	13.1%	68.5%	13.3%	5.0%
耳	212	20	144	40	8	9.4%	67.9%	18.9%	3.8%
循環器系	1,641	231	1,164	185	61	14.1%	70.9%	11.3%	3.7%
呼吸器系	1,024	137	684	145	58	13.4%	66.8%	14.2%	5.7%
消化器系	747	112	492	103	40	15.0%	65.9%	13.8%	5.4%
歯	1,696	186	1,143	274	93	11.0%	67.4%	16.2%	5.5%
皮膚	775	100	485	136	54	12.9%	62.6%	17.5%	7.0%
筋骨格系	1,091	136	741	172	42	12.5%	67.9%	15.8%	3.8%
尿路生殖器系	339	43	238	46	12	12.7%	70.2%	13.6%	3.5%
損傷	356	51	236	55	14	14.3%	66.3%	15.4%	3.9%
貧血・血液	97	13	60	15	9	13.4%	61.9%	15.5%	9.3%
悪性新生物	261	54	167	28	12	20.7%	64.0%	10.7%	4.6%
妊娠・産褥	53	8	35	10	0	15.1%	66.0%	18.9%	0.0%
不妊症	35	5	23	4	3	14.3%	65.7%	11.4%	8.6%
その他	111	10	63	26	12	9.0%	56.8%	23.4%	10.8%

図 34 必要とする量の医療情報の提供；傷病中分類別「思わない」を選択した回答者の割合（通院＋入院）



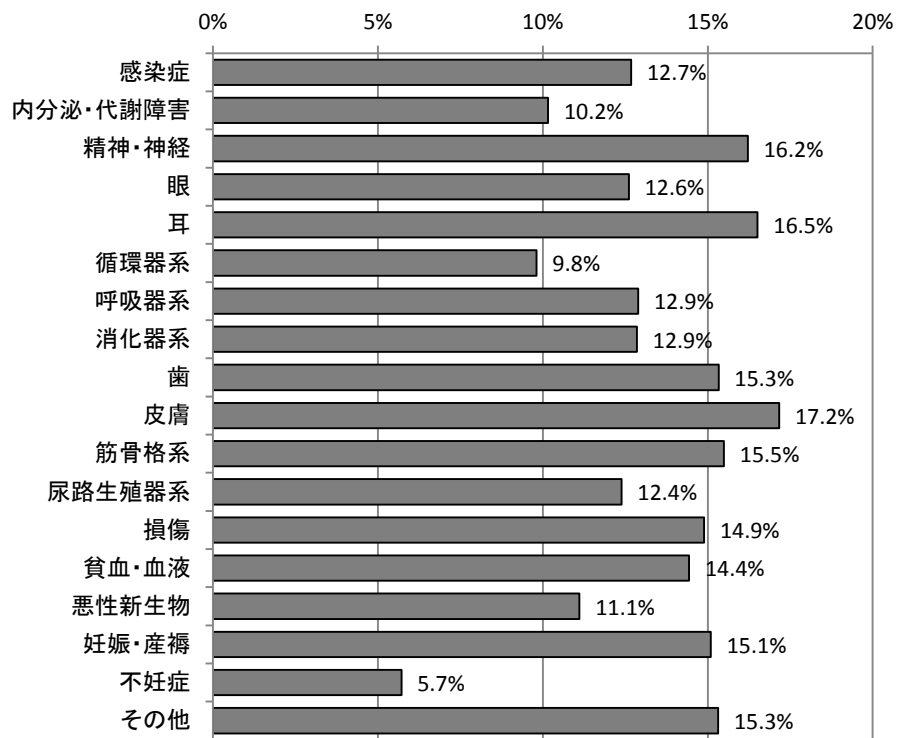
### 3.1.3 分かりやすい医療情報の提供について

診断や治療の内容などについて、理解できるように分かりやすく医療情報について説明を受けていると思うかについてみると、「思わない」を選択した回答者は、「皮膚」が17.2%と最も多く、次いで「耳」が16.5%、「精神・神経」が16.2%、「筋骨格系」が15.5%、「歯」が15.3%であった。

表 41 分かりやすい医療情報の説明；傷病中分類別（通院＋入院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	5,000	804	3,324	670	202	16.1%	66.5%	13.4%	4.0%
感染症	142	35	85	18	4	24.6%	59.9%	12.7%	2.8%
内分泌・代謝障害	1,250	236	853	127	34	18.9%	68.2%	10.2%	2.7%
精神・神経	1,289	204	809	209	67	15.8%	62.8%	16.2%	5.2%
眼	817	145	550	103	19	17.7%	67.3%	12.6%	2.3%
耳	212	25	144	35	8	11.8%	67.9%	16.5%	3.8%
循環器系	1,641	301	1,144	161	35	18.3%	69.7%	9.8%	2.1%
呼吸器系	1,024	184	674	132	34	18.0%	65.8%	12.9%	3.3%
消化器系	747	159	469	96	23	21.3%	62.8%	12.9%	3.1%
歯	1,696	251	1,131	260	54	14.8%	66.7%	15.3%	3.2%
皮膚	775	126	488	133	28	16.3%	63.0%	17.2%	3.6%
筋骨格系	1,091	181	716	169	25	16.6%	65.6%	15.5%	2.3%
尿路生殖器系	339	66	223	42	8	19.5%	65.8%	12.4%	2.4%
損傷	356	69	226	53	8	19.4%	63.5%	14.9%	2.2%
貧血・血液	97	17	61	14	5	17.5%	62.9%	14.4%	5.2%
悪性新生物	261	68	158	29	6	26.1%	60.5%	11.1%	2.3%
妊娠・産褥	53	6	39	8	0	11.3%	73.6%	15.1%	0.0%
不妊症	35	3	28	2	2	8.6%	80.0%	5.7%	5.7%
その他	111	17	64	17	13	15.3%	57.7%	15.3%	11.7%

図 35 分かりやすい医療情報の説明；傷病中分類別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院+入院）



### 3.1.4 カルテ開示

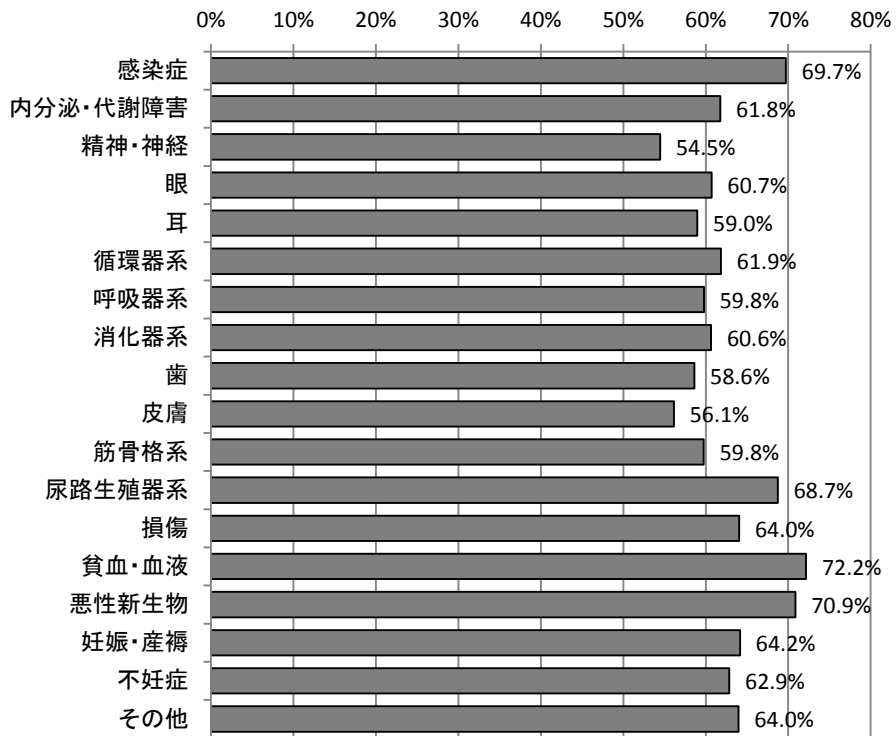
カルテなどの診療記録を開示する義務が医療機関にあることを知っているかについてみると、「知っている」を選択した回答者は、「貧血・血液」が72.2%と最も多く、次いで「悪性新生物」が70.9%、「感染症」が69.7%、「尿路生殖器系」が68.7%、「妊娠・産褥」が64.2%であった。

表 42 カルテなどの開示義務の周知状況；傷病中分類別（通院＋入院）

	総数	実数		%	
		知っている	知らない	知っている	知らない
総数	5,000	2,888	2,112	57.8%	42.2%
感染症	142	99	43	69.7%	30.3%
内分泌・代謝障害	1,250	772	478	61.8%	38.2%
精神・神経	1,289	702	587	54.5%	45.5%
眼	817	496	321	60.7%	39.3%
耳	212	125	87	59.0%	41.0%
循環器系	1,641	1,015	626	61.9%	38.1%
呼吸器系	1,024	612	412	59.8%	40.2%
消化器系	747	453	294	60.6%	39.4%
歯	1,696	994	702	58.6%	41.4%
皮膚	775	435	340	56.1%	43.9%
筋骨格系	1,091	652	439	59.8%	40.2%
尿路生殖器系	339	233	106	68.7%	31.3%
損傷	356	228	128	64.0%	36.0%
貧血・血液	97	70	27	72.2%	27.8%
悪性新生物	261	185	76	70.9%	29.1%
妊娠・産褥	53	34	19	64.2%	35.8%
不妊症	35	22	13	62.9%	37.1%
その他	111	71	40	64.0%	36.0%



図 36 カルテなどの開示義務の周知状況；傷病中分類別  
「知っている」を選択した回答者の割合（通院+入院）

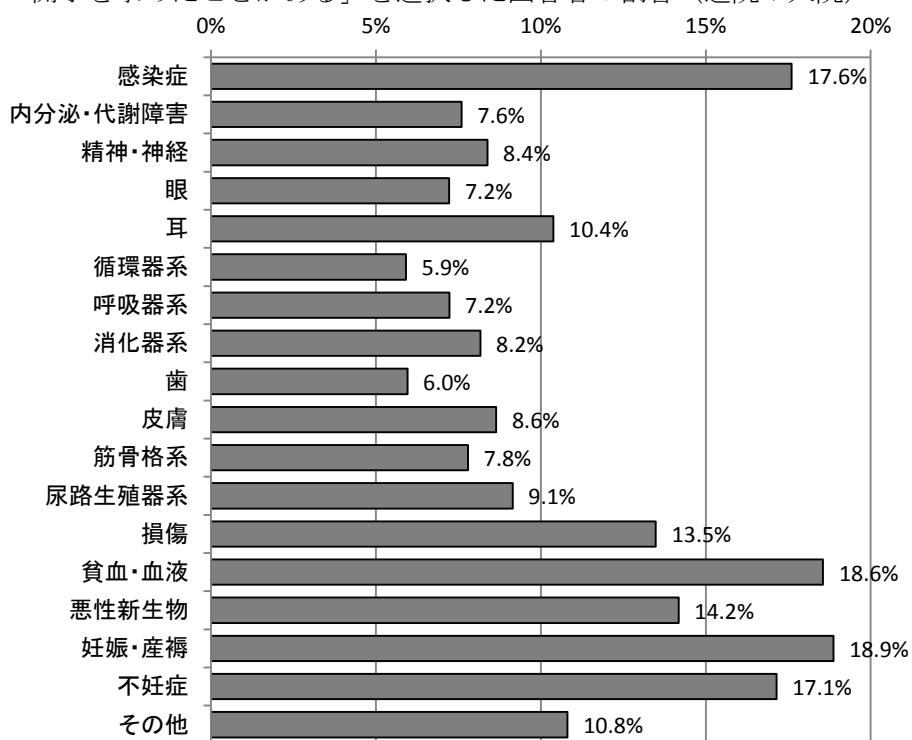


カルテなどの診療記録の請求状況についてみると、「開示を求めたことがある」を選択した回答者は、「妊娠・産褥」が18.9%と最も多く、次いで「貧血・血液」が18.6%、「感染症」が17.6%、「不妊症」が17.1%、「悪性新生物」が14.2%であった。

表 43 カルテ開示の請求状況；傷病中分類別（通院＋入院）

	総数	実数		%	
		開示を求めたことがある	開示を求めたことはない	開示を求めたことがある	開示を求めたことはない
総数	5,000	308	4,692	6.2%	93.8%
感染症	142	25	117	17.6%	82.4%
内分泌・代謝障害	1,250	95	1,155	7.6%	92.4%
精神・神経	1,289	108	1,181	8.4%	91.6%
眼	817	59	758	7.2%	92.8%
耳	212	22	190	10.4%	89.6%
循環器系	1,641	97	1,544	5.9%	94.1%
呼吸器系	1,024	74	950	7.2%	92.8%
消化器系	747	61	686	8.2%	91.8%
歯	1,696	101	1,595	6.0%	94.0%
皮膚	775	67	708	8.6%	91.4%
筋骨格系	1,091	85	1,006	7.8%	92.2%
尿路生殖器系	339	31	308	9.1%	90.9%
損傷	356	48	308	13.5%	86.5%
貧血・血液	97	18	79	18.6%	81.4%
悪性新生物	261	37	224	14.2%	85.8%
妊娠・産褥	53	10	43	18.9%	81.1%
不妊症	35	6	29	17.1%	82.9%
その他	111	12	99	10.8%	89.2%

図 37 カルテ開示の請求状況；傷病中分類別  
 「開示を求めたことがある」を選択した回答者の割合（通院＋入院）

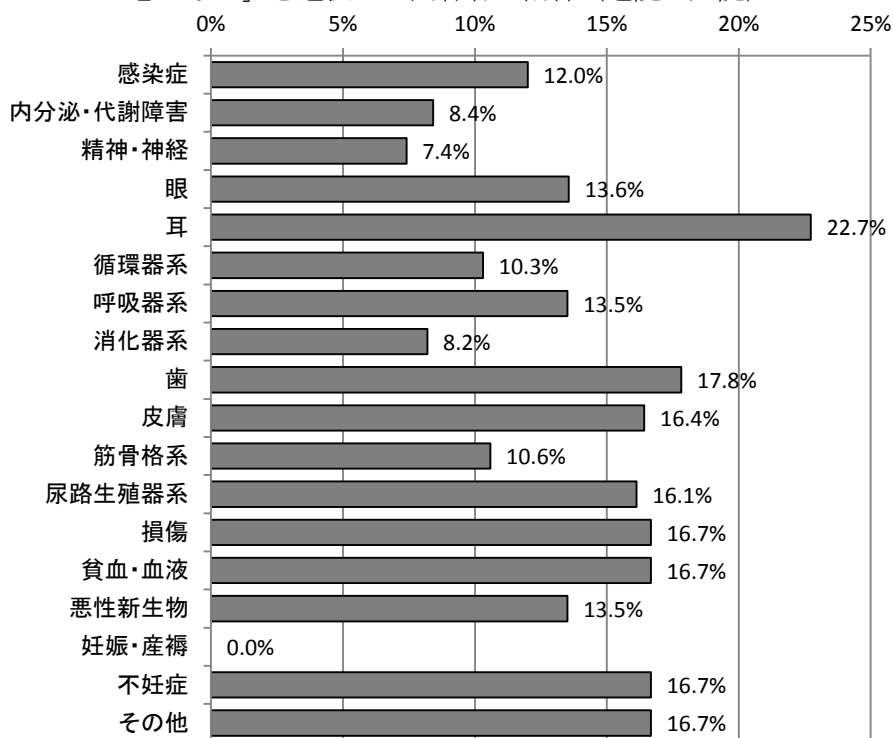


カルテの開示は役に立ったと思うかについてみると、「思わない」を選択した回答者は、「耳」が22.7%と最も多く、次いで「歯」が17.8%、「損傷」、「貧血・血液」「不妊症」「その他」がそれぞれ16.7%であった。

表 44 カルテ開示の有用性；傷病中分類別（通院＋入院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	308	91	161	38	18	29.5%	52.3%	12.3%	5.8%
感染症	25	7	13	3	2	28.0%	52.0%	12.0%	8.0%
内分泌・代謝障害	95	29	50	8	8	30.5%	52.6%	8.4%	8.4%
精神・神経	108	38	55	8	7	35.2%	50.9%	7.4%	6.5%
眼	59	19	29	8	3	32.2%	49.2%	13.6%	5.1%
耳	22	4	12	5	1	18.2%	54.5%	22.7%	4.5%
循環器系	97	25	58	10	4	25.8%	59.8%	10.3%	4.1%
呼吸器系	74	17	43	10	4	23.0%	58.1%	13.5%	5.4%
消化器系	61	17	37	5	2	27.9%	60.7%	8.2%	3.3%
歯	101	28	50	18	5	27.7%	49.5%	17.8%	5.0%
皮膚	67	17	37	11	2	25.4%	55.2%	16.4%	3.0%
筋骨格系	85	24	50	9	2	28.2%	58.8%	10.6%	2.4%
尿路生殖器系	31	8	18	5	0	25.8%	58.1%	16.1%	0.0%
損傷	48	18	21	8	1	37.5%	43.8%	16.7%	2.1%
貧血・血液	18	6	9	3	0	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%
悪性新生物	37	16	15	5	1	43.2%	40.5%	13.5%	2.7%
妊娠・産褥	10	2	8	0	0	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%
不妊症	6	1	4	1	0	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%
その他	12	3	5	2	2	25.0%	41.7%	16.7%	16.7%

図 38 カルテ開示の有用性；傷病中分類別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院＋入院）



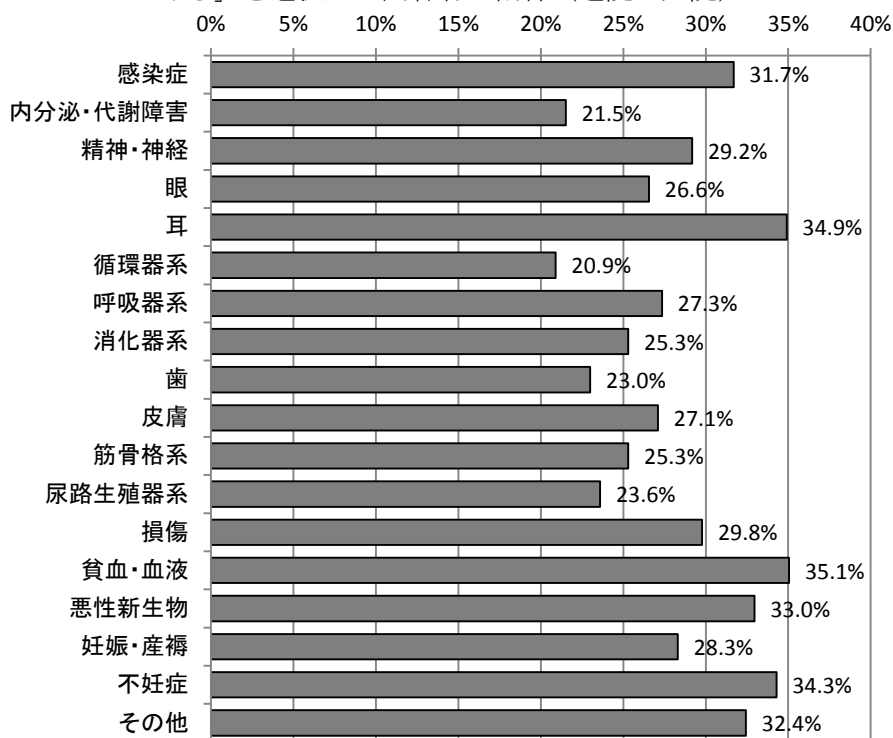
### 3.1.5 セカンドオピニオン

セカンドオピニオンを利用したことがあるかについてみると、「ある」を選択した回答者は、「貧血・血液」が35.1%と最も多く、次いで「耳」が34.9%、「不妊症」が34.3%、「悪性新生物」が33.0%、「その他」が32.4%であった。

表 45 セカンドオピニオンの利用状況；傷病中分類別（通院＋入院）

	総数	実数		%	
		ある	ない	ある	ない
総数	5,000	1,119	3,881	22.4%	77.6%
感染症	142	45	97	31.7%	68.3%
内分泌・代謝障害	1,250	269	981	21.5%	78.5%
精神・神経	1,289	376	913	29.2%	70.8%
眼	817	217	600	26.6%	73.4%
耳	212	74	138	34.9%	65.1%
循環器系	1,641	343	1,298	20.9%	79.1%
呼吸器系	1,024	280	744	27.3%	72.7%
消化器系	747	189	558	25.3%	74.7%
歯	1,696	390	1,306	23.0%	77.0%
皮膚	775	210	565	27.1%	72.9%
筋骨格系	1,091	276	815	25.3%	74.7%
尿路生殖器系	339	80	259	23.6%	76.4%
損傷	356	106	250	29.8%	70.2%
貧血・血液	97	34	63	35.1%	64.9%
悪性新生物	261	86	175	33.0%	67.0%
妊娠・産褥	53	15	38	28.3%	71.7%
不妊症	35	12	23	34.3%	65.7%
その他	111	36	75	32.4%	67.6%

図 39 セカンドオピニオンの利用状況；傷病中分類別  
「ある」を選択した回答者の割合（通院＋入院）

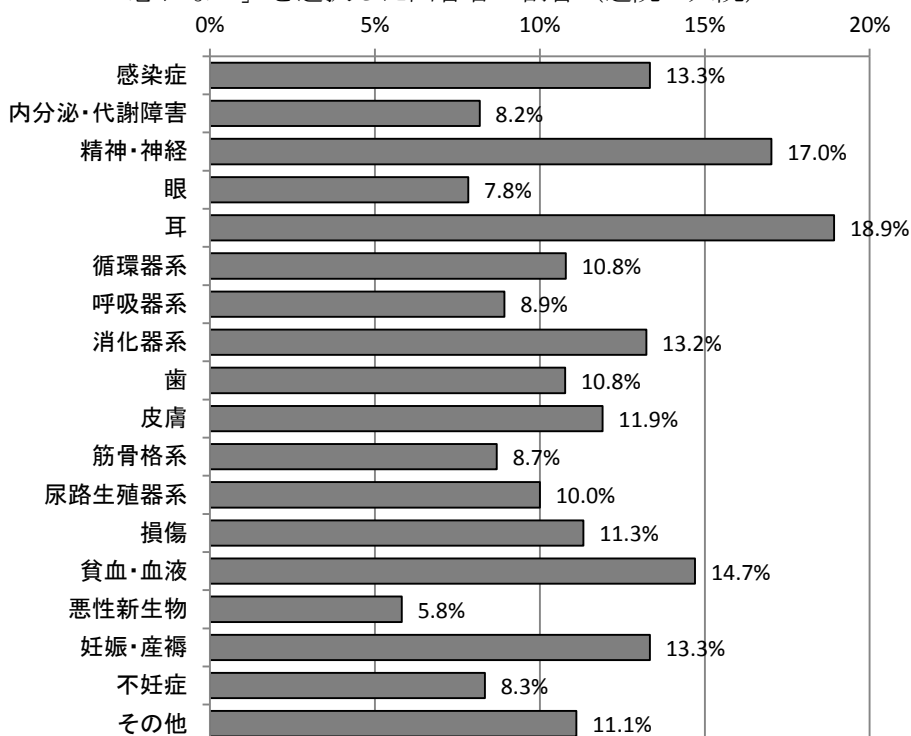


セカンドオピニオンの利用は役に立ったと思うかについてみると、「思わない」を選択した回答者は、「耳」が18.9%と最も多く、次いで「精神・神経」が17.0%、「貧血・血液」が14.7%、「感染症」、「妊娠・産褥」がそれぞれ13.3%であった。

表 46 セカンドオピニオンの有用性；傷病中分類別（通院＋入院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	1,119	389	574	112	44	34.8%	51.3%	10.0%	3.9%
感染症	45	13	24	6	2	28.9%	53.3%	13.3%	4.4%
内分泌・代謝障害	269	94	142	22	11	34.9%	52.8%	8.2%	4.1%
精神・神経	376	128	167	64	17	34.0%	44.4%	17.0%	4.5%
眼	217	80	114	17	6	36.9%	52.5%	7.8%	2.8%
耳	74	25	33	14	2	33.8%	44.6%	18.9%	2.7%
循環器系	343	128	168	37	10	37.3%	49.0%	10.8%	2.9%
呼吸器系	280	102	145	25	8	36.4%	51.8%	8.9%	2.9%
消化器系	189	62	97	25	5	32.8%	51.3%	13.2%	2.6%
歯	390	128	207	42	13	32.8%	53.1%	10.8%	3.3%
皮膚	210	68	110	25	7	32.4%	52.4%	11.9%	3.3%
筋骨格系	276	93	153	24	6	33.7%	55.4%	8.7%	2.2%
尿路生殖器系	80	24	46	8	2	30.0%	57.5%	10.0%	2.5%
損傷	106	32	59	12	3	30.2%	55.7%	11.3%	2.8%
貧血・血液	34	11	17	5	1	32.4%	50.0%	14.7%	2.9%
悪性新生物	86	37	42	5	2	43.0%	48.8%	5.8%	2.3%
妊娠・産褥	15	5	7	2	1	33.3%	46.7%	13.3%	6.7%
不妊症	12	5	6	1	0	41.7%	50.0%	8.3%	0.0%
その他	36	13	17	4	2	36.1%	47.2%	11.1%	5.6%

図 40 セカンドオピニオンの有用性；傷病中分類別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院＋入院）



### 3.2 患者と医療従事者の良好な関係づくりについて

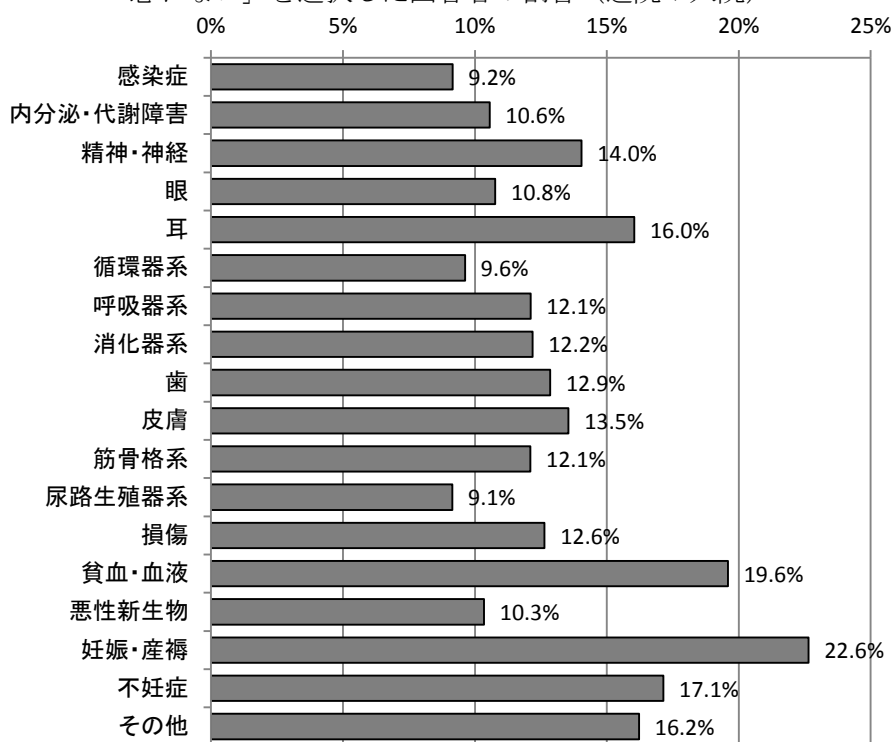
#### 3.2.1 尊厳やプライバシーの保護

尊厳やプライバシーが守られていると思うかについてみると、「妊娠・産褥」が22.6%と最も多く、次いで「貧血・血液」が19.6%、「不妊症」が17.1%、「その他」が16.2%、「耳」が16.0%であった。

表 47 尊厳やプライバシーの保護；傷病中分類別（通院＋入院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	5,000	604	3,364	602	430	12.1%	67.3%	12.0%	8.6%
感染症	142	25	91	13	13	17.6%	64.1%	9.2%	9.2%
内分泌・代謝障害	1,250	176	867	132	75	14.1%	69.4%	10.6%	6.0%
精神・神経	1,289	199	789	181	120	15.4%	61.2%	14.0%	9.3%
眼	817	93	575	88	61	11.4%	70.4%	10.8%	7.5%
耳	212	19	139	34	20	9.0%	65.6%	16.0%	9.4%
循環器系	1,641	223	1,158	158	102	13.6%	70.6%	9.6%	6.2%
呼吸器系	1,024	138	689	124	73	13.5%	67.3%	12.1%	7.1%
消化器系	747	97	504	91	55	13.0%	67.5%	12.2%	7.4%
歯	1,696	179	1,143	218	156	10.6%	67.4%	12.9%	9.2%
皮膚	775	88	513	105	69	11.4%	66.2%	13.5%	8.9%
筋骨格系	1,091	134	747	132	78	12.3%	68.5%	12.1%	7.1%
尿路生殖器系	339	45	240	31	23	13.3%	70.8%	9.1%	6.8%
損傷	356	41	243	45	27	11.5%	68.3%	12.6%	7.6%
貧血・血液	97	14	57	19	7	14.4%	58.8%	19.6%	7.2%
悪性新生物	261	42	181	27	11	16.1%	69.3%	10.3%	4.2%
妊娠・産褥	53	6	31	12	4	11.3%	58.5%	22.6%	7.5%
不妊症	35	6	20	6	3	17.1%	57.1%	17.1%	8.6%
その他	111	13	62	18	18	11.7%	55.9%	16.2%	16.2%

図 41 尊厳やプライバシーの保護；傷病中分類別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院+入院）





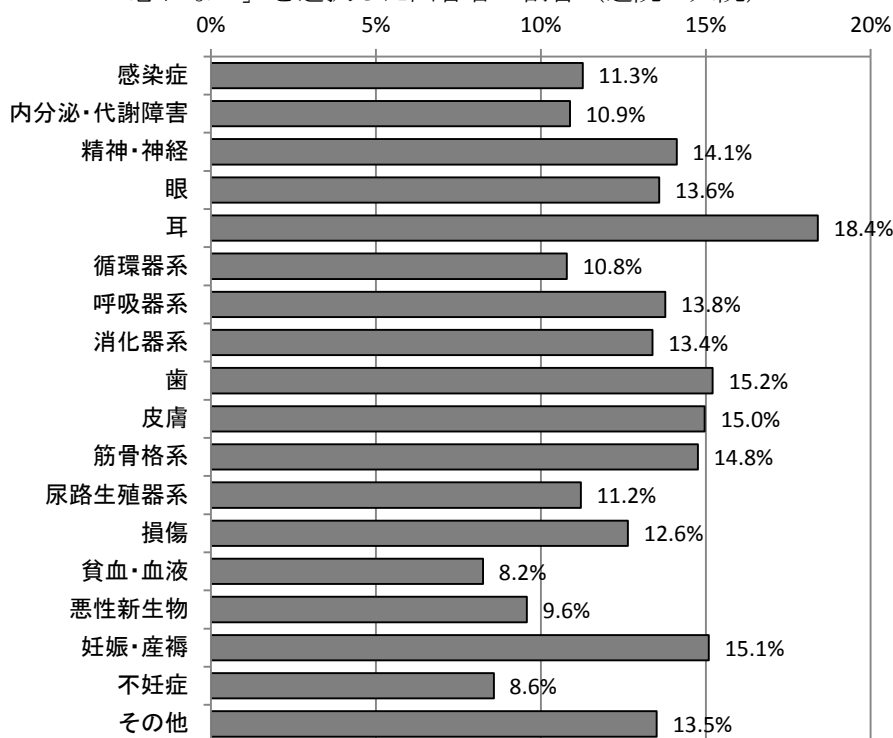
### 3.2.2 自己決定権の尊重

自己決定権が尊重されていると思うかについてみると、「思わない」を選択した回答者は、「耳」が 18.4%と最も多く、次いで「歯」が 15.2%、「妊娠・産褥」が 15.1%、「皮膚」が 15.0%、「筋骨格系」が 14.8%であった。

表 48 自己決定権の尊重；傷病中分類別（通院＋入院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	5,000	659	3,313	644	384	13.2%	66.3%	12.9%	7.7%
感染症	142	23	93	16	10	16.2%	65.5%	11.3%	7.0%
内分泌・代謝障害	1,250	192	857	136	65	15.4%	68.6%	10.9%	5.2%
精神・神経	1,289	199	805	182	103	15.4%	62.5%	14.1%	8.0%
眼	817	102	550	111	54	12.5%	67.3%	13.6%	6.6%
耳	212	15	148	39	10	7.1%	69.8%	18.4%	4.7%
循環器系	1,641	233	1,146	177	85	14.2%	69.8%	10.8%	5.2%
呼吸器系	1,024	133	691	141	59	13.0%	67.5%	13.8%	5.8%
消化器系	747	119	476	100	52	15.9%	63.7%	13.4%	7.0%
歯	1,696	208	1,112	258	118	12.3%	65.6%	15.2%	7.0%
皮膚	775	91	503	116	65	11.7%	64.9%	15.0%	8.4%
筋骨格系	1,091	142	724	161	64	13.0%	66.4%	14.8%	5.9%
尿路生殖器系	339	43	237	38	21	12.7%	69.9%	11.2%	6.2%
損傷	356	51	239	45	21	14.3%	67.1%	12.6%	5.9%
貧血・血液	97	10	70	8	9	10.3%	72.2%	8.2%	9.3%
悪性新生物	261	58	167	25	11	22.2%	64.0%	9.6%	4.2%
妊娠・産褥	53	6	34	8	5	11.3%	64.2%	15.1%	9.4%
不妊症	35	6	23	3	3	17.1%	65.7%	8.6%	8.6%
その他	111	18	64	15	14	16.2%	57.7%	13.5%	12.6%

図 42 自己決定権の尊重；傷病中分類別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院＋入院）



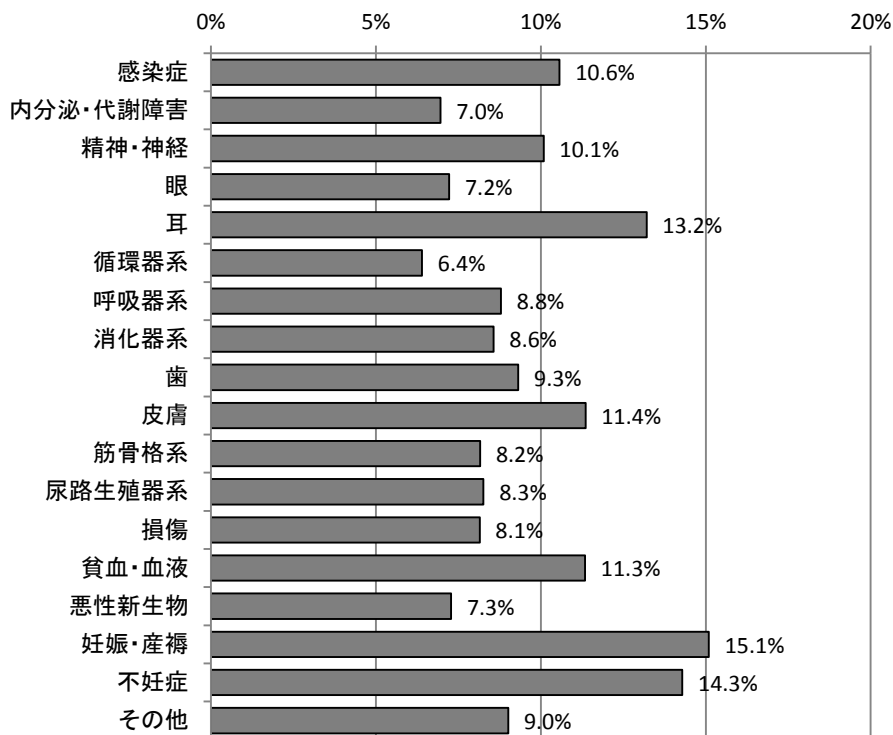
### 3.2.3 医療従事者との良好な関係

医療従事者と良好な関係が築けていると思うかについてみると、「思わない」を選択した回答者は、「妊娠・産褥」が15.1%と最も多く、次いで「不妊症」が14.3%、「耳」が13.2%、「皮膚」が11.4%、「貧血・血液」が11.3%であった。

表 49 医療従事者との良好な関係；傷病中分類別（通院＋入院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	5,000	775	3,449	424	352	15.5%	69.0%	8.5%	7.0%
感染症	142	30	87	15	10	21.1%	61.3%	10.6%	7.0%
内分泌・代謝障害	1,250	233	864	87	66	18.6%	69.1%	7.0%	5.3%
精神・神経	1,289	232	828	130	99	18.0%	64.2%	10.1%	7.7%
眼	817	126	579	59	53	15.4%	70.9%	7.2%	6.5%
耳	212	23	147	28	14	10.8%	69.3%	13.2%	6.6%
循環器系	1,641	323	1,151	105	62	19.7%	70.1%	6.4%	3.8%
呼吸器系	1,024	183	695	90	56	17.9%	67.9%	8.8%	5.5%
消化器系	747	143	497	64	43	19.1%	66.5%	8.6%	5.8%
歯	1,696	274	1,155	158	109	16.2%	68.1%	9.3%	6.4%
皮膚	775	107	527	88	53	13.8%	68.0%	11.4%	6.8%
筋骨格系	1,091	175	764	89	63	16.0%	70.0%	8.2%	5.8%
尿路生殖器系	339	58	234	28	19	17.1%	69.0%	8.3%	5.6%
損傷	356	58	246	29	23	16.3%	69.1%	8.1%	6.5%
貧血・血液	97	19	58	11	9	19.6%	59.8%	11.3%	9.3%
悪性新生物	261	65	163	19	14	24.9%	62.5%	7.3%	5.4%
妊娠・産褥	53	3	38	8	4	5.7%	71.7%	15.1%	7.5%
不妊症	35	3	23	5	4	8.6%	65.7%	14.3%	11.4%
その他	111	13	72	10	16	11.7%	64.9%	9.0%	14.4%

図 43 医療従事者との良好な関係；傷病中分類別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院＋入院）



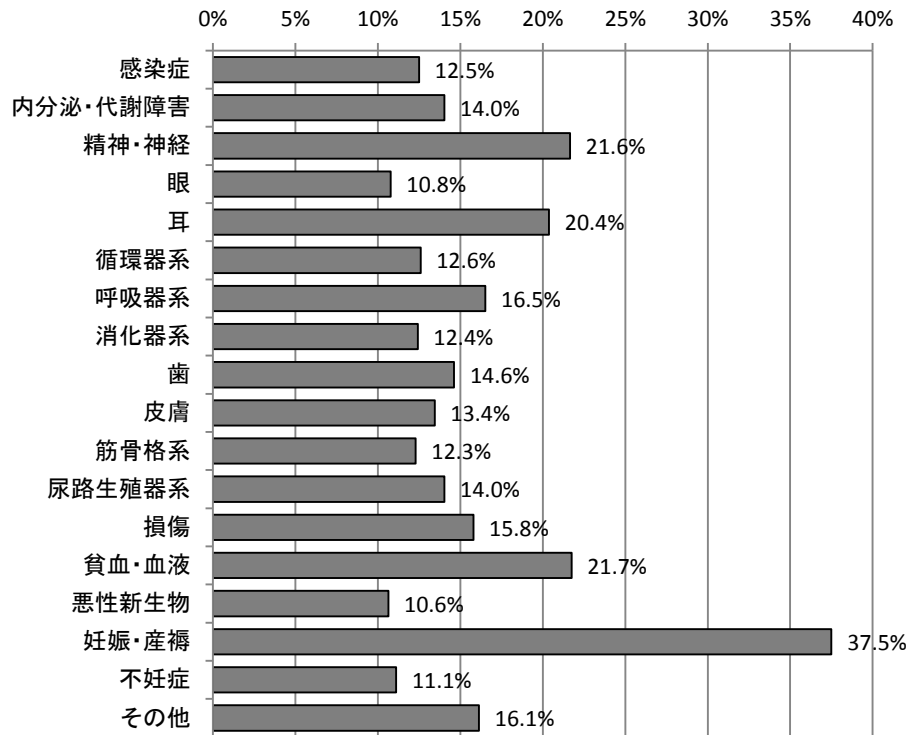
### 3.2.4 患者と医療従事者の良好な関係づくりに向けた課題

「尊厳やプライバシーが守られている」「自己決定権（あなたご自身の診断や治療の内容などに対する意思）が尊重されている」「医療従事者と良好な関係が築けている」と思わない理由についてみると、「疾病を理由とする差別・偏見を感じたから」を選択した回答者は、「妊娠・産褥」が37.5%と最も多く、次いで「貧血・血液」が21.7%、「精神・神経」が21.6%、「耳」が20.4%、「呼吸器系」が16.5%であった。

表 50 患者と医療従事者の良好な関係づくりができていない理由；傷病中分類別（通院+入院）

	総数	実数					%										
		か ら 提 供 情 報 不 十 分 と 思 う	医 療 に 関 する 説 明 が 不 十分 と 思 う	か ら 提 供 さ れ た 説 明 が 不 十分 と 思 う	に 関 する 説 明 が 不 十分 と 思 う	別 ・ 病 を 理 由 と す る 差 別	疾 病 を 理 由 と す る 差 別	不 親 切 だ と 思 う	医 療 従 事 者 の 対 応 が	そ の 他	か ら 提 供 情 報 不 十 分 と 思 う	医 療 に 関 する 説 明 が 不 十分 と 思 う	か ら 提 供 さ れ た 説 明 が 不 十分 と 思 う	に 関 する 説 明 が 不 十分 と 思 う	別 ・ 病 を 理 由 と す る 差 別	疾 病 を 理 由 と す る 差 別	不 親 切 だ と 思 う
総数	1,032	421	390	125	362	168	40.8%	37.8%	12.1%	35.1%	16.3%						
感染症	32	11	11	4	14	4	34.4%	34.4%	12.5%	43.8%	12.5%						
内分泌・代謝障害	221	85	83	31	80	42	38.5%	37.6%	14.0%	36.2%	19.0%						
精神・神経	291	121	100	63	117	50	41.6%	34.4%	21.6%	40.2%	17.2%						
眼	167	68	60	18	70	23	40.7%	35.9%	10.8%	41.9%	13.8%						
耳	54	29	27	11	29	7	53.7%	50.0%	20.4%	53.7%	13.0%						
循環器系	286	100	106	36	105	51	35.0%	37.1%	12.6%	36.7%	17.8%						
呼吸器系	218	99	92	36	85	30	45.4%	42.2%	16.5%	39.0%	13.8%						
消化器系	153	69	61	19	62	19	45.1%	39.9%	12.4%	40.5%	12.4%						
歯	383	171	162	56	152	48	44.6%	42.3%	14.6%	39.7%	12.5%						
皮膚	186	89	75	25	70	25	47.8%	40.3%	13.4%	37.6%	13.4%						
筋骨格系	236	102	102	29	96	35	43.2%	43.2%	12.3%	40.7%	14.8%						
尿路生殖器系	57	27	22	8	20	11	47.4%	38.6%	14.0%	35.1%	19.3%						
損傷	76	36	27	12	39	17	47.4%	35.5%	15.8%	51.3%	22.4%						
貧血・血液	23	10	10	5	8	3	43.5%	43.5%	21.7%	34.8%	13.0%						
悪性新生物	47	17	16	5	22	7	36.2%	34.0%	10.6%	46.8%	14.9%						
妊娠・産褥	16	9	6	6	8	1	56.3%	37.5%	37.5%	50.0%	6.3%						
不妊症	9	3	3	1	4	3	33.3%	33.3%	11.1%	44.4%	33.3%						
その他	31	14	11	5	5	5	45.2%	35.5%	16.1%	16.1%	16.1%						

図 44 患者と医療従事者の良好な関係づくりができていない理由；傷病中分類別「疾病を理由とする差別・偏見を感じたから」を選択した回答者の割合（通院＋入院）



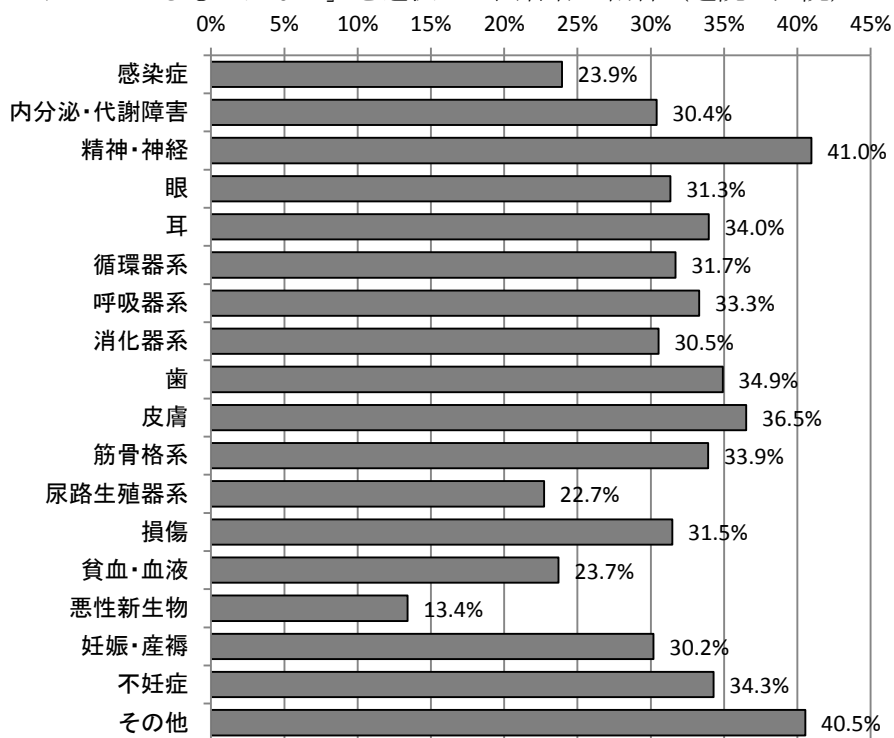
### 3.2.5 医療機関における取り組みの周知状況

患者と医療従事者が良好な関係を築くための取り組みを知っているかについてみると、「知っているものはない」を選択した回答者は、「精神・神経」が41.0%と最も多く、次いで「その他」が40.5%、「皮膚」が36.5%、「歯」が34.9%、「不妊症」が34.3%であった。

表 51 医療機関における取り組みの周知状況；傷病中分類別（通院＋入院）

傷病中分類別	総数	実数										%									
		患者や家族の声を相談・要望・苦情を聴くための相談窓口の設置	患者や家族の声を相談・要望・苦情を聴くための意見箱の設置	（患者アンケート調査）の実施	患者や家族の声を相談・要望・苦情を聴くための声や相談・要望・苦情の開催	患者や家族と医療従事者による個別の指導	診療結果が記載された紙等の交付	患者への医療情報提供のためのパンフレット等の配布	患者との関係づくりの指針の作成や宣言書等の提示	その他の取り組み	知っているものはない	患者や家族の声を相談・要望・苦情を聴くための相談窓口の設置	患者や家族の声を相談・要望・苦情を聴くための意見箱の設置	（患者アンケート調査）の実施	患者や家族の声を相談・要望・苦情を聴くための声や相談・要望・苦情の開催	患者や家族と医療従事者による個別の指導	診療結果が記載された紙等の交付	患者への医療情報提供のためのパンフレット等の配布	患者との関係づくりの指針の作成や宣言書等の提示	その他の取り組み	知っているものはない
総数	5,000	1,810	1,719	1,007	919	1,686	745	1,464	36	1,857	36.2%	34.4%	20.1%	18.4%	33.7%	14.9%	29.3%	0.7%	37.1%		
感染症	142	73	61	42	39	65	34	51	1	34	51.4%	43.0%	29.6%	27.5%	45.8%	23.9%	35.9%	0.7%	23.9%		
内分泌・代謝障害	1,250	494	481	295	293	494	214	418	16	380	39.5%	38.5%	23.6%	23.4%	39.5%	17.1%	33.4%	1.3%	30.4%		
精神・神経	1,289	458	446	270	244	359	201	337	10	528	35.5%	34.6%	20.9%	18.9%	27.9%	15.6%	26.1%	0.8%	41.0%		
眼	817	353	330	192	184	330	145	278	13	256	43.2%	40.4%	23.5%	22.5%	40.4%	17.7%	34.0%	1.6%	31.3%		
耳	212	93	82	59	44	87	41	64	2	72	43.9%	38.7%	27.8%	20.8%	41.0%	19.3%	30.2%	0.9%	34.0%		
循環器系	1,641	680	610	364	352	653	279	532	16	520	41.4%	37.2%	22.2%	21.5%	39.8%	17.0%	32.4%	1.0%	31.7%		
呼吸器系	1,024	411	405	244	194	357	173	336	9	341	40.1%	39.6%	23.8%	18.9%	34.9%	16.9%	32.8%	0.9%	33.3%		
消化器系	747	317	314	197	183	305	153	272	10	228	42.4%	42.0%	26.4%	24.5%	40.8%	20.5%	36.4%	1.3%	30.5%		
歯	1,696	647	623	368	334	633	278	525	11	592	38.1%	36.7%	21.7%	19.7%	37.3%	16.4%	31.1%	0.8%	34.9%		
皮膚	775	289	288	161	148	263	138	235	7	283	37.3%	37.2%	20.8%	19.1%	33.9%	17.8%	30.3%	0.9%	36.5%		
筋骨格系	1,091	433	416	254	238	415	193	357	6	370	39.7%	38.1%	23.3%	21.8%	38.0%	17.7%	32.7%	0.5%	33.9%		
尿路生殖器系	339	176	161	78	93	156	69	117	4	77	51.9%	47.5%	23.0%	27.4%	46.0%	20.4%	34.5%	1.2%	22.7%		
損傷	356	154	155	99	82	141	81	128	2	112	43.3%	43.5%	27.8%	23.0%	39.6%	22.8%	36.0%	0.6%	31.5%		
貧血・血液	97	48	49	37	27	41	25	36	1	23	49.5%	50.5%	38.1%	27.6%	42.3%	25.8%	37.1%	1.0%	23.7%		
悪性新生物	261	170	150	92	91	136	72	126	2	35	65.1%	57.5%	35.2%	34.9%	52.1%	27.6%	48.3%	0.8%	13.4%		
妊娠・産褥	53	25	20	18	15	25	16	20	0	16	47.2%	37.7%	34.0%	28.3%	47.2%	30.2%	37.7%	0.0%	30.2%		
不妊症	35	13	14	10	9	15	6	11	0	12	37.1%	40.0%	28.6%	25.7%	42.9%	17.1%	31.4%	0.0%	34.3%		
その他	111	41	44	28	21	42	25	37	1	45	36.9%	39.6%	25.2%	18.9%	37.8%	22.5%	33.3%	0.9%	40.5%		

図 45 医療機関における取り組みの周知状況；傷病中分類別  
「知っているものはない」を選択した回答者の割合（通院+入院）

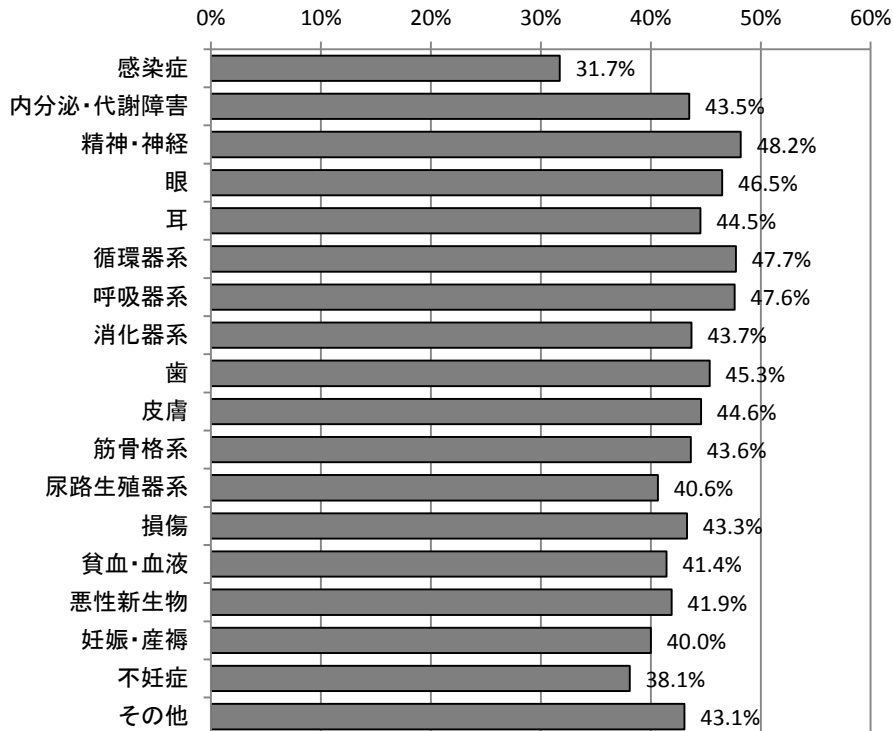


患者と医療従事者が良好な関係を築くための取り組みを知っているかについてみると、「利用したことがあるものはない」を選択した回答者は、「精神・神経」が48.2%と最も多く、次いで「循環器系」が47.7%、「呼吸器系」が47.6%、「眼」が46.5%、「歯」が45.3%であった。

表 52 医療機関における取り組みの利用状況；傷病中分類別（通院＋入院）

	総数	実数							%						
		患者や家族の声を聴くための相談窓口の設置	患者や家族の意見箱の設置	患者や家族の声を聴くための患者満足度調査（患者アンケート調査）の実施	患者や家族や相談・要望・苦情を聴くための患者満足度調査の実施	患者や家族と医療従事者による傷病（病気やけが）に関する勉強会	診療結果が記載された紙等の交付	その他の取り組み	利用したことがあるものはない	患者や家族の声を聴くための相談窓口の設置	患者や家族の意見箱の設置	患者や家族の声を聴くための患者満足度調査（患者アンケート調査）の実施	患者や家族や相談・要望・苦情を聴くための患者満足度調査の実施	患者や家族と医療従事者による傷病（病気やけが）に関する勉強会	診療結果が記載された紙等の交付
総数	2,932	315	223	290	199	1,040	20	1,463	10.7%	7.6%	9.9%	6.8%	35.5%	0.7%	49.9%
感染症	104	30	20	20	16	45	1	33	28.8%	19.2%	19.2%	15.4%	43.3%	1.0%	31.7%
内分泌・代謝障害	816	98	68	88	79	334	10	355	12.0%	8.3%	10.8%	9.7%	40.9%	1.2%	43.5%
精神・神経	720	107	88	92	47	223	6	347	14.9%	12.2%	12.8%	6.5%	31.0%	0.8%	48.2%
眼	529	69	48	57	49	207	8	246	13.0%	9.1%	10.8%	9.3%	39.1%	1.5%	46.5%
耳	137	23	12	18	16	56	2	61	16.8%	8.8%	13.1%	11.7%	40.9%	1.5%	44.5%
循環器系	1,060	118	76	114	87	419	10	506	11.1%	7.2%	10.8%	8.2%	39.5%	0.9%	47.7%
呼吸器系	630	80	61	70	42	218	6	300	12.7%	9.7%	11.1%	6.7%	34.6%	1.0%	47.6%
消化器系	492	62	40	68	49	198	6	215	12.6%	8.1%	13.8%	10.0%	40.2%	1.2%	43.7%
歯	1,043	126	92	121	80	402	6	473	12.1%	8.8%	11.6%	7.7%	38.5%	0.6%	45.3%
皮膚	451	70	41	51	30	174	4	201	15.5%	9.1%	11.3%	6.7%	38.6%	0.9%	44.6%
筋骨格系	669	86	69	77	60	265	3	292	12.9%	10.3%	11.5%	9.0%	39.6%	0.4%	43.6%
尿路生殖器系	251	41	28	32	31	111	3	102	16.3%	11.2%	12.7%	12.4%	44.2%	1.2%	40.6%
損傷	231	40	24	30	19	93	0	100	17.3%	10.4%	13.0%	8.2%	40.3%	0.0%	43.3%
貧血・血液	70	10	14	12	10	29	1	29	14.3%	20.0%	17.1%	14.3%	41.4%	1.4%	41.4%
悪性新生物	222	41	19	36	28	92	0	93	18.5%	8.6%	16.2%	12.6%	41.4%	0.0%	41.9%
妊娠・産褥	35	6	3	7	7	16	0	14	17.1%	8.6%	20.0%	20.0%	45.7%	0.0%	40.0%
不妊症	21	4	3	5	5	10	0	8	19.0%	14.3%	23.8%	23.8%	47.6%	0.0%	38.1%
その他	65	10	8	11	6	27	0	28	15.4%	12.3%	16.9%	9.2%	41.5%	0.0%	43.1%

図 46 医療機関における取り組みの利用状況；傷病中分類別「利用したことがあるものはない」を選択した回答者の割合（通院＋入院）



### 3.3 その他

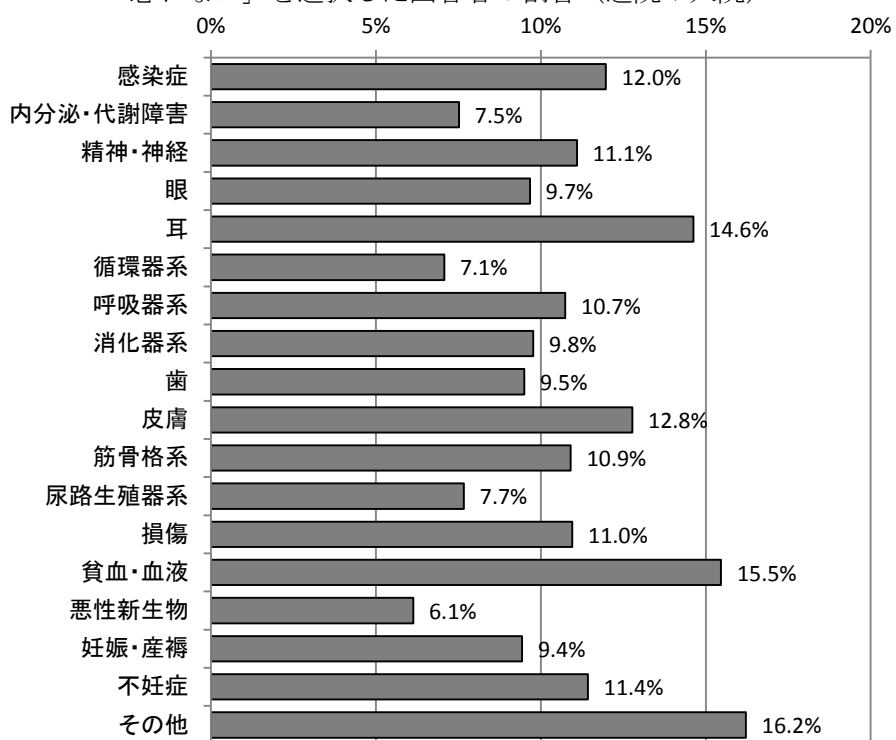
#### 3.3.1 適切なタイミングで必要な医療を受ける権利

「適切なタイミングで必要な医療を受ける権利」が保障されていると思うかについてみると、「思わない」を選択した回答者は、「その他」が16.2%と最も多く、次いで「貧血・血液」が15.5%、「耳」が14.6%、「皮膚」が12.8%、「感染症」が12.0%であった。

表 53 適切なタイミングで必要な医療を受ける権利の保障；傷病中分類別（通院＋入院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	5,000	650	3,472	461	417	13.0%	69.4%	9.2%	8.3%
感染症	142	26	87	17	12	18.3%	61.3%	12.0%	8.5%
内分泌・代謝障害	1,250	188	888	94	80	15.0%	71.0%	7.5%	6.4%
精神・神経	1,289	189	836	143	121	14.7%	64.9%	11.1%	9.4%
眼	817	101	587	79	50	12.4%	71.8%	9.7%	6.1%
耳	212	22	146	31	13	10.4%	68.9%	14.6%	6.1%
循環器系	1,641	250	1,188	116	87	15.2%	72.4%	7.1%	5.3%
呼吸器系	1,024	160	687	110	67	15.6%	67.1%	10.7%	6.5%
消化器系	747	115	518	73	41	15.4%	69.3%	9.8%	5.5%
歯	1,696	220	1,185	161	130	13.0%	69.9%	9.5%	7.7%
皮膚	775	96	506	99	74	12.4%	65.3%	12.8%	9.5%
筋骨格系	1,091	141	766	119	65	12.9%	70.2%	10.9%	6.0%
尿路生殖器系	339	53	240	26	20	15.6%	70.8%	7.7%	5.9%
損傷	356	40	259	39	18	11.2%	72.8%	11.0%	5.1%
貧血・血液	97	12	60	15	10	12.4%	61.9%	15.5%	10.3%
悪性新生物	261	48	183	16	14	18.4%	70.1%	6.1%	5.4%
妊娠・産褥	53	9	33	5	6	17.0%	62.3%	9.4%	11.3%
不妊症	35	1	27	4	3	2.9%	77.1%	11.4%	8.6%
その他	111	10	68	18	15	9.0%	61.3%	16.2%	13.5%

図 47 適切なタイミングで必要な医療を受ける権利の保障；傷病中分類別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院+入院）





## 4. 年齢階級別クロス集計の結果

本章では、患者向けアンケート調査の結果について、通院と入院を合わせ、年齢階級別に分析した。1.1.1 調査目的に沿い、各設問にて「思わない」や「知らない」等の回答について詳細に調査結果を確認した。また、患者と医療従事者の良好な関係づくりができていない理由では、「疾病を理由とする差別・偏見を感じたから」と回答した者について詳細に調査結果を確認した。

### 4.1 医療情報の提供と説明について

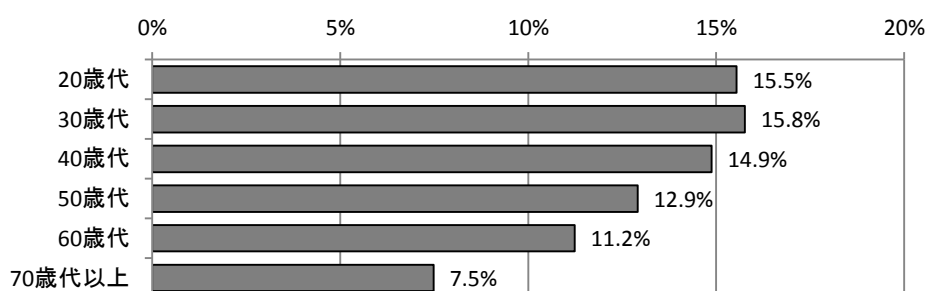
#### 4.1.1 適切なタイミングでの医療情報の提供について

診断や治療の内容などについて、適切なタイミングで医療情報の提供を受けていると思うかについてみると、「思わない」を選択した回答者は、「30歳代」が15.8%と最も多く、次いで「20歳代」が15.5%、「40歳代」が14.9%であった。

表 54 適切なタイミングでの医療情報の提供；年齢階級別（通院＋入院）

	総数	実数				%			
		十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
総数	5,000	657	3,364	650	329	13.1%	67.3%	13.0%	6.6%
20歳代	193	14	122	30	27	7.3%	63.2%	15.5%	14.0%
30歳代	666	87	413	105	61	13.1%	62.0%	15.8%	9.2%
40歳代	1,230	144	789	183	114	11.7%	64.1%	14.9%	9.3%
50歳代	1,371	171	946	177	77	12.5%	69.0%	12.9%	5.6%
60歳代	1,059	146	758	119	36	13.8%	71.6%	11.2%	3.4%
70歳代以上	481	95	336	36	14	19.8%	69.9%	7.5%	2.9%

図 48 適切なタイミングでの医療情報の提供；年齢階級別「思わない」を選択した回答者の割合（通院＋入院）



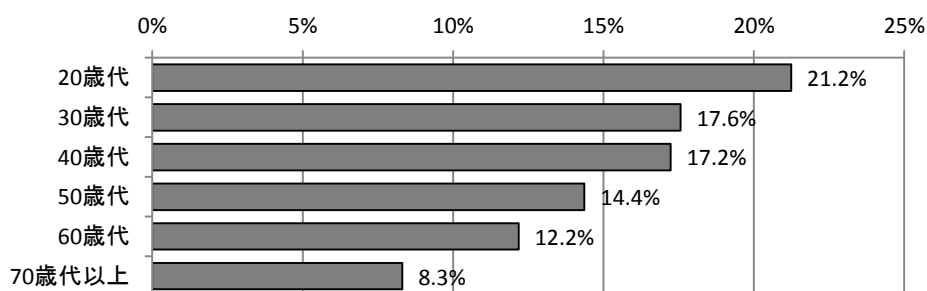
#### 4.1.2 必要とする量の医療情報の提供について

診断や治療の内容などについて、必要とする量の医療情報の提供を受けていると思うかについてみると、「思わない」を選択した回答者は、「20歳代」が21.2%と最も多く、次いで「30歳代」が17.6%、「40歳代」が17.2%であった。

表 55 必要とする量の医療情報の提供；年齢階級別（通院＋入院）

	総数	実数				%			
		十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
総数	5,000	604	3,350	736	310	12.1%	67.0%	14.7%	6.2%
20歳代	193	15	113	41	24	7.8%	58.5%	21.2%	12.4%
30歳代	666	84	401	117	64	12.6%	60.2%	17.6%	9.6%
40歳代	1,230	128	787	212	103	10.4%	64.0%	17.2%	8.4%
50歳代	1,371	166	937	197	71	12.1%	68.3%	14.4%	5.2%
60歳代	1,059	131	759	129	40	12.4%	71.7%	12.2%	3.8%
70歳代以上	481	80	353	40	8	16.6%	73.4%	8.3%	1.7%

図 49 必要とする量の医療情報の提供；年齢階級別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院＋入院）



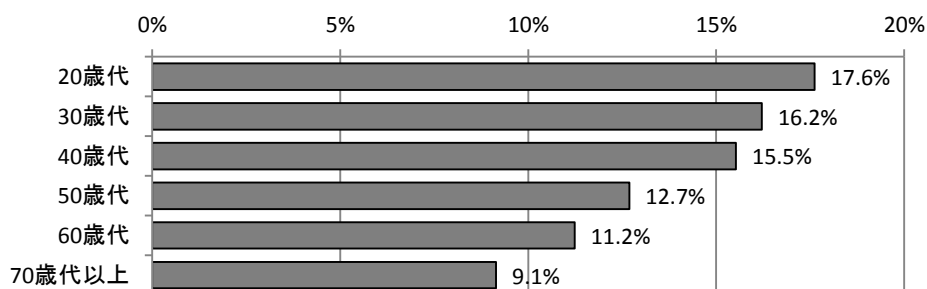
#### 4.1.3 分かりやすい医療情報の提供について

診断や治療の内容などについて、理解できるように分かりやすく医療情報について説明を受けていると思うかについてみると、「思わない」を選択した回答者は、「20歳代」が17.6%と最も多く、次いで「30歳代」が16.2%、「40歳代」が15.5%であった。

表 56 分かりやすい医療情報の説明；年齢階級別（通院＋入院）

	総数	実数				%			
		十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
総数	5,000	804	3,324	670	202	16.1%	66.5%	13.4%	4.0%
20歳代	193	23	116	34	20	11.9%	60.1%	17.6%	10.4%
30歳代	666	105	420	108	33	15.8%	63.1%	16.2%	5.0%
40歳代	1,230	176	787	191	76	14.3%	64.0%	15.5%	6.2%
50歳代	1,371	214	937	174	46	15.6%	68.3%	12.7%	3.4%
60歳代	1,059	176	741	119	23	16.6%	70.0%	11.2%	2.2%
70歳代以上	481	110	323	44	4	22.9%	67.2%	9.1%	0.8%

図 50 分かりやすい医療情報の説明；年齢階級別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院＋入院）



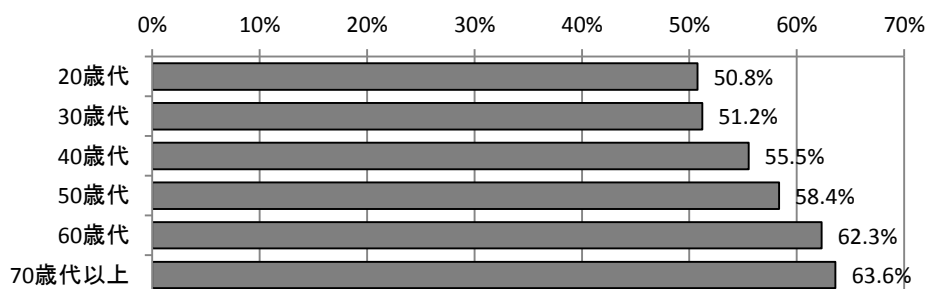
#### 4.1.4 カルテ開示

カルテなどの診療記録を開示する義務が医療機関にあることを知っているかについてみると、「知っている」を選択した回答者は、「70歳代以上」が63.6%と最も多く、次いで「60歳代」が62.3%、「50歳代」が58.4%であった。

表 57 カルテなどの開示義務の周知状況；年齢階級別（通院＋入院）

	総数	実数		%	
		知っている	知らない	知っている	知らない
総数	5,000	2,888	2,112	57.8%	42.2%
20歳代	193	98	95	50.8%	49.2%
30歳代	666	341	325	51.2%	48.8%
40歳代	1,230	683	547	55.5%	44.5%
50歳代	1,371	800	571	58.4%	41.6%
60歳代	1,059	660	399	62.3%	37.7%
70歳代以上	481	306	175	63.6%	36.4%

図 51 カルテなどの開示義務の周知状況；年齢階級別  
「知っている」を選択した回答者の割合（通院＋入院）

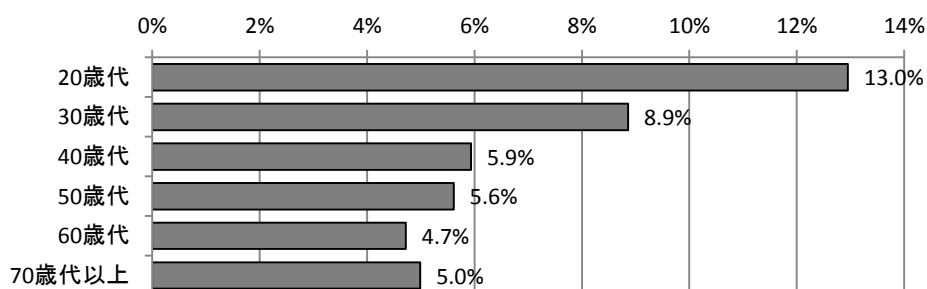


カルテなどの診療記録の請求状況についてみると、「開示を求めたことがある」を選択した回答者は、「20歳代」が13.0%と最も多く、次いで「30歳代」が8.9%、「40歳代」が5.9%であった。

表 58 カルテ開示の請求状況；年齢階級別（通院＋入院）

	総数	実数		%	
		開示を求めたことがある	開示を求めたことはない	開示を求めたことがある	開示を求めたことはない
総数	5,000	308	4,692	6.2%	93.8%
20歳代	193	25	168	13.0%	87.0%
30歳代	666	59	607	8.9%	91.1%
40歳代	1,230	73	1,157	5.9%	94.1%
50歳代	1,371	77	1,294	5.6%	94.4%
60歳代	1,059	50	1,009	4.7%	95.3%
70歳代以上	481	24	457	5.0%	95.0%

図 52 カルテ開示の請求状況；年齢階級別  
「開示を求めたことがある」を選択した回答者の割合（通院＋入院）

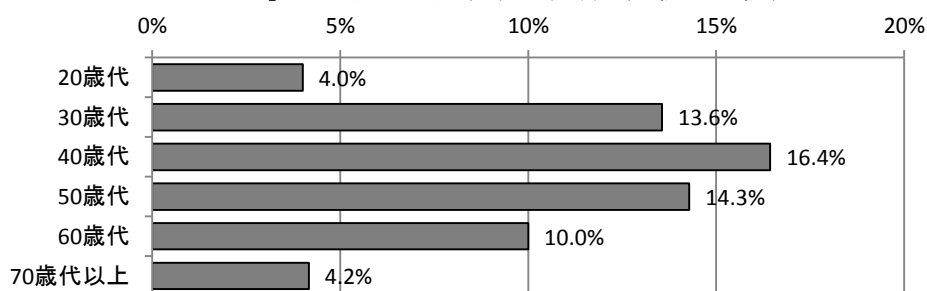


カルテの開示は役に立ったと思うかについてみると、「思わない」を選択した回答者は、「40歳代」が16.4%と最も多く、次いで「50歳代」が14.3%、「30歳代」が13.6%であった。

表 59 カルテ開示の有用性；年齢階級別（通院＋入院）

	総数	実数				%			
		十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
総数	308	91	161	38	18	29.5%	52.3%	12.3%	5.8%
20歳代	25	7	16	1	1	28.0%	64.0%	4.0%	4.0%
30歳代	59	20	27	8	4	33.9%	45.8%	13.6%	6.8%
40歳代	73	12	43	12	6	16.4%	58.9%	16.4%	8.2%
50歳代	77	26	37	11	3	33.8%	48.1%	14.3%	3.9%
60歳代	50	18	25	5	2	36.0%	50.0%	10.0%	4.0%
70歳代以上	24	8	13	1	2	33.3%	54.2%	4.2%	8.3%

図 53 カルテ開示の有用性；年齢階級別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院＋入院）



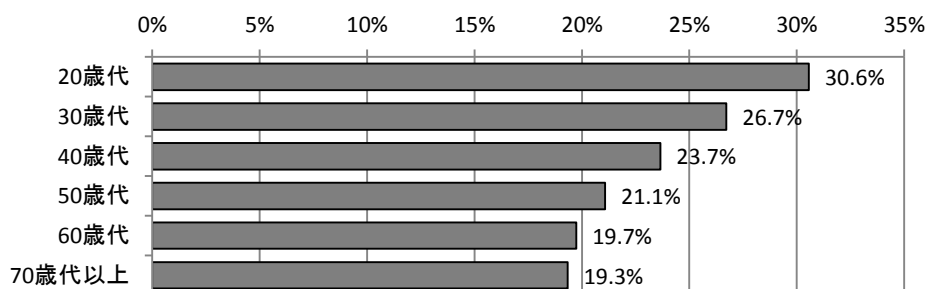
#### 4.1.5 セカンドオピニオン

セカンドオピニオンを利用したことがあるかについてみると、「ある」を選択した回答者は、「20歳代」が30.6%と最も多く、次いで「30歳代」が26.7%、「40歳代」が23.7%であった。

表 60 セカンドオピニオンの利用状況；年齢階級別（通院＋入院）

	総数	実数		%	
		ある	ない	ある	ない
総数	5,000	1,119	3,881	22.4%	77.6%
20歳代	193	59	134	30.6%	69.4%
30歳代	666	178	488	26.7%	73.3%
40歳代	1,230	291	939	23.7%	76.3%
50歳代	1,371	289	1,082	21.1%	78.9%
60歳代	1,059	209	850	19.7%	80.3%
70歳代以上	481	93	388	19.3%	80.7%

図 54 セカンドオピニオンの利用状況；年齢階級別  
「ある」を選択した回答者の割合（通院＋入院）

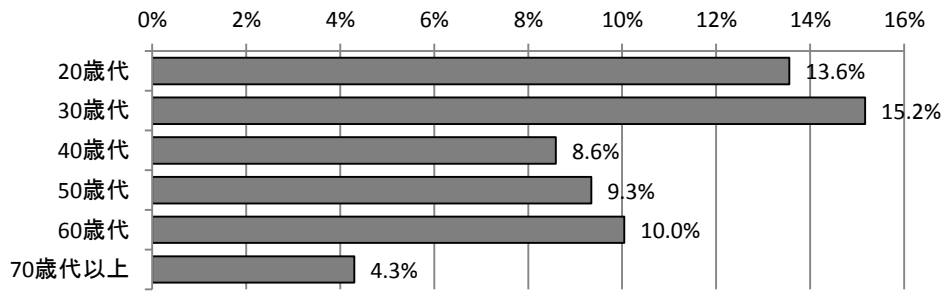


セカンドオピニオンの利用は役に立ったと思うかについてみると、「思わない」を選択した回答者は、「30歳代」が15.2%と最も多く、次いで「20歳代」が13.6%、「60歳代」が10.0%であった。

表 61 セカンドオピニオンの有用性；年齢階級別（通院＋入院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	1,119	389	574	112	44	34.8%	51.3%	10.0%	3.9%
20歳代	59	15	30	8	6	25.4%	50.8%	13.6%	10.2%
30歳代	178	57	86	27	8	32.0%	48.3%	15.2%	4.5%
40歳代	291	107	145	25	14	36.8%	49.8%	8.6%	4.8%
50歳代	289	103	150	27	9	35.6%	51.9%	9.3%	3.1%
60歳代	209	69	113	21	6	33.0%	54.1%	10.0%	2.9%
70歳代以上	93	38	50	4	1	40.9%	53.8%	4.3%	1.1%

図 55 セカンドオピニオンの有用性；年齢階級別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院＋入院）



## 4.2 患者と医療従事者の良好な関係づくりについて

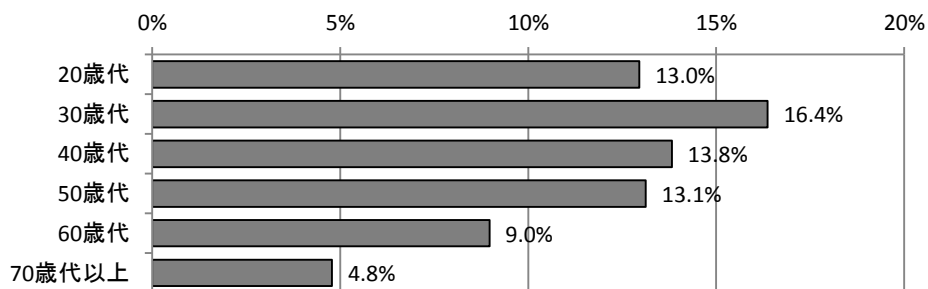
### 4.2.1 尊厳やプライバシーの保護

尊厳やプライバシーが守られていると思うかについてみると、「思わない」を選択した回答者は、「30歳代」が16.4%と最も多く、次いで「40歳代」が13.8%、「50歳代」が13.1%であった。

表 62 尊厳やプライバシーの保護；年齢階級別（通院＋入院）

	総数	実数				%			
		十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
総数	5,000	604	3,364	602	430	12.1%	67.3%	12.0%	8.6%
20歳代	193	28	116	25	24	14.5%	60.1%	13.0%	12.4%
30歳代	666	78	404	109	75	11.7%	60.7%	16.4%	11.3%
40歳代	1,230	141	788	170	131	11.5%	64.1%	13.8%	10.7%
50歳代	1,371	153	936	180	102	11.2%	68.3%	13.1%	7.4%
60歳代	1,059	121	773	95	70	11.4%	73.0%	9.0%	6.6%
70歳代以上	481	83	347	23	28	17.3%	72.1%	4.8%	5.8%

図 56 尊厳やプライバシーの保護；年齢階級別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院＋入院）



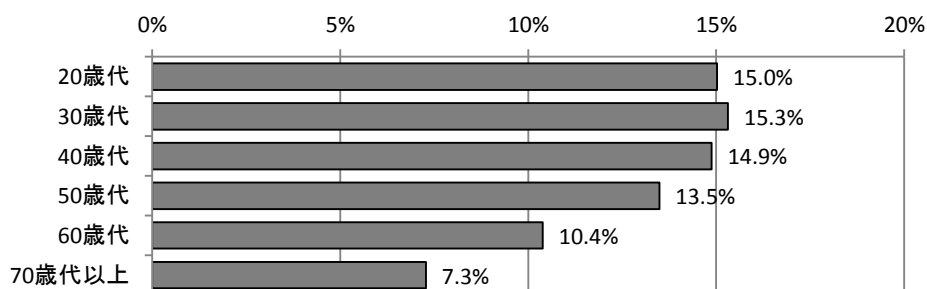
#### 4.2.2 自己決定権の尊重

自己決定権が尊重されていると思うかについてみると、「思わない」を選択した回答者は、「30歳代」が15.3%と最も多く、次いで「20歳代」が15.0%、「40歳代」が14.9%であった。

表 63 自己決定権の尊重；年齢階級別（通院＋入院）

	総数	実数				%			
		十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
総数	5,000	659	3,313	644	384	13.2%	66.3%	12.9%	7.7%
20歳代	193	27	110	29	27	14.0%	57.0%	15.0%	14.0%
30歳代	666	93	404	102	67	14.0%	60.7%	15.3%	10.1%
40歳代	1,230	156	770	183	121	12.7%	62.6%	14.9%	9.8%
50歳代	1,371	164	932	185	90	12.0%	68.0%	13.5%	6.6%
60歳代	1,059	147	743	110	59	13.9%	70.2%	10.4%	5.6%
70歳代以上	481	72	354	35	20	15.0%	73.6%	7.3%	4.2%

図 57 自己決定権の尊重；年齢階級別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院＋入院）





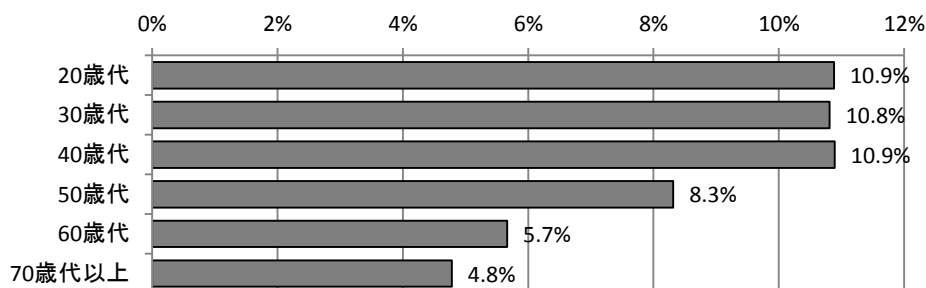
#### 4.2.3 医療従事者との良好な関係

医療従事者と良好な関係が築けていると思うかについてみると、「思わない」を選択した回答者は、「20歳代」、「40歳代」がそれぞれ10.9%、「30歳代」が10.8%であった。

表 64 医療従事者との良好な関係；年齢階級別（通院＋入院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	5,000	775	3,449	424	352	15.5%	69.0%	8.5%	7.0%
20歳代	193	26	115	21	31	13.5%	59.6%	10.9%	16.1%
30歳代	666	98	421	72	75	14.7%	63.2%	10.8%	11.3%
40歳代	1,230	161	833	134	102	13.1%	67.7%	10.9%	8.3%
50歳代	1,371	189	989	114	79	13.8%	72.1%	8.3%	5.8%
60歳代	1,059	187	759	60	53	17.7%	71.7%	5.7%	5.0%
70歳代以上	481	114	332	23	12	23.7%	69.0%	4.8%	2.5%

図 58 医療従事者との良好な関係；年齢階級別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院＋入院）



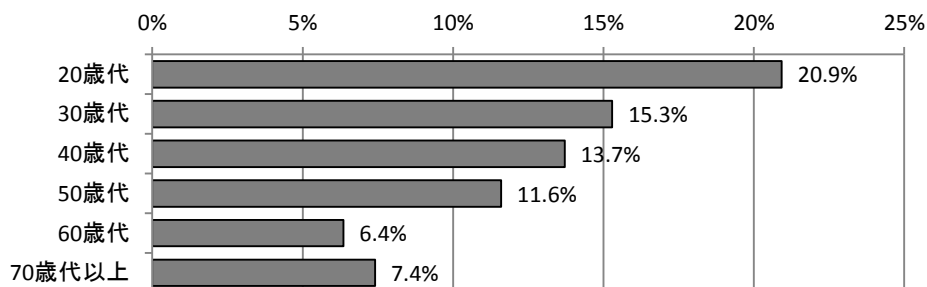
#### 4.2.4 患者と医療従事者の良好な関係づくりに向けた課題

「尊厳やプライバシーが守られている」「自己決定権（あなたご自身の診断や治療の内容などに対する意思）が尊重されている」「医療従事者と良好な関係が築けている」と思わない理由についてみると、「疾病を理由とする差別・偏見を感じたから」を選択した回答者は、「20歳代」が20.9%と最も多く、次いで「30歳代」が15.3%、「40歳代」が13.7%であった。

表 65 患者と医療従事者の良好な関係づくりができていない理由；年齢階級別（通院＋入院）

	総数	実数					%						
		か ら 提 供 者 が 情 報 不 十 分 な 思 い わ れ て い る	医 療 に 関 する 説 明 が 不 十 分 な 思 い わ れ て い る	か ら 提 供 者 が 情 報 不 十 分 な 思 い わ れ て い る	ら 別 病 を 理 由 と す る 差 別 ・ 偏 見 を 感 じ た か ら	不 親 切 な 対 応 が あ る	医 療 従 事 者 の 資 格 が 不 十 分 な 思 い わ れ て い る	そ の 他	か ら 提 供 者 が 情 報 不 十 分 な 思 い わ れ て い る	医 療 に 関 する 説 明 が 不 十 分 な 思 い わ れ て い る	か ら 提 供 者 が 情 報 不 十 分 な 思 い わ れ て い る	ら 別 病 を 理 由 と す る 差 別 ・ 偏 見 を 感 じ た か ら	不 親 切 な 対 応 が あ る
総数	1,032	421	390	125	362	168	40.8%	37.8%	12.1%	35.1%	16.3%		
20歳代	43	20	18	9	17	8	46.5%	41.9%	20.9%	39.5%	18.6%		
30歳代	170	78	68	26	65	21	45.9%	40.0%	15.3%	38.2%	12.4%		
40歳代	299	126	108	41	113	58	42.1%	36.1%	13.7%	37.8%	19.4%		
50歳代	293	106	109	34	95	44	36.2%	37.2%	11.6%	32.4%	15.0%		
60歳代	173	70	64	11	61	29	40.5%	37.0%	6.4%	35.3%	16.8%		
70歳代以上	54	21	23	4	11	8	38.9%	42.6%	7.4%	20.4%	14.8%		

図 59 患者と医療従事者の良好な関係づくりができていない理由；年齢階級別  
「疾病を理由とする差別・偏見を感じたから」を選択した回答者の割合（通院＋入院）



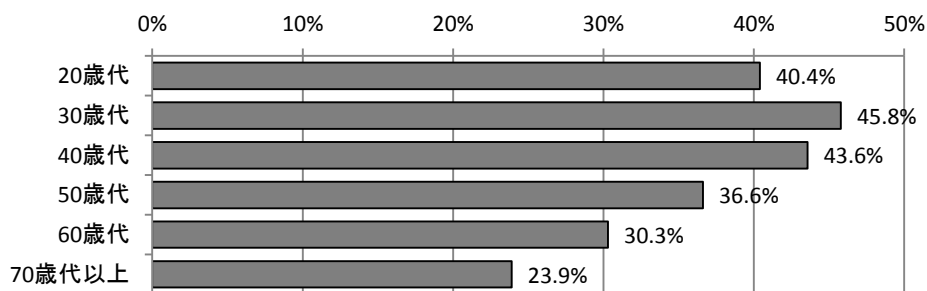
#### 4.2.5 医療機関における取り組みの周知状況

患者と医療従事者が良好な関係を築くための取り組みを知っているかについてみると、「知っているものはない」を選択した回答者は、「30歳代」が45.8%と最も多く、次いで「40歳代」が43.6%、「20歳代」が40.4%であった。

表 66 医療機関における取り組みの周知状況；年齢階級別（通院＋入院）

	総数	実数													%																												
		患者や家族の声を聴くための相談窓口の設置・苦情を聴くための意見箱の設置・苦情を聴くための患者満足度調査の実施（患者アンケート調査）	患者や家族と医療従事者に関する勉強会	診療結果が記載された紙等の交付	患者への医療情報提供のためのパンフレット等の配布	患者と医療従事者の相互理解の促進のための指針の作成や宣言等の提示	その他の取り組み	知っているものはない	患者や家族の声を聴くための相談窓口の設置・苦情を聴くための意見箱の設置・苦情を聴くための患者満足度調査の実施（患者アンケート調査）	患者や家族と医療従事者に関する勉強会	診療結果が記載された紙等の交付	患者への医療情報提供のためのパンフレット等の配布	患者と医療従事者の相互理解の促進のための指針の作成や宣言等の提示	患者や家族の声を聴くための相談窓口の設置・苦情を聴くための意見箱の設置・苦情を聴くための患者満足度調査の実施（患者アンケート調査）	患者や家族と医療従事者に関する勉強会	診療結果が記載された紙等の交付	患者への医療情報提供のためのパンフレット等の配布	患者と医療従事者の相互理解の促進のための指針の作成や宣言等の提示	患者や家族の声を聴くための相談窓口の設置・苦情を聴くための意見箱の設置・苦情を聴くための患者満足度調査の実施（患者アンケート調査）	患者や家族と医療従事者に関する勉強会	診療結果が記載された紙等の交付	患者への医療情報提供のためのパンフレット等の配布	患者と医療従事者の相互理解の促進のための指針の作成や宣言等の提示	患者や家族の声を聴くための相談窓口の設置・苦情を聴くための意見箱の設置・苦情を聴くための患者満足度調査の実施（患者アンケート調査）	患者や家族と医療従事者に関する勉強会	診療結果が記載された紙等の交付	患者への医療情報提供のためのパンフレット等の配布	患者と医療従事者の相互理解の促進のための指針の作成や宣言等の提示	患者や家族の声を聴くための相談窓口の設置・苦情を聴くための意見箱の設置・苦情を聴くための患者満足度調査の実施（患者アンケート調査）	患者や家族と医療従事者に関する勉強会	診療結果が記載された紙等の交付	患者への医療情報提供のためのパンフレット等の配布	患者と医療従事者の相互理解の促進のための指針の作成や宣言等の提示	患者や家族の声を聴くための相談窓口の設置・苦情を聴くための意見箱の設置・苦情を聴くための患者満足度調査の実施（患者アンケート調査）									
総数	5,000	1,810	1,719	1,007	919	1,686	745	1,464	36	1,857	36.2%	34.4%	20.1%	18.4%	33.7%	14.9%	29.3%	0.7%	37.1%	20.2%	20.2%	13.5%	20.2%	0.5%	40.4%	24.0%	24.0%	14.3%	24.0%	0.5%	45.8%	24.0%	24.0%	14.3%	24.0%	0.5%	45.8%	24.0%	24.0%	14.3%	24.0%	0.5%	45.8%
20歳代	193	53	61	35	29	44	26	39	1	78	27.5%	31.6%	18.1%	15.0%	22.8%	13.5%	20.2%	0.5%	40.4%	20.2%	20.2%	13.5%	20.2%	0.5%	45.8%	24.0%	24.0%	14.3%	24.0%	0.5%	45.8%	24.0%	24.0%	14.3%	24.0%	0.5%	45.8%	24.0%	24.0%	14.3%	24.0%	0.5%	45.8%
30歳代	666	198	214	132	109	163	95	160	3	305	29.7%	32.1%	19.8%	16.4%	24.5%	14.3%	24.0%	0.5%	45.8%	24.0%	24.0%	14.3%	24.0%	0.5%	45.8%	24.0%	24.0%	14.3%	24.0%	0.5%	45.8%	24.0%	24.0%	14.3%	24.0%	0.5%	45.8%	24.0%	24.0%	14.3%	24.0%	0.5%	45.8%
40歳代	1,230	392	401	250	209	336	164	318	6	536	31.9%	32.6%	20.3%	17.0%	27.3%	13.3%	25.9%	0.5%	43.6%	24.0%	24.0%	14.3%	24.0%	0.5%	43.6%	24.0%	24.0%	14.3%	24.0%	0.5%	43.6%	24.0%	24.0%	14.3%	24.0%	0.5%	43.6%	24.0%	24.0%	14.3%	24.0%	0.5%	43.6%
50歳代	1,371	515	466	276	243	453	202	392	11	502	37.6%	34.0%	20.1%	17.7%	33.0%	14.7%	28.6%	0.8%	36.6%	24.0%	24.0%	14.3%	24.0%	0.8%	36.6%	24.0%	24.0%	14.3%	24.0%	0.8%	36.6%	24.0%	24.0%	14.3%	24.0%	0.8%	36.6%	24.0%	24.0%	14.3%	24.0%	0.8%	36.6%
60歳代	1,059	438	367	213	222	462	163	364	8	321	41.4%	34.7%	20.1%	21.0%	43.6%	15.4%	34.4%	0.8%	30.3%	24.0%	24.0%	14.3%	24.0%	0.8%	30.3%	24.0%	24.0%	14.3%	24.0%	0.8%	30.3%	24.0%	24.0%	14.3%	24.0%	0.8%	30.3%	24.0%	24.0%	14.3%	24.0%	0.8%	30.3%
70歳代以上	481	214	210	101	107	228	95	191	7	115	44.5%	43.7%	21.0%	22.2%	47.4%	19.8%	39.7%	1.5%	23.9%	24.0%	24.0%	14.3%	24.0%	1.5%	23.9%	24.0%	24.0%	14.3%	24.0%	1.5%	23.9%	24.0%	24.0%	14.3%	24.0%	1.5%	23.9%	24.0%	24.0%	14.3%	24.0%	1.5%	23.9%

図 60 医療機関における取り組みの周知状況；年齢階級別  
「知っているものはない」を選択した回答者の割合（通院＋入院）

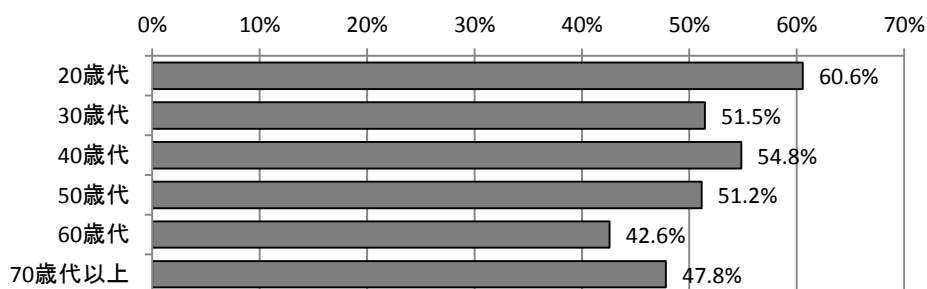


患者と医療従事者が良好な関係を築くための取り組みを、実際に利用したことがあるかについてみると、「利用したことがあるものはない」を選択した回答者は、「20歳代」が60.6%と最も多く、次いで「40歳代」が54.8%、「30歳代」が51.5%であった。

表 67 医療機関における取り組みの利用状況；年齢階級別（通院＋入院）

	総数	実数							%									
		患者や家族の声を聴くための相談窓口の設置・苦	患者や家族の意見や相談の設置・苦	患者や家族の声を聴くためのアンケート調査の実施	患者や家族の相談・要望・苦	患者や家族の相談・要望・苦	患者や家族の相談・要望・苦	患者や家族の相談・要望・苦	診療結果が記載された紙等の交付	その他の取り組み	利用したことがあるものはない	患者や家族の声を聴くための相談窓口の設置・苦	患者や家族の意見や相談の設置・苦	患者や家族の相談・要望・苦	患者や家族の相談・要望・苦	患者や家族の相談・要望・苦	患者や家族の相談・要望・苦	診療結果が記載された紙等の交付
総数	2,932	315	223	290	199	1,040	20	1,463	10.7%	7.6%	9.9%	6.8%	35.5%	0.7%	49.9%			
20歳代	104	11	11	8	3	22	0	63	10.6%	10.6%	7.7%	2.9%	21.2%	0.0%	60.6%			
30歳代	342	56	40	35	21	82	0	176	16.4%	11.7%	10.2%	6.1%	24.0%	0.0%	51.5%			
40歳代	629	60	48	79	42	193	3	345	9.5%	7.6%	12.6%	6.7%	30.7%	0.5%	54.8%			
50歳代	817	85	64	73	50	271	8	418	10.4%	7.8%	8.9%	6.1%	33.2%	1.0%	51.2%			
60歳代	695	74	39	64	60	320	4	296	10.6%	5.6%	9.2%	8.6%	46.0%	0.6%	42.6%			
70歳代以上	345	29	21	31	23	152	5	165	8.4%	6.1%	9.0%	6.7%	44.1%	1.4%	47.8%			

図 61 医療機関における取り組みの利用状況；年齢階級別  
「利用したことがあるものはない」を選択した回答者の割合（通院・入院）



## 4.3 その他

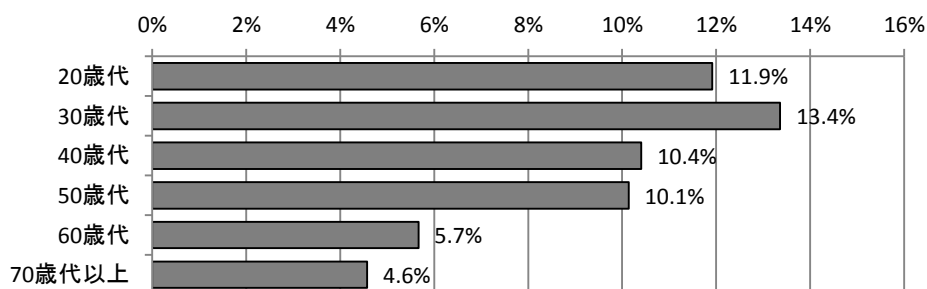
### 4.3.1 適切なタイミングで必要な医療を受ける権利

「適切なタイミングで必要な医療を受ける権利」が保障されていると思うかについてみると、「思わない」を選択した回答者は、「30歳代」が13.4%と最も多く、次いで「20歳代」が11.9%、「40歳代」が10.4%であった。

表 68 適切なタイミングで必要な医療を受ける権利の保障；年齢階級別（通院＋入院）

	総数	実数				%			
		十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
総数	5,000	650	3,472	461	417	13.0%	69.4%	9.2%	8.3%
20歳代	193	26	111	23	33	13.5%	57.5%	11.9%	17.1%
30歳代	666	88	411	89	78	13.2%	61.7%	13.4%	11.7%
40歳代	1,230	149	829	128	124	12.1%	67.4%	10.4%	10.1%
50歳代	1,371	166	967	139	99	12.1%	70.5%	10.1%	7.2%
60歳代	1,059	139	798	60	62	13.1%	75.4%	5.7%	5.9%
70歳代以上	481	82	356	22	21	17.0%	74.0%	4.6%	4.4%

図 62 適切なタイミングで必要な医療を受ける権利の保障；年齢階級別「思わない」を選択した回答者の割合（通院・入院）



## 5. 設問間クロス集計の結果

本章では、患者向けアンケート調査の結果について、通院と入院を合わせ、設問「医療情報の提供と説明について」及び「患者と医療従事者の良好な関係づくりについて」のクロス集計を行った。1.1.1 調査目的に沿い、一方の設問で「思わない」と回答した者について、他方の回答を詳細に確認した。

### 5.1 適切なタイミングでの医療情報の提供について

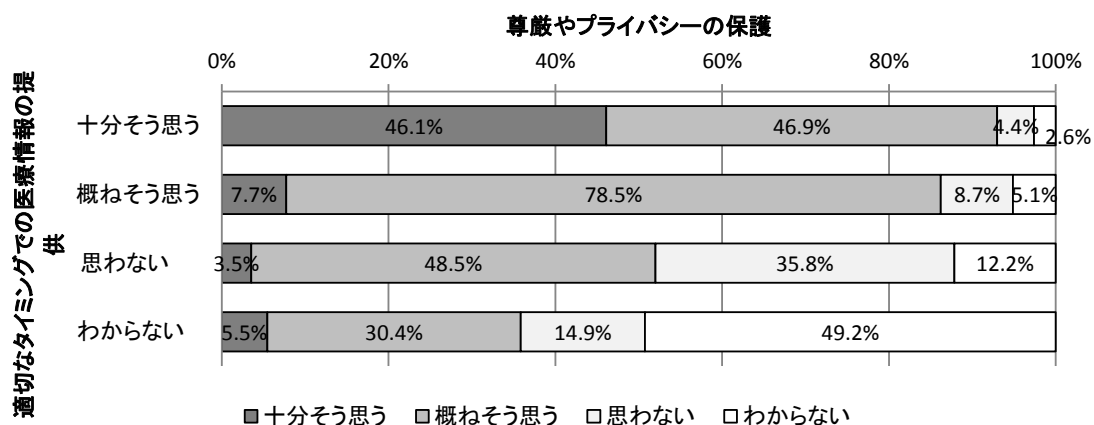
#### 5.1.1 尊厳やプライバシーの保護

診断や治療の内容などについて、適切なタイミングで医療情報の提供を受けていると「思わない」と回答した者で、尊厳やプライバシーが守られているかについてみると、「概ねそう思う」が48.5%と最も多く、次いで「思わない」が35.8%、「わからない」が12.2%であった。

表 69 尊厳やプライバシーの保護;適切なタイミングでの医療情報の提供別(通院+入院)

	総数	尊厳やプライバシーの保護								
		回答数				%				
		十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	
適切なタイミングでの医療情報の提供	総数	5,000	604	3,364	602	430	12.1%	67.3%	12.0%	8.6%
	十分そう思う	657	303	308	29	17	46.1%	46.9%	4.4%	2.6%
	概ねそう思う	3,364	260	2,641	291	172	7.7%	78.5%	8.7%	5.1%
	思わない	650	23	315	233	79	3.5%	48.5%	35.8%	12.2%
	わからない	329	18	100	49	162	5.5%	30.4%	14.9%	49.2%

図 63 尊厳やプライバシーの保護;適切なタイミングでの医療情報の提供別(通院+入院)



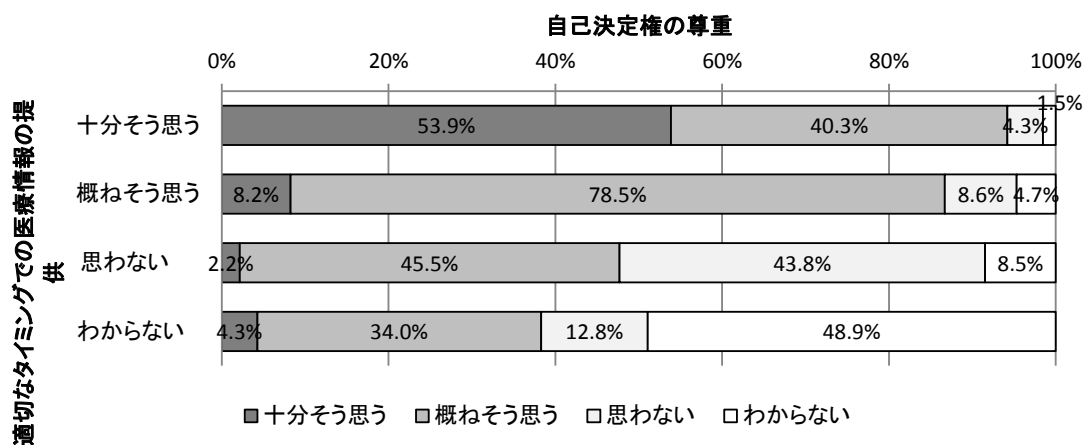
### 5.1.2 自己決定権の尊重

診断や治療の内容などについて、適切なタイミングで医療情報の提供を受けていると「思わない」と回答した者で、自己決定権が尊重されているかについてみると、「概ねそう思う」が45.5%と最も多く、次いで「思わない」が43.8%、「わからない」が8.5%であった。

表 70 自己決定権の尊重；適切なタイミングでの医療情報の提供別（通院＋入院）

		自己決定権								
		総数	回答数				%			
			十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
適切なタイミングでの医療情報の提供	総数	5,000	659	3,313	644	384	13.2%	66.3%	12.9%	7.7%
	十分そう思う	657	354	265	28	10	53.9%	40.3%	4.3%	1.5%
	概ねそう思う	3,364	277	2,640	289	158	8.2%	78.5%	8.6%	4.7%
	思わない	650	14	296	285	55	2.2%	45.5%	43.8%	8.5%
	わからない	329	14	112	42	161	4.3%	34.0%	12.8%	48.9%

図 64 自己決定権の尊重；適切なタイミングでの医療情報の提供別（通院＋入院）



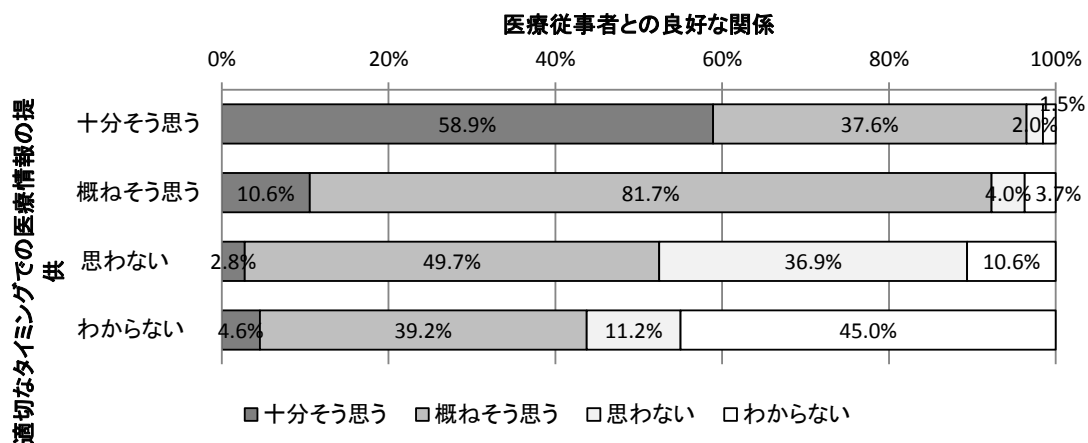
### 5.1.3 医療従事者との良好な関係

診断や治療の内容などについて、適切なタイミングで医療情報の提供を受けていると「思わない」と回答した者で、医療従事者と良好な関係が築けているかについてみると、「概ねそう思う」が49.7%と最も多く、次いで「思わない」が36.9%、「わからない」が10.6%であった。

表 71 医療従事者との良好な関係;適切なタイミングでの医療情報の提供別(通院+入院)

	総数	良好な関係								
		回答数				%				
		十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	
適切なタイミングでの医療情報の提供	総数	5,000	775	3,449	424	352	15.5%	69.0%	8.5%	7.0%
	十分そう思う	657	387	247	13	10	58.9%	37.6%	2.0%	1.5%
	概ねそう思う	3,364	355	2,750	134	125	10.6%	81.7%	4.0%	3.7%
	思わない	650	18	323	240	69	2.8%	49.7%	36.9%	10.6%
	わからない	329	15	129	37	148	4.6%	39.2%	11.2%	45.0%

図 65 医療従事者との良好な関係;適切なタイミングでの医療情報の提供別(通院+入院)





## 5.2 必要とする量の医療情報の提供について

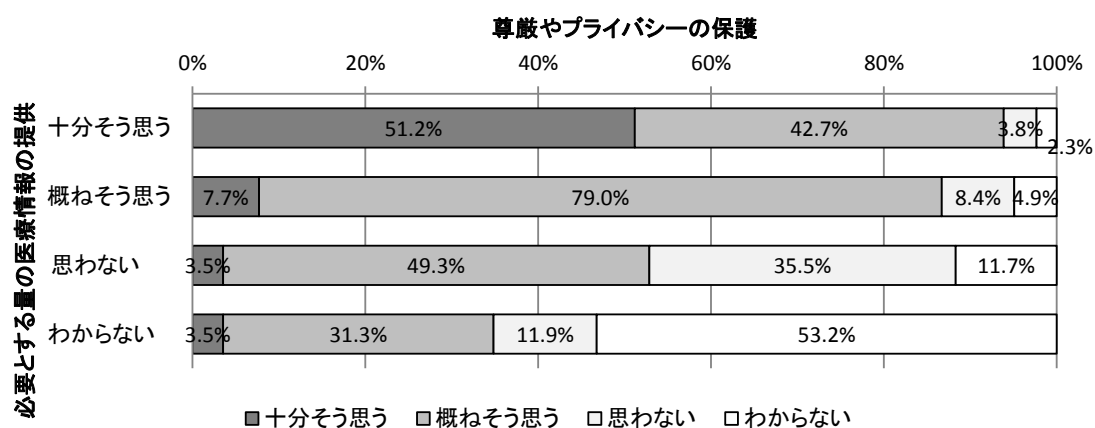
### 5.2.1 尊厳やプライバシーの保護

診断や治療の内容などについて、必要とする量の医療情報の提供を受けていると「思わない」と回答した者で、尊厳やプライバシーが守られているかについてみると、「概ねそう思う」が49.3%と最も多く、次いで「思わない」が35.5%、「わからない」が11.7%であった。

表 72 尊厳やプライバシーの保護；必要とする量の医療情報の提供別（通院＋入院）

		尊厳やプライバシーの保護								
		総数	回答数				%			
			十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
必要とする量の医療情報の提供	総数	5,000	604	3,364	602	430	12.1%	67.3%	12.0%	8.6%
	十分そう思う	604	309	258	23	14	51.2%	42.7%	3.8%	2.3%
	概ねそう思う	3,350	258	2,646	281	165	7.7%	79.0%	8.4%	4.9%
	思わない	736	26	363	261	86	3.5%	49.3%	35.5%	11.7%
	わからない	310	11	97	37	165	3.5%	31.3%	11.9%	53.2%

図 66 尊厳やプライバシーの保護；必要とする量の医療情報の提供別（通院＋入院）



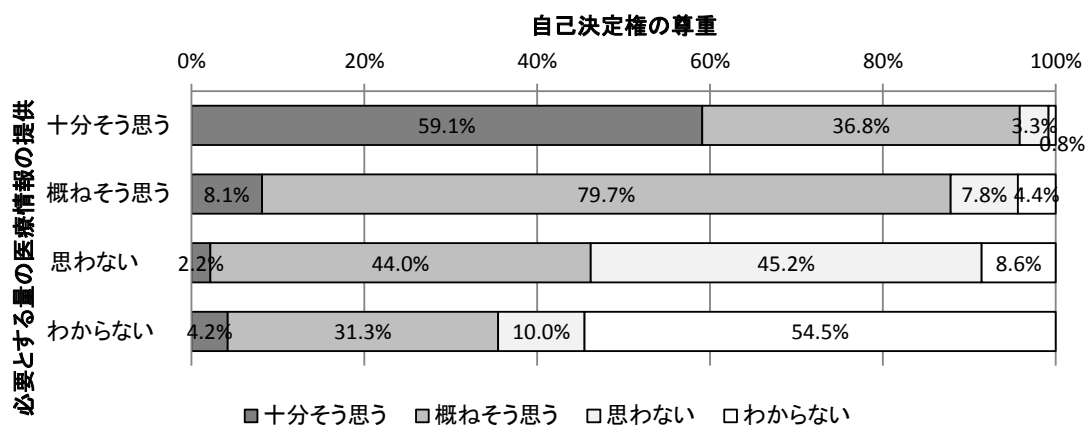
## 5.2.2 自己決定権の尊重

診断や治療の内容などについて、必要とする量の医療情報の提供を受けていると「思わない」と回答した者で、自己決定権が尊重されているかについてみると、「思わない」が45.2%と最も多く、次いで「概ねそう思う」が44.0%、「わからない」が8.6%であった。

表 73 自己決定権の尊重；必要とする量の医療情報の提供別（通院＋入院）

		自己決定権								
		総数	回答数				%			
			十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
必要とする量の医療情報の提供	総数	5,000	659	3,313	644	384	13.2%	66.3%	12.9%	7.7%
	十分そう思う	604	357	222	20	5	59.1%	36.8%	3.3%	0.8%
	概ねそう思う	3,350	273	2,670	260	147	8.1%	79.7%	7.8%	4.4%
	思わない	736	16	324	333	63	2.2%	44.0%	45.2%	8.6%
	わからない	310	13	97	31	169	4.2%	31.3%	10.0%	54.5%

図 67 自己決定権の尊重；必要とする量の医療情報の提供別（通院＋入院）



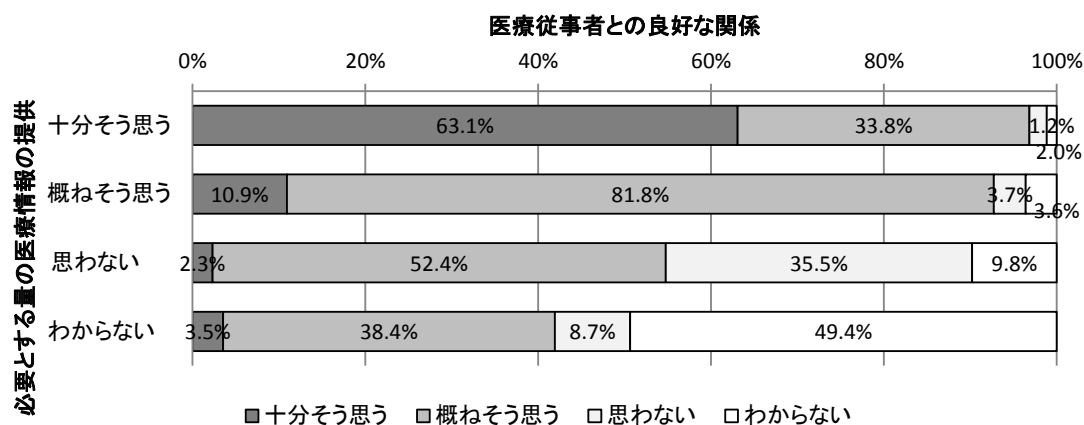
### 5.2.3 医療従事者との良好な関係

診断や治療の内容などについて、必要とする量の医療情報の提供を受けていると「思わない」と回答した者で、医療従事者と良好な関係が築けているかについてみると、「概ねそう思う」が52.4%と最も多く、次いで「思わない」が35.5%、「わからない」が9.8%であった。

表 74 医療従事者との良好な関係；必要とする量の医療情報の提供別（通院＋入院）

		良好な関係								
		総数	回答数				%			
			十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
必要とする量の医療情報の提供	総数	5,000	775	3,449	424	352	15.5%	69.0%	8.5%	7.0%
	十分そう思う	604	381	204	12	7	63.1%	33.8%	2.0%	1.2%
	概ねそう思う	3,350	366	2,740	124	120	10.9%	81.8%	3.7%	3.6%
	思わない	736	17	386	261	72	2.3%	52.4%	35.5%	9.8%
	わからない	310	11	119	27	153	3.5%	38.4%	8.7%	49.4%

図 68 医療従事者との良好な関係；必要とする量の医療情報の提供別（通院＋入院）



### 5.3 分かりやすい医療情報の説明について

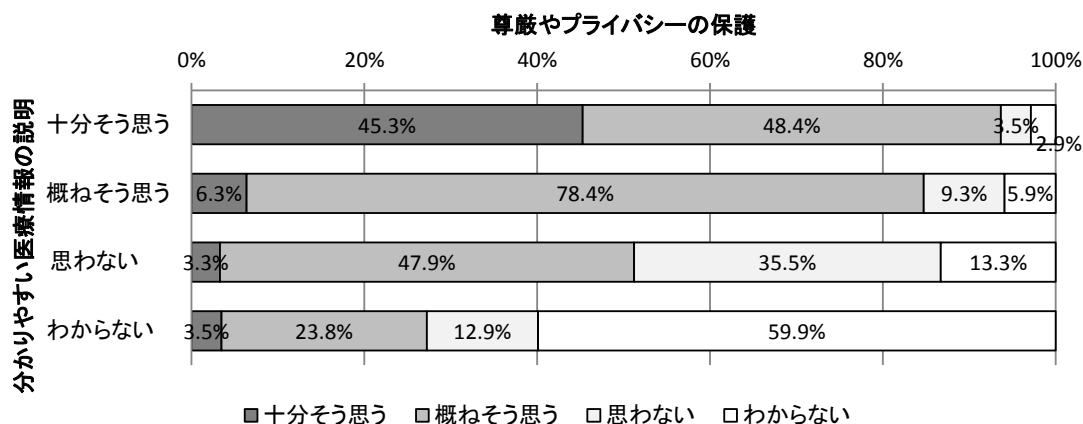
#### 5.3.1 尊厳やプライバシーの保護

診断や治療の内容などについて、理解できるように分かりやすく医療情報について説明を受けていると「思わない」と回答した者で、尊厳やプライバシーが守られているかについてみると、「概ねそう思う」が47.9%と最も多く、次いで「思わない」が35.5%、「わからない」が13.3%であった。

表 75 尊厳やプライバシーの保護；分かりやすい医療情報の説明別（通院＋入院）

		尊厳やプライバシーの保護								
		総数	回答数				%			
			十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
分かりやすい医療情報の説明	総数	5,000	604	3,364	602	430	12.1%	67.3%	12.0%	8.6%
	十分そう思う	804	364	389	28	23	45.3%	48.4%	3.5%	2.9%
	概ねそう思う	3,324	211	2,606	310	197	6.3%	78.4%	9.3%	5.9%
	思わない	670	22	321	238	89	3.3%	47.9%	35.5%	13.3%
	わからない	202	7	48	26	121	3.5%	23.8%	12.9%	59.9%

図 69 尊厳やプライバシーの保護；分かりやすい医療情報の説明別（通院＋入院）



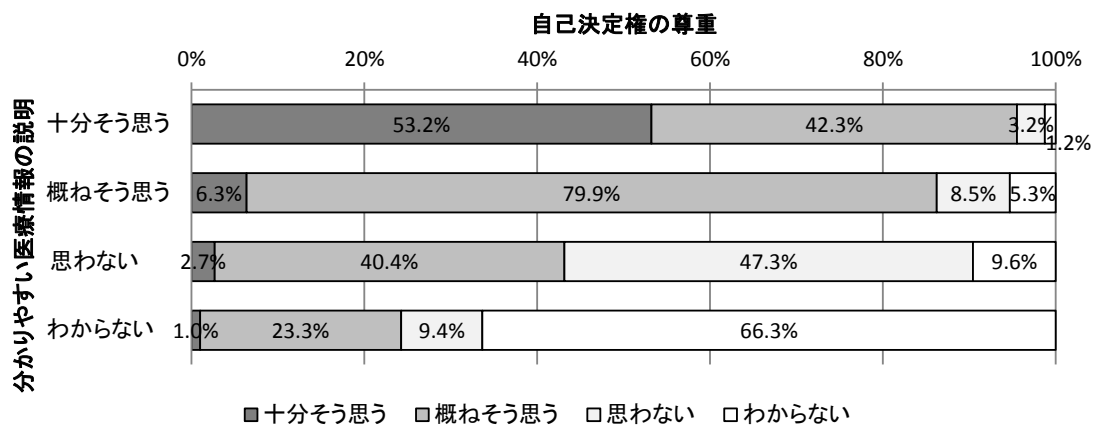
### 5.3.2 自己決定権の尊重

診断や治療の内容などについて、理解できるように分かりやすく医療情報について説明を受けていると「思わない」と回答した者で、自己決定権が尊重されているかについてみると、「思わない」が47.3%と最も多く、次いで「概ねそう思う」が40.4%、「わからない」が9.6%であった。

表 76 自己決定権の尊重；分かりやすい医療情報の説明別（通院＋入院）

	総数	自己決定権								
		回答数				%				
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	
分かりやすい医療情報の説明	総数	5,000	659	3,313	644	384	13.2%	66.3%	12.9%	7.7%
	十分そう思う	804	428	340	26	10	53.2%	42.3%	3.2%	1.2%
	概ねそう思う	3,324	211	2,655	282	176	6.3%	79.9%	8.5%	5.3%
	思わない	670	18	271	317	64	2.7%	40.4%	47.3%	9.6%
	わからない	202	2	47	19	134	1.0%	23.3%	9.4%	66.3%

図 70 自己決定権の尊重；分かりやすい医療情報の説明別（通院＋入院）



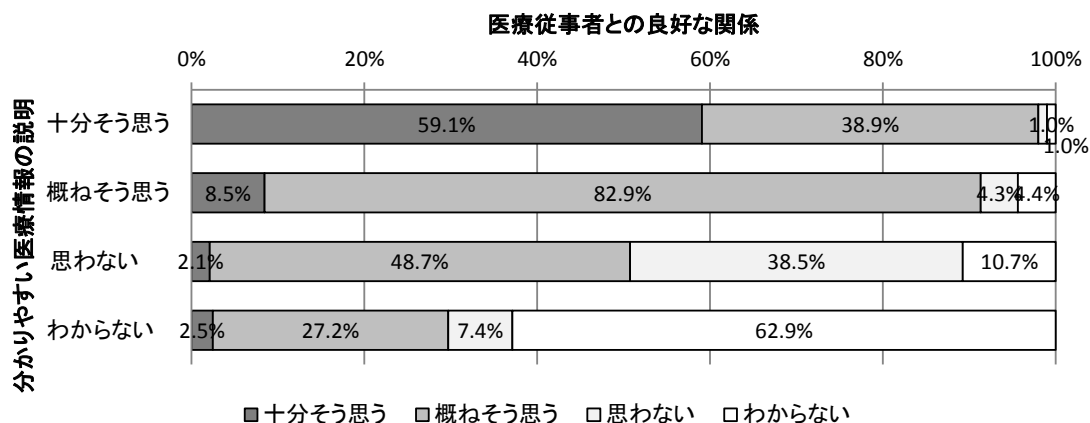
### 5.3.3 医療従事者との良好な関係

診断や治療の内容などについて、理解できるように分かりやすく医療情報について説明を受けていると「思わない」と回答した者で、医療従事者と良好な関係が築けているかについてみると、「概ねそう思う」が48.7%と最も多く、次いで「思わない」が38.5%、「わからない」が10.7%であった。

表 77 医療従事者との良好な関係；分かりやすい医療情報の説明別（通院＋入院）

	総数	良好な関係								
		回答数				%				
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わから ない	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わから ない	
分かりや すい医療 情報の説 明	総数	5,000	775	3,449	424	352	15.5%	69.0%	8.5%	7.0%
	十分そう 思う	804	475	313	8	8	59.1%	38.9%	1.0%	1.0%
	概ねそう 思う	3,324	281	2,755	143	145	8.5%	82.9%	4.3%	4.4%
	思わない	670	14	326	258	72	2.1%	48.7%	38.5%	10.7%
	わからない	202	5	55	15	127	2.5%	27.2%	7.4%	62.9%

図 71 医療従事者との良好な関係；分かりやすい医療情報の説明別（通院＋入院）



## 参考資料

### 1：調査票

アンケートページにアクセスいただきまして、ありがとうございます。  
今回のアンケートは、「**あなたご自身についてのアンケート**」です。

#### 【モニターの皆様へのお願い】

本アンケートは一般に公開していない情報が含まれる場合がございます。  
アンケート内で知り得た、いかなる情報についても、決して第三者に口外なさらぬようお願いいたします。

#### 「第三者への口外」に含まれる例

- ・口頭、電話、メール等で友人・知人に情報共有すること
- ・掲示板やブログに書き込むことで不特定多数に情報共有すること
- ・その他いかなる手段でも情報が漏れてしまうことに寄与する行為

#### 【注意事項】

- ・当社は会員の個人情報を、個人情報保護方針に基づいて取り扱います。
- ・複数のアンケート画面を同時に開きますと、正常に回答できず、ポイント付与の対象になりません。同時に複数のアンケートにご回答なされないようご注意ください。
- ・当社のアンケートへの回答は、Internet Explorer 10、11、Google Chrome 最新版を推奨環境としています。

「同意し、アンケート開始」ボタンをクリックすると、アンケート画面が別ウィンドウで表示されます。  
上記注意事項にご同意いただけない場合は、ブラウザを閉じて終了してください。

同意し、アンケート開始

改ページ

Q1 あなたの年齢を教えてください。  
【必須】

- 1. 20代
- 2. 30代
- 3. 40代
- 4. 50代
- 5. 60代
- 6. 70代以上

次へ

改ページ

Q2 あなたの性別を教えてください。  
【必須】

- 1. 男
- 2. 女
- 3. 答えたくない

次へ

改ページ

Q3 お住まいの都道府県を教えてください。  
【必須】

- |                              |                               |                               |                               |                               |
|------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| <input type="radio"/> 1. 北海道 | <input type="radio"/> 11. 埼玉県 | <input type="radio"/> 21. 岐阜県 | <input type="radio"/> 31. 鳥取県 | <input type="radio"/> 41. 佐賀県 |
| <input type="radio"/> 2. 青森県 | <input type="radio"/> 12. 千葉県 | <input type="radio"/> 22. 静岡県 | <input type="radio"/> 32. 島根県 | <input type="radio"/> 42. 長崎県 |
| <input type="radio"/> 3. 岩手県 | <input type="radio"/> 13. 東京都 | <input type="radio"/> 23. 愛知県 | <input type="radio"/> 33. 岡山県 | <input type="radio"/> 43. 熊本県 |

- 4. 宮城県
- 5. 秋田県
- 6. 山形県
- 7. 福島県
- 8. 茨城県
- 9. 栃木県
- 10. 群馬県
- 14. 神奈川県
- 15. 新潟県
- 16. 富山県
- 17. 石川県
- 18. 福井県
- 19. 山梨県
- 20. 長野県
- 24. 三重県
- 25. 滋賀県
- 26. 京都府
- 27. 大阪府
- 28. 兵庫県
- 29. 奈良県
- 30. 和歌山県
- 34. 広島県
- 35. 山口県
- 36. 徳島県
- 37. 香川県
- 38. 愛媛県
- 39. 高知県
- 40. 福岡県
- 44. 大分県
- 45. 宮崎県
- 46. 鹿児島県
- 47. 沖縄県

次へ

改ページ

**Q4** あなたは、以下のいずれかの資格をもっていますか。(複数回答可)

**【必須】**

- 1. 医師
- 2. 歯科医師
- 3. 薬剤師
- 4. 看護師・准看護師
- 5. もっていない(排他)

次へ

改ページ

通院状況についておたずねします。

**Q5** あなたは、この6か月間で医療機関(病院や診療所、歯科医院)に通院したことがありますか。  
**【必須】** ○通院には、往診、訪問診療を含みます。  
 ○健診等(健康診断、健康診査及び人間ドック)による通院は除いて下さい。

- 1. 通院したことがある(現在通院している場合を含む)
- 2. 通院したことはない

次へ

改ページ

分岐条件

分岐条件式 : (Q5 or 1)

**Q6** どのような傷病(病気やけが)で通院しましたか。あてはまる傷病すべてにチェックをつけて下さい。

**【必須】**

感染症

- 1. 結核
- 2. 肝炎
- 3. HIV/エイズ
- 4. ハンセン病
- 5. その他の感染症→(  )(回答必須)

歯

- 28. 歯の病気

皮膚

- 29. アトピー性皮膚炎
- 30. その他の皮膚の病気

内分泌・代謝障害

- 6. 糖尿病
- 7. 肥満症
- 8. 脂質異常症(高コレステロール血症等)
- 9. 甲状腺の病気

筋骨格系

- 31. 痛風
- 32. 関節リウマチ
- 33. 関節症
- 34. 肩こり症
- 35. 腰痛症
- 36. 骨粗しょう症

精神・神経

- 10. うつ病やその他のこころの病気
- 11. 認知症
- 12. パーキンソン病
- 13. その他の神経の病気(神経痛、麻痺等)

尿路生殖器系

- 37. 腎臓の病気
- 38. 前立腺肥大症
- 39. 閉経期又は閉経後障害(更年期障害等)

眼

- 14. 眼の病気

損傷

- 40. 骨折



- 耳
- 15. 耳の病気
- 循環器系
- 16. 高血圧症
  - 17. 脳卒中(脳出血、脳梗塞等)
  - 18. 狭心症・心筋梗塞
  - 19. その他の循環器系の病気
- 呼吸器系
- 20. 急性鼻咽頭炎(かぜ)
  - 21. アレルギー性鼻炎
  - 22. 慢性閉塞性肺疾患(COPD)
  - 23. 喘息
  - 24. その他の呼吸器系の病気
- 消化器系
- 25. 胃・十二指腸の病気
  - 26. 肝臓・胆のうの病気
  - 27. その他の消化器系の病気
- 41. 骨折以外のけが・やけど
- 貧血・血液
- 42. 貧血・血液の病気
- 悪性新生物
- 43. 悪性新生物(がん)
- 妊娠・産褥
- 44. 妊娠・産褥(切迫流産、前置胎盤等)
- 不妊症
- 45. 不妊症
- その他
- 46. その他→具体的に( ) (回答必須)
  - 47. 不明

次へ

改ページ

分岐条件

分岐条件式 : (Q5 or 1)

**Q7** **【必須】** Q4.で選択した傷病(病気やけが)で通院した医療機関すべてにチェックをつけて下さい。

- 1. 病院
- 2. 診療所
- 3. 歯科医院

次へ

改ページ

分岐条件

分岐条件式 : (Q5 or 1)

選択肢表示ロジック設定

対象質問	: Q7.Q4.で選択した傷病(病気やけが)で通院...
対象選択肢	: 病院
表示選択肢	: 箇所数【病院】、合計通院日数【病院】
対象質問	: Q7.Q4.で選択した傷病(病気やけが)で通院...
対象選択肢	: 診療所
表示選択肢	: 箇所数【診療所】、合計通院日数【診療所】
対象質問	: Q7.Q4.で選択した傷病(病気やけが)で通院...
対象選択肢	: 歯科医院
表示選択肢	: 箇所数【歯科医院】、合計通院日数【歯科医院】

**Q8** **【必須】** Q4.で選択した傷病(病気やけが)で、通院した医療機関の箇所数と合計通院日数を教えて下さい。

箇所数【病院】	<input type="text"/>	箇所【必須】(表示ロジック選択肢)(数値制限:1-999)	合計通院日数【病院】	<input type="text"/>	日/6カ月【必須】(表示ロジック選択肢)(数値制限:1-185)
箇所数【診療所】	<input type="text"/>	箇所【必須】(表示ロジック選択肢)(数値制限:1-999)	合計通院日数【診療所】	<input type="text"/>	日/6カ月【必須】(表示ロジック選択肢)(数値制限:1-185)
箇所数【歯科医院】	<input type="text"/>	箇所【必須】(表示ロジック選択肢)(数値制限:1-999)	合計通院日数【歯科医院】	<input type="text"/>	日/6カ月【必須】(表示ロジック選択肢)(数値制限:1-185)

## 入院状況についておたずねします。

Q9 【必須】 あなたは、この6か月間で医療機関（病院や診療所、歯科医院）に入院したことがありますか。  
○健診等（健康診断、健康診査及び人間ドック）による入院は除いて下さい。

1. 入院したことがある（現在入院している場合も含む）  
 2. 入院したことはない

次へ

## 分岐条件

分岐条件式 : (Q9 or 1)

Q10 【必須】 どのような傷病（病気やけが）で入院しましたか。あてはまる傷病すべてにチェックをつけて下さい。

## 感染症

1. 結核  
 2. 肝炎  
 3. HIV／エイズ  
 4. ハンセン病  
 5. その他の感染症→(  ) (回答必須)

## 菌

28. 菌の病気

## 皮膚

29. アトピー性皮膚炎  
 30. その他の皮膚の病気

## 内分泌・代謝障害

6. 糖尿病  
 7. 肥満症  
 8. 脂質異常症（高コレステロール血症等）  
 9. 甲状腺の病気

## 筋骨格系

31. 痛風  
 32. 関節リウマチ  
 33. 関節症  
 34. 肩こり症  
 35. 腰痛症  
 36. 骨粗しょう症

## 精神・神経

10. うつ病やその他のこころの病気  
 11. 認知症  
 12. パーキンソン病  
 13. その他の神経の病気（神経痛、麻痺等）

## 尿路生殖器系

37. 腎臓の病気  
 38. 前立腺肥大症  
 39. 閉経期又は閉経後障害（更年期障害等）

## 眼

14. 眼の病気

## 損傷

40. 骨折  
 41. 骨折以外のけが・やけど

## 耳

15. 耳の病気

## 貧血・血液

42. 貧血・血液の病気

## 循環器系

16. 高血圧症  
 17. 脳卒中（脳出血、脳梗塞等）  
 18. 狭心症・心筋梗塞  
 19. その他の循環器系の病気

## 悪性新生物

43. 悪性新生物（がん）

## 呼吸器系

20. 急性鼻咽頭炎（かぜ）  
 21. アレルギー性鼻炎  
 22. 慢性閉塞性肺疾患（COPD）  
 23. 喘息  
 24. その他の呼吸器系の病気

## 妊娠・産褥

44. 妊娠・産褥（切迫流産、前置胎盤等）

## 不妊症

45. 不妊症

## 消化器系

25. 胃・十二指腸の病気  
 26. 肝臓・胆のうの病気  
 27. その他の消化器系の病気

## その他

46. その他→具体的に(  ) (回答必須)  
 47. 不明

改ページ

分岐条件

分岐条件式 : (Q9 or 1)

Q11 【必須】 Q8:で選択した傷病(病気やけが)で、入院した医療機関の箇所数と合計入院日数を教えて下さい。

箇所数【病院・診療所】  箇所【必須】(数値制限:1-999) 合計入院日数【病院・診療所】  日/6カ月【必須】(数値制限:1-185)

次へ

改ページ

医療情報の提供と説明について

ここでいう医療情報とは、「現在の症状や診断病名」「症状の見通し」「処置や治療の方針」「治療の具体的な内容や有効性・安全性・危険性、実施しない場合の利益・不利益」「代替的治療法がある場合には、その内容や利益・不利益」「検査(X線やカメラ検査等)内容やその結果」「手術などを行う場合には、その概要、危険性、実施しない場合の危険性、合併症の有無」「処方される薬剤(薬剤名、服用方法、効能、特に注意を要する副作用)」などをさします。

Q12 【必須】 あなたは、医療機関にかかったとき、ご自身の診断や治療の内容などについて、適切なタイミングで医療情報の提供を受けていると思いますか。

- 1. 十分そう思う
- 2. 概ねそう思う
- 3. 思わない
- 4. わからない

次へ

改ページ

Q13 【必須】 あなたは、医療機関にかかったとき、ご自身の診断や治療の内容などについて、必要とする量の医療情報の提供を受けていると思いますか。

- 1. 十分そう思う
- 2. 概ねそう思う
- 3. 思わない
- 4. わからない

次へ

改ページ

Q14 【必須】 あなたは、医療機関にかかったとき、ご自身の診断や治療の内容などについて、あなたが理解できるように分かりやすく、医療情報について説明を受けていると思いますか。

- 1. 十分そう思う
- 2. 概ねそう思う
- 3. 思わない
- 4. わからない

次へ

改ページ

Q15 【必須】 あなたは、患者からの求めがあった場合、カルテなどの診療記録を開示する義務が医療機関にあることを知っていますか。

- 1. 知っている
- 2. 知らない

改ページ

Q16 あなたは、ご自身の診断や治療の内容などについて記載されたカルテの開示を求めたことがありますか。  
【必須】

- 1. 開示を求めたことがある
- 2. 開示を求めたことはない

次へ

改ページ

分岐条件

分岐条件式 : (Q16 or 1)

Q17 そのカルテの開示は役に立ったと思いますか。  
【必須】

- 1. 十分そう思う
- 2. 概ねそう思う
- 3. 思わない
- 4. わからない

次へ

改ページ

Q18 あなたは、セカンドオピニオンを利用したことがありますか。  
【必須】  
○セカンドオピニオンとは、ご自身の診断や治療の内容について、現在通っている医療機関以外の医療機関で、それまでに得られた情報を伝え、意見を求めることです。

- 1. ある
- 2. ない

次へ

改ページ

分岐条件

分岐条件式 : (Q18 or 1)

Q19 セカンドオピニオンの利用は役に立ったと思いますか。  
【必須】

- 1. 十分そう思う
- 2. 概ねそう思う
- 3. 思わない
- 4. わからない

次へ

改ページ

患者と医療従事者の良好な関係づくりについて

Q20 あなたは、医療機関にかかったとき、あなたの尊厳やプライバシーが守られていると思いますか。  
【必須】

- 1. 十分そう思う
- 2. 概ねそう思う
- 3. 思わない
- 4. わからない

改ページ

Q21 【必須】 あなたは、医療機関にかかったとき、あなたの自己決定権(あなたご自身の診断や治療の内容などに対する意思)が尊重されていると思いますか。

- 1. 十分そう思う
- 2. 概ねそう思う
- 3. 思わない
- 4. わからない

次へ

改ページ

Q22 【必須】 あなたは医療従事者(医師、歯科医師、薬剤師、看護師・准看護師をさします。以下同じ。)と良好な関係が築けていると思いますか。

- 1. 十分そう思う
- 2. 概ねそう思う
- 3. 思わない
- 4. わからない

次へ

改ページ

分岐条件

分岐条件式 : (Q20 or 3) OR (Q21 or 3) OR (Q22 or 3)

Q23 【必須】 「あなたの尊厳やプライバシーが守られている」「あなたの自己決定権(あなたご自身の診断や治療の内容などに対する意思)が尊重されている」「医療従事者と良好な関係が築けている」と思わない理由は何ですか。(複数回答可)

- 1. 医療情報についての提供が不十分と思うから
- 2. 提供された医療情報についての説明がわかりにくいから
- 3. 疾病を理由とする差別・偏見を感じたから
- 4. 医療従事者の対応が不親切だったから
- 5. その他(  ) (回答必須)

次へ

改ページ

Q24 【必須】 医療機関では、患者と医療従事者が良好な関係を築くために、以下のような取り組みを実施しているところがあります。あなたは、このような取り組みを知っていますか。また、実際に利用したことがありますか。知っているものをお答え下さい。

	1. 知っているもの ↓
1.患者や家族の声や相談・要望・苦情を聴くための相談窓口の設置	<input type="checkbox"/>
2.患者や家族の声や相談・要望・苦情を聴くための意見箱の設置	<input type="checkbox"/>
3.患者や家族の声や相談・要望・苦情を聴くための患者満足度調査(患者アンケート調査)の実施	<input type="checkbox"/>
4.患者や家族と医療従事者による傷病(病氣やけが)に関する勉強会等の開催	<input type="checkbox"/>
5.診療結果が記載された紙等の交付	<input type="checkbox"/>
6.患者と医療従事者の相互理解の促進のための指針の作成や宣言等の掲示	<input type="checkbox"/>
7.患者への医療情報提供のためのパンフレット等の配布	<input type="checkbox"/>

8.その他の取り組み一できるだけ具体的に記入して下さい。 ( ) (回答必須)	<input type="checkbox"/>
9.知っているものはない(排他)	<input type="checkbox"/>

次へ

改ページ

#### 分岐条件

分岐条件式 : (Q24.1 or 1, 2, 3, 4, 5, 8)

#### 選択肢の引継ぎ

引継ぎ対象質問 : [一致] Q24「医療機関では、患者と医療従事者が良好..」でMT引継ぎ条件に一致している選択肢を選択肢へ引継ぎ  
 引継ぎする選択肢 : 患者や家族の声や相談・要望・苦情を聴くための相談窓口の設置  
 患者や家族の声や相談・要望・苦情を聴くための意見箱の設置  
 患者や家族の声や相談・要望・苦情を聴くための患者満足度調査(患者アンケート調査)の実施  
 患者や家族と医療従事者による傷病(病気やけが)に関する勉強会等の開催  
 診療結果が記載された紙等の交付  
 その他の取り組み一できるだけ具体的に記入して下さい。(@@FAN110@@)  
 引継ぎ条件 : 知っているもの

Q24-1 利用したことがあるものをお答え下さい。  
**【必須】**

	1. 利用したことがあるもの ↓
1.患者や家族の声や相談・要望・苦情を聴くための相談窓口の設置 @@IMPORT@@ ([一致]Q24でMT引継ぎ条件に一致した回答時に表示)	<input type="checkbox"/>
2.患者や家族の声や相談・要望・苦情を聴くための意見箱の設置 @@IMPORT@@ ([一致]Q24でMT引継ぎ条件に一致した回答時に表示)	<input type="checkbox"/>
3.患者や家族の声や相談・要望・苦情を聴くための患者満足度調査(患者アンケート調査)の実施 @@IMPORT@@ ([一致]Q24でMT引継ぎ条件に一致した回答時に表示)	<input type="checkbox"/>
4.患者や家族と医療従事者による傷病(病気やけが)に関する勉強会等の開催 @@IMPORT@@ ([一致]Q24でMT引継ぎ条件に一致した回答時に表示)	<input type="checkbox"/>
5.診療結果が記載された紙等の交付 @@IMPORT@@ ([一致]Q24でMT引継ぎ条件に一致した回答時に表示)	<input type="checkbox"/>
6.その他の取り組み一できるだけ具体的に記入して下さい。 (@@FAN110@@) @@IMPORT@@ ([一致]Q24でMT引継ぎ条件に一致した回答時に表示) (回答必須)	<input type="checkbox"/>
7.利用したことがあるものはない(排他)	<input type="checkbox"/>

次へ

改ページ

#### その他

Q25 あなたが、この6か月で医療機関に通院・入院された(現在している場合も含む)経験をふまえると、あなたには、「適切なタイミングで必要な医療を受ける権利」が保障されていると思いますか。  
**【必須】**

- 1. 十分そう思う
- 2. 概ねそう思う
- 3. 思わない
- 4. わからない

次へ

Q26 患者と医療従事者が良好な関係を築き、相互理解と信頼にもとづく医療を受けるために、医療機関や国・地方公共団体に期待すること、患者に求められることは何だと思えますか。ご自由に記入して下さい。

Q26-1 (医療機関に期待すること)

Q26-2 (国・地方公共団体に期待すること)

Q26-3 (患者に求められること)

次へ

改ページ



アンケートにご回答、ありがとうございます。

〇ポイント

閉じる

終了条件

No.	条件式	メモ
終了条件	1 (Q5 or 2) AND (Q9 or 2)	通院入院なし

## 2：傷病中分類別・通院／入院別クロス集計の結果

本章では、患者向けアンケート調査の結果について、通院と入院に対し、傷病中分類別に分析した。1.1.1 調査目的に沿い、各設問にて「思わない」や「知らない」等の回答について、通院及び入院における患者の意識の差を把握するため、その差が10ポイント以上ある傷病を確認した。また、患者と医療従事者の良好な関係づくりができていない理由では、「疾病を理由とする差別・偏見を感じたから」と回答した者について、通院と入院の差を確認した。

### 1. 医療情報の提供と説明について

#### (1) 適切なタイミングでの医療情報の提供について

診断や治療の内容などについて、適切なタイミングで医療情報の提供を受けていると「思わない」と回答した者の割合を傷病中分類別にみると、通院が入院を10ポイント以上上回っているのは、「皮膚（15.4ポイント）」「妊娠・産褥（14.6ポイント）」「不妊症（14.3ポイント）」である。一方、入院が通院を10ポイント以上上回っているのは、「耳（18.9ポイント）」である。

表 78 適切なタイミングでの医療情報の提供；傷病中分類別（通院）

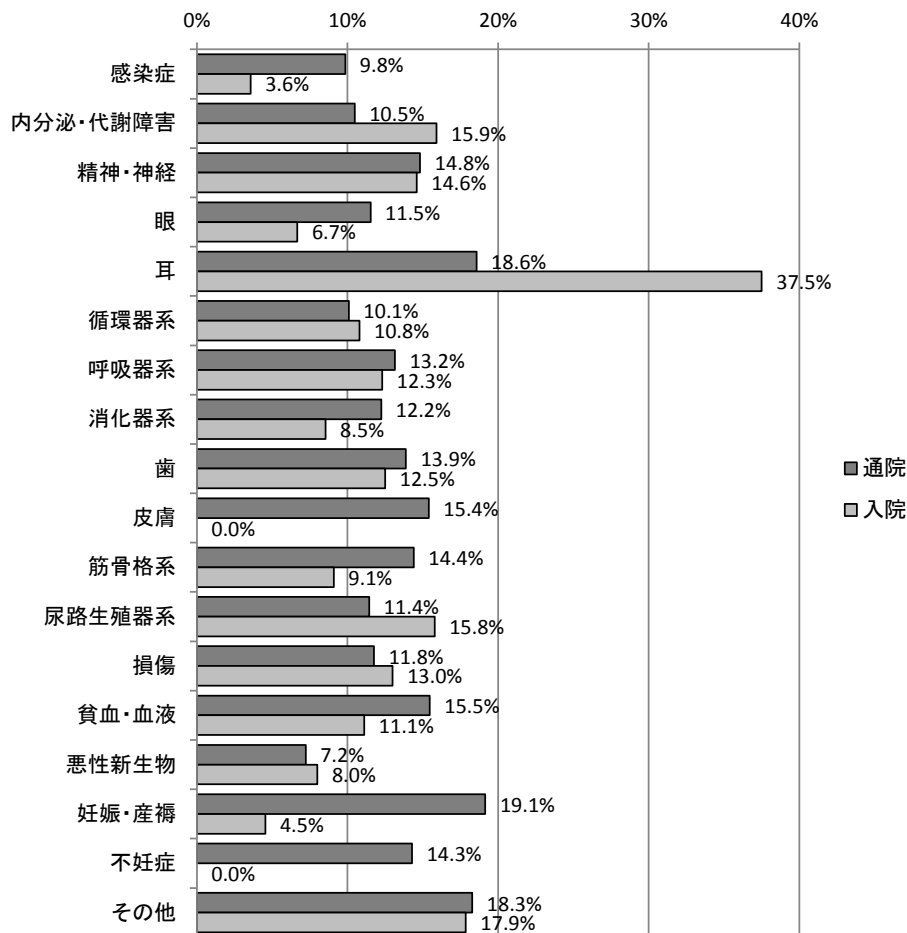
	総数	実数				%			
		十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
総数	4,985	654	3,354	648	329	13.1%	67.3%	13.0%	6.6%
感染症	132	28	83	13	8	21.2%	62.9%	9.8%	6.1%
内分泌・代謝障害	1,250	199	862	131	58	15.9%	69.0%	10.5%	4.6%
精神・神経	1,282	157	827	190	108	12.2%	64.5%	14.8%	8.4%
眼	815	115	559	94	47	14.1%	68.6%	11.5%	5.8%
耳	210	19	137	39	15	9.0%	65.2%	18.6%	7.1%
循環器系	1,625	243	1,150	164	68	15.0%	70.8%	10.1%	4.2%
呼吸器系	1,011	142	674	133	62	14.0%	66.7%	13.2%	6.1%
消化器系	719	117	469	88	45	16.3%	65.2%	12.2%	6.3%
歯	1,693	207	1,149	235	102	12.2%	67.9%	13.9%	6.0%
皮膚	766	98	493	118	57	12.8%	64.4%	15.4%	7.4%
筋骨格系	1,083	162	713	156	52	15.0%	65.8%	14.4%	4.8%
尿路生殖器系	332	48	231	38	15	14.5%	69.6%	11.4%	4.5%
損傷	323	55	212	38	18	17.0%	65.6%	11.8%	5.6%
貧血・血液	97	17	56	15	9	17.5%	57.7%	15.5%	9.3%
悪性新生物	249	55	165	18	11	22.1%	66.3%	7.2%	4.4%
妊娠・産褥	47	8	30	9	0	17.0%	63.8%	19.1%	0.0%
不妊症	35	5	22	5	3	14.3%	62.9%	14.3%	8.6%
その他	93	9	57	17	10	9.7%	61.3%	18.3%	10.8%



表 79 適切なタイミングでの医療情報の提供；傷病中分類別（入院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	798	186	488	94	30	23.3%	61.2%	11.8%	3.8%
感染症	28	11	15	1	1	39.3%	53.6%	3.6%	3.6%
内分泌・代謝障害	44	9	27	7	1	20.5%	61.4%	15.9%	2.3%
精神・神経	137	23	83	20	11	16.8%	60.6%	14.6%	8.0%
眼	30	9	19	2	0	30.0%	63.3%	6.7%	0.0%
耳	8	1	4	3	0	12.5%	50.0%	37.5%	0.0%
循環器系	176	47	106	19	4	26.7%	60.2%	10.8%	2.3%
呼吸器系	65	15	40	8	2	23.1%	61.5%	12.3%	3.1%
消化器系	117	32	74	10	1	27.4%	63.2%	8.5%	0.9%
歯	16	5	8	2	1	31.3%	50.0%	12.5%	6.3%
皮膚	18	8	9	0	1	44.4%	50.0%	0.0%	5.6%
筋骨格系	55	12	37	5	1	21.8%	67.3%	9.1%	1.8%
尿路生殖器系	38	10	20	6	2	26.3%	52.6%	15.8%	5.3%
損傷	100	19	65	13	3	19.0%	65.0%	13.0%	3.0%
貧血・血液	9	2	6	1	0	22.2%	66.7%	11.1%	0.0%
悪性新生物	100	31	57	8	4	31.0%	57.0%	8.0%	4.0%
妊娠・産褥	22	6	15	1	0	27.3%	68.2%	4.5%	0.0%
不妊症	3	1	2	0	0	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
その他	28	5	16	5	2	17.9%	57.1%	17.9%	7.1%

図 72 適切なタイミングでの医療情報の提供；傷病中分類別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院・入院）



(2) 必要とする量の医療情報の提供について

診断や治療の内容などについて、必要とする量の医療情報の提供を受けていると「思わない」と回答した者の割合を傷病中分類別にみると、通院が入院を10ポイント以上上回っているのは、「妊娠・産褥(16.7ポイント)」「皮膚(12.2ポイント)」「不妊症(11.4ポイント)」である。

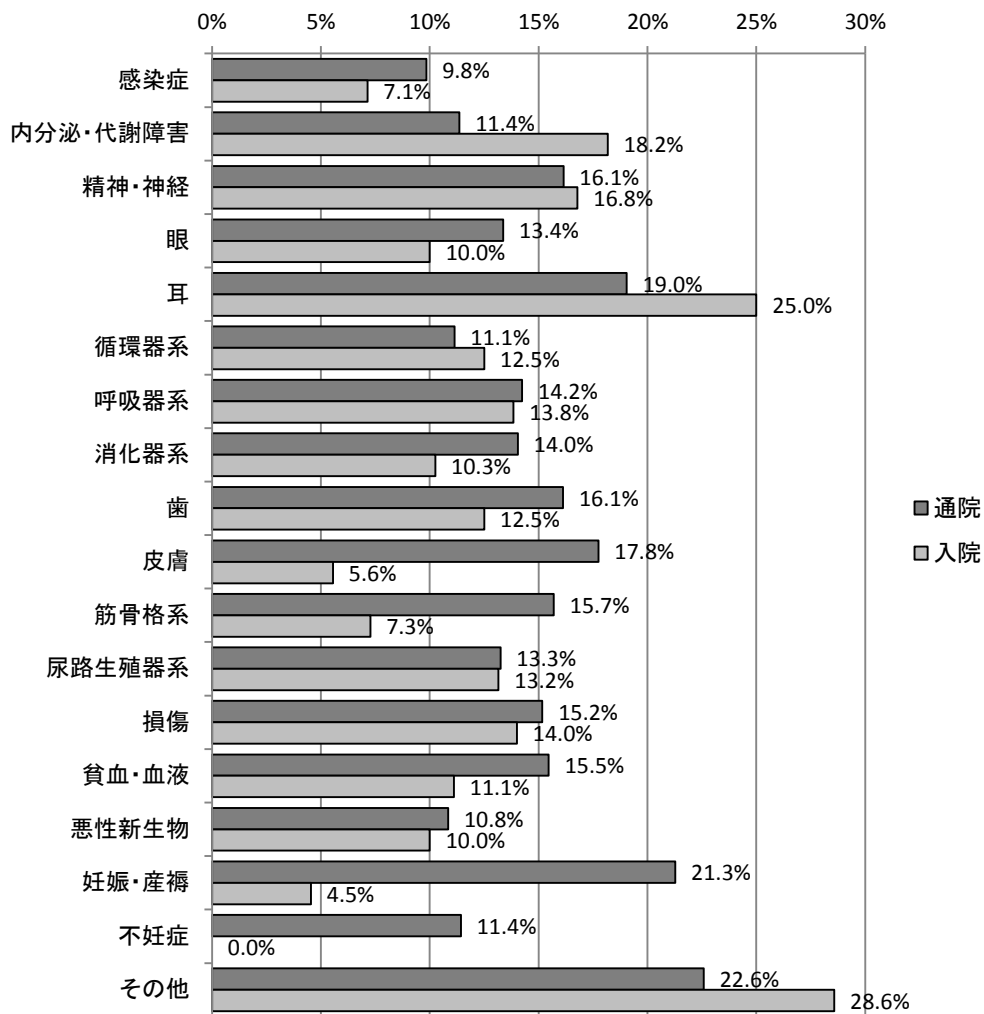
表 80 必要とする量の医療情報の提供；傷病中分類別（通院）

	総数	実数				%			
		十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
総数	4,985	603	3,338	734	310	12.1%	67.0%	14.7%	6.2%
感染症	132	24	86	13	9	18.2%	65.2%	9.8%	6.8%
内分泌・代謝障害	1,250	177	877	142	54	14.2%	70.2%	11.4%	4.3%
精神・神経	1,282	153	817	207	105	11.9%	63.7%	16.1%	8.2%
眼	815	107	558	109	41	13.1%	68.5%	13.4%	5.0%
耳	210	20	142	40	8	9.5%	67.6%	19.0%	3.8%
循環器系	1,625	225	1,158	181	61	13.8%	71.3%	11.1%	3.8%
呼吸器系	1,011	133	677	144	57	13.2%	67.0%	14.2%	5.6%
消化器系	719	106	472	101	40	14.7%	65.6%	14.0%	5.6%
歯	1,693	185	1,142	273	93	10.9%	67.5%	16.1%	5.5%
皮膚	766	95	481	136	54	12.4%	62.8%	17.8%	7.0%
筋骨格系	1,083	135	736	170	42	12.5%	68.0%	15.7%	3.9%
尿路生殖器系	332	41	235	44	12	12.3%	70.8%	13.3%	3.6%
損傷	323	47	214	49	13	14.6%	66.3%	15.2%	4.0%
貧血・血液	97	13	60	15	9	13.4%	61.9%	15.5%	9.3%
悪性新生物	249	52	159	27	11	20.9%	63.9%	10.8%	4.4%
妊娠・産褥	47	7	30	10	0	14.9%	63.8%	21.3%	0.0%
不妊症	35	5	23	4	3	14.3%	65.7%	11.4%	8.6%
その他	93	8	53	21	11	8.6%	57.0%	22.6%	11.8%

表 81 必要とする量の医療情報の提供；傷病中分類別（入院）

	総数	実数				%			
		十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
総数	798	166	493	104	35	20.8%	61.8%	13.0%	4.4%
感染症	28	10	14	2	2	35.7%	50.0%	7.1%	7.1%
内分泌・代謝障害	44	10	25	8	1	22.7%	56.8%	18.2%	2.3%
精神・神経	137	25	78	23	11	18.2%	56.9%	16.8%	8.0%
眼	30	5	21	3	1	16.7%	70.0%	10.0%	3.3%
耳	8	1	5	2	0	12.5%	62.5%	25.0%	0.0%
循環器系	176	44	104	22	6	25.0%	59.1%	12.5%	3.4%
呼吸器系	65	14	40	9	2	21.5%	61.5%	13.8%	3.1%
消化器系	117	26	77	12	2	22.2%	65.8%	10.3%	1.7%
歯	16	4	9	2	1	25.0%	56.3%	12.5%	6.3%
皮膚	18	8	9	1	0	44.4%	50.0%	5.6%	0.0%
筋骨格系	55	10	40	4	1	18.2%	72.7%	7.3%	1.8%
尿路生殖器系	38	9	24	5	0	23.7%	63.2%	13.2%	0.0%
損傷	100	16	65	14	5	16.0%	65.0%	14.0%	5.0%
貧血・血液	9	2	6	1	0	22.2%	66.7%	11.1%	0.0%
悪性新生物	100	29	56	10	5	29.0%	56.0%	10.0%	5.0%
妊娠・産褥	22	5	16	1	0	22.7%	72.7%	4.5%	0.0%
不妊症	3	1	2	0	0	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
その他	28	4	14	8	2	14.3%	50.0%	28.6%	7.1%

図 73 必要とする量の医療情報の提供；傷病中分類別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院・入院）



### (3) 分かりやすい医療情報の提供について

診断や治療の内容などについて、理解できるように分かりやすく医療情報について説明を受けていると「思わない」と回答した者の割合を傷病中分類別にみると、通院が入院を10ポイント以上上回っているのは、「妊娠・産褥（17.0ポイント）」である。一方、入院が通院を10ポイント以上上回っているのは、「内分泌・代謝障害（12.6ポイント）」である。

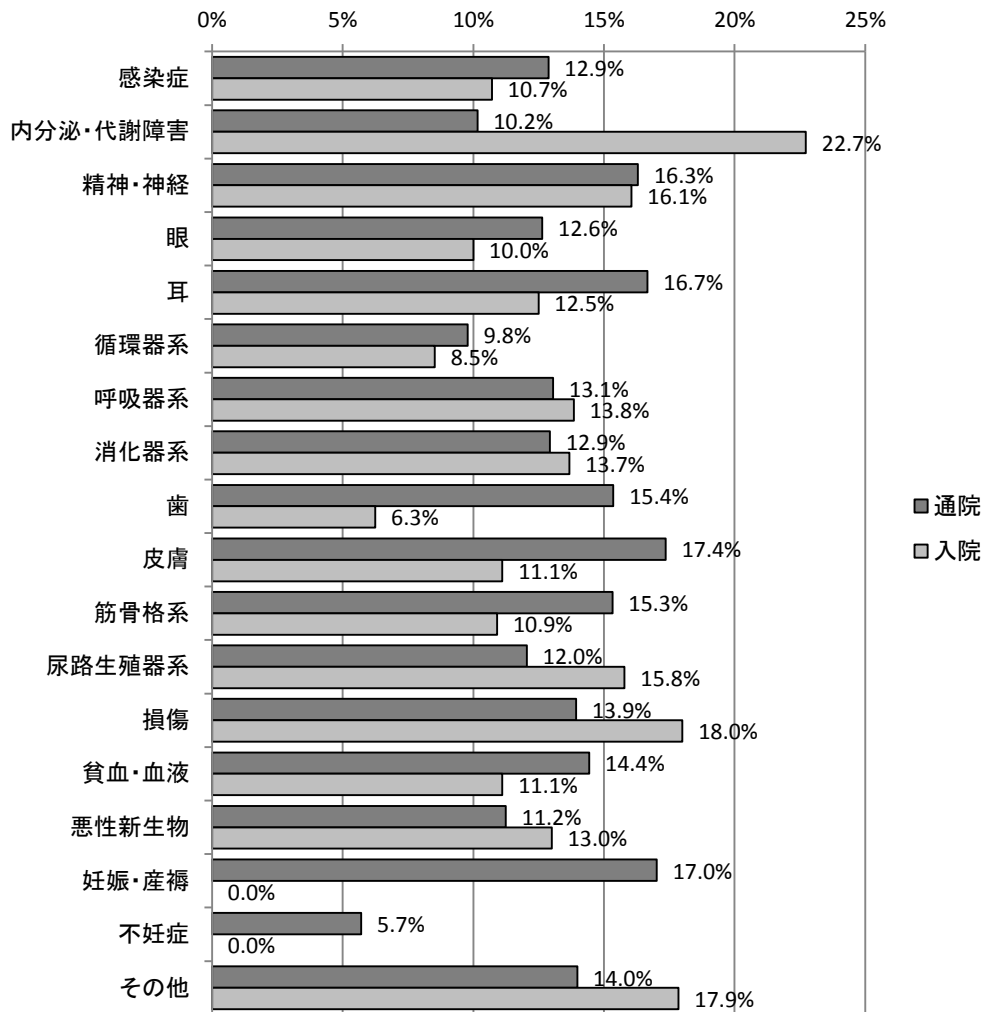
表 82 分かりやすい医療情報の説明；傷病中分類別（通院）

	総数	実数				%			
		十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
総数	4,985	802	3,312	669	202	16.1%	66.4%	13.4%	4.1%
感染症	132	31	80	17	4	23.5%	60.6%	12.9%	3.0%
内分泌・代謝障害	1,250	236	853	127	34	18.9%	68.2%	10.2%	2.7%
精神・神経	1,282	202	804	209	67	15.8%	62.7%	16.3%	5.2%
眼	815	145	548	103	19	17.8%	67.2%	12.6%	2.3%
耳	210	25	142	35	8	11.9%	67.6%	16.7%	3.8%
循環器系	1,625	296	1,135	159	35	18.2%	69.8%	9.8%	2.2%
呼吸器系	1,011	180	666	132	33	17.8%	65.9%	13.1%	3.3%
消化器系	719	150	453	93	23	20.9%	63.0%	12.9%	3.2%
歯	1,693	250	1,129	260	54	14.8%	66.7%	15.4%	3.2%
皮膚	766	119	486	133	28	15.5%	63.4%	17.4%	3.7%
筋骨格系	1,083	180	712	166	25	16.6%	65.7%	15.3%	2.3%
尿路生殖器系	332	62	222	40	8	18.7%	66.9%	12.0%	2.4%
損傷	323	64	206	45	8	19.8%	63.8%	13.9%	2.5%
貧血・血液	97	17	61	14	5	17.5%	62.9%	14.4%	5.2%
悪性新生物	249	65	151	28	5	26.1%	60.6%	11.2%	2.0%
妊娠・産褥	47	4	35	8	0	8.5%	74.5%	17.0%	0.0%
不妊症	35	3	28	2	2	8.6%	80.0%	5.7%	5.7%
その他	93	14	54	13	12	15.1%	58.1%	14.0%	12.9%

表 83 分かりやすい医療情報の説明；傷病中分類別（入院）

	総数	実数				%			
		十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
総数	798	199	467	109	23	24.9%	58.5%	13.7%	2.9%
感染症	28	13	11	3	1	46.4%	39.3%	10.7%	3.6%
内分泌・代謝障害	44	13	20	10	1	29.5%	45.5%	22.7%	2.3%
精神・神経	137	29	75	22	11	21.2%	54.7%	16.1%	8.0%
眼	30	7	20	3	0	23.3%	66.7%	10.0%	0.0%
耳	8	1	6	1	0	12.5%	75.0%	12.5%	0.0%
循環器系	176	44	115	15	2	25.0%	65.3%	8.5%	1.1%
呼吸器系	65	18	37	9	1	27.7%	56.9%	13.8%	1.5%
消化器系	117	35	64	16	2	29.9%	54.7%	13.7%	1.7%
歯	16	5	9	1	1	31.3%	56.3%	6.3%	6.3%
皮膚	18	10	6	2	0	55.6%	33.3%	11.1%	0.0%
筋骨格系	55	12	37	6	0	21.8%	67.3%	10.9%	0.0%
尿路生殖器系	38	14	17	6	1	36.8%	44.7%	15.8%	2.6%
損傷	100	21	61	18	0	21.0%	61.0%	18.0%	0.0%
貧血・血液	9	2	6	1	0	22.2%	66.7%	11.1%	0.0%
悪性新生物	100	35	49	13	3	35.0%	49.0%	13.0%	3.0%
妊娠・産褥	22	4	18	0	0	18.2%	81.8%	0.0%	0.0%
不妊症	3	1	2	0	0	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
その他	28	7	13	5	3	25.0%	46.4%	17.9%	10.7%

図 74 分かりやすい医療情報の説明；傷病中分類別「思わない」を選択した回答者の割合（通院・入院）



#### (4) カルテ開示

カルテなどの診療記録を開示する義務が医療機関にあることを「知っている」と回答した者の割合を傷病中分類別にみると、入院が通院を10ポイント以上上回っているのは、「不妊症（37.1ポイント）」「耳（28.9ポイント）」「貧血・血液（27.8ポイント）」「皮膚（22.0ポイント）」「感染症（17.5ポイント）」「筋骨格系（16.7ポイント）」「妊娠・産褥（11.0ポイント）」である。

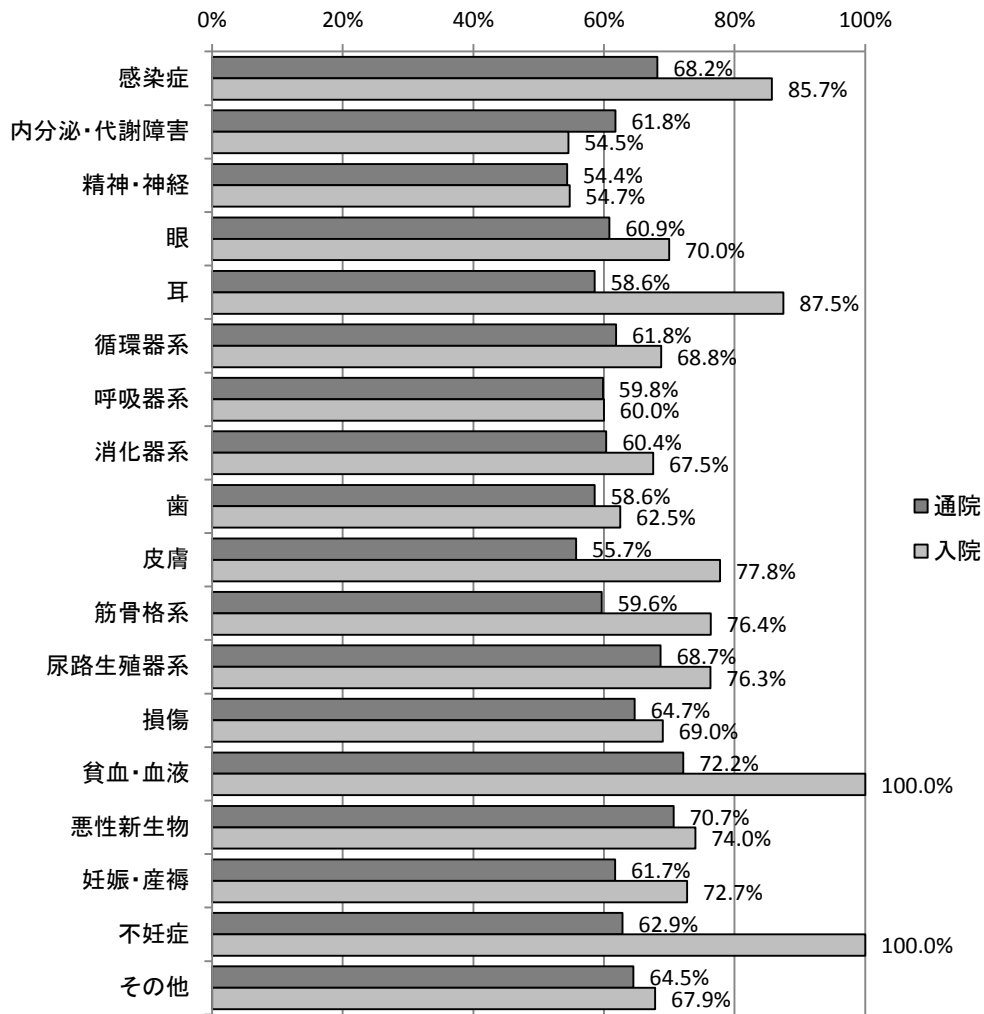
表 84 カルテなどの開示義務の周知状況；傷病中分類別（通院）

	総数	実数		%	
		知っている	知らない	知っている	知らない
総数	4,985	2,877	2,108	57.7%	42.3%
感染症	132	90	42	68.2%	31.8%
内分泌・代謝障害	1,250	772	478	61.8%	38.2%
精神・神経	1,282	697	585	54.4%	45.6%
眼	815	496	319	60.9%	39.1%
耳	210	123	87	58.6%	41.4%
循環器系	1,625	1,005	620	61.8%	38.2%
呼吸器系	1,011	605	406	59.8%	40.2%
消化器系	719	434	285	60.4%	39.6%
歯	1,693	992	701	58.6%	41.4%
皮膚	766	427	339	55.7%	44.3%
筋骨格系	1,083	646	437	59.6%	40.4%
尿路生殖器系	332	228	104	68.7%	31.3%
損傷	323	209	114	64.7%	35.3%
貧血・血液	97	70	27	72.2%	27.8%
悪性新生物	249	176	73	70.7%	29.3%
妊娠・産褥	47	29	18	61.7%	38.3%
不妊症	35	22	13	62.9%	37.1%
その他	93	60	33	64.5%	35.5%

表 85 カルテなどの開示義務の周知状況；傷病中分類別（入院）

	総数	実数		%	
		知っている	知らない	知っている	知らない
総数	798	520	278	65.2%	34.8%
感染症	28	24	4	85.7%	14.3%
内分泌・代謝障害	44	24	20	54.5%	45.5%
精神・神経	137	75	62	54.7%	45.3%
眼	30	21	9	70.0%	30.0%
耳	8	7	1	87.5%	12.5%
循環器系	176	121	55	68.8%	31.3%
呼吸器系	65	39	26	60.0%	40.0%
消化器系	117	79	38	67.5%	32.5%
歯	16	10	6	62.5%	37.5%
皮膚	18	14	4	77.8%	22.2%
筋骨格系	55	42	13	76.4%	23.6%
尿路生殖器系	38	29	9	76.3%	23.7%
損傷	100	69	31	69.0%	31.0%
貧血・血液	9	9	0	100.0%	0.0%
悪性新生物	100	74	26	74.0%	26.0%
妊娠・産褥	22	16	6	72.7%	27.3%
不妊症	3	3	0	100.0%	0.0%
その他	28	19	9	67.9%	32.1%

図 75 カルテなどの開示義務の周知状況；傷病中分類別  
「知っている」を選択した回答者の割合（通院・入院）



カルテなどの診療記録の請求状況について、「開示を求めたことがある」と回答した者の割合を傷病中分類別にみると、通院が入院を10ポイント以上上回っているのは、「耳（10.5ポイント）」である。一方、入院が通院を10ポイント以上上回っているのは、「不妊症（49.5ポイント）」「皮膚（25.0ポイント）」「歯（19.2ポイント）」「感染症（17.7ポイント）」「貧血・血液（14.8ポイント）」「その他（11.8ポイント）」「精神・神経（11.5ポイント）」である。

表 86 カルテ開示の請求状況；傷病中分類別（通院）

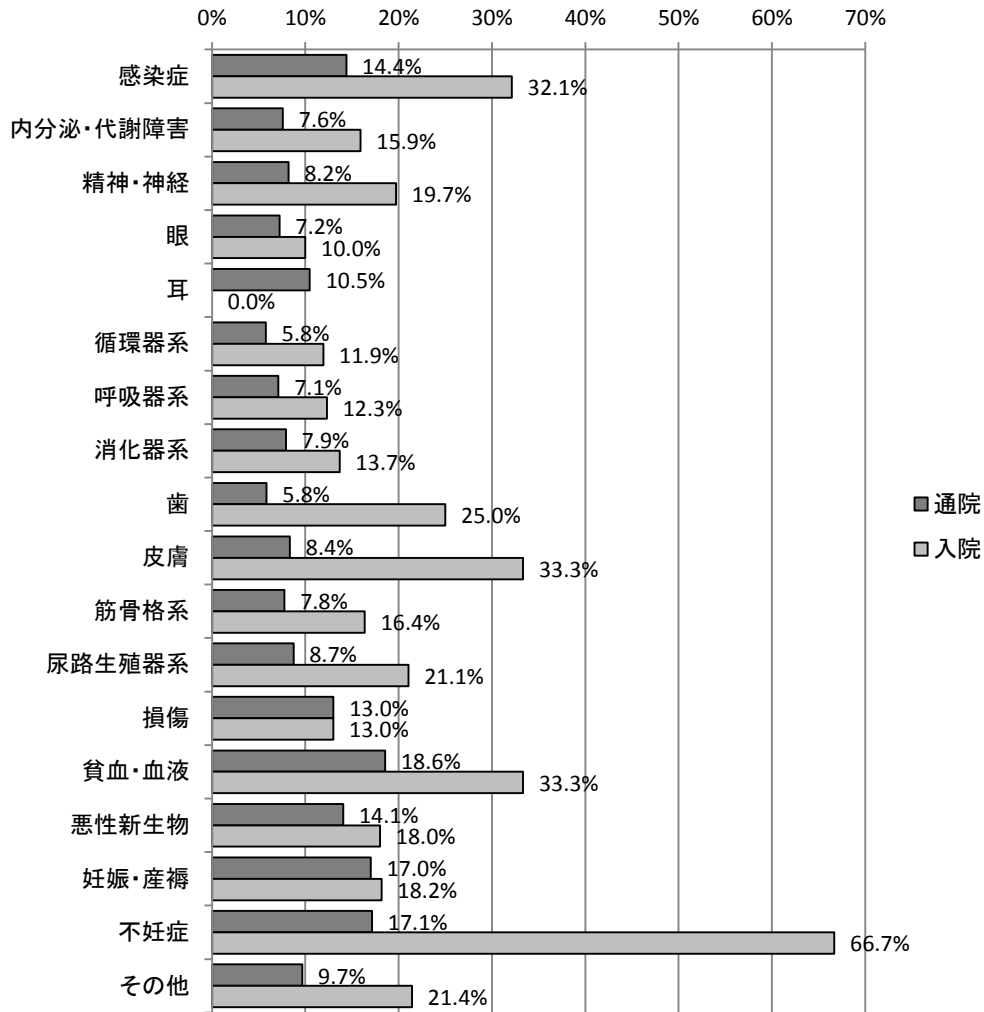
	総数	実数		%	
		開示を求めたことがある	開示を求めたことはない	開示を求めたことがある	開示を求めたことはない
総数	4,985	305	4,680	6.1%	93.9%
感染症	132	19	113	14.4%	85.6%
内分泌・代謝障害	1,250	95	1,155	7.6%	92.4%
精神・神経	1,282	105	1,177	8.2%	91.8%
眼	815	59	756	7.2%	92.8%
耳	210	22	188	10.5%	89.5%
循環器系	1,625	94	1,531	5.8%	94.2%
呼吸器系	1,011	72	939	7.1%	92.9%
消化器系	719	57	662	7.9%	92.1%
歯	1,693	99	1,594	5.8%	94.2%
皮膚	766	64	702	8.4%	91.6%
筋骨格系	1,083	84	999	7.8%	92.2%
尿路生殖器系	332	29	303	8.7%	91.3%
損傷	323	42	281	13.0%	87.0%
貧血・血液	97	18	79	18.6%	81.4%
悪性新生物	249	35	214	14.1%	85.9%
妊娠・産褥	47	8	39	17.0%	83.0%
不妊症	35	6	29	17.1%	82.9%
その他	93	9	84	9.7%	90.3%

表 87 カルテ開示の請求状況；傷病中分類別（入院）

	総数	実数		%	
		開示を求めたことがある	開示を求めたことはない	開示を求めたことがある	開示を求めたことはない
総数	798	115	683	14.4%	85.6%
感染症	28	9	19	32.1%	67.9%
内分泌・代謝障害	44	7	37	15.9%	84.1%
精神・神経	137	27	110	19.7%	80.3%
眼	30	3	27	10.0%	90.0%
耳	8	0	8	0.0%	100.0%
循環器系	176	21	155	11.9%	88.1%
呼吸器系	65	8	57	12.3%	87.7%
消化器系	117	16	101	13.7%	86.3%
歯	16	4	12	25.0%	75.0%
皮膚	18	6	12	33.3%	66.7%
筋骨格系	55	9	46	16.4%	83.6%
尿路生殖器系	38	8	30	21.1%	78.9%
損傷	100	13	87	13.0%	87.0%
貧血・血液	9	3	6	33.3%	66.7%
悪性新生物	100	18	82	18.0%	82.0%
妊娠・産褥	22	4	18	18.2%	81.8%
不妊症	3	2	1	66.7%	33.3%
その他	28	6	22	21.4%	78.6%



図 76 カルテ開示の請求状況；傷病中分類別  
「開示を求めたことがある」を選択した回答者の割合（通院・入院）



カルテの開示は役に立ったと思うと「思わない」と回答した者の割合を傷病中分類別にみると、通院が入院を10ポイント以上上回っているのは、「耳（22.7ポイント）」「皮膚（17.2ポイント）」「不妊症（16.7ポイント）」「悪性新生物（14.3ポイント）」「呼吸器系（13.9ポイント）」「眼（13.6ポイント）」である。一方、入院が通院を10ポイント以上上回っているのは、「貧血・血液（16.7ポイント）」である。

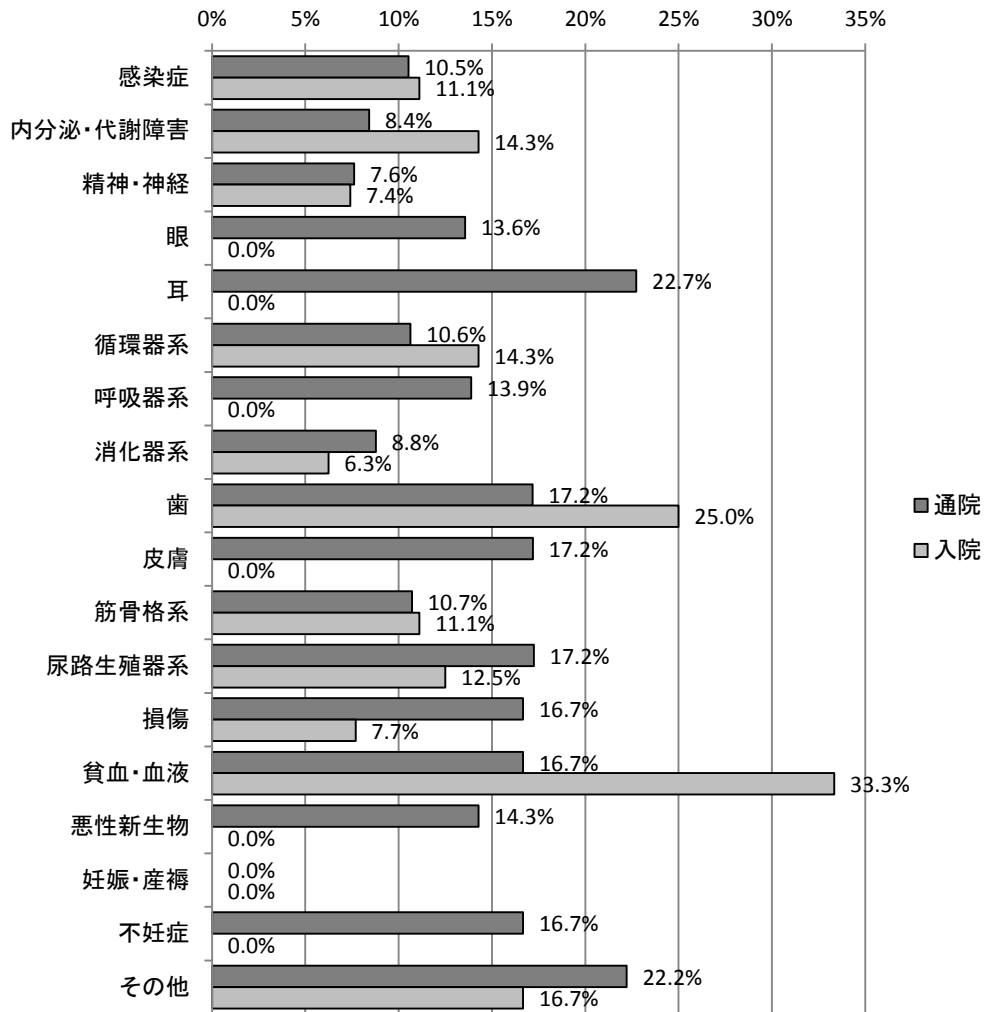
表 88 カルテ開示の有用性；傷病中分類別（通院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	305	91	158	38	18	29.8%	51.8%	12.5%	5.9%
感染症	19	4	11	2	2	21.1%	57.9%	10.5%	10.5%
内分泌・代謝障害	95	29	50	8	8	30.5%	52.6%	8.4%	8.4%
精神・神経	105	36	54	8	7	34.3%	51.4%	7.6%	6.7%
眼	59	19	29	8	3	32.2%	49.2%	13.6%	5.1%
耳	22	4	12	5	1	18.2%	54.5%	22.7%	4.5%
循環器系	94	24	56	10	4	25.5%	59.6%	10.6%	4.3%
呼吸器系	72	17	41	10	4	23.6%	56.9%	13.9%	5.6%
消化器系	57	16	34	5	2	28.1%	59.6%	8.8%	3.5%
歯	99	27	50	17	5	27.3%	50.5%	17.2%	5.1%
皮膚	64	15	36	11	2	23.4%	56.3%	17.2%	3.1%
筋骨格系	84	23	50	9	2	27.4%	59.5%	10.7%	2.4%
尿路生殖器系	29	8	16	5	0	27.6%	55.2%	17.2%	0.0%
損傷	42	15	19	7	1	35.7%	45.2%	16.7%	2.4%
貧血・血液	18	6	9	3	0	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%
悪性新生物	35	15	14	5	1	42.9%	40.0%	14.3%	2.9%
妊娠・産褥	8	2	6	0	0	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
不妊症	6	1	4	1	0	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%
その他	9	3	2	2	2	33.3%	22.2%	22.2%	22.2%

表 89 カルテ開示の有用性；傷病中分類別（入院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	115	47	54	10	4	40.9%	47.0%	8.7%	3.5%
感染症	9	5	3	1	0	55.6%	33.3%	11.1%	0.0%
内分泌・代謝障害	7	1	5	1	0	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%
精神・神経	27	13	11	2	1	48.1%	40.7%	7.4%	3.7%
眼	3	0	3	0	0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
耳	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
循環器系	21	4	14	3	0	19.0%	66.7%	14.3%	0.0%
呼吸器系	8	1	6	0	1	12.5%	75.0%	0.0%	12.5%
消化器系	16	9	6	1	0	56.3%	37.5%	6.3%	0.0%
歯	4	3	0	1	0	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%
皮膚	6	4	2	0	0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
筋骨格系	9	5	2	1	1	55.6%	22.2%	11.1%	11.1%
尿路生殖器系	8	2	5	1	0	25.0%	62.5%	12.5%	0.0%
損傷	13	6	6	1	0	46.2%	46.2%	7.7%	0.0%
貧血・血液	3	1	1	1	0	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
悪性新生物	18	11	6	0	1	61.1%	33.3%	0.0%	5.6%
妊娠・産褥	4	0	4	0	0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
不妊症	2	1	1	0	0	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
その他	6	1	3	1	1	16.7%	50.0%	16.7%	16.7%

図 77 カルテ開示の有用性；傷病中分類別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院・入院）



### (5) セカンドオピニオン

セカンドオピニオンを利用したことが「ある」と回答した者の割合を傷病中分類別にみると、通院が入院を10ポイント以上上回っているのは、「妊娠・産褥(11.6ポイント)」「耳(10.2ポイント)」である。一方、入院が通院を10ポイント以上上回っているのは、「不妊症(32.4ポイント)」「歯(20.8ポイント)」「感染症(20.5ポイント)」「筋骨格系(16.7ポイント)」「尿路生殖器系(16.3ポイント)」「呼吸器系(13.1ポイント)」である。

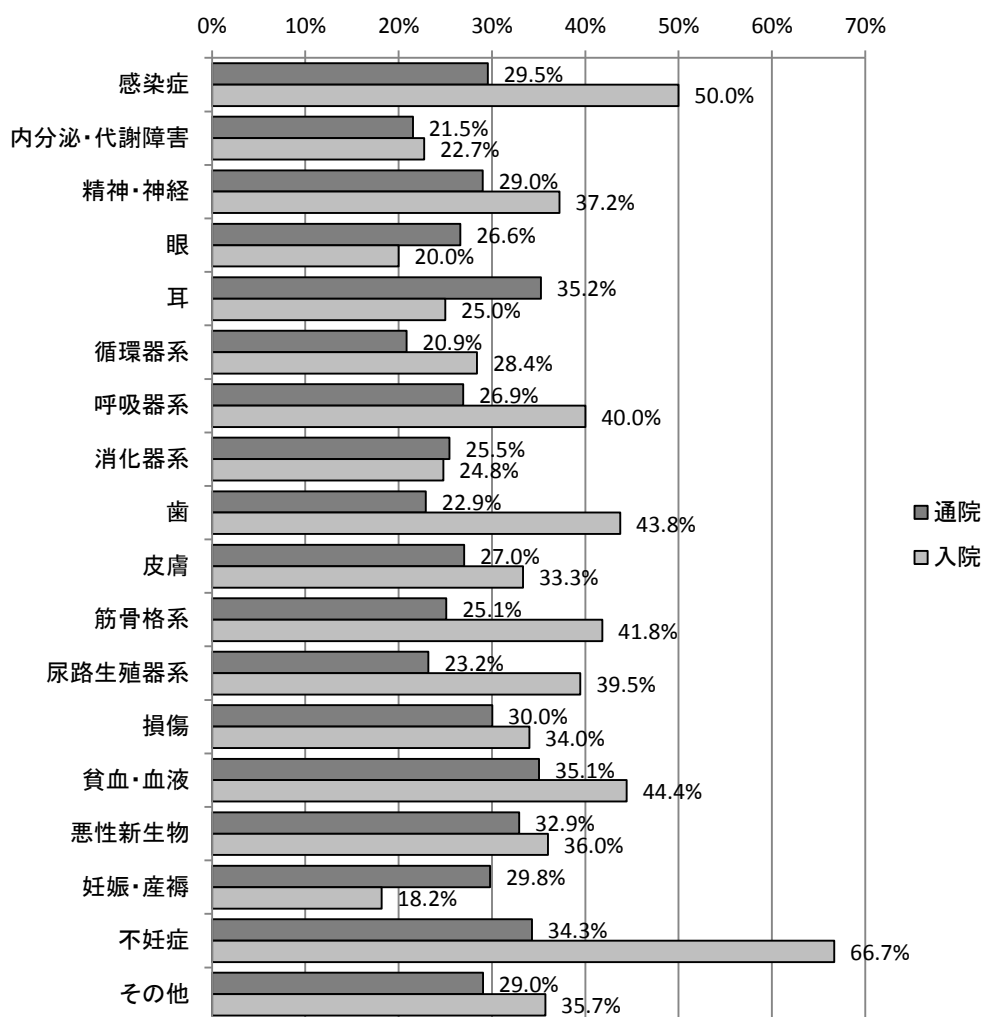
表 90 セカンドオピニオンの利用状況；傷病中分類別（通院）

	総数	実数		%	
		ある	ない	ある	ない
総数	4,985	1,117	3,868	22.4%	77.6%
感染症	132	39	93	29.5%	70.5%
内分泌・代謝障害	1,250	269	981	21.5%	78.5%
精神・神経	1,282	372	910	29.0%	71.0%
眼	815	217	598	26.6%	73.4%
耳	210	74	136	35.2%	64.8%
循環器系	1,625	339	1,286	20.9%	79.1%
呼吸器系	1,011	272	739	26.9%	73.1%
消化器系	719	183	536	25.5%	74.5%
歯	1,693	388	1,305	22.9%	77.1%
皮膚	766	207	559	27.0%	73.0%
筋骨格系	1,083	272	811	25.1%	74.9%
尿路生殖器系	332	77	255	23.2%	76.8%
損傷	323	97	226	30.0%	70.0%
貧血・血液	97	34	63	35.1%	64.9%
悪性新生物	249	82	167	32.9%	67.1%
妊娠・産褥	47	14	33	29.8%	70.2%
不妊症	35	12	23	34.3%	65.7%
その他	93	27	66	29.0%	71.0%

表 91 セカンドオピニオンの利用状況；傷病中分類別（入院）

	総数	実数		%	
		ある	ない	ある	ない
総数	798	259	539	32.5%	67.5%
感染症	28	14	14	50.0%	50.0%
内分泌・代謝障害	44	10	34	22.7%	77.3%
精神・神経	137	51	86	37.2%	62.8%
眼	30	6	24	20.0%	80.0%
耳	8	2	6	25.0%	75.0%
循環器系	176	50	126	28.4%	71.6%
呼吸器系	65	26	39	40.0%	60.0%
消化器系	117	29	88	24.8%	75.2%
歯	16	7	9	43.8%	56.3%
皮膚	18	6	12	33.3%	66.7%
筋骨格系	55	23	32	41.8%	58.2%
尿路生殖器系	38	15	23	39.5%	60.5%
損傷	100	34	66	34.0%	66.0%
貧血・血液	9	4	5	44.4%	55.6%
悪性新生物	100	36	64	36.0%	64.0%
妊娠・産褥	22	4	18	18.2%	81.8%
不妊症	3	2	1	66.7%	33.3%
その他	28	10	18	35.7%	64.3%

図 78 セカンドオピニオンの利用状況；傷病中分類別  
「ある」を選択した回答者の割合（通院・入院）



セカンドオピニオンの利用は役に立ったと「思わない」と回答した者の割合を傷病中分類別にみると、通院が入院を10ポイント以上上回っているのは、「妊娠・産褥(14.3ポイント)」「皮膚(12.1ポイント)」である。一方、入院が通院を10ポイント以上上回っているのは、「耳(31.1ポイント)」「尿路生殖器系(24.2ポイント)」「貧血・血液(10.3ポイント)」である。

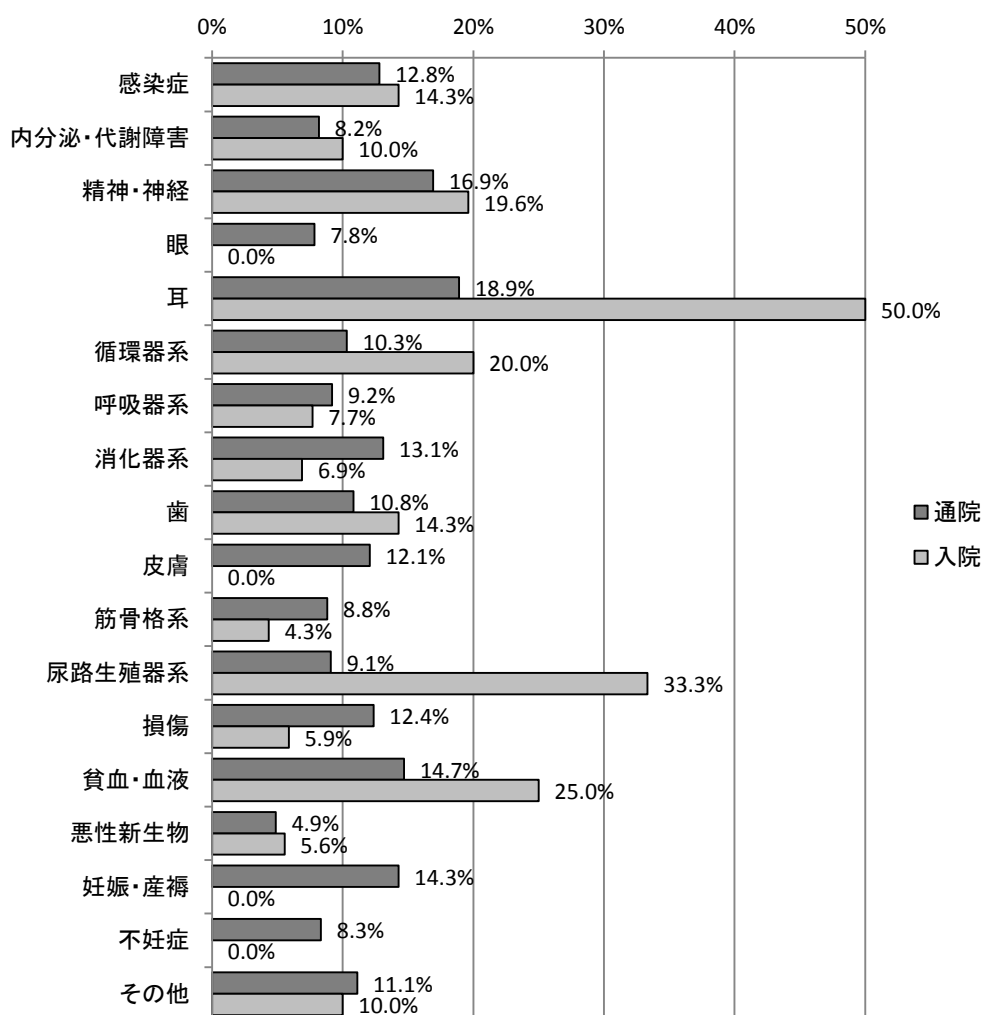
表 92 セカンドオピニオンの有用性；傷病中分類別（通院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	1,117	389	572	112	44	34.8%	51.2%	10.0%	3.9%
感染症	39	11	22	5	1	28.2%	56.4%	12.8%	2.6%
内分泌・代謝障害	269	94	142	22	11	34.9%	52.8%	8.2%	4.1%
精神・神経	372	127	165	63	17	34.1%	44.4%	16.9%	4.6%
眼	217	80	114	17	6	36.9%	52.5%	7.8%	2.8%
耳	74	25	33	14	2	33.8%	44.6%	18.9%	2.7%
循環器系	339	128	166	35	10	37.8%	49.0%	10.3%	2.9%
呼吸器系	272	99	141	25	7	36.4%	51.8%	9.2%	2.6%
消化器系	183	61	94	24	4	33.3%	51.4%	13.1%	2.2%
歯	388	126	207	42	13	32.5%	53.4%	10.8%	3.4%
皮膚	207	65	110	25	7	31.4%	53.1%	12.1%	3.4%
筋骨格系	272	90	152	24	6	33.1%	55.9%	8.8%	2.2%
尿路生殖器系	77	23	45	7	2	29.9%	58.4%	9.1%	2.6%
損傷	97	30	54	12	1	30.9%	55.7%	12.4%	1.0%
貧血・血液	34	11	17	5	1	32.4%	50.0%	14.7%	2.9%
悪性新生物	82	37	39	4	2	45.1%	47.6%	4.9%	2.4%
妊娠・産褥	14	5	6	2	1	35.7%	42.9%	14.3%	7.1%
不妊症	12	5	6	1	0	41.7%	50.0%	8.3%	0.0%
その他	27	11	12	3	1	40.7%	44.4%	11.1%	3.7%

表 93 セカンドオピニオンの有用性；傷病中分類別（入院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	259	87	138	30	4	33.6%	53.3%	11.6%	1.5%
感染症	14	3	8	2	1	21.4%	57.1%	14.3%	7.1%
内分泌・代謝障害	10	2	6	1	1	20.0%	60.0%	10.0%	10.0%
精神・神経	51	17	24	10	0	33.3%	47.1%	19.6%	0.0%
眼	6	1	5	0	0	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%
耳	2	0	1	1	0	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
循環器系	50	14	26	10	0	28.0%	52.0%	20.0%	0.0%
呼吸器系	26	11	12	2	1	42.3%	46.2%	7.7%	3.8%
消化器系	29	11	15	2	1	37.9%	51.7%	6.9%	3.4%
歯	7	4	2	1	0	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%
皮膚	6	4	2	0	0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
筋骨格系	23	13	9	1	0	56.5%	39.1%	4.3%	0.0%
尿路生殖器系	15	4	6	5	0	26.7%	40.0%	33.3%	0.0%
損傷	34	6	24	2	2	17.6%	70.6%	5.9%	5.9%
貧血・血液	4	1	2	1	0	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
悪性新生物	36	16	17	2	1	44.4%	47.2%	5.6%	2.8%
妊娠・産褥	4	1	3	0	0	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%
不妊症	2	2	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	10	3	5	1	1	30.0%	50.0%	10.0%	10.0%

図 79 セカンドオピニオンの有用性；傷病中分類別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院・入院）



## 2. 患者と医療従事者の良好な関係づくりについて

### (6) 尊厳やプライバシーの保護

尊厳やプライバシーが守られていると「思わない」と回答した者の割合を傷病中分類別にみると、通院が入院を10ポイント以上上回っているのは、「不妊症（17.1ポイント）」である。一方、入院が通院を10ポイント以上上回っているのは、「貧血・血液（13.7ポイント）」「妊娠・産褥（10.5ポイント）」である。

表 94 尊厳やプライバシーの保護；傷病中分類別（通院）

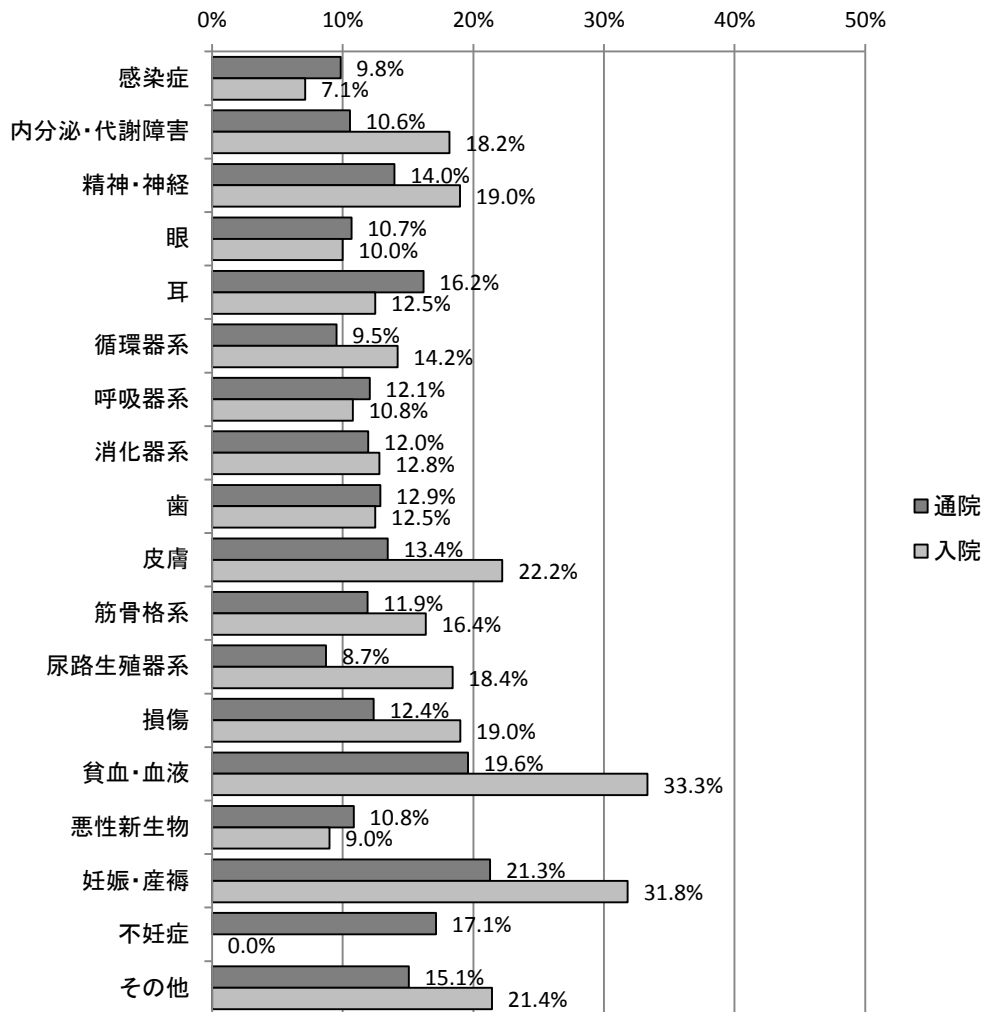
	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	4,985	603	3,354	599	429	12.1%	67.3%	12.0%	8.6%
感染症	132	21	86	13	12	15.9%	65.2%	9.8%	9.1%
内分泌・代謝障害	1,250	176	867	132	75	14.1%	69.4%	10.6%	6.0%
精神・神経	1,282	198	785	179	120	15.4%	61.2%	14.0%	9.4%
眼	815	93	574	87	61	11.4%	70.4%	10.7%	7.5%
耳	210	19	137	34	20	9.0%	65.2%	16.2%	9.5%
循環器系	1,625	218	1,150	155	102	13.4%	70.8%	9.5%	6.3%
呼吸器系	1,011	135	681	122	73	13.4%	67.4%	12.1%	7.2%
消化器系	719	92	487	86	54	12.8%	67.7%	12.0%	7.5%
歯	1,693	178	1,141	218	156	10.5%	67.4%	12.9%	9.2%
皮膚	766	83	511	103	69	10.8%	66.7%	13.4%	9.0%
筋骨格系	1,083	134	742	129	78	12.4%	68.5%	11.9%	7.2%
尿路生殖器系	332	42	238	29	23	12.7%	71.7%	8.7%	6.9%
損傷	323	40	218	40	25	12.4%	67.5%	12.4%	7.7%
貧血・血液	97	14	57	19	7	14.4%	58.8%	19.6%	7.2%
悪性新生物	249	38	174	27	10	15.3%	69.9%	10.8%	4.0%
妊娠・産褥	47	4	30	10	3	8.5%	63.8%	21.3%	6.4%
不妊症	35	6	20	6	3	17.1%	57.1%	17.1%	8.6%
その他	93	12	51	14	16	12.9%	54.8%	15.1%	17.2%

表 95 尊厳やプライバシーの保護；傷病中分類別（入院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	798	145	507	107	39	18.2%	63.5%	13.4%	4.9%
感染症	28	10	14	2	2	35.7%	50.0%	7.1%	7.1%
内分泌・代謝障害	44	9	25	8	2	20.5%	56.8%	18.2%	4.5%
精神・神経	137	31	71	26	9	22.6%	51.8%	19.0%	6.6%
眼	30	4	22	3	1	13.3%	73.3%	10.0%	3.3%
耳	8	0	7	1	0	0.0%	87.5%	12.5%	0.0%
循環器系	176	38	109	25	4	21.6%	61.9%	14.2%	2.3%
呼吸器系	65	11	42	7	5	16.9%	64.6%	10.8%	7.7%
消化器系	117	17	80	15	5	14.5%	68.4%	12.8%	4.3%
歯	16	5	9	2	0	31.3%	56.3%	12.5%	0.0%
皮膚	18	6	7	4	1	33.3%	38.9%	22.2%	5.6%
筋骨格系	55	6	39	9	1	10.9%	70.9%	16.4%	1.8%
尿路生殖器系	38	8	22	7	1	21.1%	57.9%	18.4%	2.6%
損傷	100	12	64	19	5	12.0%	64.0%	19.0%	5.0%
貧血・血液	9	2	4	3	0	22.2%	44.4%	33.3%	0.0%
悪性新生物	100	16	71	9	4	16.0%	71.0%	9.0%	4.0%
妊娠・産褥	22	3	10	7	2	13.6%	45.5%	31.8%	9.1%
不妊症	3	1	2	0	0	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
その他	28	3	16	6	3	10.7%	57.1%	21.4%	10.7%



図 80 尊厳やプライバシーの保護；傷病中分類別「思わない」を選択した回答者の割合（通院・入院）



## (7) 自己決定権の尊重

自己決定権が尊重されていると「思わない」と回答した者の割合を傷病中分類別にみると、通院が入院を10ポイント以上上回っているのは、「眼（10.3ポイント）」である。一方、入院が通院を10ポイント以上上回っているのは、「貧血・血液（14.0ポイント）」「感染症（10.1ポイント）」である。

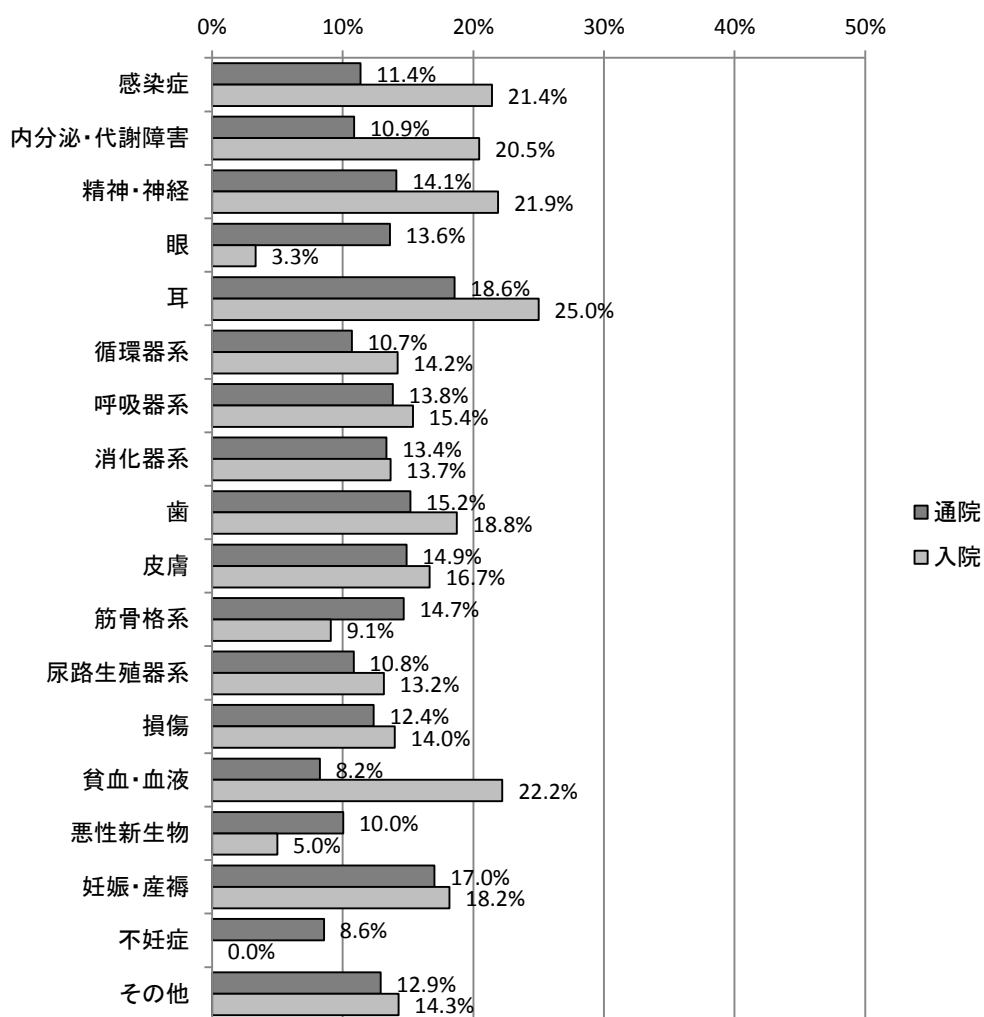
表 96 自己決定権の尊重；傷病中分類別（通院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	4,985	658	3,304	640	383	13.2%	66.3%	12.8%	7.7%
感染症	132	20	87	15	10	15.2%	65.9%	11.4%	7.6%
内分泌・代謝障害	1,250	192	857	136	65	15.4%	68.6%	10.9%	5.2%
精神・神経	1,282	197	801	181	103	15.4%	62.5%	14.1%	8.0%
眼	815	102	549	111	53	12.5%	67.4%	13.6%	6.5%
耳	210	15	146	39	10	7.1%	69.5%	18.6%	4.8%
循環器系	1,625	230	1,138	174	83	14.2%	70.0%	10.7%	5.1%
呼吸器系	1,011	130	682	140	59	12.9%	67.5%	13.8%	5.8%
消化器系	719	111	461	96	51	15.4%	64.1%	13.4%	7.1%
歯	1,693	207	1,111	257	118	12.2%	65.6%	15.2%	7.0%
皮膚	766	87	500	114	65	11.4%	65.3%	14.9%	8.5%
筋骨格系	1,083	140	720	159	64	12.9%	66.5%	14.7%	5.9%
尿路生殖器系	332	42	233	36	21	12.7%	70.2%	10.8%	6.3%
損傷	323	46	218	40	19	14.2%	67.5%	12.4%	5.9%
貧血・血液	97	10	70	8	9	10.3%	72.2%	8.2%	9.3%
悪性新生物	249	54	160	25	10	21.7%	64.3%	10.0%	4.0%
妊娠・産褥	47	5	30	8	4	10.6%	63.8%	17.0%	8.5%
不妊症	35	6	23	3	3	17.1%	65.7%	8.6%	8.6%
その他	93	15	52	12	14	16.1%	55.9%	12.9%	15.1%

表 97 自己決定権の尊重；傷病中分類別（入院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	798	153	500	109	36	19.2%	62.7%	13.7%	4.5%
感染症	28	8	13	6	1	28.6%	46.4%	21.4%	3.6%
内分泌・代謝障害	44	8	27	9	0	18.2%	61.4%	20.5%	0.0%
精神・神経	137	29	70	30	8	21.2%	51.1%	21.9%	5.8%
眼	30	5	22	1	2	16.7%	73.3%	3.3%	6.7%
耳	8	0	6	2	0	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%
循環器系	176	37	109	25	5	21.0%	61.9%	14.2%	2.8%
呼吸器系	65	11	43	10	1	16.9%	66.2%	15.4%	1.5%
消化器系	117	24	69	16	8	20.5%	59.0%	13.7%	6.8%
歯	16	5	8	3	0	31.3%	50.0%	18.8%	0.0%
皮膚	18	5	10	3	0	27.8%	55.6%	16.7%	0.0%
筋骨格系	55	10	38	5	2	18.2%	69.1%	9.1%	3.6%
尿路生殖器系	38	6	26	5	1	15.8%	68.4%	13.2%	2.6%
損傷	100	18	63	14	5	18.0%	63.0%	14.0%	5.0%
貧血・血液	9	0	7	2	0	0.0%	77.8%	22.2%	0.0%
悪性新生物	100	22	68	5	5	22.0%	68.0%	5.0%	5.0%
妊娠・産褥	22	2	15	4	1	9.1%	68.2%	18.2%	4.5%
不妊症	3	1	2	0	0	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
その他	28	6	16	4	2	21.4%	57.1%	14.3%	7.1%

図 81 自己決定権の尊重；傷病中分類別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院・入院）



(8) 医療従事者との良好な関係

医療従事者と良好な関係が築けていると「思わない」と回答した者の割合を傷病中分類別にみると、通院が入院を10ポイント以上上回っているのは、「不妊症(14.3ポイント)」「妊娠・産褥(12.5ポイント)」である。一方、入院が通院を10ポイント以上上回っているのは「耳(11.7ポイント)」「貧血・血液(10.9ポイント)」である。

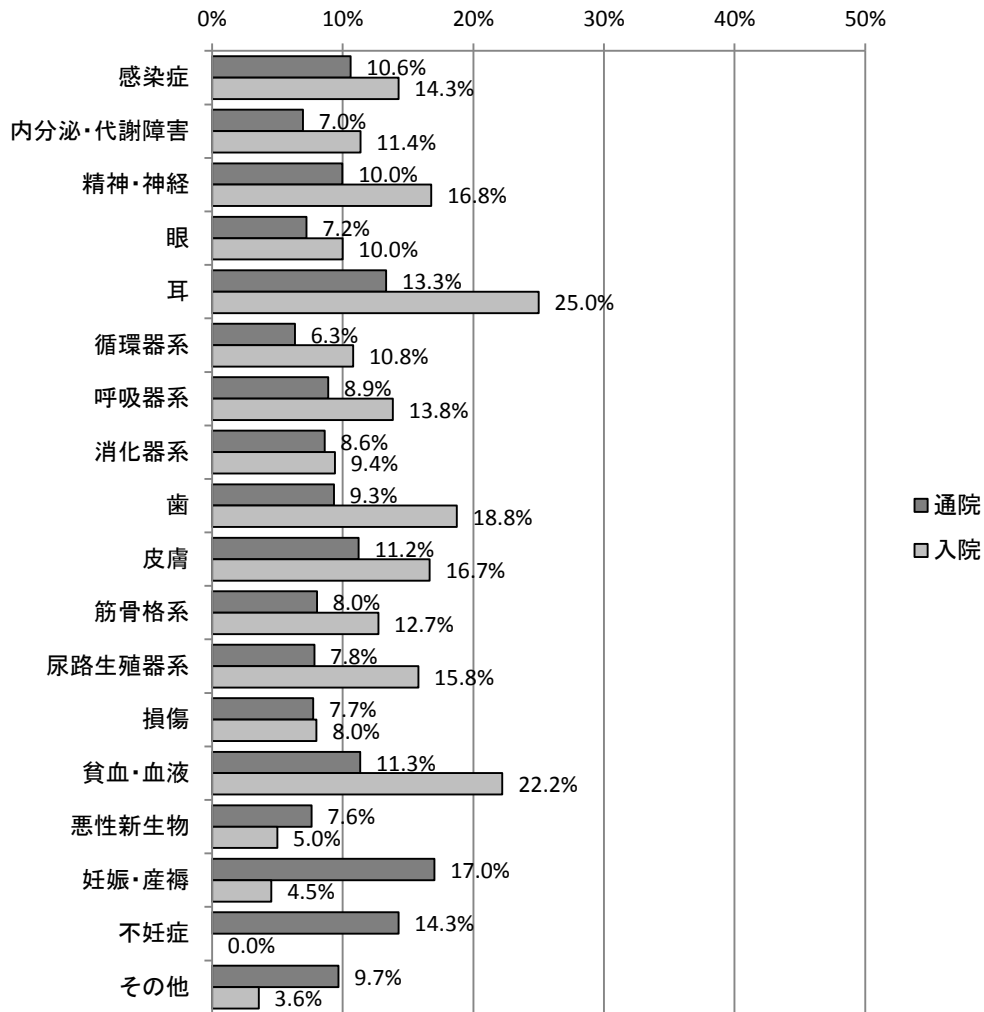
表 98 医療従事者との良好な関係；傷病中分類別（通院）

	総数	実数				%			
		十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
総数	4,985	774	3,441	420	350	15.5%	69.0%	8.4%	7.0%
感染症	132	25	84	14	9	18.9%	63.6%	10.6%	6.8%
内分泌・代謝障害	1,250	233	864	87	66	18.6%	69.1%	7.0%	5.3%
精神・神経	1,282	229	826	128	99	17.9%	64.4%	10.0%	7.7%
眼	815	126	578	59	52	15.5%	70.9%	7.2%	6.4%
耳	210	23	145	28	14	11.0%	69.0%	13.3%	6.7%
循環器系	1,625	318	1,144	103	60	19.6%	70.4%	6.3%	3.7%
呼吸器系	1,011	179	687	90	55	17.7%	68.0%	8.9%	5.4%
消化器系	719	138	478	62	41	19.2%	66.5%	8.6%	5.7%
歯	1,693	273	1,153	158	109	16.1%	68.1%	9.3%	6.4%
皮膚	766	103	524	86	53	13.4%	68.4%	11.2%	6.9%
筋骨格系	1,083	174	759	87	63	16.1%	70.1%	8.0%	5.8%
尿路生殖器系	332	57	230	26	19	17.2%	69.3%	7.8%	5.7%
損傷	323	54	221	25	23	16.7%	68.4%	7.7%	7.1%
貧血・血液	97	19	58	11	9	19.6%	59.8%	11.3%	9.3%
悪性新生物	249	60	158	19	12	24.1%	63.5%	7.6%	4.8%
妊娠・産褥	47	3	33	8	3	6.4%	70.2%	17.0%	6.4%
不妊症	35	3	23	5	4	8.6%	65.7%	14.3%	11.4%
その他	93	10	61	9	13	10.8%	65.6%	9.7%	14.0%

表 99 医療従事者との良好な関係；傷病中分類別（入院）

	総数	実数				%			
		十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
総数	798	177	502	80	39	22.2%	62.9%	10.0%	4.9%
感染症	28	11	11	4	2	39.3%	39.3%	14.3%	7.1%
内分泌・代謝障害	44	3	34	5	2	6.8%	77.3%	11.4%	4.5%
精神・神経	137	30	74	23	10	21.9%	54.0%	16.8%	7.3%
眼	30	5	21	3	1	16.7%	70.0%	10.0%	3.3%
耳	8	0	6	2	0	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%
循環器系	176	42	109	19	6	23.9%	61.9%	10.8%	3.4%
呼吸器系	65	19	35	9	2	29.2%	53.8%	13.8%	3.1%
消化器系	117	25	76	11	5	21.4%	65.0%	9.4%	4.3%
歯	16	6	6	3	1	37.5%	37.5%	18.8%	6.3%
皮膚	18	7	8	3	0	38.9%	44.4%	16.7%	0.0%
筋骨格系	55	12	34	7	2	21.8%	61.8%	12.7%	3.6%
尿路生殖器系	38	8	20	6	4	21.1%	52.6%	15.8%	10.5%
損傷	100	18	70	8	4	18.0%	70.0%	8.0%	4.0%
貧血・血液	9	2	4	2	1	22.2%	44.4%	22.2%	11.1%
悪性新生物	100	32	57	5	6	32.0%	57.0%	5.0%	6.0%
妊娠・産褥	22	1	19	1	1	4.5%	86.4%	4.5%	4.5%
不妊症	3	0	3	0	0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
その他	28	5	18	1	4	17.9%	64.3%	3.6%	14.3%

図 82 医療従事者との良好な関係；傷病中分類別「思わない」を選択した回答者の割合（通院・入院）



(9) 患者と医療従事者の良好な関係づくりに向けた課題

「尊厳やプライバシーが守られている」「自己決定権（あなたご自身の診断や治療の内容などに対する意思）が尊重されている」「医療従事者と良好な関係が築けている」と思わない理由について、「疾病を理由とする差別・偏見を感じたから」と回答した者の割合を傷病中分類別にみると、通院が入院を10ポイント以上上回っているのは、「妊娠・産褥（17.9ポイント）」「不妊症（11.1ポイント）」である。一方、入院が通院を10ポイント以上上回っているのは、「貧血・血液（44.9ポイント）」「皮膚（37.0ポイント）」「耳（29.6ポイント）」「尿路生殖器系（20.4ポイント）」「筋骨格系（12.6ポイント）」「循環器系（12.0ポイント）」「歯（10.3ポイント）」である。

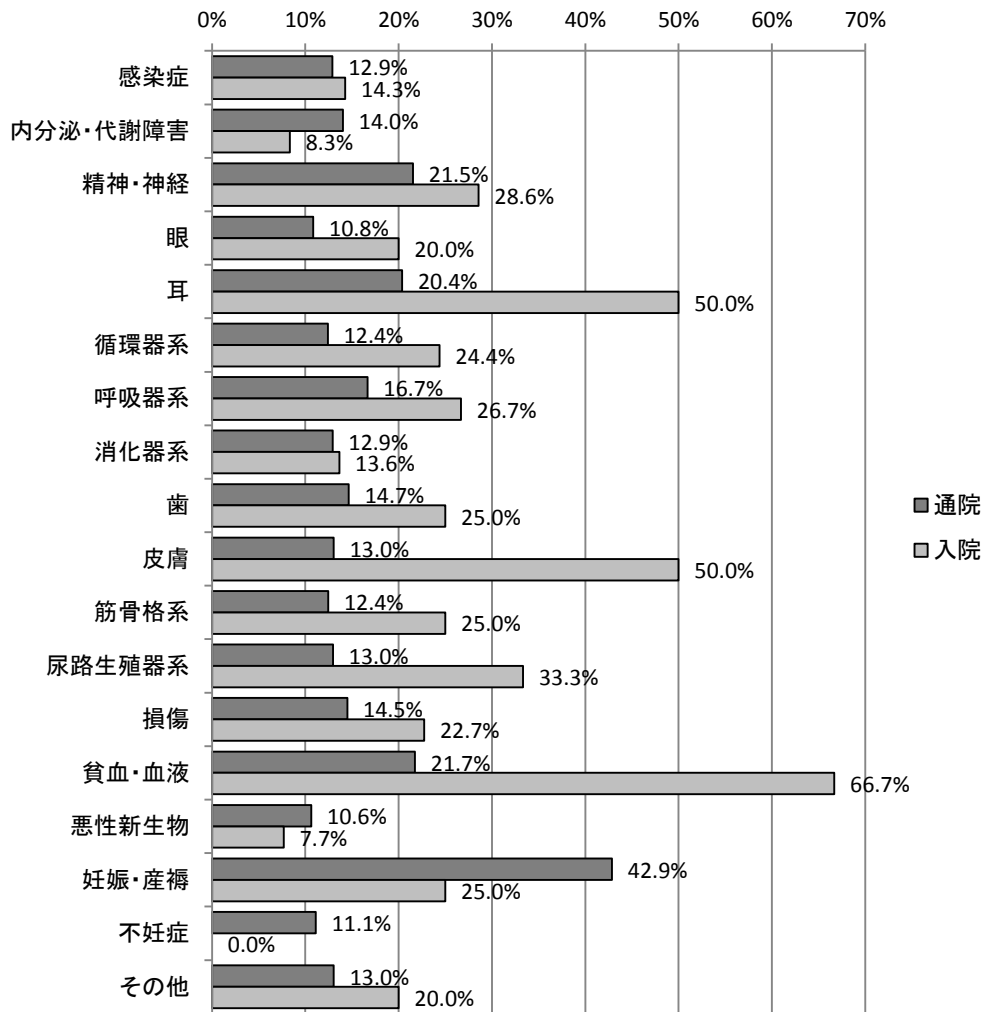
表 100 患者と医療従事者の良好な関係づくりができていない理由；傷病中分類別（通院）

	総数	実数					%				
		不 十 分 と 思 う こ ら	医 療 情 報 に つ い て の 提 供 が	ら て の 説 明 が わ か り に 報 じ か い	見 疾 病 を 理 由 と す る 差 別 ・ 偏	だ 医 療 従 事 者 の 対 応 が 不 親 切	そ の 他	不 十 分 と 思 う こ ら	ら て の 説 明 が わ か り に 報 じ か い	見 疾 病 を 理 由 と す る 差 別 ・ 偏	だ 医 療 従 事 者 の 対 応 が 不 親 切
総数	1,026	421	387	123	360	168	41.0%	37.7%	12.0%	35.1%	16.4%
感染症	31	11	11	4	13	4	35.5%	35.5%	12.9%	41.9%	12.9%
内分泌・代謝障害	221	85	83	31	80	42	38.5%	37.6%	14.0%	36.2%	19.0%
精神・神経	288	121	100	62	115	49	42.0%	34.7%	21.5%	39.9%	17.0%
眼	166	68	60	18	69	23	41.0%	36.1%	10.8%	41.6%	13.9%
耳	54	29	27	11	29	7	53.7%	50.0%	20.4%	53.7%	13.0%
循環器系	282	99	104	35	105	50	35.1%	36.9%	12.4%	37.2%	17.7%
呼吸器系	216	98	92	36	84	30	45.4%	42.6%	16.7%	38.9%	13.9%
消化器系	147	66	60	19	59	19	44.9%	40.8%	12.9%	40.1%	12.9%
歯	382	170	161	56	151	48	44.5%	42.1%	14.7%	39.5%	12.6%
皮膚	184	88	74	24	68	25	47.8%	40.2%	13.0%	37.0%	13.6%
筋骨格系	233	101	101	29	96	34	43.3%	43.3%	12.4%	41.2%	14.6%
尿路生殖器系	54	25	20	7	19	11	46.3%	37.0%	13.0%	35.2%	20.4%
損傷	69	33	26	10	36	14	47.8%	37.7%	14.5%	52.2%	20.3%
貧血・血液	23	10	10	5	8	3	43.5%	43.5%	21.7%	34.8%	13.0%
悪性新生物	47	17	16	5	22	7	36.2%	34.0%	10.6%	46.8%	14.9%
妊娠・産褥	14	8	6	6	7	1	57.1%	42.9%	42.9%	50.0%	7.1%
不妊症	9	3	3	1	4	3	33.3%	33.3%	11.1%	44.4%	33.3%
その他	23	11	7	3	4	4	47.8%	30.4%	13.0%	17.4%	17.4%

表 101 患者と医療従事者の良好な関係づくりができていない理由；傷病中分類別（入院）

	総数	実数					%				
		医療情報について提供が不十分と思うから	提供された医療情報にたいしての説明がわかりにくいから	疾病を理由とする差別・偏見を感じたから	医療従事者の対応が不親切だったから	その他	医療情報について提供が不十分と思うから	提供された医療情報にたいしての説明がわかりにくいから	疾病を理由とする差別・偏見を感じたから	医療従事者の対応が不親切だったから	その他
総数	174	58	66	30	69	26	33.3%	37.9%	17.2%	39.7%	14.9%
感染症	7	1	3	1	4	1	14.3%	42.9%	14.3%	57.1%	14.3%
内分泌・代謝障害	12	7	7	1	6	1	58.3%	58.3%	8.3%	50.0%	8.3%
精神・神経	42	9	13	12	21	7	21.4%	31.0%	28.6%	50.0%	16.7%
眼	5	1	4	1	2	0	20.0%	80.0%	20.0%	40.0%	0.0%
耳	2	1	1	1	2	1	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	50.0%
循環器系	41	16	14	10	13	8	39.0%	34.1%	24.4%	31.7%	19.5%
呼吸器系	15	4	5	4	6	1	26.7%	33.3%	26.7%	40.0%	6.7%
消化器系	22	10	10	3	9	1	45.5%	45.5%	13.6%	40.9%	4.5%
歯	4	3	2	1	3	0	75.0%	50.0%	25.0%	75.0%	0.0%
皮膚	4	1	1	2	3	0	25.0%	25.0%	50.0%	75.0%	0.0%
筋骨格系	12	2	6	3	3	2	16.7%	50.0%	25.0%	25.0%	16.7%
尿路生殖器系	9	4	4	3	2	3	44.4%	44.4%	33.3%	22.2%	33.3%
損傷	22	11	8	5	11	7	50.0%	36.4%	22.7%	50.0%	31.8%
貧血・血液	3	2	2	2	2	0	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	0.0%
悪性新生物	13	5	5	1	8	2	38.5%	38.5%	7.7%	61.5%	15.4%
妊娠・産褥	8	4	3	2	3	1	50.0%	37.5%	25.0%	37.5%	12.5%
不妊症	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	10	3	5	2	1	2	30.0%	50.0%	20.0%	10.0%	20.0%

図 83 患者と医療従事者の良好な関係づくりができていない理由；傷病中分類別「疾病を理由とする差別・偏見を感じたから」を選択した回答者の割合（通院・入院）





(10) 医療機関における取り組みの周知状況

患者と医療従事者が良好な関係を築くための取り組みについて、「知っているものはない」と回答した者の割合を傷病中分類別にみると、通院が入院を10ポイント以上上回っているのは、「歯(28.7ポイント)」「皮膚(25.8ポイント)」「眼(21.4ポイント)」「耳(21.3ポイント)」「その他(18.0ポイント)」「筋骨格系(15.9ポイント)」「精神・神経(13.9ポイント)」「貧血・血液(12.6ポイント)」「循環器系(11.4ポイント)」である。

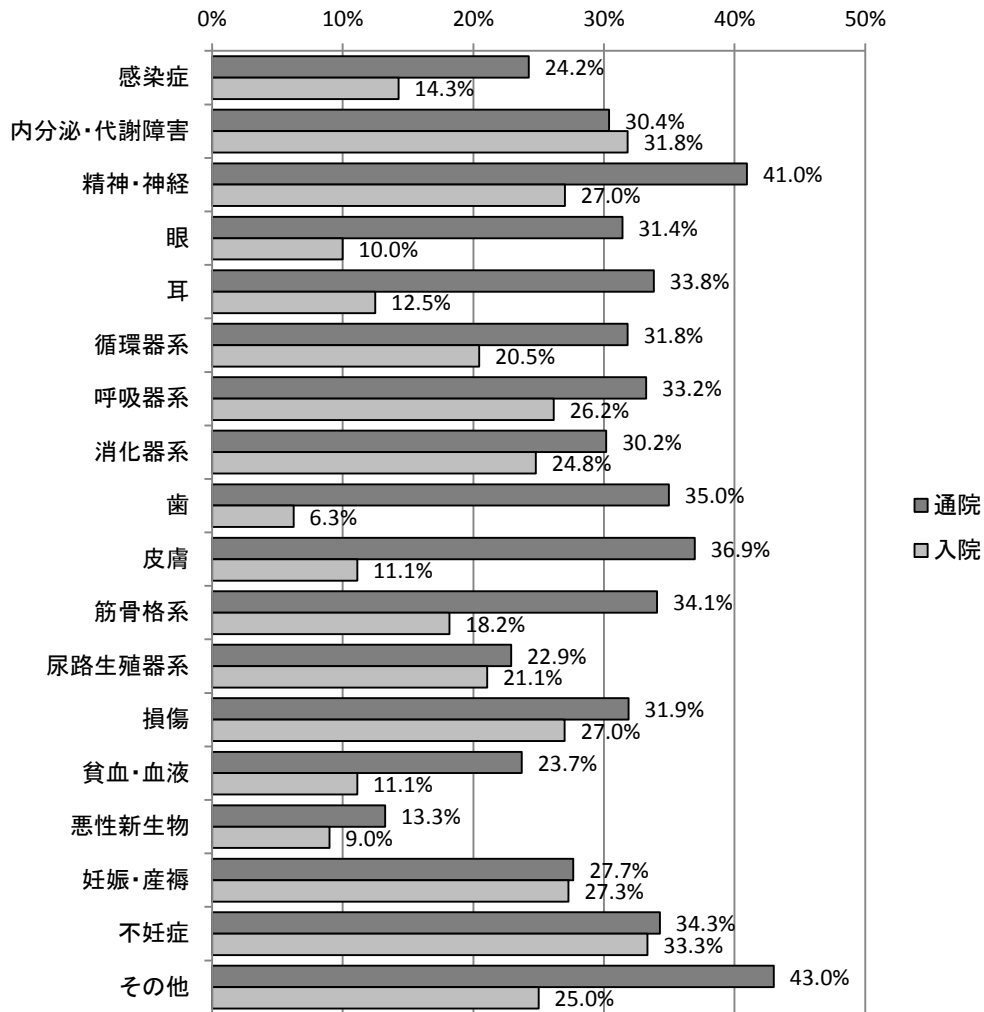
表 102 医療機関における取り組みの周知状況；傷病中分類別（通院）

傷病中分類別	総数	実数										%											
		情を聴くための相談窓口の設置	患者や家族の声や相談・要望・苦情を聴くための意見箱の設置	患者や家族の声や相談・要望・苦情を聴くための患者満足度調査の実施	患者や家族の声や相談・要望・苦情を聴くための患者満足度調査の実施	患者や家族と医療従事者に関する勉強会等の開催	患者や家族と医療従事者による勉強会等の開催	診療結果が記載された紙等の交付	患者や家族と医療従事者の相互理解の促進のための指針の作成や宣言等の促進	患者や家族と医療従事者の相互理解の促進のための指針の作成や宣言等の促進	患者への医療情報提供のためのパンフレット等の配布	その他の取り組み	知っているものはない	情を聴くための相談窓口の設置	患者や家族の声や相談・要望・苦情を聴くための意見箱の設置	患者や家族の声や相談・要望・苦情を聴くための患者満足度調査の実施	患者や家族の声や相談・要望・苦情を聴くための患者満足度調査の実施	患者や家族と医療従事者に関する勉強会等の開催	患者や家族と医療従事者による勉強会等の開催	診療結果が記載された紙等の交付	患者や家族と医療従事者の相互理解の促進のための指針の作成や宣言等の促進	患者や家族と医療従事者の相互理解の促進のための指針の作成や宣言等の促進	患者への医療情報提供のためのパンフレット等の配布
総数	4,985	1,806	1,715	1,006	918	1,684	743	1,460	36	1,849	36.2%	34.4%	20.2%	18.4%	33.8%	14.9%	29.3%	0.7%	37.1%				
感染症	132	66	54	38	36	60	30	47	1	32	50.0%	40.9%	28.8%	27.3%	45.5%	22.7%	35.6%	0.8%	24.2%				
内分泌・代謝障害	1,250	494	481	295	293	494	214	418	16	380	39.5%	38.5%	23.6%	23.4%	39.5%	17.1%	33.4%	1.3%	30.4%				
精神・神経	1,282	456	445	269	243	357	200	337	10	525	35.6%	34.7%	21.0%	19.0%	27.8%	15.6%	26.3%	0.8%	41.0%				
眼	815	352	330	192	183	330	145	277	13	256	43.2%	40.5%	23.6%	22.5%	40.5%	17.8%	34.0%	1.6%	31.4%				
耳	210	92	81	58	44	86	40	63	2	71	43.8%	38.6%	27.6%	21.0%	41.0%	19.0%	30.0%	1.0%	33.8%				
循環器系	1,625	672	601	359	346	645	275	530	16	517	41.4%	37.0%	22.1%	21.3%	39.7%	16.9%	32.6%	1.0%	31.8%				
呼吸器系	1,011	406	400	240	191	355	169	334	9	336	40.2%	39.6%	23.7%	18.9%	35.1%	16.7%	33.0%	0.9%	33.2%				
消化器系	719	306	303	188	176	297	144	264	9	217	42.6%	42.1%	26.1%	24.5%	41.3%	20.0%	36.7%	1.3%	30.2%				
歯	1,693	645	620	367	332	630	276	525	10	592	38.1%	36.6%	21.7%	19.6%	37.2%	16.3%	31.0%	0.6%	35.0%				
皮膚	766	282	282	157	142	256	131	228	6	283	36.8%	36.8%	20.5%	18.5%	33.4%	17.1%	29.8%	0.8%	36.9%				
筋骨格系	1,083	428	410	250	234	412	188	352	5	369	39.5%	37.9%	23.1%	21.6%	38.0%	17.4%	32.5%	0.5%	34.1%				
泌尿生殖器系	332	172	159	78	91	155	67	117	3	76	51.8%	47.9%	23.5%	27.4%	46.7%	20.2%	35.2%	0.9%	22.9%				
損傷	323	141	141	90	78	125	74	115	1	103	43.7%	43.7%	27.9%	24.1%	38.7%	22.9%	35.6%	0.3%	31.9%				
貧血・血液	97	48	49	37	27	41	25	36	1	23	49.5%	50.5%	38.1%	27.8%	42.3%	25.8%	37.1%	1.0%	23.7%				
悪性新生物	249	162	144	88	87	129	68	121	2	33	65.1%	57.8%	35.3%	34.9%	51.8%	27.3%	48.6%	0.8%	13.3%				
妊娠・産褥	47	24	19	17	13	24	14	18	0	13	51.1%	40.4%	36.2%	27.7%	51.1%	29.8%	38.3%	0.0%	27.7%				
不妊症	35	13	14	10	9	15	6	11	0	12	37.1%	40.0%	28.6%	25.7%	42.9%	17.1%	31.4%	0.0%	34.3%				
その他	93	34	33	22	17	33	20	30	0	40	36.6%	35.5%	23.7%	18.3%	35.5%	21.5%	32.3%	0.0%	43.0%				

表 103 医療機関における取り組みの周知状況；傷病中分類別（入院）

傷病中分類別	総数	実数										%											
		情を聴くための相談窓口の設置	患者や家族の声や相談・要望・苦情を聴くための意見箱の設置	患者や家族の声や相談・要望・苦情を聴くための患者満足度調査の実施	患者や家族の声や相談・要望・苦情を聴くための患者満足度調査の実施	患者や家族と医療従事者に関する勉強会等の開催	患者や家族と医療従事者による勉強会等の開催	診療結果が記載された紙等の交付	患者や家族と医療従事者の相互理解の促進のための指針の作成や宣言等の促進	患者や家族と医療従事者の相互理解の促進のための指針の作成や宣言等の促進	患者への医療情報提供のためのパンフレット等の配布	その他の取り組み	知っているものはない	情を聴くための相談窓口の設置	患者や家族の声や相談・要望・苦情を聴くための意見箱の設置	患者や家族の声や相談・要望・苦情を聴くための患者満足度調査の実施	患者や家族の声や相談・要望・苦情を聴くための患者満足度調査の実施	患者や家族と医療従事者に関する勉強会等の開催	患者や家族と医療従事者による勉強会等の開催	診療結果が記載された紙等の交付	患者や家族と医療従事者の相互理解の促進のための指針の作成や宣言等の促進	患者や家族と医療従事者の相互理解の促進のための指針の作成や宣言等の促進	患者への医療情報提供のためのパンフレット等の配布
総数	798	415	383	252	225	347	206	292	12	187	52.0%	48.0%	31.6%	28.2%	43.5%	25.8%	36.6%	1.5%	23.4%				
感染症	28	18	17	9	11	13	13	13	0	4	64.3%	60.7%	32.1%	39.3%	46.4%	46.4%	46.4%	0.0%	14.3%				
内分泌・代謝障害	44	15	21	13	13	15	12	10	0	14	34.1%	47.7%	29.5%	29.5%	34.1%	27.3%	22.7%	0.0%	31.8%				
精神・神経	137	70	71	41	37	46	31	37	3	37	51.1%	51.8%	29.9%	27.0%	33.6%	22.6%	27.0%	2.2%	27.0%				
眼	30	20	16	9	12	17	9	14	1	3	66.7%	53.3%	30.0%	40.0%	56.7%	50.0%	46.7%	3.3%	10.0%				
耳	8	4	6	5	4	4	4	3	0	1	50.0%	75.0%	62.5%	50.0%	50.0%	50.0%	37.5%	0.0%	12.5%				
循環器系	176	94	83	65	59	88	46	66	3	36	53.4%	47.2%	36.9%	33.5%	50.0%	26.1%	37.5%	1.7%	20.5%				
呼吸器系	65	36	33	24	18	22	20	25	1	17	55.4%	50.8%	36.9%	27.7%	33.8%	30.8%	38.5%	1.5%	26.2%				
消化器系	117	64	53	41	39	50	39	46	3	29	54.7%	45.3%	35.0%	33.3%	42.7%	33.3%	39.3%	2.6%	24.8%				
歯	16	11	9	9	7	12	10	10	1	1	68.8%	56.3%	56.3%	43.8%	75.0%	62.5%	62.5%	6.3%	6.3%				
皮膚	18	12	8	7	8	13	9	9	1	2	66.7%	44.4%	38.9%	44.4%	72.2%	50.0%	50.0%	5.6%	11.1%				
筋骨格系	55	35	32	23	19	23	22	25	1	10	63.6%	58.2%	41.8%	34.5%	41.8%	40.0%	45.5%	1.8%	18.2%				
泌尿生殖器系	38	21	14	11	12	17	15	8	1	8	55.3%	36.8%	28.9%	31.6%	44.7%	39.5%	21.1%	2.6%	21.1%				
損傷	100	46	47	31	15	47	28	37	1	27	46.0%	47.0%	31.0%	15.0%	47.0%	28.0%	37.0%	1.0%	27.0%				
貧血・血液	9	8	7	7	7	6	6	5	0	1	88.9%	77.8%	77.8%	77.8%	66.7%	66.7%	55.6%	0.0%	11.1%				
悪性新生物	100	70	59	40	40	61	36	54	1	9	70.0%	59.0%	40.0%	40.0%	61.0%	36.0%	54.0%	1.0%	9.0%				
妊娠・産褥	22	12	8	9	6	9	7	11	0	6	54.5%	36.4%	40.9%	27.3%	40.9%	31.8%	50.0%	0.0%	27.3%				
不妊症	3	2	1	1	1	2	1	1	0	1	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%				
その他	28	13	16	11	9	14	10	13	1	7	46.4%	57.1%	39.3%	32.1%	50.0%	35.7%	46.4%	3.6%	25.0%				

図 84 医療機関における取り組みの周知状況；傷病中分類別  
「知っているものはない」を選択した回答者の割合（通院・入院）



患者と医療従事者が良好な関係を築くための取り組みについて、「利用したことがあるものはない」と回答した者の割合を傷病中分類別にみると、通院が入院を10ポイント以上上回っているのは、「歯(16.8ポイント)」「貧血・血液(16.4ポイント)」「耳(16.3ポイント)」「内分泌・代謝障害(15.9ポイント)」「妊娠・産褥(15.8ポイント)」「呼吸器系(14.4ポイント)」「皮膚(13.5ポイント)」「その他(12.8ポイント)」「消化器系(10.2ポイント)」である。一方、入院が通院を10ポイント以上上回っているのは、「不妊症(11.9ポイント)」「尿路生殖器系(11.3ポイント)」である。

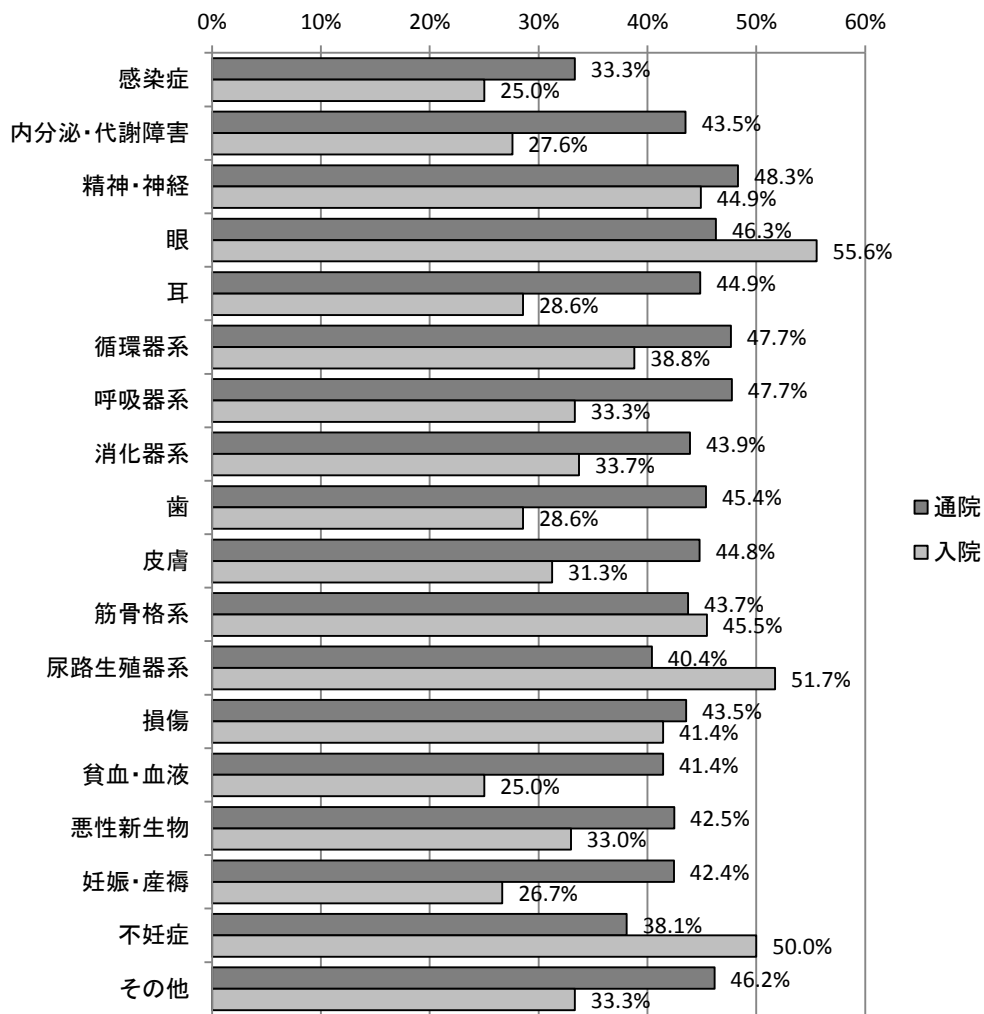
表 104 医療機関における取り組みの利用状況；傷病中分類別（通院）

	総数	実数					%								
		患者や家族の相談窓口の設置	患者や家族の意見箱の設置	患者や家族の声や相談・要望・苦情を聴くための患者満足度調査（患者アンケートの実施）	患者や家族と医療従事者に関する勉強会等の開催（病気やけが）に関する勉強会等の開催	診療結果が記載された紙等の交付	利用したことがあるものはない	その他の取り組み	患者や家族の相談窓口の設置	患者や家族の意見箱の設置	患者や家族の声や相談・要望・苦情を聴くための患者満足度調査（患者アンケートの実施）	患者や家族と医療従事者に関する勉強会等の開催（病気やけが）に関する勉強会等の開催	診療結果が記載された紙等の交付	その他の取り組み	利用したことがあるものはない
総数	2,926	315	222	290	198	1,039	20	1,460	10.8%	7.6%	9.9%	6.8%	35.5%	0.7%	49.9%
感染症	96	26	16	20	15	41	1	32	27.1%	16.7%	20.8%	15.6%	42.7%	1.0%	33.3%
内分泌・代謝障害	816	98	68	88	79	334	10	355	12.0%	8.3%	10.8%	9.7%	40.9%	1.2%	43.5%
精神・神経	716	106	87	91	47	222	6	346	14.8%	12.2%	12.7%	6.6%	31.0%	0.8%	48.3%
眼	527	69	48	57	49	207	8	244	13.1%	9.1%	10.8%	9.3%	39.3%	1.5%	46.3%
耳	136	23	11	18	16	56	2	61	16.9%	8.1%	13.2%	11.8%	41.2%	1.5%	44.9%
循環器系	1,047	116	73	112	83	416	10	499	11.1%	7.0%	10.7%	7.9%	39.7%	1.0%	47.7%
呼吸器系	622	79	59	70	40	216	6	297	12.7%	9.5%	11.3%	6.4%	34.7%	1.0%	47.7%
消化器系	476	61	37	65	46	191	6	209	12.8%	7.8%	13.7%	9.7%	40.1%	1.3%	43.9%
歯	1,040	126	92	121	79	400	6	472	12.1%	8.8%	11.6%	7.6%	38.5%	0.6%	45.4%
皮膚	442	68	39	49	26	170	4	198	15.4%	8.8%	11.1%	5.9%	38.5%	0.9%	44.8%
筋骨格系	663	85	68	77	58	262	3	290	12.8%	10.3%	11.6%	8.7%	39.5%	0.5%	43.7%
尿路生殖器系	245	40	26	32	29	111	3	99	16.3%	10.6%	13.1%	11.8%	45.3%	1.2%	40.4%
損傷	209	38	21	27	18	84	0	91	18.2%	10.0%	12.9%	8.6%	40.2%	0.0%	43.5%
貧血・血液	70	10	14	12	10	29	1	29	14.3%	20.0%	17.1%	14.3%	41.4%	1.4%	41.4%
悪性新生物	212	39	19	33	26	86	0	90	18.4%	9.0%	15.6%	12.3%	40.6%	0.0%	42.5%
妊娠・産褥	33	6	3	7	5	16	0	14	18.2%	9.1%	21.2%	15.2%	48.5%	0.0%	42.4%
不妊症	21	4	3	5	5	10	0	8	19.0%	14.3%	23.8%	23.8%	47.6%	0.0%	38.1%
その他	52	8	5	8	6	20	0	24	15.4%	9.6%	15.4%	11.5%	38.5%	0.0%	46.2%

表 105 医療機関における取り組みの利用状況；傷病中分類別（入院）

	総数	実数							%						
		聴くための相談窓口の設置	聴くための意見箱の設置	患者や家族の声を相談・要望・苦情をアンケート調査の実施	患者や家族と医療従事者に関する勉強会等の開催	患者や家族と医療従事者による傷病の関	診察結果が記載された紙等の交付	その他の取り組み	利用したことがあるものはない	聴くための相談窓口の設置	聴くための意見箱の設置	患者や家族の声を相談・要望・苦情をアンケート調査の実施	患者や家族と医療従事者による傷病の関	診察結果が記載された紙等の交付	その他の取り組み
総数	592	97	76	104	68	221	7	248	16.4%	12.8%	17.6%	11.5%	37.3%	1.2%	41.9%
感染症	24	9	8	4	7	11	0	6	37.5%	33.3%	16.7%	29.2%	45.8%	0.0%	25.0%
内分泌・代謝障害	29	5	6	3	7	12	0	8	17.2%	20.7%	10.3%	24.1%	41.4%	0.0%	27.6%
精神・神経	98	18	14	18	10	28	2	44	18.4%	14.3%	18.4%	10.2%	28.6%	2.0%	44.9%
眼	27	3	2	4	3	9	1	15	11.1%	7.4%	14.8%	11.1%	33.3%	3.7%	55.6%
耳	7	1	2	3	2	2	0	2	14.3%	28.6%	42.9%	28.6%	28.6%	0.0%	28.6%
循環器系	134	25	19	23	23	56	2	52	18.7%	14.2%	17.2%	17.2%	41.8%	1.5%	38.8%
呼吸器系	45	13	7	9	6	14	1	15	28.9%	15.6%	20.0%	13.3%	31.1%	2.2%	33.3%
消化器系	86	17	13	20	15	38	1	29	19.8%	15.1%	23.3%	17.4%	44.2%	1.2%	33.7%
歯	14	6	3	6	4	7	0	4	42.9%	21.4%	42.9%	28.6%	50.0%	0.0%	28.6%
皮膚	16	3	4	3	4	8	0	5	18.8%	25.0%	18.8%	25.0%	50.0%	0.0%	31.3%
筋骨格系	44	11	6	12	8	15	0	20	25.0%	13.6%	27.3%	18.2%	34.1%	0.0%	45.5%
尿路生殖器系	29	5	4	8	6	10	0	15	17.2%	13.8%	27.6%	20.7%	34.5%	0.0%	51.7%
損傷	70	8	9	12	5	31	0	29	11.4%	12.9%	17.1%	7.1%	44.3%	0.0%	41.4%
貧血・血液	8	4	4	3	3	4	0	2	50.0%	50.0%	37.5%	37.5%	50.0%	0.0%	25.0%
悪性新生物	91	20	10	19	15	47	0	30	22.0%	11.0%	20.9%	16.5%	51.6%	0.0%	33.0%
妊娠・産褥	15	3	1	4	4	6	0	4	20.0%	6.7%	26.7%	26.7%	40.0%	0.0%	26.7%
不妊症	2	1	1	1	1	1	0	1	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%
その他	21	3	4	6	2	11	0	7	14.3%	19.0%	28.6%	9.5%	52.4%	0.0%	33.3%

図 85 医療機関における取り組みの利用状況；傷病中分類別  
 「利用したことがあるものはない」を選択した回答者の割合（通院・入院）



### 3. その他

#### (1) 適切なタイミングで必要な医療を受ける権利

「適切なタイミングで必要な医療を受ける権利」が保障されていると「思わない」と回答した者の割合を傷病中分類別にみると、通院が入院を10ポイント以上上回っているのは、「不妊症(11.4ポイント)」である。一方、入院が通院を10ポイント以上上回っているのは、「歯(15.5ポイント)」「耳(10.2ポイント)」である。

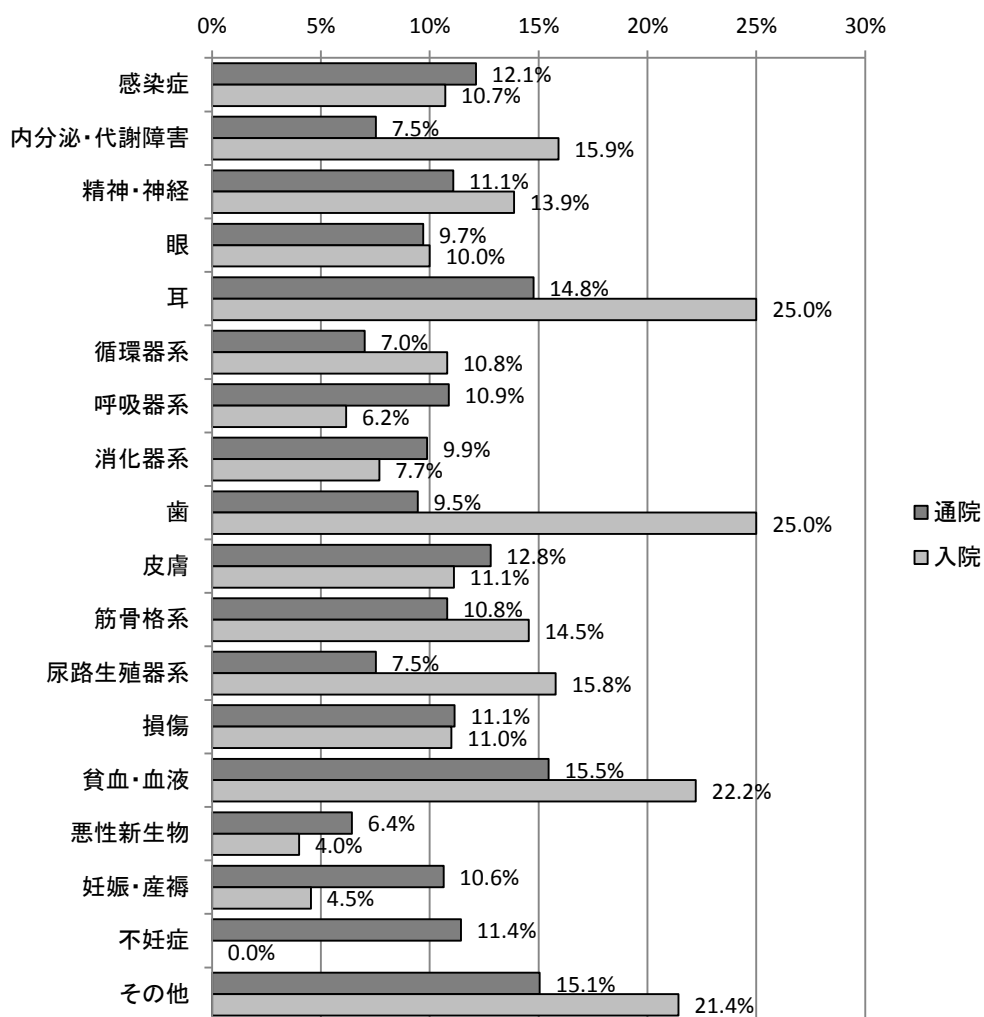
表 106 適切なタイミングで必要な医療を受ける権利の保障；傷病中分類別（通院）

	総数	実数				%			
		十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
総数	4,985	650	3,463	457	415	13.0%	69.5%	9.2%	8.3%
感染症	132	23	82	16	11	17.4%	62.1%	12.1%	8.3%
内分泌・代謝障害	1,250	188	888	94	80	15.0%	71.0%	7.5%	6.4%
精神・神経	1,282	187	832	142	121	14.6%	64.9%	11.1%	9.4%
眼	815	100	586	79	50	12.3%	71.9%	9.7%	6.1%
耳	210	22	144	31	13	10.5%	68.6%	14.8%	6.2%
循環器系	1,625	243	1,181	114	87	15.0%	72.7%	7.0%	5.4%
呼吸器系	1,011	157	678	110	66	15.5%	67.1%	10.9%	6.5%
消化器系	719	112	496	71	40	15.6%	69.0%	9.9%	5.6%
歯	1,693	218	1,185	160	130	12.9%	70.0%	9.5%	7.7%
皮膚	766	90	504	98	74	11.7%	65.8%	12.8%	9.7%
筋骨格系	1,083	140	761	117	65	12.9%	70.3%	10.8%	6.0%
尿路生殖器系	332	51	236	25	20	15.4%	71.1%	7.5%	6.0%
損傷	323	34	236	36	17	10.5%	73.1%	11.1%	5.3%
貧血・血液	97	12	60	15	10	12.4%	61.9%	15.5%	10.3%
悪性新生物	249	44	176	16	13	17.7%	70.7%	6.4%	5.2%
妊娠・産褥	47	8	29	5	5	17.0%	61.7%	10.6%	10.6%
不妊症	35	1	27	4	3	2.9%	77.1%	11.4%	8.6%
その他	93	8	58	14	13	8.6%	62.4%	15.1%	14.0%

表 107 適切なタイミングで必要な医療を受ける権利の保障；傷病中分類別（入院）

	総数	実数				%			
		十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
総数	798	155	515	81	47	19.4%	64.5%	10.2%	5.9%
感染症	28	8	15	3	2	28.6%	53.6%	10.7%	7.1%
内分泌・代謝障害	44	7	28	7	2	15.9%	63.6%	15.9%	4.5%
精神・神経	137	26	78	19	14	19.0%	56.9%	13.9%	10.2%
眼	30	6	20	3	1	20.0%	66.7%	10.0%	3.3%
耳	8	1	5	2	0	12.5%	62.5%	25.0%	0.0%
循環器系	176	38	112	19	7	21.6%	63.6%	10.8%	4.0%
呼吸器系	65	12	45	4	4	18.5%	69.2%	6.2%	6.2%
消化器系	117	20	84	9	4	17.1%	71.8%	7.7%	3.4%
歯	16	5	6	4	1	31.3%	37.5%	25.0%	6.3%
皮膚	18	8	8	2	0	44.4%	44.4%	11.1%	0.0%
筋骨格系	55	7	37	8	3	12.7%	67.3%	14.5%	5.5%
尿路生殖器系	38	6	22	6	4	15.8%	57.9%	15.8%	10.5%
損傷	100	15	71	11	3	15.0%	71.0%	11.0%	3.0%
貧血・血液	9	0	6	2	1	0.0%	66.7%	22.2%	11.1%
悪性新生物	100	26	66	4	4	26.0%	66.0%	4.0%	4.0%
妊娠・産褥	22	3	17	1	1	13.6%	77.3%	4.5%	4.5%
不妊症	3	1	2	0	0	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
その他	28	4	14	6	4	14.3%	50.0%	21.4%	14.3%

図 86 適切なタイミングで必要な医療を受ける権利の保障；傷病中分類別「思わない」を選択した回答者の割合（通院・入院）



### 3：年齢階級別・通院／入院別クロス集計の結果

#### 1. 医療情報の提供と説明について

##### (1) 適切なタイミングでの医療情報の提供について

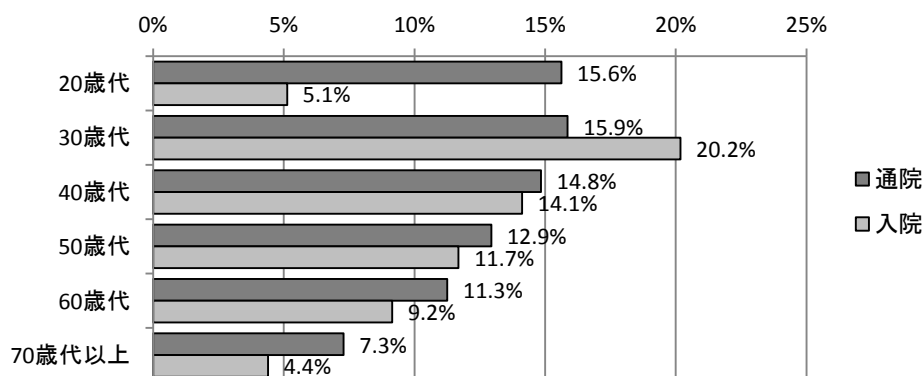
表 108 適切なタイミングでの医療情報の提供；年齢階級別（通院）

	総数	実数				%			
		十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
総数	4,985	654	3,354	648	329	13.1%	67.3%	13.0%	6.6%
20歳代	192	14	121	30	27	7.3%	63.0%	15.6%	14.1%
30歳代	662	87	409	105	61	13.1%	61.8%	15.9%	9.2%
40歳代	1,226	144	786	182	114	11.7%	64.1%	14.8%	9.3%
50歳代	1,368	169	945	177	77	12.4%	69.1%	12.9%	5.6%
60歳代	1,057	145	757	119	36	13.7%	71.6%	11.3%	3.4%
70歳代以上	480	95	336	35	14	19.8%	70.0%	7.3%	2.9%

表 109 適切なタイミングでの医療情報の提供；年齢階級別（入院）

	総数	実数				%			
		十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
総数	798	186	488	94	30	23.3%	61.2%	11.8%	3.8%
20歳代	39	4	27	2	6	10.3%	69.2%	5.1%	15.4%
30歳代	114	25	63	23	3	21.9%	55.3%	20.2%	2.6%
40歳代	170	28	106	24	12	16.5%	62.4%	14.1%	7.1%
50歳代	231	58	140	27	6	25.1%	60.6%	11.7%	2.6%
60歳代	153	37	100	14	2	24.2%	65.4%	9.2%	1.3%
70歳代以上	91	34	52	4	1	37.4%	57.1%	4.4%	1.1%

図 87 適切なタイミングでの医療情報の提供；年齢階級別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院・入院）





(2) 必要とする量の医療情報の提供について

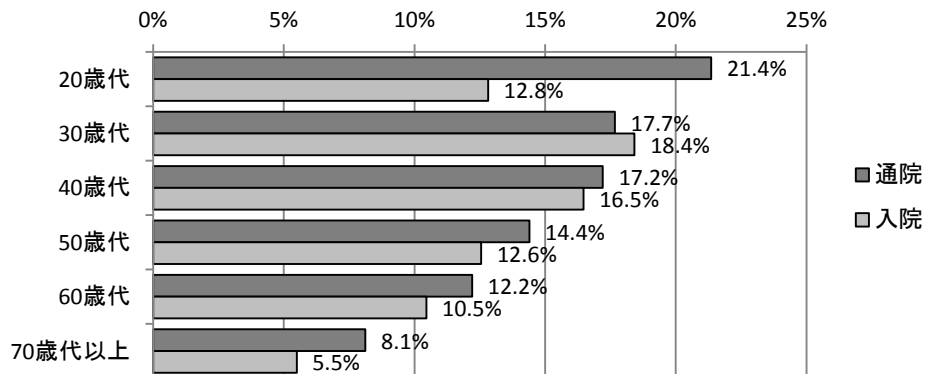
表 110 必要とする量の医療情報の提供；年齢階級別（通院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	4,985	603	3,338	734	310	12.1%	67.0%	14.7%	6.2%
20歳代	192	15	112	41	24	7.8%	58.3%	21.4%	12.5%
30歳代	662	84	397	117	64	12.7%	60.0%	17.7%	9.7%
40歳代	1,226	128	784	211	103	10.4%	63.9%	17.2%	8.4%
50歳代	1,368	165	935	197	71	12.1%	68.3%	14.4%	5.2%
60歳代	1,057	131	757	129	40	12.4%	71.6%	12.2%	3.8%
70歳代以上	480	80	353	39	8	16.7%	73.5%	8.1%	1.7%

表 111 必要とする量の医療情報の提供；年齢階級別（入院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	798	166	493	104	35	20.8%	61.8%	13.0%	4.4%
20歳代	39	5	23	5	6	12.8%	59.0%	12.8%	15.4%
30歳代	114	24	60	21	9	21.1%	52.6%	18.4%	7.9%
40歳代	170	23	110	28	9	13.5%	64.7%	16.5%	5.3%
50歳代	231	49	146	29	7	21.2%	63.2%	12.6%	3.0%
60歳代	153	34	99	16	4	22.2%	64.7%	10.5%	2.6%
70歳代以上	91	31	55	5	0	34.1%	60.4%	5.5%	0.0%

図 88 必要とする量の医療情報の提供；年齢階級別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院・入院）



(3) 分かりやすい医療情報の提供について

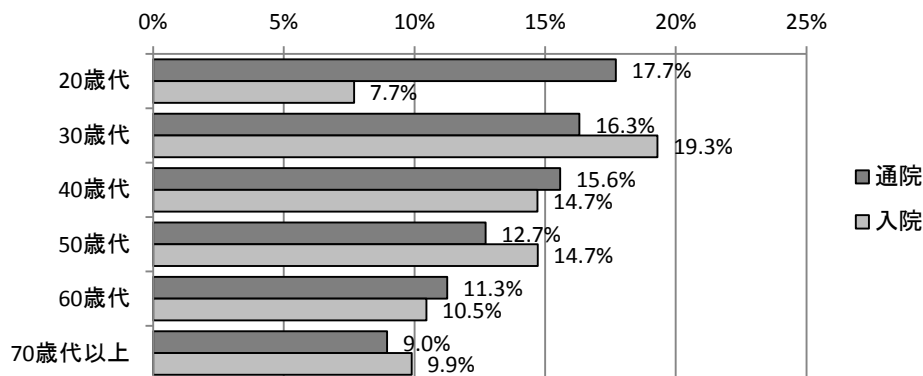
表 112 分かりやすい医療情報の説明；年齢階級別（通院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	4,985	802	3,312	669	202	16.1%	66.4%	13.4%	4.1%
20歳代	192	23	115	34	20	12.0%	59.9%	17.7%	10.4%
30歳代	662	105	416	108	33	15.9%	62.8%	16.3%	5.0%
40歳代	1,226	176	783	191	76	14.4%	63.9%	15.6%	6.2%
50歳代	1,368	212	936	174	46	15.5%	68.4%	12.7%	3.4%
60歳代	1,057	176	739	119	23	16.7%	69.9%	11.3%	2.2%
70歳代以上	480	110	323	43	4	22.9%	67.3%	9.0%	0.8%

表 113 分かりやすい医療情報の説明；年齢階級別（入院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	798	199	467	109	23	24.9%	58.5%	13.7%	2.9%
20歳代	39	8	21	3	7	20.5%	53.8%	7.7%	17.9%
30歳代	114	25	64	22	3	21.9%	56.1%	19.3%	2.6%
40歳代	170	29	110	25	6	17.1%	64.7%	14.7%	3.5%
50歳代	231	58	135	34	4	25.1%	58.4%	14.7%	1.7%
60歳代	153	39	95	16	3	25.5%	62.1%	10.5%	2.0%
70歳代以上	91	40	42	9	0	44.0%	46.2%	9.9%	0.0%

図 89 分かりやすい医療情報の説明；年齢階級別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院・入院）



(4) カルテ開示

表 114 カルテなどの開示義務の周知状況；年齢階級別（通院）

	総数	実数		%	
		知っている	知らない	知っている	知らない
総数	4,985	2,877	2,108	57.7%	42.3%
20歳代	192	97	95	50.5%	49.5%
30歳代	662	338	324	51.1%	48.9%
40歳代	1,226	680	546	55.5%	44.5%
50歳代	1,368	797	571	58.3%	41.7%
60歳代	1,057	659	398	62.3%	37.7%
70歳代以上	480	306	174	63.8%	36.3%

表 115 カルテなどの開示義務の周知状況；年齢階級別（入院）

	総数	実数		%	
		知っている	知らない	知っている	知らない
総数	798	520	278	65.2%	34.8%
20歳代	39	25	14	64.1%	35.9%
30歳代	114	66	48	57.9%	42.1%
40歳代	170	95	75	55.9%	44.1%
50歳代	231	162	69	70.1%	29.9%
60歳代	153	110	43	71.9%	28.1%
70歳代以上	91	62	29	68.1%	31.9%

図 90 カルテなどの開示義務の周知状況；年齢階級別  
「知っている」を選択した回答者の割合（通院・入院）

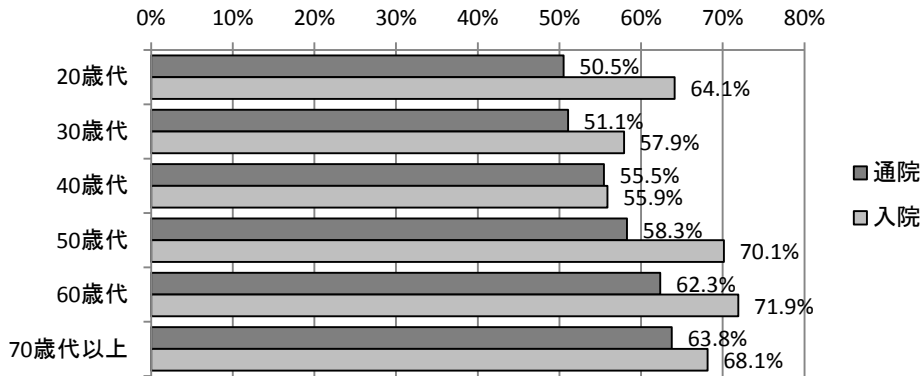


表 116 カルテ開示の請求状況；年齢階級別（通院）

	総数	実数		%	
		開示を求めたことがある	開示を求めたことはない	開示を求めたことがある	開示を求めたことはない
総数	4,985	305	4,680	6.1%	93.9%
20歳代	192	24	168	12.5%	87.5%
30歳代	662	58	604	8.8%	91.2%
40歳代	1,226	72	1,154	5.9%	94.1%
50歳代	1,368	77	1,291	5.6%	94.4%
60歳代	1,057	50	1,007	4.7%	95.3%
70歳代以上	480	24	456	5.0%	95.0%

表 117 カルテ開示の請求状況；年齢階級別（入院）

	総数	実数		%	
		開示を求めたことがある	開示を求めたことはない	開示を求めたことがある	開示を求めたことはない
総数	798	115	683	14.4%	85.6%
20歳代	39	13	26	33.3%	66.7%
30歳代	114	27	87	23.7%	76.3%
40歳代	170	22	148	12.9%	87.1%
50歳代	231	24	207	10.4%	89.6%
60歳代	153	21	132	13.7%	86.3%
70歳代以上	91	8	83	8.8%	91.2%

図 91 カルテ開示の請求状況；年齢階級別  
「開示を求めたことがある」を選択した回答者の割合（通院・入院）

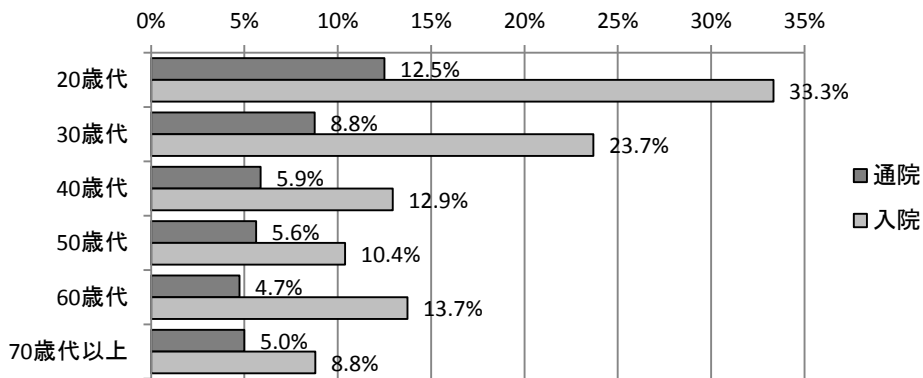


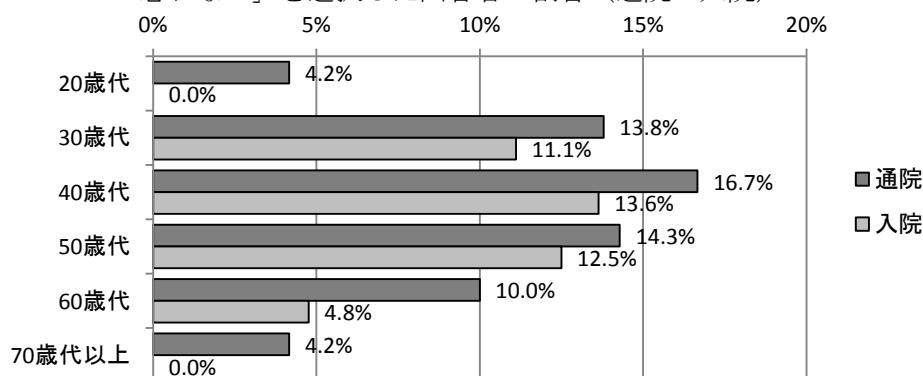
表 118 カルテ開示の有用性；年齢階級別（通院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	305	91	158	38	18	29.8%	51.8%	12.5%	5.9%
20歳代	24	7	15	1	1	29.2%	62.5%	4.2%	4.2%
30歳代	58	20	26	8	4	34.5%	44.8%	13.8%	6.9%
40歳代	72	12	42	12	6	16.7%	58.3%	16.7%	8.3%
50歳代	77	26	37	11	3	33.8%	48.1%	14.3%	3.9%
60歳代	50	18	25	5	2	36.0%	50.0%	10.0%	4.0%
70歳代以上	24	8	13	1	2	33.3%	54.2%	4.2%	8.3%

表 119 カルテ開示の有用性；年齢階級別（入院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	115	47	54	10	4	40.9%	47.0%	8.7%	3.5%
20歳代	13	5	7	0	1	38.5%	53.8%	0.0%	7.7%
30歳代	27	11	13	3	0	40.7%	48.1%	11.1%	0.0%
40歳代	22	6	12	3	1	27.3%	54.5%	13.6%	4.5%
50歳代	24	11	9	3	1	45.8%	37.5%	12.5%	4.2%
60歳代	21	11	9	1	0	52.4%	42.9%	4.8%	0.0%
70歳代以上	8	3	4	0	1	37.5%	50.0%	0.0%	12.5%

図 92 カルテ開示の有用性；年齢階級別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院・入院）



(5) セカンドオピニオン

表 120 セカンドオピニオンの利用状況；年齢階級別（通院）

	総数	実数		%	
		ある	ない	ある	ない
総数	4,985	1,117	3,868	22.4%	77.6%
20歳代	192	58	134	30.2%	69.8%
30歳代	662	178	484	26.9%	73.1%
40歳代	1,226	290	936	23.7%	76.3%
50歳代	1,368	289	1,079	21.1%	78.9%
60歳代	1,057	209	848	19.8%	80.2%
70歳代以上	480	93	387	19.4%	80.6%

表 121 セカンドオピニオンの利用状況；年齢階級別（入院）

	総数	実数		%	
		ある	ない	ある	ない
総数	798	259	539	32.5%	67.5%
20歳代	39	18	21	46.2%	53.8%
30歳代	114	42	72	36.8%	63.2%
40歳代	170	58	112	34.1%	65.9%
50歳代	231	60	171	26.0%	74.0%
60歳代	153	53	100	34.6%	65.4%
70歳代以上	91	28	63	30.8%	69.2%

図 93 セカンドオピニオンの利用状況；年齢階級別  
「ある」を選択した回答者の割合（通院・入院）

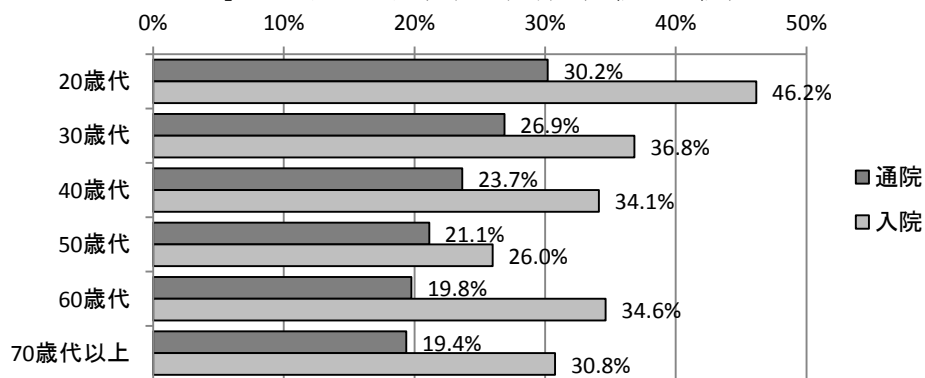


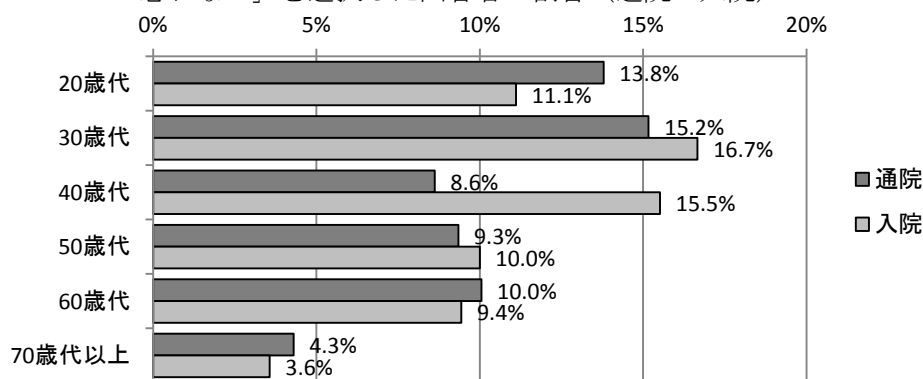
表 122 セカンドオピニオンの有用性；年齢階級別（通院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	1,117	389	572	112	44	34.8%	51.2%	10.0%	3.9%
20歳代	58	15	29	8	6	25.9%	50.0%	13.8%	10.3%
30歳代	178	57	86	27	8	32.0%	48.3%	15.2%	4.5%
40歳代	290	107	144	25	14	36.9%	49.7%	8.6%	4.8%
50歳代	289	103	150	27	9	35.6%	51.9%	9.3%	3.1%
60歳代	209	69	113	21	6	33.0%	54.1%	10.0%	2.9%
70歳代以上	93	38	50	4	1	40.9%	53.8%	4.3%	1.1%

表 123 セカンドオピニオンの有用性；年齢階級別（入院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	259	87	138	30	4	33.6%	53.3%	11.6%	1.5%
20歳代	18	6	9	2	1	33.3%	50.0%	11.1%	5.6%
30歳代	42	13	22	7	0	31.0%	52.4%	16.7%	0.0%
40歳代	58	21	27	9	1	36.2%	46.6%	15.5%	1.7%
50歳代	60	21	32	6	1	35.0%	53.3%	10.0%	1.7%
60歳代	53	14	33	5	1	26.4%	62.3%	9.4%	1.9%
70歳代以上	28	12	15	1	0	42.9%	53.6%	3.6%	0.0%

図 94 セカンドオピニオンの有用性；年齢階級別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院・入院）



2. 患者と医療従事者の良好な関係づくりについて

(6) 尊厳やプライバシーの保護

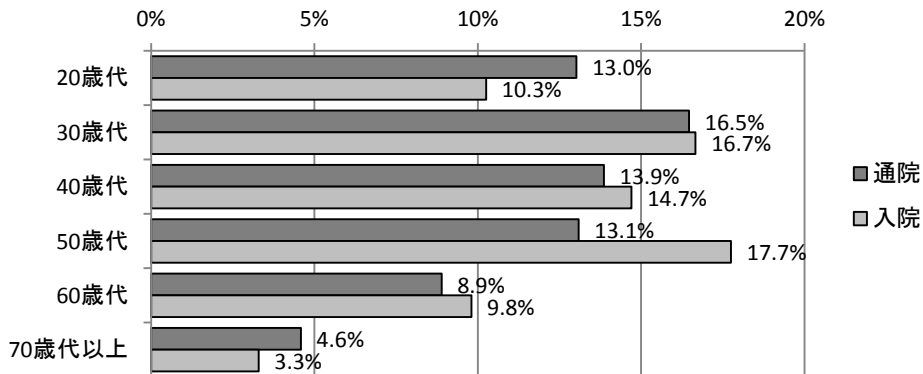
表 124 尊厳やプライバシーの保護；年齢階級別（通院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	4,985	603	3,354	599	429	12.1%	67.3%	12.0%	8.6%
20歳代	192	28	115	25	24	14.6%	59.9%	13.0%	12.5%
30歳代	662	78	400	109	75	11.8%	60.4%	16.5%	11.3%
40歳代	1,226	141	785	170	130	11.5%	64.0%	13.9%	10.6%
50歳代	1,368	152	935	179	102	11.1%	68.3%	13.1%	7.5%
60歳代	1,057	121	772	94	70	11.4%	73.0%	8.9%	6.6%
70歳代以上	480	83	347	22	28	17.3%	72.3%	4.6%	5.8%

表 125 尊厳やプライバシーの保護；年齢階級別（入院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	798	145	507	107	39	18.2%	63.5%	13.4%	4.9%
20歳代	39	9	21	4	5	23.1%	53.8%	10.3%	12.8%
30歳代	114	24	66	19	5	21.1%	57.9%	16.7%	4.4%
40歳代	170	29	105	25	11	17.1%	61.8%	14.7%	6.5%
50歳代	231	32	146	41	12	13.9%	63.2%	17.7%	5.2%
60歳代	153	26	107	15	5	17.0%	69.9%	9.8%	3.3%
70歳代以上	91	25	62	3	1	27.5%	68.1%	3.3%	1.1%

図 95 尊厳やプライバシーの保護；年齢階級別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院・入院）





(7) 自己決定権の尊重

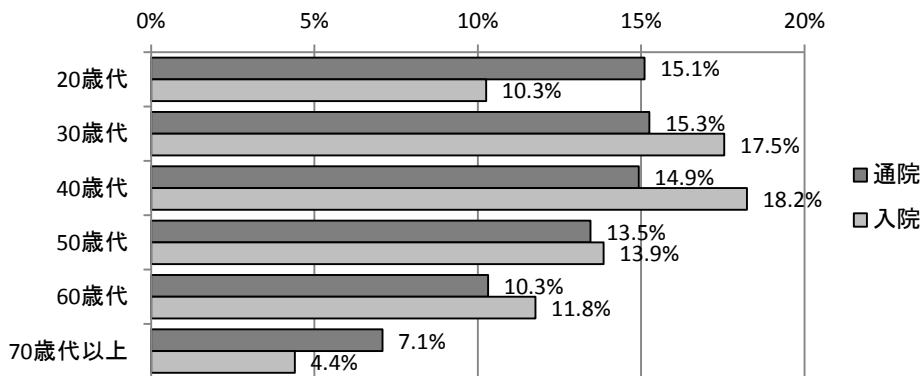
表 126 自己決定権の尊重；年齢階級別（通院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	4,985	658	3,304	640	383	13.2%	66.3%	12.8%	7.7%
20歳代	192	27	109	29	27	14.1%	56.8%	15.1%	14.1%
30歳代	662	93	401	101	67	14.0%	60.6%	15.3%	10.1%
40歳代	1,226	156	767	183	120	12.7%	62.6%	14.9%	9.8%
50歳代	1,368	163	931	184	90	11.9%	68.1%	13.5%	6.6%
60歳代	1,057	147	742	109	59	13.9%	70.2%	10.3%	5.6%
70歳代以上	480	72	354	34	20	15.0%	73.8%	7.1%	4.2%

表 127 自己決定権の尊重；年齢階級別（入院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	798	153	500	109	36	19.2%	62.7%	13.7%	4.5%
20歳代	39	6	25	4	4	15.4%	64.1%	10.3%	10.3%
30歳代	114	22	67	20	5	19.3%	58.8%	17.5%	4.4%
40歳代	170	32	96	31	11	18.8%	56.5%	18.2%	6.5%
50歳代	231	44	146	32	9	19.0%	63.2%	13.9%	3.9%
60歳代	153	30	101	18	4	19.6%	66.0%	11.8%	2.6%
70歳代以上	91	19	65	4	3	20.9%	71.4%	4.4%	3.3%

図 96 自己決定権の尊重；年齢階級別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院・入院）



(8) 医療従事者との良好な関係

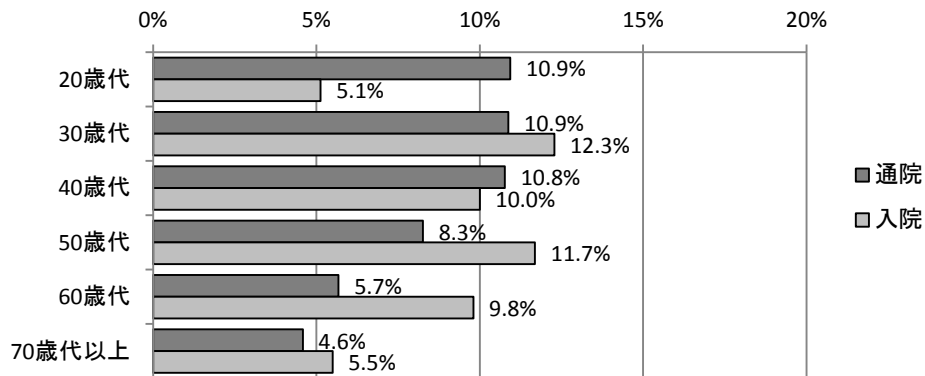
表 128 医療従事者との良好な関係；年齢階級別（通院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	4,985	774	3,441	420	350	15.5%	69.0%	8.4%	7.0%
20歳代	192	26	114	21	31	13.5%	59.4%	10.9%	16.1%
30歳代	662	98	418	72	74	14.8%	63.1%	10.9%	11.2%
40歳代	1,226	161	832	132	101	13.1%	67.9%	10.8%	8.2%
50歳代	1,368	188	988	113	79	13.7%	72.2%	8.3%	5.8%
60歳代	1,057	187	757	60	53	17.7%	71.6%	5.7%	5.0%
70歳代以上	480	114	332	22	12	23.8%	69.2%	4.6%	2.5%

表 129 医療従事者との良好な関係；年齢階級別（入院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	798	177	502	80	39	22.2%	62.9%	10.0%	4.9%
20歳代	39	9	21	2	7	23.1%	53.8%	5.1%	17.9%
30歳代	114	29	63	14	8	25.4%	55.3%	12.3%	7.0%
40歳代	170	29	113	17	11	17.1%	66.5%	10.0%	6.5%
50歳代	231	43	154	27	7	18.6%	66.7%	11.7%	3.0%
60歳代	153	41	93	15	4	26.8%	60.8%	9.8%	2.6%
70歳代以上	91	26	58	5	2	28.6%	63.7%	5.5%	2.2%

図 97 医療従事者との良好な関係；年齢階級別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院・入院）



(9) 患者と医療従事者の良好な関係づくりに向けた課題

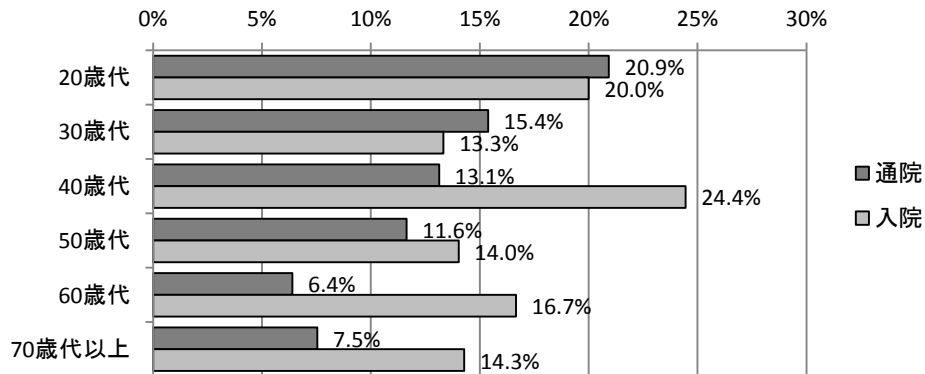
表 130 患者と医療従事者の良好な関係づくりができていない理由；年齢階級別（通院）

	総数	実数					%								
		が医療情報と 思うから	いいから 説明がわか り情報につ く	提供された 医療情報に つ	偏見を理由 とする差別 ・	疾病を理由 とする差別 ・	切だつた から	医療従事 者の対応 が不親	その他	が医療情報 と 思うから	いいから 説明がわか り情報につ く	提供された 医療情報に つ	偏見を理由 とする差別 ・	疾病を理由 とする差別 ・	切だつた から
総数	1,026	421	387	123	360	168	41.0%	37.7%	12.0%	35.1%	16.4%				
20歳代	43	20	18	9	17	8	46.5%	41.9%	20.9%	39.5%	18.6%				
30歳代	169	78	67	26	65	21	46.2%	39.6%	15.4%	38.5%	12.4%				
40歳代	297	126	108	39	112	58	42.4%	36.4%	13.1%	37.7%	19.5%				
50歳代	292	106	109	34	94	44	36.3%	37.3%	11.6%	32.2%	15.1%				
60歳代	172	70	63	11	61	29	40.7%	36.6%	6.4%	35.5%	16.9%				
70歳代以上	53	21	22	4	11	8	39.6%	41.5%	7.5%	20.8%	15.1%				

表 131 患者と医療従事者の良好な関係づくりができていない理由；年齢階級別（入院）

	総数	実数					%								
		が医療情報と 思うから	いいから 説明がわか り情報につ く	提供された 医療情報に つ	偏見を理由 とする差別 ・	疾病を理由 とする差別 ・	切だつた から	医療従事 者の対応 が不親	その他	が医療情報 と 思うから	いいから 説明がわか り情報につ く	提供された 医療情報に つ	偏見を理由 とする差別 ・	疾病を理由 とする差別 ・	切だつた から
総数	174	58	66	30	69	26	33.3%	37.9%	17.2%	39.7%	14.9%				
20歳代	5	2	2	1	2	0	40.0%	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%				
30歳代	30	13	14	4	17	3	43.3%	46.7%	13.3%	56.7%	10.0%				
40歳代	45	10	14	11	16	12	22.2%	31.1%	24.4%	35.6%	26.7%				
50歳代	57	20	24	8	19	7	35.1%	42.1%	14.0%	33.3%	12.3%				
60歳代	30	9	9	5	13	4	30.0%	30.0%	16.7%	43.3%	13.3%				
70歳代以上	7	4	3	1	2	0	57.1%	42.9%	14.3%	28.6%	0.0%				

図 98 患者と医療従事者の良好な関係づくりができていない理由；年齢階級別「疾病を理由とする差別・偏見を感じたから」を選択した回答者の割合（通院・入院）



(10) 医療機関における取り組みの周知状況

表 132 医療機関における取り組みの周知状況；年齢階級別（通院）

年齢階級	総数	実施										%									
		患者や家族の声を聴くための相談窓口の設置	患者や家族の声を聴くための意見箱の設置	患者や家族の声を聴くための患者満足度調査（患者アンケート調査）の実施	患者や家族と医療従事者による個別の病気やけがに関する勉強会	診療結果が記載された紙等の交付	進捗のための指針の作成や宣言等の促進	患者への医療情報提供のためのパンフレット等の配布	その他の取り組み	知っているものはない	患者や家族の声を聴くための相談窓口の設置	患者や家族の声を聴くための意見箱の設置	患者や家族の声を聴くための患者満足度調査（患者アンケート調査）の実施	患者や家族と医療従事者による個別の病気やけがに関する勉強会	診療結果が記載された紙等の交付	進捗のための指針の作成や宣言等の促進	患者への医療情報提供のためのパンフレット等の配布	その他の取り組み	知っているものはない		
総数	4,985	1,806	1,715	1,006	918	1,684	743	1,460	36	1,849	36.2%	34.4%	20.2%	18.4%	33.8%	14.9%	29.3%	0.7%	37.1%		
20歳代	182	53	61	35	29	44	26	39	1	77	27.6%	31.8%	18.2%	15.1%	22.9%	13.5%	20.3%	0.5%	40.1%		
30歳代	662	198	213	132	109	163	95	159	3	303	29.9%	32.2%	19.9%	16.5%	24.6%	14.4%	24.0%	0.5%	45.8%		
40歳代	1,228	390	401	250	209	336	164	317	6	534	31.8%	32.7%	20.4%	17.0%	27.4%	13.4%	25.9%	0.5%	43.8%		
50歳代	1,368	513	483	275	242	451	200	390	11	502	37.5%	33.8%	20.1%	17.7%	33.0%	14.6%	28.5%	0.8%	36.7%		
60歳代	1,057	438	387	213	222	462	163	364	8	319	41.4%	34.7%	20.2%	21.0%	43.7%	15.4%	34.4%	0.8%	30.2%		
70歳代以上	480	214	210	101	107	228	95	191	7	114	44.6%	43.8%	21.0%	22.3%	47.5%	19.8%	39.8%	1.5%	23.8%		

表 133 医療機関における取り組みの周知状況；年齢階級別（入院）

年齢階級	総数	実施										%									
		患者や家族の声を聴くための相談窓口の設置	患者や家族の声を聴くための意見箱の設置	患者や家族の声を聴くための患者満足度調査（患者アンケート調査）の実施	患者や家族と医療従事者による個別の病気やけがに関する勉強会	診療結果が記載された紙等の交付	進捗のための指針の作成や宣言等の促進	患者への医療情報提供のためのパンフレット等の配布	その他の取り組み	知っているものはない	患者や家族の声を聴くための相談窓口の設置	患者や家族の声を聴くための意見箱の設置	患者や家族の声を聴くための患者満足度調査（患者アンケート調査）の実施	患者や家族と医療従事者による個別の病気やけがに関する勉強会	診療結果が記載された紙等の交付	進捗のための指針の作成や宣言等の促進	患者への医療情報提供のためのパンフレット等の配布	その他の取り組み	知っているものはない		
総数	798	415	383	252	225	347	206	292	12	187	52.0%	48.0%	31.6%	28.2%	43.5%	25.8%	36.6%	1.5%	23.4%		
20歳代	39	17	21	9	12	16	10	11	0	8	43.6%	53.8%	23.1%	30.8%	41.0%	25.6%	28.2%	0.0%	20.5%		
30歳代	114	52	49	32	27	44	23	30	1	32	45.6%	43.0%	28.1%	23.7%	38.6%	20.2%	26.3%	0.9%	28.1%		
40歳代	170	79	84	57	47	63	32	54	3	51	46.5%	49.4%	33.5%	27.6%	37.1%	18.8%	31.8%	1.8%	30.0%		
50歳代	231	122	111	68	58	89	61	80	4	54	52.8%	48.1%	29.4%	25.1%	38.5%	26.4%	34.6%	1.7%	23.4%		
60歳代	153	91	69	56	47	88	49	69	2	27	59.5%	45.1%	36.6%	30.7%	57.5%	32.0%	45.1%	1.3%	17.6%		
70歳代以上	91	54	49	30	34	47	31	48	2	15	59.3%	53.8%	33.0%	37.4%	51.6%	34.1%	52.7%	2.2%	16.5%		

図 99 医療機関における取り組みの周知状況；年齢階級別  
「知っているものはない」を選択した回答者の割合（通院・入院）

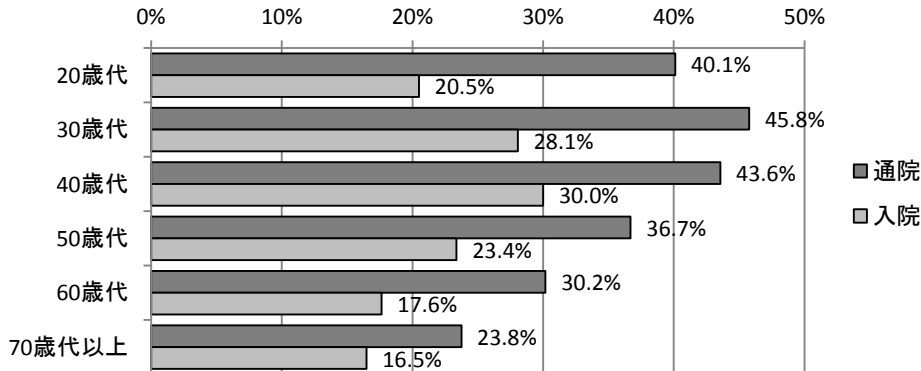


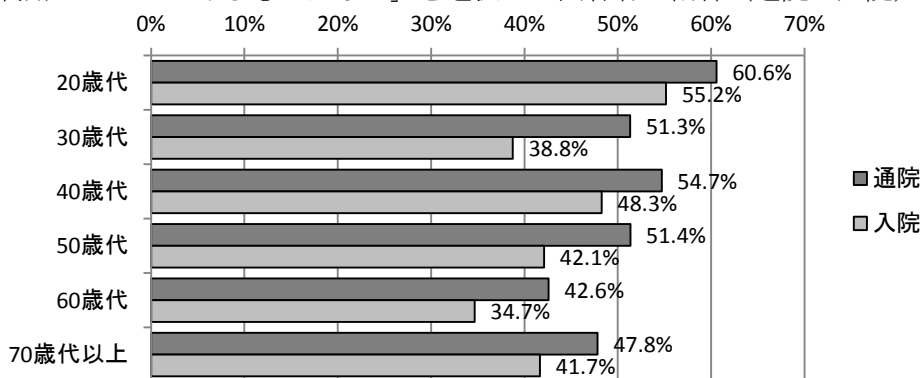
表 134 医療機関における取り組みの利用状況；年齢階級別（通院）

	総数	実数							%						
		情を聴くための相談窓口の設置	患者や家族の声を相談・要望・苦情を聴くための意見箱の設置	患者や家族の声を相談・要望・苦情を聴くための患者満足度調査（患者アンケート調査）の実施	患者や家族の声を相談・要望・苦情の開催	患者や家族と医療従事者による傷病（病気やけが）に関する勉強会	診療結果が記載された紙等の交付	その他の取り組み	利用したことがあるものはない	情を聴くための相談窓口の設置	患者や家族の声を相談・要望・苦情を聴くための意見箱の設置	（患者アンケート調査）の実施	患者や家族の声を相談・要望・苦情の開催	患者や家族と医療従事者による傷病（病気やけが）に関する勉強会	診療結果が記載された紙等の交付
総数	2,926	315	222	290	198	1,039	20	1,460	10.8%	7.6%	9.9%	6.8%	35.5%	0.7%	49.9%
20歳代	104	11	11	8	3	22	0	63	10.6%	10.6%	7.7%	2.9%	21.2%	0.0%	60.6%
30歳代	341	56	40	35	21	82	0	175	16.4%	11.7%	10.3%	6.2%	24.0%	0.0%	51.3%
40歳代	627	60	48	79	42	193	3	343	9.6%	7.7%	12.6%	6.7%	30.8%	0.5%	54.7%
50歳代	814	85	63	73	49	270	8	418	10.4%	7.7%	9.0%	6.0%	33.2%	1.0%	51.4%
60歳代	695	74	39	64	60	320	4	296	10.6%	5.6%	9.2%	8.6%	46.0%	0.6%	42.6%
70歳代以上	345	29	21	31	23	152	5	165	8.4%	6.1%	9.0%	6.7%	44.1%	1.4%	47.8%

表 135 医療機関における取り組みの利用状況；年齢階級別（入院）

	総数	実数							%						
		情を聴くための相談窓口の設置	患者や家族の声を相談・要望・苦情を聴くための意見箱の設置	患者や家族の声を相談・要望・苦情を聴くための患者満足度調査（患者アンケート調査）の実施	患者や家族の声を相談・要望・苦情の開催	患者や家族と医療従事者による傷病（病気やけが）に関する勉強会	診療結果が記載された紙等の交付	その他の取り組み	利用したことがあるものはない	情を聴くための相談窓口の設置	患者や家族の声を相談・要望・苦情を聴くための意見箱の設置	（患者アンケート調査）の実施	患者や家族の声を相談・要望・苦情の開催	患者や家族と医療従事者による傷病（病気やけが）に関する勉強会	診療結果が記載された紙等の交付
総数	592	97	76	104	68	221	7	248	16.4%	12.8%	17.6%	11.5%	37.3%	1.2%	41.9%
20歳代	29	4	4	4	1	6	0	16	13.8%	13.8%	13.8%	3.4%	20.7%	0.0%	55.2%
30歳代	80	19	16	13	8	24	0	31	23.8%	20.0%	16.3%	10.0%	30.0%	0.0%	38.8%
40歳代	116	15	16	29	18	32	1	56	12.9%	13.8%	25.0%	15.5%	27.6%	0.9%	48.3%
50歳代	171	27	22	27	18	60	3	72	15.8%	12.9%	15.8%	10.5%	35.1%	1.8%	42.1%
60歳代	124	20	13	18	17	65	1	43	16.1%	10.5%	14.5%	13.7%	52.4%	0.8%	34.7%
70歳代以上	72	12	5	13	6	34	2	30	16.7%	6.9%	18.1%	8.3%	47.2%	2.8%	41.7%

図 100 医療機関における取り組みの利用状況；年齢階級別  
「利用したことがあるものはない」を選択した回答者の割合（通院・入院）



### 3. その他

#### (1) 適切なタイミングで必要な医療を受ける権利

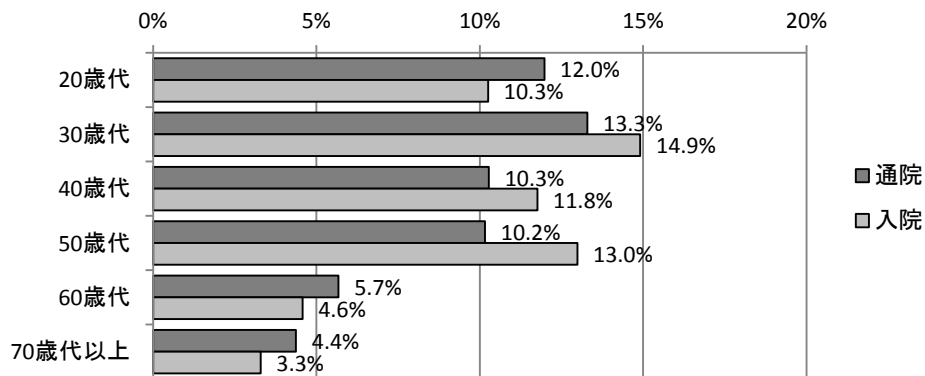
表 136 適切なタイミングで必要な医療を受ける権利の保障；年齢階級別（通院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	4,985	650	3,463	457	415	13.0%	69.5%	9.2%	8.3%
20歳代	192	26	110	23	33	13.5%	57.3%	12.0%	17.2%
30歳代	662	88	408	88	78	13.3%	61.6%	13.3%	11.8%
40歳代	1,226	149	827	126	124	12.2%	67.5%	10.3%	10.1%
50歳代	1,368	166	965	139	98	12.1%	70.5%	10.2%	7.2%
60歳代	1,057	139	797	60	61	13.2%	75.4%	5.7%	5.8%
70歳代以上	480	82	356	21	21	17.1%	74.2%	4.4%	4.4%

表 137 適切なタイミングで必要な医療を受ける権利の保障；年齢階級別（入院）

	総数	実数				%			
		十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
総数	798	155	515	81	47	19.4%	64.5%	10.2%	5.9%
20歳代	39	9	18	4	8	23.1%	46.2%	10.3%	20.5%
30歳代	114	21	68	17	8	18.4%	59.6%	14.9%	7.0%
40歳代	170	28	111	20	11	16.5%	65.3%	11.8%	6.5%
50歳代	231	41	148	30	12	17.7%	64.1%	13.0%	5.2%
60歳代	153	32	107	7	7	20.9%	69.9%	4.6%	4.6%
70歳代以上	91	24	63	3	1	26.4%	69.2%	3.3%	1.1%

図 101 適切なタイミングで必要な医療を受ける権利の保障；年齢階級別  
「思わない」を選択した回答者の割合（通院・入院）



4：通院／入院別の設問間クロス集計の結果

1. 適切なタイミングでの医療情報の提供について

(1) 尊厳やプライバシーの保護

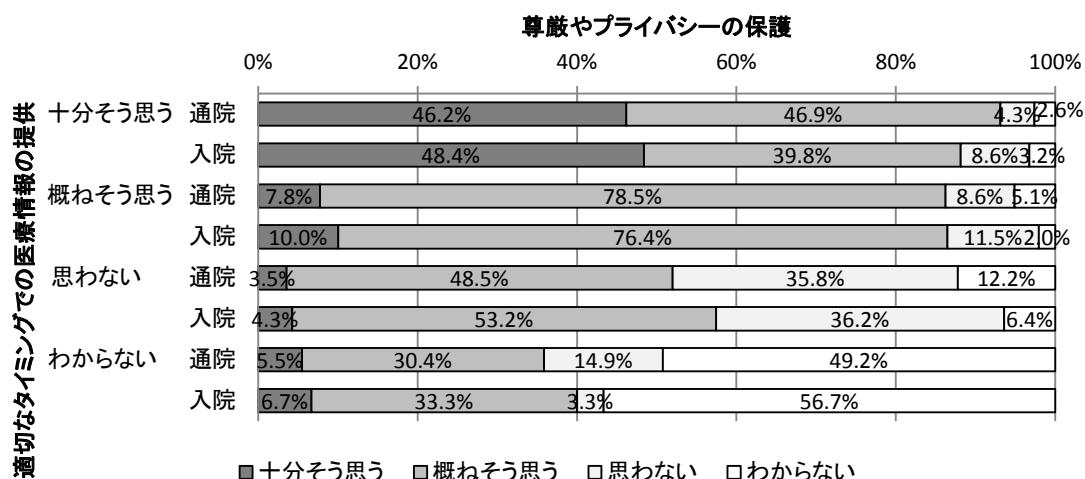
表 138 尊厳やプライバシーの保護；適切なタイミングでの医療情報の提供別（通院）

		尊厳やプライバシーの保護									
		総数	回答数				%				
			十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	
適切なタイミングでの医療情報の提供	総数	4,985	603	3,354	599	429	12.1%	67.3%	12.0%	8.6%	
	十分そう思う	654	302	307	28	17	46.2%	46.9%	4.3%	2.6%	
	概ねそう思う	3,354	260	2,633	290	171	7.8%	78.5%	8.6%	5.1%	
	思わない	648	23	314	232	79	3.5%	48.5%	35.8%	12.2%	
	わからない	329	18	100	49	162	5.5%	30.4%	14.9%	49.2%	

表 139 尊厳やプライバシーの保護；適切なタイミングでの医療情報の提供別（入院）

		尊厳やプライバシーの保護									
		総数	回答数				%				
			十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	
適切なタイミングでの医療情報の提供	総数	798	145	507	107	39	18.2%	63.5%	13.4%	4.9%	
	十分そう思う	186	90	74	16	6	48.4%	39.8%	8.6%	3.2%	
	概ねそう思う	488	49	373	56	10	10.0%	76.4%	11.5%	2.0%	
	思わない	94	4	50	34	6	4.3%	53.2%	36.2%	6.4%	
	わからない	30	2	10	1	17	6.7%	33.3%	3.3%	56.7%	

図 102 尊厳やプライバシーの保護；適切なタイミングでの医療情報の提供別（通院・入院）



(2) 自己決定権の尊重

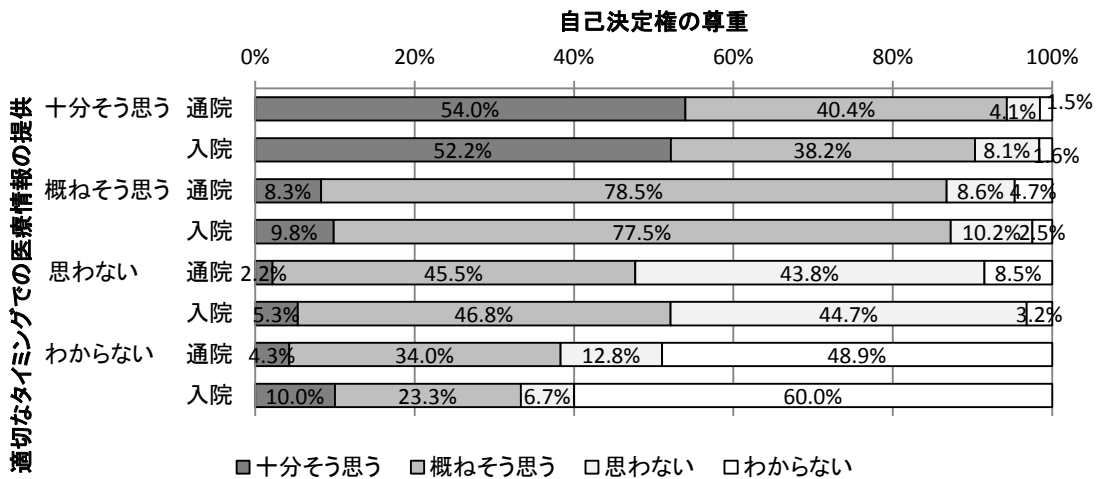
表 140 自己決定権の尊重；適切なタイミングでの医療情報の提供別（通院）

		自己決定権								
		総数	回答数				%			
			十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
適切なタイミングでの医療情報の提供	総数	4,985	658	3,304	640	383	13.2%	66.3%	12.8%	7.7%
	十分そう思う	654	353	264	27	10	54.0%	40.4%	4.1%	1.5%
	概ねそう思う	3,354	277	2,633	287	157	8.3%	78.5%	8.6%	4.7%
	思わない	648	14	295	284	55	2.2%	45.5%	43.8%	8.5%
	わからない	329	14	112	42	161	4.3%	34.0%	12.8%	48.9%

表 141 自己決定権の尊重；適切なタイミングでの医療情報の提供別（入院）

		自己決定権								
		総数	回答数				%			
			十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
適切なタイミングでの医療情報の提供	総数	798	153	500	109	36	19.2%	62.7%	13.7%	4.5%
	十分そう思う	186	97	71	15	3	52.2%	38.2%	8.1%	1.6%
	概ねそう思う	488	48	378	50	12	9.8%	77.5%	10.2%	2.5%
	思わない	94	5	44	42	3	5.3%	46.8%	44.7%	3.2%
	わからない	30	3	7	2	18	10.0%	23.3%	6.7%	60.0%

図 103 自己決定権の尊重；適切なタイミングでの医療情報の提供別（通院・入院）





(3) 医療従事者との良好な関係

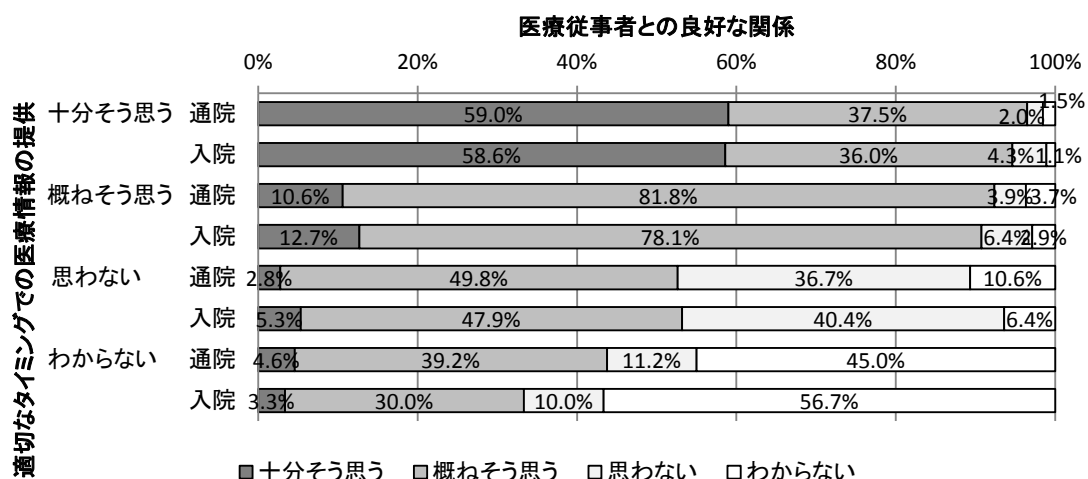
表 142 医療従事者との良好な関係；適切なタイミングでの医療情報の提供別（通院）

		良好な関係								
		総数	回答数				%			
			十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
適切なタイミングでの医療情報の提供	総数	4,985	774	3,441	420	350	15.5%	69.0%	8.4%	7.0%
	十分そう思う	654	386	245	13	10	59.0%	37.5%	2.0%	1.5%
	概ねそう思う	3,354	355	2,744	132	123	10.6%	81.8%	3.9%	3.7%
	思わない	648	18	323	238	69	2.8%	49.8%	36.7%	10.6%
	わからない	329	15	129	37	148	4.6%	39.2%	11.2%	45.0%

表 143 医療従事者との良好な関係；適切なタイミングでの医療情報の提供別（入院）

		良好な関係								
		総数	回答数				%			
			十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
適切なタイミングでの医療情報の提供	総数	798	177	502	80	39	22.2%	62.9%	10.0%	4.9%
	十分そう思う	186	109	67	8	2	58.6%	36.0%	4.3%	1.1%
	概ねそう思う	488	62	381	31	14	12.7%	78.1%	6.4%	2.9%
	思わない	94	5	45	38	6	5.3%	47.9%	40.4%	6.4%
	わからない	30	1	9	3	17	3.3%	30.0%	10.0%	56.7%

図 104 医療従事者との良好な関係；適切なタイミングでの医療情報の提供別（通院・入院）



2. 必要とする量の医療情報の提供について

(1) 尊厳やプライバシーの保護

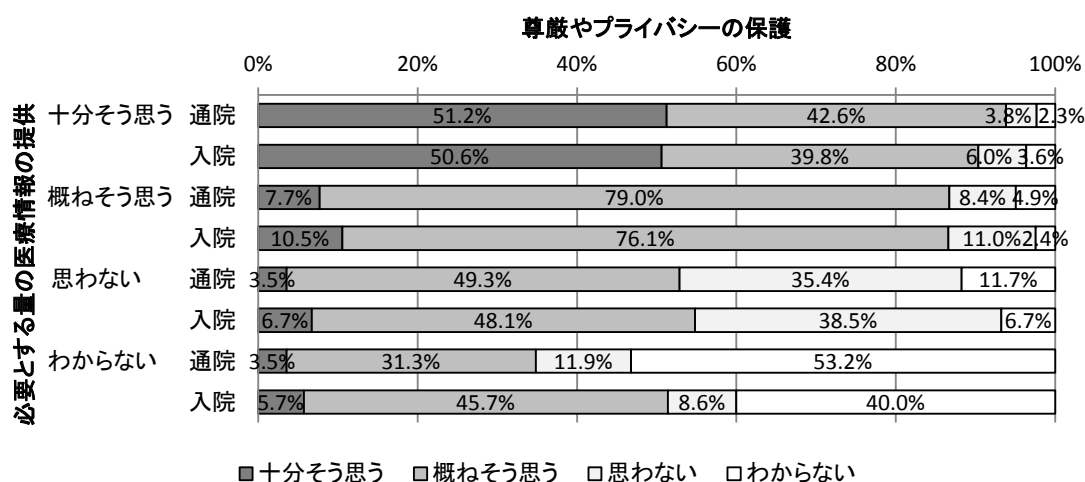
表 144 尊厳やプライバシーの保護；必要とする量の医療情報の提供別（通院）

		尊厳やプライバシーの保護								
		総数	回答数				%			
			十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わから ない	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わから ない
必要とす る量の医 療情報 の提供	総数	4,985	603	3,354	599	429	12.1%	67.3%	12.0%	8.6%
	十分そう 思う	603	309	257	23	14	51.2%	42.6%	3.8%	2.3%
	概ねそう 思う	3,338	257	2,638	279	164	7.7%	79.0%	8.4%	4.9%
	思わない	734	26	362	260	86	3.5%	49.3%	35.4%	11.7%
	わからない	310	11	97	37	165	3.5%	31.3%	11.9%	53.2%

表 145 尊厳やプライバシーの保護；必要とする量の医療情報の提供別（入院）

		尊厳やプライバシーの保護								
		総数	回答数				%			
			十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わから ない	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わから ない
必要とす る量の医 療情報 の提供	総数	798	145	507	107	39	18.2%	63.5%	13.4%	4.9%
	十分そう 思う	166	84	66	10	6	50.6%	39.8%	6.0%	3.6%
	概ねそう 思う	493	52	375	54	12	10.5%	76.1%	11.0%	2.4%
	思わない	104	7	50	40	7	6.7%	48.1%	38.5%	6.7%
	わからない	35	2	16	3	14	5.7%	45.7%	8.6%	40.0%

図 105 尊厳やプライバシーの保護；必要とする量の医療情報の提供別（通院・入院）



(2) 自己決定権の尊重

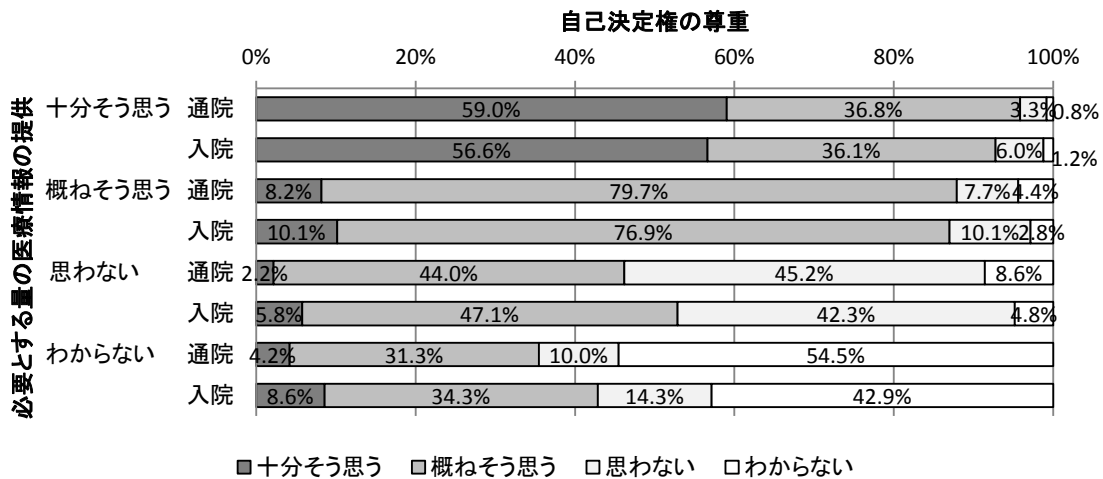
表 146 自己決定権の尊重；必要とする量の医療情報の提供別（通院）

		自己決定権								
		総数	回答数				%			
			十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わから ない	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わから ない
必要とす る量の医 療情報 の提供	総数	4,985	658	3,304	640	383	13.2%	66.3%	12.8%	7.7%
	十分そう 思う	603	356	222	20	5	59.0%	36.8%	3.3%	0.8%
	概ねそう 思う	3,338	273	2,662	257	146	8.2%	79.7%	7.7%	4.4%
	思わない	734	16	323	332	63	2.2%	44.0%	45.2%	8.6%
	わからない	310	13	97	31	169	4.2%	31.3%	10.0%	54.5%

表 147 自己決定権の尊重；必要とする量の医療情報の提供別（入院）

		自己決定権								
		総数	回答数				%			
			十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わから ない	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わから ない
必要とす る量の医 療情報 の提供	総数	798	153	500	109	36	19.2%	62.7%	13.7%	4.5%
	十分そう 思う	166	94	60	10	2	56.6%	36.1%	6.0%	1.2%
	概ねそう 思う	493	50	379	50	14	10.1%	76.9%	10.1%	2.8%
	思わない	104	6	49	44	5	5.8%	47.1%	42.3%	4.8%
	わからない	35	3	12	5	15	8.6%	34.3%	14.3%	42.9%

図 106 自己決定権の尊重；必要とする量の医療情報の提供別（通院・入院）



(3) 医療従事者との良好な関係

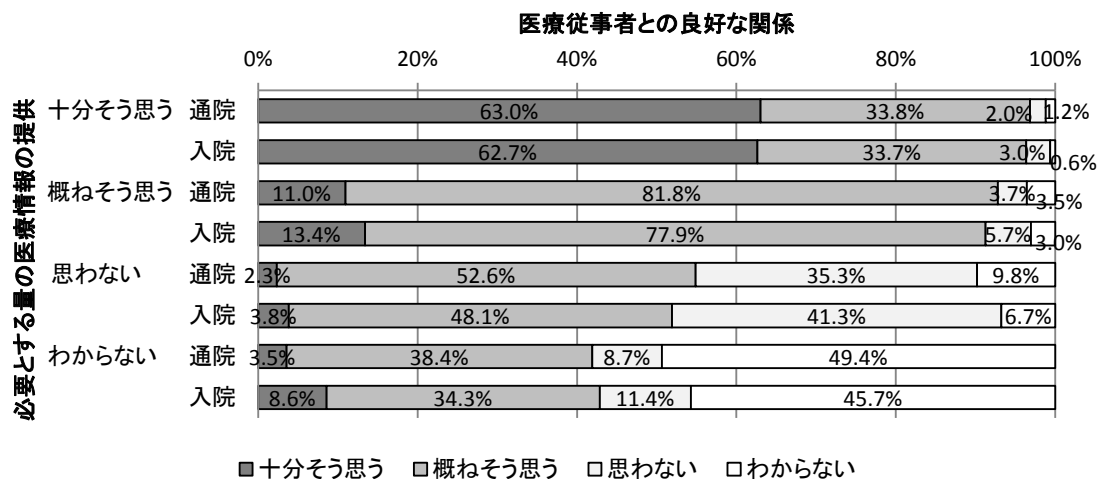
表 148 医療従事者との良好な関係；必要とする量の医療情報の提供別（通院）

		良好な関係								
		総数	回答数				%			
			十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
必要とする量の医療情報の提供	総数	4,985	774	3,441	420	350	15.5%	69.0%	8.4%	7.0%
	十分そう思う	603	380	204	12	7	63.0%	33.8%	2.0%	1.2%
	概ねそう思う	3,338	366	2,732	122	118	11.0%	81.8%	3.7%	3.5%
	思わない	734	17	386	259	72	2.3%	52.6%	35.3%	9.8%
	わからない	310	11	119	27	153	3.5%	38.4%	8.7%	49.4%

表 149 医療従事者との良好な関係；必要とする量の医療情報の提供別（入院）

		良好な関係								
		総数	回答数				%			
			十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない	十分そう思う	概ねそう思う	思わない	わからない
必要とする量の医療情報の提供	総数	798	177	502	80	39	22.2%	62.9%	10.0%	4.9%
	十分そう思う	166	104	56	5	1	62.7%	33.7%	3.0%	0.6%
	概ねそう思う	493	66	384	28	15	13.4%	77.9%	5.7%	3.0%
	思わない	104	4	50	43	7	3.8%	48.1%	41.3%	6.7%
	わからない	35	3	12	4	16	8.6%	34.3%	11.4%	45.7%

図 107 医療従事者との良好な関係；必要とする量の医療情報の提供別（通院・入院）



### 3. 分かりやすい医療情報の説明について

#### (1) 尊厳やプライバシーの保護

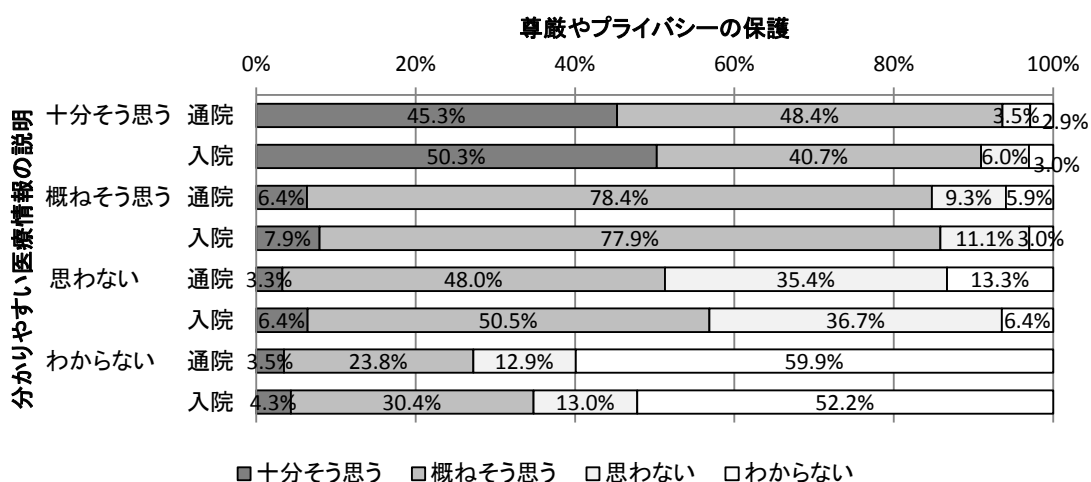
表 150 尊厳やプライバシーの保護；分かりやすい医療情報の説明別（通院）

		尊厳いやプライバシーの保護								
		総数	回答数				%			
			十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
分かりや すい医療 情報の説 明	総数	4,985	603	3,354	599	429	12.1%	67.3%	12.0%	8.6%
	十分そう 思う	802	363	388	28	23	45.3%	48.4%	3.5%	2.9%
	概ねそう 思う	3,312	211	2,597	308	196	6.4%	78.4%	9.3%	5.9%
	思わない	669	22	321	237	89	3.3%	48.0%	35.4%	13.3%
	わからない	202	7	48	26	121	3.5%	23.8%	12.9%	59.9%

表 151 尊厳やプライバシーの保護；分かりやすい医療情報の説明別（入院）

		尊厳いやプライバシーの保護								
		総数	回答数				%			
			十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
分かりや すい医療 情報の説 明	総数	798	145	507	107	39	18.2%	63.5%	13.4%	4.9%
	十分そう 思う	199	100	81	12	6	50.3%	40.7%	6.0%	3.0%
	概ねそう 思う	467	37	364	52	14	7.9%	77.9%	11.1%	3.0%
	思わない	109	7	55	40	7	6.4%	50.5%	36.7%	6.4%
	わからない	23	1	7	3	12	4.3%	30.4%	13.0%	52.2%

図 108 尊厳やプライバシーの保護；分かりやすい医療情報の説明別（通院・入院）



(2) 自己決定権の尊重

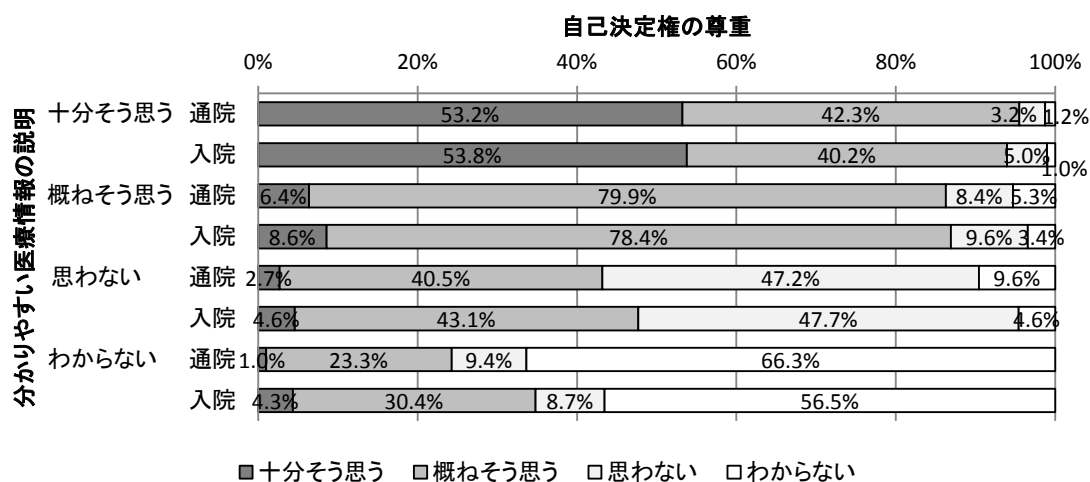
表 152 自己決定権の尊重；分かりやすい医療情報の説明別（通院）

		自己決定権								
		総数	回答数				%			
			十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
分かりや すい医療 情報の説 明	総数	4,985	658	3,304	640	383	13.2%	66.3%	12.8%	7.7%
	十分そう 思う	802	427	339	26	10	53.2%	42.3%	3.2%	1.2%
	概ねそう 思う	3,312	211	2,647	279	175	6.4%	79.9%	8.4%	5.3%
	思わない	669	18	271	316	64	2.7%	40.5%	47.2%	9.6%
	わからない	202	2	47	19	134	1.0%	23.3%	9.4%	66.3%

表 153 自己決定権の尊重；分かりやすい医療情報の説明別（入院）

		自己決定権								
		総数	回答数				%			
			十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
分かりや すい医療 情報の説 明	総数	798	153	500	109	36	19.2%	62.7%	13.7%	4.5%
	十分そう 思う	199	107	80	10	2	53.8%	40.2%	5.0%	1.0%
	概ねそう 思う	467	40	366	45	16	8.6%	78.4%	9.6%	3.4%
	思わない	109	5	47	52	5	4.6%	43.1%	47.7%	4.6%
	わからない	23	1	7	2	13	4.3%	30.4%	8.7%	56.5%

図 109 自己決定権の尊重；分かりやすい医療情報の説明別（通院・入院）



(3) 医療従事者との良好な関係

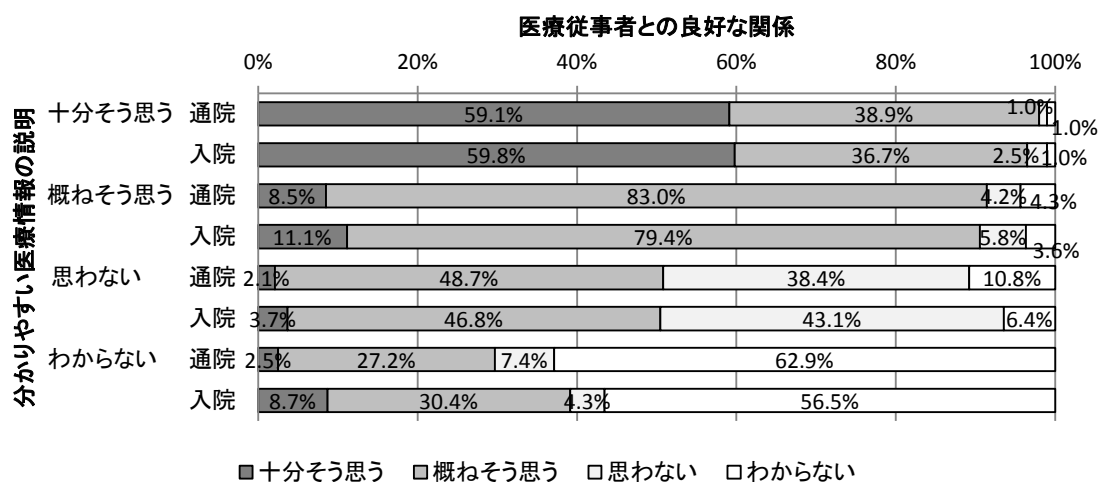
表 154 医療従事者との良好な関係；分かりやすい医療情報の説明別（通院）

		良好な関係								
		総数	回答数				%			
			十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
分かりや すい医療 情報の説 明	総数	4,985	774	3,441	420	350	15.5%	69.0%	8.4%	7.0%
	十分そう 思う	802	474	312	8	8	59.1%	38.9%	1.0%	1.0%
	概ねそう 思う	3,312	281	2,748	140	143	8.5%	83.0%	4.2%	4.3%
	思わな い	669	14	326	257	72	2.1%	48.7%	38.4%	10.8%
	わからな い	202	5	55	15	127	2.5%	27.2%	7.4%	62.9%

表 155 医療従事者との良好な関係；分かりやすい医療情報の説明別（入院）

		良好な関係								
		総数	回答数				%			
			十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い	十分そう 思う	概ねそう 思う	思わな い	わからな い
分かりや すい医療 情報の説 明	総数	798	177	502	80	39	22.2%	62.9%	10.0%	4.9%
	十分そう 思う	199	119	73	5	2	59.8%	36.7%	2.5%	1.0%
	概ねそう 思う	467	52	371	27	17	11.1%	79.4%	5.8%	3.6%
	思わな い	109	4	51	47	7	3.7%	46.8%	43.1%	6.4%
	わからな い	23	2	7	1	13	8.7%	30.4%	4.3%	56.5%

図 110 医療従事者との良好な関係；分かりやすい医療情報の説明別（通院・入院）



5：傷病中分類別患者の年齢階級

表 156 年齢階級別の傷病の割合（有病率）（通院＋入院）

	総数	実数						%					
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
総数	5000	193	666	1230	1371	1059	481	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
感染症	142	9	21	37	40	24	11	4.7%	3.2%	3.0%	2.9%	2.3%	2.3%
内分泌・代謝障害	1250	24	84	250	354	365	173	12.4%	12.6%	20.3%	25.8%	34.5%	36.0%
精神・神経	1289	67	273	451	378	100	20	34.7%	41.0%	36.7%	27.6%	9.4%	4.2%
眼	817	31	76	136	206	210	158	16.1%	11.4%	11.1%	15.0%	19.8%	32.8%
耳	212	6	36	45	53	45	27	3.1%	5.4%	3.7%	3.9%	4.2%	5.6%
循環器系	1641	12	46	275	483	544	281	6.2%	6.9%	22.4%	35.2%	51.4%	58.4%
呼吸器系	1024	48	194	249	264	184	85	24.9%	29.1%	20.2%	19.3%	17.4%	17.7%
消化器系	747	15	73	165	218	173	103	7.8%	11.0%	13.4%	15.9%	16.3%	21.4%
歯	1696	48	236	377	429	404	202	24.9%	35.4%	30.7%	31.3%	38.1%	42.0%
皮膚	775	52	148	194	186	130	65	26.9%	22.2%	15.8%	13.6%	12.3%	13.5%
筋骨格系	1091	22	89	254	326	273	127	11.4%	13.4%	20.7%	23.8%	25.8%	26.4%
尿路生殖器系	339	7	12	45	89	102	84	3.6%	1.8%	3.7%	6.5%	9.6%	17.5%
損傷	356	13	48	108	95	67	25	6.7%	7.2%	8.8%	6.9%	6.3%	5.2%
貧血・血液	97	8	18	34	22	8	7	4.1%	2.7%	2.8%	1.6%	0.8%	1.5%
悪性新生物	261	5	16	52	75	75	38	2.6%	2.4%	4.2%	5.5%	7.1%	7.9%
妊娠・産褥	53	10	28	10	3	2	0	5.2%	4.2%	0.8%	0.2%	0.2%	0.0%
不妊症	35	3	20	10	1	1	0	1.6%	3.0%	0.8%	0.1%	0.1%	0.0%
その他	111	7	14	33	31	20	6	3.6%	2.1%	2.7%	2.3%	1.9%	1.2%

表 157 年齢階級別の傷病の割合（有病率）（通院）

	総数	実数						%					
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
総数	4985	192	662	1226	1368	1057	480	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
感染症	132	6	19	37	37	22	11	3.1%	2.9%	3.0%	2.7%	2.1%	2.3%
内分泌・代謝障害	1250	24	84	250	354	365	173	12.5%	12.7%	20.4%	25.9%	34.5%	36.0%
精神・神経	1282	66	272	448	377	99	20	34.4%	41.1%	36.5%	27.6%	9.4%	4.2%
眼	815	31	76	136	205	209	158	16.1%	11.5%	11.1%	15.0%	19.8%	32.9%
耳	210	6	36	44	53	45	26	3.1%	5.4%	3.6%	3.9%	4.3%	5.4%
循環器系	1625	11	45	268	480	540	281	5.7%	6.8%	21.9%	35.1%	51.1%	58.5%
呼吸器系	1011	47	192	247	260	181	84	24.5%	29.0%	20.1%	19.0%	17.1%	17.5%
消化器系	719	15	70	161	208	168	97	7.8%	10.6%	13.1%	15.2%	15.9%	20.2%
歯	1693	48	235	376	429	403	202	25.0%	35.5%	30.7%	31.4%	38.1%	42.1%
皮膚	766	52	145	193	183	129	64	27.1%	21.9%	15.7%	13.4%	12.2%	13.3%
筋骨格系	1083	22	89	254	321	271	126	11.5%	13.4%	20.7%	23.5%	25.6%	26.3%
尿路生殖器系	332	6	9	44	88	101	84	3.1%	1.4%	3.6%	6.4%	9.6%	17.5%
損傷	323	11	45	100	84	59	24	5.7%	6.8%	8.2%	6.1%	5.6%	5.0%
貧血・血液	97	8	18	34	22	8	7	4.2%	2.7%	2.8%	1.6%	0.8%	1.5%
悪性新生物	249	5	16	50	71	71	36	2.6%	2.4%	4.1%	5.2%	6.7%	7.5%
妊娠・産褥	47	10	25	8	2	2	0	5.2%	3.8%	0.7%	0.1%	0.2%	0.0%
不妊症	35	3	20	10	1	1	0	1.6%	3.0%	0.8%	0.1%	0.1%	0.0%
その他	93	6	10	29	27	19	2	3.1%	1.5%	2.4%	2.0%	1.8%	0.4%

表 158 年齢階級別の傷病の割合（有病率）（入院）

	総数	実数						%					
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
総数	798	39	114	170	231	153	91	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
感染症	28	6	4	3	9	6	0	15.4%	3.5%	1.8%	3.9%	3.9%	0.0%
内分泌・代謝障害	44	2	11	12	11	5	3	5.1%	9.6%	7.1%	4.8%	3.3%	3.3%
精神・神経	137	11	36	46	38	5	1	28.2%	31.6%	27.1%	16.5%	3.3%	1.1%
眼	30	1	2	2	8	11	6	2.6%	1.8%	1.2%	3.5%	7.2%	6.6%
耳	8	0	3	1	0	3	1	0.0%	2.6%	0.6%	0.0%	2.0%	1.1%
循環器系	176	3	9	32	61	45	26	7.7%	7.9%	18.8%	26.4%	29.4%	28.6%
呼吸器系	65	4	10	12	18	15	6	10.3%	8.8%	7.1%	7.8%	9.8%	6.6%
消化器系	117	4	10	19	35	23	26	10.3%	8.8%	11.2%	15.2%	15.0%	28.6%
歯	16	2	7	3	1	2	1	5.1%	6.1%	1.8%	0.4%	1.3%	1.1%
皮膚	18	0	4	2	8	3	1	0.0%	3.5%	1.2%	3.5%	2.0%	1.1%
筋骨格系	55	2	7	8	21	11	6	5.1%	6.1%	4.7%	9.1%	7.2%	6.6%
尿路生殖器系	38	1	5	10	8	5	9	2.6%	4.4%	5.9%	3.5%	3.3%	9.9%
損傷	100	3	14	30	30	18	5	7.7%	12.3%	17.6%	13.0%	11.8%	5.5%
貧血・血液	9	1	4	2	0	1	1	2.6%	3.5%	1.2%	0.0%	0.7%	1.1%
悪性新生物	100	2	6	17	29	34	12	5.1%	5.3%	10.0%	12.6%	22.2%	13.2%
妊娠・産褥	22	2	15	3	2	0	0	5.1%	13.2%	1.8%	0.9%	0.0%	0.0%
不妊症	3	0	2	0	1	0	0	0.0%	1.8%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%
その他	28	2	4	9	8	1	4	5.1%	3.5%	5.3%	3.5%	0.7%	4.4%



表 159 傷病中分類別の年齢階級の構成（通院＋入院）

	総数	実数						%					
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
総数	5,000	193	666	1,230	1,371	1,059	481	3.9%	13.3%	24.6%	27.4%	21.2%	9.6%
感染症	142	9	21	37	40	24	11	6.3%	14.8%	26.1%	28.2%	16.9%	7.7%
内分泌・代謝障害	1,250	24	84	250	354	365	173	1.9%	6.7%	20.0%	28.3%	29.2%	13.8%
精神・神経	1,289	67	273	451	378	100	20	5.2%	21.2%	35.0%	29.3%	7.8%	1.6%
眼	817	31	76	136	206	210	158	3.8%	9.3%	16.6%	25.2%	25.7%	19.3%
耳	212	6	36	45	53	45	27	2.8%	17.0%	21.2%	25.0%	21.2%	12.7%
循環器系	1,641	12	46	275	483	544	281	0.7%	2.8%	16.8%	29.4%	33.2%	17.1%
呼吸器系	1,024	48	194	249	264	184	85	4.7%	18.9%	24.3%	25.8%	18.0%	8.3%
消化器系	747	15	73	165	218	173	103	2.0%	9.8%	22.1%	29.2%	23.2%	13.8%
歯	1,696	48	236	377	429	404	202	2.8%	13.9%	22.2%	25.3%	23.8%	11.9%
皮膚	775	52	148	194	186	130	65	6.7%	19.1%	25.0%	24.0%	16.8%	8.4%
筋骨格系	1,091	22	89	254	326	273	127	2.0%	8.2%	23.3%	29.9%	25.0%	11.6%
尿路生殖器系	339	7	12	45	89	102	84	2.1%	3.5%	13.3%	26.3%	30.1%	24.8%
損傷	356	13	48	108	95	67	25	3.7%	13.5%	30.3%	26.7%	18.8%	7.0%
貧血・血液	97	8	18	34	22	8	7	8.2%	18.6%	35.1%	22.7%	8.2%	7.2%
悪性新生物	261	5	16	52	75	75	38	1.9%	6.1%	19.9%	28.7%	28.7%	14.6%
妊娠・産褥	53	10	28	10	3	2	0	18.9%	52.8%	18.9%	5.7%	3.8%	0.0%
不妊症	35	3	20	10	1	1	0	8.6%	57.1%	28.6%	2.9%	2.9%	0.0%
その他	111	7	14	33	31	20	6	6.3%	12.6%	29.7%	27.9%	18.0%	5.4%

表 160 傷病中分類別の年齢階級の構成（通院）

	総数	実数						%					
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
総数	4,985	192	662	1,226	1,368	1,057	480	3.9%	13.3%	24.6%	27.4%	21.2%	9.6%
感染症	132	6	19	37	37	22	11	4.5%	14.4%	28.0%	28.0%	16.7%	8.3%
内分泌・代謝障害	1,250	24	84	250	354	365	173	1.9%	6.7%	20.0%	28.3%	29.2%	13.8%
精神・神経	1,282	66	272	448	377	99	20	5.1%	21.2%	34.9%	29.4%	7.7%	1.6%
眼	815	31	76	136	205	209	158	3.8%	9.3%	16.7%	25.2%	25.6%	19.4%
耳	210	6	36	44	53	45	26	2.9%	17.1%	21.0%	25.2%	21.4%	12.4%
循環器系	1,625	11	45	268	480	540	281	0.7%	2.8%	16.5%	29.5%	33.2%	17.3%
呼吸器系	1,011	47	192	247	260	181	84	4.6%	19.0%	24.4%	25.7%	17.9%	8.3%
消化器系	719	15	70	161	208	168	97	2.1%	9.7%	22.4%	28.9%	23.4%	13.5%
歯	1,693	48	235	376	429	403	202	2.8%	13.9%	22.2%	25.3%	23.8%	11.9%
皮膚	766	52	145	193	183	129	64	6.8%	18.9%	25.2%	23.9%	16.8%	8.4%
筋骨格系	1,083	22	89	254	321	271	126	2.0%	8.2%	23.5%	29.6%	25.0%	11.6%
尿路生殖器系	332	6	9	44	88	101	84	1.8%	2.7%	13.3%	26.5%	30.4%	25.3%
損傷	323	11	45	100	84	59	24	3.4%	13.9%	31.0%	26.0%	18.3%	7.4%
貧血・血液	97	8	18	34	22	8	7	8.2%	18.6%	35.1%	22.7%	8.2%	7.2%
悪性新生物	249	5	16	50	71	71	36	2.0%	6.4%	20.1%	28.5%	28.5%	14.5%
妊娠・産褥	47	10	25	8	2	2	0	21.3%	53.2%	17.0%	4.3%	4.3%	0.0%
不妊症	35	3	20	10	1	1	0	8.6%	57.1%	28.6%	2.9%	2.9%	0.0%
その他	93	6	10	29	27	19	2	6.5%	10.8%	31.2%	29.0%	20.4%	2.2%

表 161 傷病中分類別の年齢階級の構成（入院）

	総数	実数						%					
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
総数	798	39	114	170	231	153	91	4.9%	14.3%	21.3%	28.9%	19.2%	11.4%
感染症	28	6	4	3	9	6	0	21.4%	14.3%	10.7%	32.1%	21.4%	0.0%
内分泌・代謝障害	44	2	11	12	11	5	3	4.5%	25.0%	27.3%	25.0%	11.4%	6.8%
精神・神経	137	11	36	46	38	5	1	8.0%	26.3%	33.6%	27.7%	3.6%	0.7%
眼	30	1	2	2	8	11	6	3.3%	6.7%	6.7%	26.7%	36.7%	20.0%
耳	8	0	3	1	0	3	1	0.0%	37.5%	12.5%	0.0%	37.5%	12.5%
循環器系	176	3	9	32	61	45	26	1.7%	5.1%	18.2%	34.7%	25.6%	14.8%
呼吸器系	65	4	10	12	18	15	6	6.2%	15.4%	18.5%	27.7%	23.1%	9.2%
消化器系	117	4	10	19	35	23	26	3.4%	8.5%	16.2%	29.9%	19.7%	22.2%
歯	16	2	7	3	1	2	1	12.5%	43.8%	18.8%	6.3%	12.5%	6.3%
皮膚	18	0	4	2	8	3	1	0.0%	22.2%	11.1%	44.4%	16.7%	5.6%
筋骨格系	55	2	7	8	21	11	6	3.6%	12.7%	14.5%	38.2%	20.0%	10.9%
尿路生殖器系	38	1	5	10	8	5	9	2.6%	13.2%	26.3%	21.1%	13.2%	23.7%
損傷	100	3	14	30	30	18	5	3.0%	14.0%	30.0%	30.0%	18.0%	5.0%
貧血・血液	9	1	4	2	0	1	1	11.1%	44.4%	22.2%	0.0%	11.1%	11.1%
悪性新生物	100	2	6	17	29	34	12	2.0%	6.0%	17.0%	29.0%	34.0%	12.0%
妊娠・産褥	22	2	15	3	2	0	0	9.1%	68.2%	13.6%	9.1%	0.0%	0.0%
不妊症	3	0	2	0	1	0	0	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
その他	28	2	4	9	8	1	4	7.1%	14.3%	32.1%	28.6%	3.6%	14.3%



ハンセン病問題に関する検証会議の提言に基づく再発防止検討会 委員名簿

氏 名	所 属 等
安 藤 高 朗	(公社) 全日本病院協会副会長
今 泉 暢登志	(一社) 日本病院会副会長
今 村 定 臣	(公社) 日本医師会常任理事
* 内 田 博 文	九州大学名誉教授
尾 形 裕 也	東京大学政策ビジョン研究センター特任教授
畔 柳 達 雄	弁護士
小 森 直 之	(一社) 日本医療法人協会副会長
鈴 木 利 廣	明治大学法科大学院教授
高 橋 茂 樹	弁護士／医師
◎ 多田羅 浩 三	大阪大学名誉教授
豎 山 勲	ハンセン病違憲国賠訴訟全国原告団協議会 事務局長
田 中 滋	慶應義塾大学名誉教授
寺 山 善 彦	(公社) 日本薬剤師会専務理事
中 島 豊 爾	(公社) 全国自治体病院協議会副会長
長 瀬 輝 誼	(公社) 日本精神科病院協会副会長
花 井 十 伍	全国薬害被害者団体連絡協議会会長
比 嘉 良 喬	(公社) 日本歯科医師会理事
藤 崎 陸 安	全国ハンセン病療養所入所者協議会 事務局長

五十音順、敬称略。◎は座長、\*は座長代理

ハンセン病問題に関する検証会議の提言に基づく再発防止検討調査事業  
患者向けアンケート調査結果報告書【速報版】

発 行： 平成 27 (2015) 年 2 月

発行者： ハンセン病問題に関する検証会議の提言に基づく再発防止検討会  
(事務局：株式会社三菱総合研究所 人間・生活研究本部)

〒100-8141 東京都千代田区永田町 2-10-3

電話 03-6705-6025 FAX 03-5157-2143

